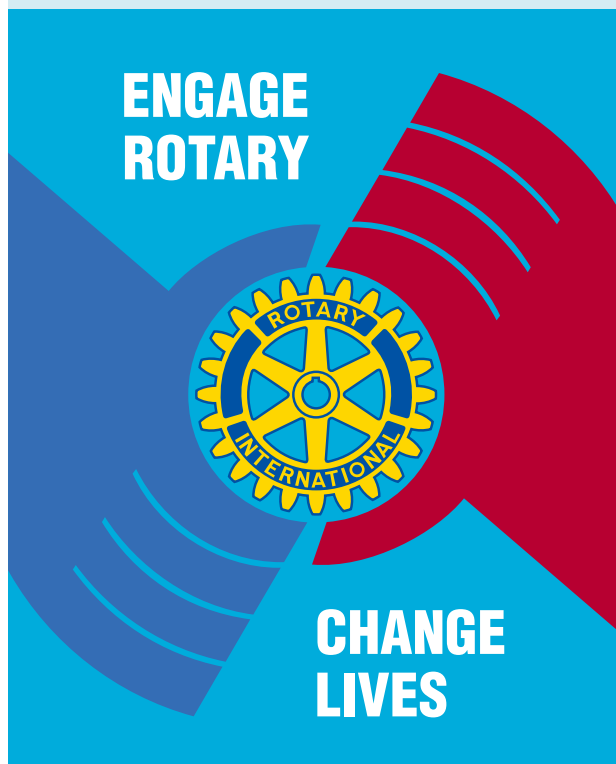


2013 – 2014
July
vol. 1

7



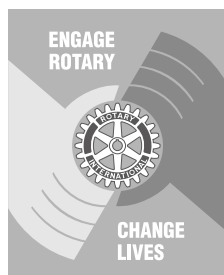
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信7月号

国際ロータリー 第2660地区
2013–2014年度ガバナー

福家 宏



2013-2014 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER July vol.1

CONTENTS

ガバナー就任ご挨拶	1
ガバナープロフィール	3
高島凱夫直前ガバナーへの感謝の言葉	4
ロン・D・バートンRI会長メッセージ [ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を]	5
ロン・D・バートンRI会長プロフィール	6
2013-2014年度のための地区協議会を終えて	7
2013-2014年度 第2660地区ガバナー補佐の紹介	8
国際ロータリー第2660地区 2013-2014年度予算	12
国際ロータリー特別月間/RI第2660地区年間カレンダー	17
主要報告書/報告書送付先及び送金先	18
主要送金	19
I.M.日程一覧表	20
ガバナー公式訪問日程	21
各クラブ創立日・認証日一覧表	22
第2660地区 各ロータリークラブ ホームページ・E-mailアドレス	24
災害支援プロジェクト報告 (第25回)	26
敬弔	28
お知らせ	29
文庫通信	30

ガバナー就任ご挨拶

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

福家 宏



今年度当地区ガバナーを拝命致しました、福家 宏です。よろしく願い致します。

第2660地区は伝統と業績を誇る素晴らしい地区であります。この地区のガバナーに就任することは大変光栄なことであり、責任も重大であると考えております。

私は地区ガバナーになるために、国内で実施される2回のガバナー・エレクト研修セミナー(2012年9月、同年11月)を受け、さらに今年1月米国サンディエゴで開催された国際協議会での研修を受けて参りました。これと同様に会長エレクトの皆様にはクラブ会長になるためにはPETSの受講義務があります。このような研修を経て、地区やクラブのリーダーはロータリアンとともに新しい年度を迎えることになります。

さて今年度のRI会長はオクラホマ州ノーマンRCのロン・D・バートン氏です。職業は弁護士で、地区ガバナーは無論のことRIやロータリー財団のリーダーとして様々の要職を歴任して来られました。

ロン・D・バートン氏は国際協議会の初日、テーマ講演の中で私たちに多くのことを熱く語られました。そして今年度RIテーマを発表されました。皆様すでにご承知の通りそれは「Engage Rotary Change Lives」であります。日本語では「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」と訳されています。

ロン・D・バートン氏は講演の中で「ロータリーを実践することにより」「人々の人生を豊かに」Change their lives!! と言われましたが、同時に「あなた自身の人生も豊かに」Change your lives!! と述べておられます。それを基に私は次年度の地区方針を「感動の体験を!! 人々にも、自身にも」と致しました。さらに私はParticipate「参加し、敢行しよう!!」という言葉添え

ました。この言葉は実は日本人初のRI会長東ヶ崎潔氏のRIのテーマそのものです。私はこの言葉を心に刻み、この言葉を拝借して、地区方針に盛り込みたいと考えました。

さて地区としては何にポイントを置いて活動を進めて行くのか?ロン・D・バートン会長がRI戦略計画に基づくRI方針を述べられましたので、私も同様にこれに基づき次の5項目をご提案し、皆様にはこの5項目に力点を置いてご活動頂きたいと考えております。

- ①会員の維持と増強(クラブのサポートと強化)
- ②ポリオの撲滅への努力(人道奉仕の重点化と増加)
- ③FVPによるプロジェクトの成功
(人道奉仕の重点化と増加)
- ④東日本震災復興支援(人道奉仕の重点化と増加)
- ⑤広報活動(公共イメージと認知度の向上)

会員の維持・増強については高島直前ガバナーは「プロジェクト3900」というスローガンのもと、当地区会員数を何とか3900人にしようと説いて来られました。また昨年度RI会長田中作次氏のお名前を拝借したSAKUJI作戦もスタートしております。この作戦は、地域や地区を超えてロータリアンに相応しい人物を承知しているロータリアンは、自クラブの会員には迎えられないけれども、他地域、他地区に紹介して日本全体のロータリアンの数を増やそうと言うものです。クラブや地区の会員数が減ってしまえば、折角の奉仕活動に支障をきたしてしまい、全体として活性が失われて行くことになります。他の人や増強委員に任せるのではなく、今すぐあなたご自身が新会員獲得のために動き始めて頂きたいのです。そして高島直前ガバナーのスロー

ガンを引き継ぎ、私も申し上げます。地区の会員数を3900人に、クラブの会員数は6%純増を目標として、努力致しましょう。

ポリオは撲滅まであと一歩のところまで来ています。GPEI (Global Polio Eradication Initiative…RI+WHO+UNICEF+CDCにより構成)は現在ポリオ撲滅のために必要とする予算を21億9000万ドルとしています。集まっている資金は12億4500万ドルで、9億4500万ドルものギャップがあります。

このギャップを何とか埋めなければなりません。皆様のご協力とご理解をお願い申し上げます。

FVPや東日本震災復興支援は、従来とは異なった形のプロジェクトが求められることとなります。遠く離れたクラブ間の連絡を密にし、ニーズ調査に力を注いで良いプロジェクトを立ち上げて下さるよう、お願い致します。

公共イメージ向上のため、貴クラブの奉仕活動は出来る限り地区広報委員会にご報告下さい。また地区のホームページも利用しやすいものになる等があります。それによりクラブの奉仕活動を地区全体に広報することもしやすくなると思います。公共イメージの向上は、クラブの強化に繋がります。どうぞよろしくお願い致します。

ガバナープロフィール



国際ロータリー第2660地区 ガバナー
福家 宏 (ふけ ひろし)

[生年月日] 1943年1月1日

[勤務先] 医療法人 福家医院

[所在地] 〒581-0831 八尾市山本町北4-5-13

[経歴] 1972年 大阪市立大学医学部卒業
1972年 大阪市立大学医学部附属病院・大阪市立桃山市民病院他
1987年 福家医院開業 現在に至る

[職業分類] 小児科医

[ロータリー歴] 1985年 八尾東ロータリークラブ入会
1991年 八尾東ロータリークラブ退会(業務多忙のため)
1995年 八尾中央ロータリークラブ入会
1998~1999年度 幹事
2007~2008年度 会長

[R I 第2660地区] 2000~2002年度 ポリオプラス委員
2002~2003年度 財団法人道的補助金委員会委員
2004~2005年度 財団法人道的補助金委員会委員
2005~2007年度 財団法人道的補助金委員会委員長
2008~2009年度 ロータリー財団副委員長
2009~2012年度 ロータリー財団委員長
2010~2012年度 財団FVP委員会委員長
2011~2013年度 災害支援プロジェクト副委員長

[その他] ロータリー財団メジャードナー
ロータリー財団ベネファクター
ロータリー財団マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者(マルチプル)

高島凱夫 直前ガバナーへの 感謝の言葉

国際ロータリー第2660地区 ガバナー
福家 宏



高島凱夫直前ガバナーへの感謝の言葉は、先ずもってこの紙面に書き綴れるものではありません。お世話様になった多くの事柄は枚挙にいとまがありませんが、敢えていくつかを述べさせていただきます。

私が諮問委員会に初めて出席させて頂いたのはガバナー・ノミニーの時でしたが、着席後間もなく高島直前ガバナーは静かに話しかけて下さいました。最も近い先輩から諮問委員会についていくつかのアドバイスを頂戴することにより、私の強い緊張感が幾分か和らいだことを忘れることはありません。

また私の所属する八尾中央ロータリークラブは少人数のクラブですから、地区の主要行事をホストするについては相当な不安感を持っておりましたが、村橋前代表幹事とともに主要行事の事前準備などの際には、その都度お声を掛けて頂き、見学の機会を与えて下さった上、色々ご指導を頂きました。

感動的だったのは地区大会に今やノーベル賞学者として名高い山中伸弥教授を特別講演者として招請されたことです。招請はされたものの地区大会直前にノーベル賞受賞が決定し、山中教授のご講演は実現はしませんでした。しかし当日は戸口田淳也 iPS細胞研究所副所長が立派なご講演をなさり、高島ガバナーはじめ大阪中之島ロータリークラブの皆様からは何らの動揺も感じさせられることはありませんでした。そして全てのプログラムを順調にお進めになり、素晴らしい地区大会となりましたことに、心から敬服致しております。

高島直前ガバナーは当地区の会員増強にも力を注がれました。「プロジェクト3900」のスローガンを掲げられますとともに、新クラブ(大阪みおつくしロータリークラブ)の設立にもご尽力され、6月17日にはチャーターナイトを実現させられました。新クラブ設立にどれほどのエネルギーが必要なのか、私にはなかなか想像が

つきませんが、ひとかたならぬご苦勞がおりであったものと拝察いたしております。

高島直前ガバナーは「育もう未来の力を～飛躍～」という地区方針のもと、次代のロータリーのために若い人々の育成を呼びかけられました。そしてIMにおいては地区方針に相応しい青少年育成関連のプログラムが準備され、多くのロータリアンが感動とやる気を与えられました。新世代プログラムはロータリー・ファミリーを生み出し、彼らが次代のロータリーを担う重要な力となります。新世代をどのように育成して行くのかは、私にとりましても重要な課題であり、今後も高島直前ガバナーのご指導を賜りつつ前進致したいと思っております。

今年度から全世界でFVPがスタート致します。これに伴い、ずっと続いて来たGSEプログラムは高島年度が最終となりました。昨年度GSEは高島直前ガバナーご自身が留学されていた、ドイツ・ハンブルクとの交換を実施されました。ハンブルク・チームの歓迎会、送別会ではドイツ語でご挨拶をされ、高島様のハンブルクへの思いやGSEへの思いが伝わって来るように感じさせられました。ハンブルク・チームの団長は日本語がかなり流暢で、日本については相当造詣の深い方だろうと思っておりましたが、その団長が知らなかった日本の文化に初めて触れた驚きと感動を語ってくれました。他のメンバー4名も、ハードスケジュールを十分にこなし、その分大いに成果が上がったようでした。高島直前ガバナーがこのGSEプログラムで有終の美を飾られましたことは、大慶の至りです。

これからも当地区の素晴らしいリーダーとして、若い人々を育て、私たちをお導き下さるようお願い致します。感謝の言葉と致します。

ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を

2013-2014年度国際ロータリー会長

ロン・D・バートン



今日のロータリー・クラブの例会風景は、一見して、50年前の例会とは大分様子が違っていています。また、34,000あるクラブすべてを訪れれば、さまざまな経歴を持つ人々が、世界のありとあらゆる言語を話し、地元レベルから国際レベルまで、実に多様な奉仕プロジェクトを行っている姿を目にするでしょう。週末に近所の公園にある遊具を修理しているクラブや、ほかのクラブと協力して何千キロも離れた学校の衛生設備を整えているクラブなど、大小さまざまな方法で、この世界をより良くするためにロータリアンは活動しています。

今日、ロータリーで目にする多くのことは、昔とは違います。しかし、ロータリーの土台は変わっていません。私たちの土台は、これまでと同じように、ロータリーの中核的価値観、すなわち、奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップです。これらの価値観こそが、ロータリアンとして私たちを定義づけるものです。私たちは、これらの価値観に従って生き、地域社会にこれらの価値観を広めようと努力しています。

私たちは、推薦され、その推薦を受諾することを選択してロータリーに入会しました。そして、入会した後も、日々、選択を行っています。それは、ロータリー・クラブの単なる一会員であるか、真のロータリアンとなるか、の選択です。

ロータリアンであるということは、週に1度例会に出

席するよりも、ずっと大きな責任です。それは、独特な方法で、世界を見ること、そして、その世界における自分の役割を見ることです。地域社会の問題を自分自身の責任として受け止め、それに基づいて行動し、イニシアチブを発揮し、最善の努力をすること、簡単な道ではなく、正しい道を歩むことを意味します。

私たちは皆、世界をより良くする活動に自ら参加するために、ロータリーに入会しました。人生におけるあらゆる物事と同じように、ロータリーの奉仕では、努力すればするほど、多くを得ることができます。形だけの努力だけなら、大した成果は上がりませんし、本当の満足感は得られないでしょう。

しかし、ロータリーを真に実践し、ロータリーの奉仕と価値観を日々活かす決意をすれば、自分がいかに素晴らしい影響をもたらすことができるかが見えてくるでしょう。そうして初めて、人々の人生を真に豊かにしようというインスピレーション、やる気、パワーが沸くのです。そして何よりも、あなた自身の人生が一番豊かになるはずで

2013-14年度のロータリーのテーマ、そして私から皆さんへのチャレンジは「ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を」です。

皆さんは、ロータリーの襟ピンを身につけることを選択しました。これからどうするか、皆さん次第です。

A handwritten signature in black ink, appearing to read "Ron D. Burton". The signature is stylized and cursive.

ロン・D・バートン氏の プロフィール



ロン・D・バートン

R I 会長 (2013-2014年度)

R I 理事 (1998-2000年度)

ロータリー財団管理委員会副委員長 (2008-2009年度)

管理委員 (2006-2010年度)

ロン・D・バートン氏は、2007年、オクラホマ大学財団会長の職を最後に引退しました。米国連邦最高裁判所弁護士協会、オクラホマ州弁護士協会、クリーブランド郡弁護士協会の会員、米国弁護士会の会員として、非課税法人委員会、米国弁護士会慈善組織のための不動産・遺言検認・信託委員会の委員も務める同氏は、米国ボーイスカウトのラスト・フロンティア・カウンシルの副会長を務め、シルバー・ビーバー賞を受賞しています。また、ノーマン・ユナイテッド・ウェイのジュニアリーグ・ボランティア最優秀市民賞も受賞しています。

1979年以來のロータリアンであるバートン氏は、米国オクラホマ州ノーマン・ロータリー・クラブの元会長で、現会員です。これまでに、地区ガバナー、規定審議会代表議員 (1992年および1995年)、国際協議会グループ討論リーダーとモデレーター、ゾーン研修リーダー、ロータリー情報カウンセラー、委員会やタスクフォース・メンバー、R I 会長代理、R I 会長のエイド、2011年ニューオーリンズ国際大会委員長を歴任しました。また、理事会では、執行委員会、運営委員会、監査委員会の委員も務めました。

さらに、ロータリー財団開発委員会のコンサルタント、恒久基金米国アドバイザー、ロータリー財団地域コーディネーター、インターナショナル・ポリオ・プラス委員会委員、恒久基金リーダーシップチームのメンバー、ポリオ・プラス広報部メンバー、ロータリー財団地域コーディネーター研修プログラムのモデレーターを務めた経験もあります。2006-2010年度はロータリー財団管理委員、2008-2009年度は財団管理委員会副委員長、また、未来の夢委員会委員および副委員長も務めています。

そして、2013-2014年度、バートン氏は国際ロータリー会長に就任します。

R I 超私の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状、ロータリー財団特別功労賞、ポリオのない世界を目指す奉仕賞の受賞者でもあるバートン氏は、ジェタ夫人と共に、ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター、大口寄付者、ポール・ハリス・ソサエティ、遺贈友の会、アーチC・クランフ・ソサエティの会員でもあります。

2013—2014年度のための 地区協議会を終えて

地区協議会実行委員長

野中志郎 (八尾中央RC)

R I 第2660地区の会員の皆様方の暖かいご協力のもと、去る4月27日に2013—14年度のための地区協議会を無事終了することができました。この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。

地区協議会当日には、2012—13年度高島ガバナーを始めとする多くのパストガバナー、そしてガバナーノミニ、ガバナー補佐、地区役員・地区委員の皆様方のご出席を賜り、心より感謝申し上げます。また「R I 戦略計画」についてご講演いただきましたR I 研修リーダー・第2520地区パストガバナーの桑原茂様におかれましては、快く講演を引き受けいただき、第2660地区の会員のため、意義のある、貴重なお話を頂戴し、誠にありがとうございました。

地区協議会は、申すまでもなくR I 会長のテーマのもと、次年度の地区運営方針を、地区ガバナーエレクトが、各クラブの役員の皆様方に、直接お聞きいただく場があります。そこで地区としての基本方針を伝え、皆様方各クラブの、今後一年間の活動の方向性を示すものであります。

2012—13年度福家ガバナーエレクトは、2013年1月13日から16日までアメリカ・サンディエゴで開催された国際協議会に出席、2013—14年度R I 会長、ロン・バートン氏の活動方針を研修してこられました。

第1部の本会議では、国際協議会で示された指針のもとに、福家ガバナーエレクト自らの、第2660地区2013—14年度ガバナー方針を、各クラブの会長エレクトはじめ、クラブの次期リーダーの皆様方に発表されました。また第2部の部門別協議会は、ガバナーエレクトの次年度方針を、どのように各クラブ内で実践していくかを協議していただく場であり、各部門では活発な意見交換が熱心に行われ、有意義で実りの多い時間を共有することができました。

福家ガバナーエレクトは、ご自身、熱心なロータリア

ンであると同時に、ロータリー活動に、強い信念と意欲を持っておられます。また長年の地区財団委員会活動で培われた豊かな経験と深い知識を備えておられます。本年度R I テーマ「ロータリーを實踐し、皆に豊かな人生を」のもと、1年間精一杯努力される所存であります。第2660地区ロータリアンの皆様方におかれましては、絶大なるご支援・ご協力を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

最後になりましたが、地区協議会の開催にあたり、不慣れな私どもに対し、大阪中之島RC、八尾RCを始め、多くのロータリークラブやロータリアンの方々から、貴重なアドバイスをいただき、誠にありがとうございました。またコ・ホストクラブとしてご協力いただきました、我々の親クラブであります八尾RC、そして大阪柏原RC、八尾東RCの会員の皆様方には、この場をお借りし、深く感謝いたします。

メンバーの少ない私たちのクラブで、福家会員がガバナーノミニ候補となった時、いち早く、絶大なる支援と協力を快諾していただき、その後も心温まる熱心なお手伝いをしていただいたことが、福家ガバナー実現の大きな原動力となったことは否定しようのない事実であります。コ・ホストクラブの、親身で暖かい協力がなければ、今回の地区協議会はもとより、福家ガバナーの実現もなかったものと深く感謝いたしております。本当にありがとうございました。



2013-2014年度 第2660地区ガバナー補佐の紹介

IM 第1組

[氏名] 正岡 哲 (まさおか さとし) (池田くれはRC)

[生年月日] 1946年 1月20日

[職歴] 医療法人 正岡クリニック

[ロータリー歴] 1984年4月 池田くれはRC入会

1992年～1993年 理事

1998年～1999年 幹事

1999年～2000年 役員

2003年～2004年 理事

2005年～2006年 会長

2006年～2007年 理事

2011年～2012年 理事

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山功労者 (マルチプル)



今年のR I ロン・バートン会長の方針は「Engage Rotary! Change Lives」です。

私の考えでは、この言葉の意味は「ロータリーと取っ組み合せ！そして自分達の人生を変えよう」ということになるのではと思います。第2660地区の福家ガバナーは「感動を体験しよう。人々にも、自身にも。」と方針を打ち出されています。どちらも心に響く言葉です。

この1年間、ガバナー補佐として、この2つの言葉を達成できるよう励んで参りたいと思います。

IM 第2組

[氏名] 井上義信 (いのうえ よしのぶ) (吹田RC)

[生年月日] 1936年 7月23日

[職歴] 株式会社 井上昇商店 取締役会長

[ロータリー歴] 1977年3月7日 吹田RC入会

1982～1983年度 幹事

1985～1988年度 地区幹事

1994～1995年度 会長

1997～1998年度 地区幹事

2000～2001年度 IM第2組 実行委員長

2008～2009年度 吹田RC創立50周年実行委員長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山功労者 (マルチプル)



今年度、ガバナー補佐を承ることになりました。前年度は前ガバナー補佐・矢野さんのクラブ訪問に同行し、会長・幹事懇談会やクラブ協議会を通じ、ガバナー補佐の職責の輪郭を把握することができました。

今年度のR I 会長テーマや福家ガバナーの地区の方針は会員一人ひとりの活動力と感動の体感が組織の活性化、ひいては会員の拡大に繋がる、との提言です。ガバナー補佐としてこれからの方針の推進とクラブ間の情報の交換、運営の一助に努める所存です。各クラブのご指導、ご協力をお願い致します。

IM 第3組

〔氏 名〕 亀井信昭（かめいのぶあき）（寝屋川RC）

〔生年月日〕 1949年 2月24日

〔職 歴〕 浄土真宗本願寺派善行寺 住職

〔ロータリー歴〕 1992年 寝屋川RC入会
2008～2009年度 会長
ベネファクター
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者



本年度、IM第3組のガバナー補佐の重責を承る事になりました。

福家宏ガバナーの地区方針を各クラブにお伝えするとともに、IM第3組の各クラブの良き文化・伝統について、樋口秀和直前ガバナー補佐から指導を受けております。

微力ですが、精一杯頑張ります。皆様方のご指導・ご協力をお願いします

IM 第4組

〔氏 名〕 辻本 一義（つじもと かずよし）（東大阪RC）

〔生年月日〕 1942年 8月12日

〔職 歴〕 辻本法律特許事務所 会長 弁理士

〔ロータリー歴〕 1986年 東大阪RC入会
1993～1994年度 幹事
2002～2003年度 会長
2004～2010年度 地区ローターアクト委員会委員
2007～2009年度 地区ローターアクト委員会委員長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者（マルチプル）



前年度の山田ガバナー補佐の後を受けて、今年度のIM第4組ガバナー補佐に就任するに当たり、責任の重大さをひしひしと感じております。

前年度は山田ガバナー補佐と共にIM第4組内10クラブを訪問すると共に、多くの研修を受けてまいりました。この経験を活かして、地区と各クラブとの橋渡し役として、大過なく役目を果たしたいと考えておりますので、皆様方のご指導とご協力を宜しくお願い致します。

IM 第5組

〔氏名〕川崎 壽（かわさき ひさし）（大阪中央RC）
〔生年月日〕1944年10月 3日
〔職歴〕川崎壽法律事務所 弁護士
〔ロータリー歴〕1984年1月26日 大阪中央RC入会（チャーターメンバー）
1988～1989年度 幹事
1997～2003年度 地区規定情報委員会委員
2003～2004年度 会長
2008～2009年度 地区代表幹事
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者（マルチプル）



ガバナー補佐の責務は多岐にわたります。熱意溢れる秋山直前ガバナー補佐に同行してクラブ訪問を体験させて頂きましたが、自分にこの責務を果すことができるだろうかとまだまだ不安があります。福家ガバナーの地区方針に添い、担当クラブの活動を少しでも支援できるよう努めたいと思います。

クラブ協議会は、クラブの全会員の出席が要請されております。今年度はIM5組でこの点をお願いして行きたいと思います。また、各クラブにおかれて、戦略計画を立案実施され、ロータリーを實踐しての「感動の体験」をIMで発表して頂きたいと考えています。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

IM 第6組

〔氏名〕山田英男（やまだ ひでお）（大阪城北RC）
〔生年月日〕1939年 7月16日
〔職歴〕山田グループ代表取締役会長、在大阪カンボジア王国名誉領事
〔ロータリー歴〕1987年 5月 大阪城北RC入会
1997～1998年度 理事
1999～2000年度 理事
2001～2002年度 副会長
2003～2004年度 会長
2006～2007年度 理事
ベネファクター
ロータリー財団メジャードナー
米山功労者（メジャードナー）



ロン・D・バートンRI会長と福家宏RI第2660地区ガバナーが掲げたテーマを、担当するIMグループ内において浸透・具現化するのがガバナー補佐としての私の役割のひとつです。

ロータリー活動を「実践」し「体験」するためには資金が必要です。ロータリー財団の役割としくみを理解し、自らもできる限り貢献する一方、福家ガバナーの重点施策である会員の維持・増強や東日本大震災復興支援に各クラブが積極的に取り組んでいく環境づくりにも力を入れたいと考えています。

IM 第7組

[氏名] 杉浦敬久 (すぎうら よしひさ) (大阪船場RC)
[生年月日] 1935年10月16日
[職歴] ハグルマ封筒株式会社 取締役会長
[ロータリー歴] 1999年3月1日 大阪船場RC入会
2004~2005年度 副会長
100周年事業実行委員長
2006~2007年度 会長
2009~2011年度 20周年基金財団委員会委員長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者



第7組谷口勉AGの後を受け、今年度のガバナー補佐を拜命致しました大阪船場RCの杉浦です。

福家ガバナーは地区の方針として「感動体験を人々にも自身にも Participate 敢行しよう」と力強く発表されました。奉仕活動での喜びは正に感動体験であります。色々な現場に赴き、共に汗をかき喜びも悲しみも分かち合い共感する事によって、感動という涙が生まれます。奉仕の内容は千差万別です。災害時に地区が一体となって活動するもの、近隣のクラブ連合(IM)が共同事業を行うもの、そしてクラブ単位で深く長く奉仕の出来る事などです。

親睦の絆が太くなる程、奉仕活動のパワーは力強くなります。私は感動の汗と涙を求めて皆様と共に歩みたく思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

IM 第8組

[氏名] 新見 葵 (しんみ まもる) (大阪天王寺RC)
[生年月日] 1944年 9月14日
[職歴] 三越不動産株式会社 取締役会長
[ロータリー歴] 1988年 9月 大阪天王寺RC入会 (チャーターメンバー)
1992~1993年度 幹事
2007~2008年度 会長
2009~2010年度 CLP委員長
2011~2012年度 幹事
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者 (マルチプル)



2013~2014年度 第8組のガバナー補佐を務めさせていただきます新見でございます。

RI及び第2660地区方針に則り、地区・ガバナーと各クラブさんとの橋渡し役がうまく行えるよう、私なりに精一杯頑張りますので、皆様のご協力、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

国際ロータリー第2660地区 2013-2014年度予算

地区運営資金

【収入の部】

(単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
1. 地区資金	36,000,000	36,000,000	0
2. RI助成金	2,000,000	1,600,000	△ 400,000
3. 雑収入	600,000	600,000	0
収入合計	38,600,000	38,200,000	△ 400,000

【支出の部】

(単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
A. 負担金			
1. ガバナー会	800,000	760,000	△ 40,000
2. ロータリ文庫	1,200,000	1,140,000	△ 60,000
3. 平和奨学生支援協力金	60,000	60,000	0
小 計	2,060,000	1,960,000	△ 100,000
B. 会議費			
1. PETS・チーム研修セミナー	1,500,000	1,500,000	0
2. 地区合同委員会	900,000	850,000	△ 50,000
3. 財団セミナー	600,000	550,000	△ 50,000
4. DGPGGE会議	0	0	0
5. G補佐・地区幹事会	30,000	20,000	△ 10,000
6. GE国際協議会	730,000	730,000	0
7. 予備費	100,000	100,000	0
小 計	3,860,000	3,750,000	△ 110,000
C. ガバナー関係費			
1. ガバナー事務所経費	30,200,000	30,700,000	500,000
2. ガバナー月信	5,300,000	5,300,000	0
3. ガバナー補佐経費	100,000	70,000	△ 30,000
4. 直前DG記念品	100,000	100,000	0
小 計	35,700,000	36,170,000	470,000
D. 地区基金への繰入金	5,000,000	0	△ 5,000,000
E. 総予備費	120,000	120,000	0
支出合計	46,740,000	42,000,000	△ 4,740,000
収支差額	△ 8,140,000	△ 3,800,000	4,340,000
前年度繰越金	25,391,094	17,251,094	13,451,094
次年度繰越金	17,251,094	13,451,094	17,791,094

ガバナー事務所経費

【収入の部】

(単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
1. 家賃・光熱費	4,500,000	4,500,000	0
2. 給料・手当	16,700,000	17,000,000	300,000
3. 厚生費	2,300,000	2,500,000	200,000
4. コンピューター関係費用	1,300,000	1,300,000	0
5. DGGE交通会合費	1,000,000	1,000,000	0
6. 印刷費	1,400,000	1,400,000	0
7. 交通通信費	1,500,000	1,500,000	0
8. 文献費	100,000	100,000	0
9. 事務用品費	600,000	600,000	0
10. 什器備品費	200,000	200,000	0
11. 雑費	500,000	500,000	0
12. 予備費	100,000	100,000	0
収入合計	30,200,000	30,700,000	500,000

地区活動資金

【収入の部】

(単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
1. 地区資金	25,200,000	25,200,000	0
収入合計	25,200,000	25,200,000	0

【支出の部】

(単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
A. 地区委員会活動費			
1. DG指名(委)	30,000	20,000	△ 10,000
2. 意義ある業績賞(委)	20,000	10,000	△ 10,000
3. クラブ奉仕部門			
クラブ奉仕・拡大増強(委)	480,000	480,000	0
広報(委)	660,000	1,040,000	380,000
4. 職業奉仕部門			
職業奉仕(委)	240,000	240,000	0
5. 社会奉仕部門			
社会奉仕(委)	430,000	400,000	△ 30,000
6. 新世代奉仕部門			
新世代合同委員長会議	30,000	20,000	△ 10,000
青少年活動(委)	4,530,000	4,500,000	△ 30,000
ローターアクト(委)	4,500,000	4,800,000	300,000
インターアクト(委)	1,950,000	1,950,000	0
青少年交換(委)	5,500,000	5,500,000	0
7. 国際奉仕部門			
国際奉仕(委)	310,000	410,000	100,000
8. ロータリー財団部門 (計)	4,195,000	2,820,000	△ 1,375,000
ロータリー財団(委)		570,000	
財団地区補助金G補助金(G)		20,000	
職業研修チーム(G)		1,600,000	
財団奨学金・学友(G)		390,000	
資金推進小委員会		30,000	
ポリオプラス小委員会		80,000	
地区財団資金管理小委員会		50,000	
補助金小委員会		80,000	
9. 米山奨学部門			
米山奨学(委)	340,000	400,000	60,000
10. 災害支援プロジェクト	100,000	100,000	0
11. RI規定審議会派遣積立金	400,000	400,000	0
12. RI JYEC維持協力金	400,000	400,000	0
13. 危機管理積立金	9,500,000	0	△ 9,500,000
14. 予備費	1,500,000	1,500,000	0
小 計	35,115,000	27,810,000	△ 7,305,000
B. RI会長DG協調事業費	3,000,000	3,000,000	0
C. IM広報活動補助金	2,400,000	2,400,000	0
D. 研修委員会	1,200,000	1,200,000	0
E. ロータリー研究会準備基金	0	0	0
支 出 合 計	41,715,000	34,410,000	△ 7,305,000
収 支 差 額	△ 16,515,000	△ 9,210,000	7,305,000
前 年 度 繰 越 金	31,765,442	15,250,442	△ 16,515,000
次 年 度 繰 越 金	15,250,442	6,040,442	△ 9,210,000

特別会計

1. 地区大会資金

(単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
前年度繰越金	9,245,981	9,245,981	0
地区資金	18,000,000	18,000,000	0
地区大会会計へ	27,245,981	27,245,981	0
地区大会会計から戻入	9,245,981	9,318,346	72,365
次年度繰越金	9,245,981	9,318,346	72,365

2. 米山奨学生生活動費

【収入の部】

(単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
(財)米山記念奨学会より	2,700,0000	2,700,0000	0
選考試験補助金	0	0	0
カウンセラー研修会補助金	0	0	0
ホームカミング補助金	0	0	0
レクリエーション登録料	0	0	0
米山奨学歓送迎会登録料	0	0	0
米山奨学からの補填	0	0	0
地区活動資金からの補填	0	0	0
受取利息	0	0	0
収入合計	2,700,000	2,700,000	0

【支出の部】

(単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
カウンセラー研修会	0	0	0
情報交換会	0	0	0
レクリエーション	2,700,0000	2,700,0000	0
選考会	0	0	0
歓送迎会	0	0	0
オリエンテーション	0	0	0
ホームカミング	0	0	0
米山奨学会学友会支援	0	0	0
米山委員長会議	0	0	0
(財)米山奨学会へ返金	0	0	0
スピーチコンテスト	0	0	0
支出合計	2,700,000	2,700,000	0

3. 世界社会奉仕基金(国際奉仕基金)

【収入の部】

(単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
クラブ拠出金	0	0	0
寄附	0	0	0
受取利息	0	0	0
収入合計	0	0	0

【支出の部】

(単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
プロジェクト基金	0	0	0
送金手数料	0	0	0
支出合計	0	0	0
収支差額	0	0	0
前年度繰越金	1,773,151	682,344	△ 1,090,807
次年度繰越金	1,773,151	682,344	△ 1,090,807

4. RI規定審議会派遣積立金

(単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
前年度繰越金	1,254,400	654,400	△ 600,000
地区活動資金繰入	400,000	400,000	0
実際派遣事業	1,000,000	0	△ 1,000,000
次年度繰越金	654,400	1,054,400	400,000

5. 危機管理積立金

(単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
前年度繰越金	500,000	10,000,000	9,500,000
地区活動資金繰入	9,500,000	0	△ 9,500,000
次年度繰越金	10,000,000	10,000,000	0

地区基金

(単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
前年度繰越金	15,000,000	20,000,000	5,000,000
受取利息	0	0	0
特別会計へ取崩し	0	0	0
地区運営資金から繰入	5,000,000	0	△ 5,000,000
利息を本会計へ繰入	0	0	0
次年度繰越金	20,000,000	20,000,000	0

2013-14年度

国際ロータリー特別月間

月 日	行 事 名	
2013年 8月	会員増強・拡大月間	(Membership and Extension Month)
9月	新世代のための月間	(New Generations Month)
10月	職業奉仕月間	(Vocational Service Month)
10月	米山月間	(Yoneyama Month)
11月	ロータリー財団月間	(Rotary Foundation Month)
11月 5日を含む週	世界インターアクト週間	(World Interact Week)
12月	家族月間	(Family Month)
2014年 1月	ロータリー理解推進月間	(Rotary Awareness Month)
1月 27日を含む週	追悼記念週間	(Remembrance Week)
2月	世界理解月間	(World Understanding Month)
2月 23日	ロータリー創立記念日/ 世界理解と平和の日	(Rotary Anniversary/ World Understanding & Peace Day)
3月	識字率向上月間	(Literacy Month)
3月 13日を含む週	世界ローターアクト週間	(World Rotaract Week)
4月	雑誌月間	(Rotary's Magazine Month)
6月	ロータリー 親睦活動月間	(Rotary Fellowships Month)

2013-14年度

RI第2660地区 年間カレンダー

月 日	行 事 名	会 場 名
2013年 7月20日(土)	合同地区委員会	大阪YMCA会館
8月 2日(金)~ 4日(日)	少年少女ニコニコキャンプ (ホスト：大阪北)	紀泉わいわい村
8月31日(土)	地区ロータリー財団セミナー	大阪YMCA会館
10月12日(土)~14日(月・祝)	秋のライラ (ホスト：大阪フレンド)	信太山青少年野外活動センター
2014年 2月21日(金)~22日(土)	地区大会	リーガロイヤルホテル・大阪国際会議場
3月29日(土)	PETS・地区チーム研修セミナー	ハイアットリージェンシー大阪
4月19日(土)	地区協議会 (ホスト：大阪帝塚山)	大阪国際会議場
5月 4日(日)~ 6日(火・祝)	春のライラ (ホスト：大東中央)	(未定)
6月 1日(日)~ 4日(水)	国際大会	シドニー (オーストラリア)

主要報告書

報告事項	期 日	報告先
1. 半期報告	7月1日 1月1日	①国際ロータリー日本事務局 ②(写) ガバナー ③(写) クラブに保管
2. クラブ会員数及び出席率等報告	翌月15日午前中までに必着	ガバナー事務所
3. クラブ会員数及び女性会員数報告のお願い	前期 7月 7日までに必着 後期 1月10日までに必着	ガバナー事務所 前期 6月30日付、7月1日付 後期 12月31日付、1月1日付
4. 物故者報告用紙	その都度	ガバナー事務所
5. クラブ細則の変更	その都度	ガバナー事務所
6. 効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標	2013年 7月 1日	所定の用紙3部に記入して、ガバナー・エレクト事務所 所に1部ガバナー補佐に1部、1部はクラブに保管
7. 地区大会提出・信任状証明書	2013年12月31日	直前の半期人頭分担金支払時会員数25名毎に 1名、またはその端数13名以上の場合はさらに 1名を選ぶ。(R I 細則15.050.1)
8. 新入会員、退会者、会員の住所 または種類の変更	その都度	①RI世界本部(英文・所定の用紙) ②ガバナー事務所
9. クラブ会長、幹事、例会場、日時、 事務所等の変更届	その都度	①国際ロータリー日本事務局 ②ガバナー事務所 ③ロータリーの友事務所
10. R I 文献購入申込 各RC常備の注文用紙にて	その都度	R I 世界本部(英文の文献) 国際ロータリー日本事務局(和文の文献)
11. 次年度クラブ会長・幹事報告 (公式名簿・記載資料)	クラブ役員が決定次第	R I 世界本部(ウェブサイトを通して要報告)
12. 国際大会提出・信任状証明書 (会長・幹事のサインが必要)	4月	国際大会出席者の代議員または その代理者(ガバナー・エレクトなど)用紙は R I より直接各クラブに送付される。
13. 寄付増進クラブ目標報告書式	2013年 6月 1日	RI世界本部(ウェブサイトを通じて要報告)

報告書送付先及び送金先

国際ロータリー世界本部	Rotary International One Rotary Center, 1560 Sherman Avenue, Evanston, IL 60201-3698, U.S.A. TEL 1-847-866-3000 FAX 1-847-328-8554 または 1-847-328-8281
国際ロータリー日本事務局	〒108-0073 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル24階 クラブ・地区支援室(旧奉仕室) TEL (03)5439-5800 地区・クラブ関係のお問い合わせ 財団室 TEL (03)5439-5805 ロータリー財団関係のお問い合わせ 経理室 TEL (03)5439-5803 出納関係のお問い合わせ 資料室 TEL (03)5439-5802 文献・資料の注文、お問い合わせ 各室共通 FAX (03)5439-0405
公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F TEL (03)3434-8681 (三井住友銀行 京橋支店 普通 0920373) FAX (03)3578-8281
一般社団法人 ロータリーの友事務局	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4F TEL (03)3436-6651 (三井住友銀行 浜松町支店 普通 7450015) FAX (03)3436-5956
国際ロータリー第2660地区 会計 片岡 基博(カタオカ モトヒロ)	〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階 TEL (06)6264-2660 (りそな銀行 大阪営業部 普通 1527269) FAX (06)6264-2661
ロータリー文庫	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506

主要送金

送 金	期 日	送金先																				
1. 人頭分担金1人当り半年分 (\$26.50) 中途入会者の場合 比例人頭分担金として、次の半期が始まるまで一ヶ月につき、\$ 26.50÷6 の金額	7月1日 1月1日	三井住友銀行 新宿通支店 普通 6733244 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎																				
2. 規定審議会のための追加人頭分担金1人当り \$ 1.00	7月1日	三井住友銀行 赤羽支店 普通 3978101 公益財団法人 ロータリー日本財団																				
3. 「The Rotarian」の購読料 半年分 \$ 12.00	7月1日 1月1日	(公益財団法人ロータリー 日本財団への寄付) 三井住友銀行 赤羽支店 普通 3978101 公益財団法人 ロータリー日本財団																				
4. ロータリー財団への寄付 年次寄付：各クラブで目標金額を設定 恒久基金寄付：ベネファクター(1,000ドル以上寄付した場合) 大口寄付：大口寄付者(累計寄付金1万ドル)	随 時	(公益財団法人ロータリー 日本財団への寄付) 三井住友銀行 赤羽支店 普通 3978101 公益財団法人 ロータリー日本財団																				
5. 地区運営資金・地区活動資金・地区大会資金 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 15%; text-align: center;">前期分</th> <th style="width: 15%; text-align: center;">後期分</th> <th style="width: 15%; text-align: center;">合計(年間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地区運営資金</td> <td style="text-align: right;">5,000円</td> <td style="text-align: right;">5,000円</td> <td style="text-align: right;">10,000円</td> </tr> <tr> <td>地区活動資金</td> <td style="text-align: right;">3,500円</td> <td style="text-align: right;">3,500円</td> <td style="text-align: right;">7,000円</td> </tr> <tr> <td>地区大会資金</td> <td style="text-align: right;">5,000円</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: right;">5,000円</td> </tr> <tr> <td>計(一人当たり)</td> <td style="text-align: right;">13,500円</td> <td style="text-align: right;">8,500円</td> <td style="text-align: right;">22,000円</td> </tr> </tbody> </table> 中途入会者及び新クラブ設立の場合 7月2日より10月1日まで入会した会員に対し ¥9,250 1月2日より 4月1日まで入会した会員に対し ¥4,250		前期分	後期分	合計(年間)	地区運営資金	5,000円	5,000円	10,000円	地区活動資金	3,500円	3,500円	7,000円	地区大会資金	5,000円	—	5,000円	計(一人当たり)	13,500円	8,500円	22,000円	7月1日 1月1日 10月1日 4月1日	第2660地区会計
	前期分	後期分	合計(年間)																			
地区運営資金	5,000円	5,000円	10,000円																			
地区活動資金	3,500円	3,500円	7,000円																			
地区大会資金	5,000円	—	5,000円																			
計(一人当たり)	13,500円	8,500円	22,000円																			
6. 財団法人ロータリー米山記念奨学会への寄付 普通寄付金は1人当り各クラブの決定額の半分 特別寄付金は随時送金	7月1日 1月1日	ロータリー米山記念奨学会																				
6. 「ロータリーの友」購読料 半期分 ¥1,260(消費税含む) (但し、中途入会者については雑誌を受け取った月より月割1部¥210) ※請求書が「友」より各クラブへ送付されるので、確認してから振込のこと	7月1日 1月1日	ロータリーの友事務局																				

2013-14年度

I.M.日程一覧表

組	開催年月日	ホストクラブ	所属クラブ	クラブ数	ガバナー補佐
1	2014年 4月12日(土)	箕面	池田、池田くれは、箕面、 箕面千里中央、豊中、豊中南、 豊中-大阪国際空港、豊中千里	8	正岡 哲 (池田くれは)
2	2014年 3月 8日(土)	茨木	茨木、茨木東、茨木西、千里、 千里メイプル、摂津、吹田、吹田江坂、 吹田西、高槻、高槻東、高槻西	12	井上義信 (吹田)
3	2014年 1月25日(土)	香里園	大東、大東中央、枚方、門真、交野、 香里園、くずは、守口、 守口イブニング、寝屋川、四條畷	11	亀井信昭 (寝屋川)
4	2013年 11月30日(土)	八尾	東大阪、東大阪中央、東大阪東、 東大阪みどり、東大阪西、大阪柏原、 大阪ネクスト、八尾、八尾中央、八尾東	10	辻本一義 (東大阪)
5	2014年 4月 5日(土)	大阪中央	大阪中央、大阪堂島、大阪北、 大阪北梅田、大阪西、大阪大淀、 大阪リバーサイド、大阪西北、 大阪そねざき、大阪梅田、大阪梅田東、 大阪ユニバーサルシティ	12	川崎 壽 (大阪中央)
6	2014年 3月15日(土)	大阪東淀 ちややまち	大阪、大阪東、大阪東淀ちややまち、 大阪城東、大阪中之島、大阪大手前、 大阪城北、大阪天満橋、大阪鶴見、 大阪淀川、新大阪	11	山田英男 (大阪城北)
7	2014年 2月 1日(土)	大阪南西	大阪フレンド、大阪御堂筋本町、 大阪南、大阪難波、大阪なにわ、 大阪南西、大阪西南、大阪船場、 大阪心斎橋、大阪うつぼ	10	杉浦敬久 (大阪船場)
8	2014年 3月 1日(土)	大阪平野	大阪平野、大阪イブニング、大阪城南、 大阪みおつくし、大阪咲洲、 大阪天王寺、大阪帝塚山、大阪東南、 大阪アーバン	9	新見 葵 (大阪天王寺)

2013-14年度

ガバナー公式訪問日程

▲14:30~開始
■18:00~開始
★18:30~開始
●19:30~開始

日	2013年 7月	8月	9月	日	10月	11月	12月	日	2014年 1月	2月	3月	4月	日
1	月	木	日	1	火	金	八尾東	日	1	水	土	IM7組	1
2	火	金	月	2	水	土	大阪咲洲	月	2	木	日		2
3	水	土	火	3	木	日	★大阪イブニング 大阪平野 大阪アーバン	火	3	金	月		3
4	木	日	水	4	金	月	大阪ユニバー サルシティ	水	4	土	火		4
5	金	月	木	5	土	火	大阪柏原	木	5	日	水		5
6	土	火	金	6	日	水	池田	金	6	月	木		6
7	日	水	土	7	月	木	■吹田西	土	7	火	金		7
8	月	木	日	8	火	金	摂津	日	8	水	土	IM2組	8
9	火	金	月	9	水	土	高槻	月	9	木	日		9
10	水	土	火	10	木	日	大阪御堂筋本町 ★箕面	火	10	金	月		10
11	木	日	水	11	金	月	高槻東	水	11	土	火		11
12	金	月	木	12	土	火	大東	木	12	日	水		12
13	土	火	金	13	日	水	秋のライラ	金	13	月	木	大阪東	13
14	日	水	土	14	月	木	大阪北 ●大阪ネクスト ■大阪なにわ 大阪難波 大阪南西	土	14	火	金	豊中-大阪国際空港	14
15	月	木	日	15	火	金	千里	日	15	水	土	補助金管理 セミナー	15
16	火	金	月	16	水	土	★茨木西	月	16	木	日		16
17	水	土	火	17	木	日	吹田 ★千里メイプル	火	17	金	月		17
18	木	日	水	18	金	月	箕面千里中央	水	18	土	火		18
19	金	月	木	19	土	火	門真	木	19	日	水		19
20	土	火	金	20	日	水	合同地区 委員会	金	20	月	木		20
21	日	水	土	21	月	木	大阪堂島 ★池田くれは	土	21	火	金	地区大会	21
22	月	木	日	22	火	金	大阪中之島	日	22	水	土	地区大会	22
23	火	金	月	23	水	土	大阪大手前	月	23	木	日		23
24	水	土	火	24	木	日	豊中 ★大阪うつぼ	火	24	金	月		24
25	木	日	水	25	金	月	大阪城南	水	25	土	火	IM3組	25
26	金	月	木	26	土	火	東大阪・東大阪中央 東大阪東・東大阪西 東大阪みどり	木	26	日	水		26
27	土	火	金	27	日	水	大阪南	金	27	月	木		27
28	日	水	土	28	月	木	大阪フレンド	土	28	火	金		28
29	月	木	日	29	火	金	大阪天満橋	日	29	水	土	PETS 地区チーム	29
30	火	金	月	30	水	土	大阪城南 大阪東ちやまち	月	30	木	日		30
31	水	土	日	31	木	火	八尾 ■大東中央	土	31	金	月		31

各クラブ創立日・認証日一覧表

クラブ名	創立年月日	認証日	周年	入会金	年会費	ピジャ-ファイ	備考
大東	1967年12月26日	1968年 1月24日		¥150,000	¥240,000	¥3,000	
大東中央	1996年 3月14日	1996年 4月16日		¥100,000	¥240,000	¥3,000	
東大阪	1957年 6月 4日	1957年 6月17日		¥120,000	¥320,000	¥4,500	
東大阪中央	1972年 2月20日	1972年 3月 3日		¥100,000	¥285,000	¥4,500	
東大阪東	1965年 3月 4日	1965年 4月28日		¥100,000	¥280,000	¥3,000	
東大阪みどり	1998年 9月24日	1998年10月28日	15	¥100,000	¥320,000	¥3,000	
東大阪西	1985年 3月18日	1985年 3月29日		¥100,000	¥315,000	¥4,000	
枚方	1961年 2月28日	1961年 4月 3日		¥200,000	¥250,000	¥3,000	
茨木	1959年12月23日	1960年 2月 9日		¥100,000	¥260,000	¥2,000	
茨木東	1974年 2月14日	1974年 3月 8日	40	¥100,000	¥260,000	¥3,000	
茨木西	1993年12月 8日	1993年12月21日	20	¥150,000	¥290,000	¥4,000	第3週は¥2,000
池田	1954年 4月24日	1954年 5月 4日	60	¥150,000	¥300,000	¥3,000	
池田くれは	1984年 4月16日	1984年 4月24日	30	¥100,000	¥260,000	¥3,500	
門真	1969年 4月17日	1969年 6月13日		¥100,000	¥300,000	¥3,500	第2・4週は¥2,500
交野	1984年 6月25日	1984年 6月28日		¥50,000	¥200,000	¥1,000	
香里園	1995年 4月29日	1995年 5月31日		¥100,000	¥250,000	¥2,000	
くずは	1974年 5月30日	1974年 6月25日		¥200,000	¥280,000	¥3,000	
箕面	1969年 4月17日	1969年 5月 9日		¥100,000	¥300,000	¥3,500	
箕面千里中央	1980年 6月13日	1980年 6月13日		¥100,000	¥336,000	¥3,800	
守口	1961年 3月20日	1961年 4月24日	45	¥100,000	¥280,000	¥3,000	
守口イブニング	2000年11月 2日	2000年11月22日		¥100,000	¥300,000	¥3,000	
寝屋川	1969年 4月18日	1969年 4月25日	45	¥100,000	¥290,000	¥3,000	
大阪	1922年11月17日	1923年 2月10日		¥200,000	¥320,000	¥4,700	
大阪中央	1984年 1月26日	1984年 2月 6日	30	¥250,000	¥300,000	¥4,000	第2・4週は¥3,000
大阪堂島	1987年 6月15日	1987年 6月29日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪フレンド	1999年 6月 3日	1999年 6月23日	15	¥50,000	¥360,000	¥4,500	月1回軽食¥3,500 隔月1回¥4,800
大阪東	1957年 6月 6日	1957年 6月17日		¥100,000	¥280,000	¥4,700	
大阪東淀ちゃやまち	1970年 6月26日	2009年 5月18日		¥200,000	¥300,000	¥4,500	軽食日は¥3,500
大阪平野	1975年 2月20日	1975年 3月29日		¥200,000	¥340,000	¥4,500	最終週は¥2,800
大阪イブニング	1986年 1月23日	1986年 2月17日		¥150,000	¥344,000	¥3,000	
大阪城南	1969年 5月30日	1969年 6月13日	45	¥100,000	¥340,000	¥4,500	
大阪城東	1973年 4月27日	1973年 6月 7日		¥150,000	¥340,000	¥4,600	
大阪柏原	1970年 6月 1日	1970年 6月17日		¥100,000	¥280,000	¥3,000	
大阪北	1952年12月16日	1953年 1月16日		¥150,000	¥300,000	¥4,200	
大阪北梅田	1992年 1月20日	1992年 2月17日		¥100,000	¥300,000	¥4,400	最終週は軽食¥3,000
大阪御堂筋本町	1991年 3月26日	2012年11月21日		¥100,000	¥300,000	¥4,800	1月7月以外の第1例会日は ¥3,800
大阪南	1952年12月16日	1953年 1月16日		¥150,000	¥300,000	¥4,500	
大阪みおつくし	2013年 3月 7日	2013年 6月17日		¥80,000	¥120,000	¥2,000	
大阪中之島	1992年10月29日	1992年11月20日		¥100,000	¥300,000	¥4,000	
大阪難波	1976年 8月 5日	1976年 8月27日		¥100,000	¥330,000	¥4,500	最終例会日は¥2,700
大阪なにわ	1984年 2月23日	1984年 3月 5日	30	¥50,000	¥360,000	¥4,800	コーヒー例会¥2,500
大阪南西	1974年 6月10日	1974年 6月17日	40	¥100,000	¥310,000	¥4,500	最終例会日は¥2,700

クラブ名	創立年月日	認証日	周年	入会金	年会費	ピジャ-フィー	備考
大阪ネクスト	2007年10月13日	2007年11月 7日		¥10,000	¥70,000	¥1,000	食事用意なし
大阪西	1957年 6月 4日	1957年 6月17日		¥150,000	¥300,000	¥4,700	毎月最終例会は¥3,500
大阪大手前	1983年 3月18日	1983年 4月6日		¥200,000	¥300,000	¥4,700	軽食日は¥4,000
大阪大淀	1973年 2月22日	1973年 3月20日		¥200,000	¥320,000	¥4,800	軽食日は¥3,500
大阪リバーサイド	1980年 4月10日	1980年 4月29日		¥200,000	¥300,000	¥3,000	最終週は¥2,000
大阪咲洲	1995年10月11日	1995年10月31日		¥100,000	¥300,000	¥4,000	
大阪西北	1969年 5月27日	1969年 6月13日	45	¥200,000	¥270,000	¥4,700	第3例会日は¥3,300
大阪西南	1969年 5月21日	1969年 6月 9日	45	¥150,000	¥280,000	¥4,700	
大阪船場	1988年 5月23日	1988年 6月 3日		¥150,000	¥320,000	¥4,800	
大阪心齋橋	1970年11月10日	1970年11月19日		¥150,000	¥300,000	¥4,300	最終例会日は¥3,300
大阪城北	1977年 6月29日	1978年 2月20日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪そねざき	1994年 3月 2日	1994年 3月16日	20	¥150,000	¥320,000	¥4,700	
大阪天満橋	1967年11月 4日	1967年12月21日		¥100,000	¥300,000	¥5,000	
大阪天王寺	1969年 6月10日	1969年 6月21日		¥100,000	¥320,000	¥4,500	第2・4週は¥2,500
大阪帝塚山	1961年 2月14日	2011年 5月20日		¥100,000	¥300,000	¥4,500	軽食日は¥2,800
大阪東南	1985年11月26日	1985年12月10日		¥150,000	¥120,000	¥4,600	
大阪鶴見	1984年 7月10日	1984年 8月 6日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪梅田	1977年 6月29日	1977年 7月30日		¥100,000	¥320,000	¥4,800	軽食日は¥3,500
大阪梅田東	1988年 5月20日	1988年 6月 1日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪アーバン	2011年12月 8日	2011年12月27日		¥80,000	¥100,000	¥2,500	
大阪うつぼ	1981年 4月17日	1981年 4月28日		¥100,000	¥364,000	¥4,500	年会費に会食費含む
大阪淀川	1961年 1月14日	1961年 6月25日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪ユニバーサルシティ	2001年 3月27日	2001年 5月 2日		¥200,000	¥240,000	¥4,000	軽食日は¥3,000
千里	1973年 6月12日	1973年 6月28日		¥300,000	¥240,000	¥4,500	
千里メイプル	1998年 6月13日	1998年 6月24日		¥80,000	¥300,000	¥4,000	最終例会日は¥3,000
摂津	1970年 9月26日	1970年10月 9日		¥100,000	¥270,000	¥3,000	月1回は¥2,000
四條畷	1977年11月30日	1978年 2月 3日		¥50,000	¥200,000	¥2,000	
新大阪	1985年 5月 8日	1985年 5月17日		¥100,000	¥300,000	¥4,000	
吹田	1958年12月18日	1959年 4月15日		¥150,000	¥240,000	¥3,000	
吹田江坂	1990年 2月27日	1990年 3月15日		¥200,000	¥320,000	¥4,000	
吹田西	1980年 6月12日	1980年 6月13日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	
高槻	1954年 6月15日	1954年 7月 6日	60	¥120,000	¥260,000	¥3,000	
高槻東	1973年 3月 1日	1973年 4月19日		¥120,000	¥280,000	¥3,000	
高槻西	1989年 6月15日	1989年 6月27日	25	¥120,000	¥280,000	¥3,000	
豊中	1959年 6月16日	1959年 6月27日		¥100,000	¥300,000	¥3,500	
豊中南	1969年 6月 5日	1969年 6月13日	45	¥100,000	¥320,000	¥3,000	
豊中一大阪国際空港	1972年 2月23日	1972年 3月 2日		¥100,000	¥316,000	¥3,000	
豊中千里	1986年 2月 5日	1986年 2月20日		¥100,000	¥320,000	¥4,000	
八尾	1961年 3月28日	1961年 5月 3日		¥100,000	¥274,000	¥2,500	
八尾中央	1982年12月 7日	1982年12月15日		¥100,000	¥300,000	¥3,000	第3例会日(第2例会場)は ¥4,500
八尾東	1973年 2月23日	1973年 5月 2日		¥50,000	¥270,000	¥3,000	

(注) 大阪RCは1949年4月13日に再認証

第2660地区 各ロータリークラブ ホームページ・E-mailアドレス

No.	クラブ名	ホームページ	E-mail
1	大東	http://www.daito-rc.org/	office@daito-rc.org
2	大東中央	http://www9.ocn.ne.jp/~dc-rc/	dc-rc@eagle.ocn.ne.jp
3	東大阪	http://www16.ocn.ne.jp/~horotary/	rcmail@lime.ocn.ne.jp
4	東大阪中央	http://higashiosaka-central-rc.com/	hcrc@at.wakwak.com
5	東大阪東	http://www.higashiosaka-eastrc.jp/	higashiohrc@air.ocn.ne.jp
6	東大阪みどり	http://www.george24.com/~midorirc	midori-rc@george24.com
7	東大阪西	http://www9.ocn.ne.jp/~hon-rc/	hon-rc@soleil.ocn.ne.jp
8	枚方	http://www.hirakata-rc.jp	office@hirakata-rc.jp
9	茨木	http://www.ibaraki-rc.com	jimukyoku@ibaraki-rc.com
10	茨木東	http://ibaraki-east-rc.org/	ierotary@beach.ocn.ne.jp
11	茨木西	http://www.ibarakiwest.is-mine.net/	ibanisi@theia.ocn.ne.jp
12	池田	http://www12.plala.or.jp/ikedarc	ikedarc@amber.plala.or.jp
13	池田くれは	http://www.ikedakureha.jp	jimukyoku@ikedakureha.jp
14	門真	http://kadoma-rc.com	office-kadoma@silk.plala.or.jp
15	交野	http://www9.ocn.ne.jp/~katanorc/	katanorc@oak.ocn.ne.jp
16	香里園	http://www1.ocn.ne.jp/~korienrc/index.html	korien-rc@aria.ocn.ne.jp
17	くずは	http://www.kcat.zaq.ne.jp/kuzuha-rc/	kuzuha-rc@kcat.zaq.ne.jp
18	箕面	http://www.mino-orc.com	mino-orc@abeam.ocn.ne.jp
19	箕面千里中央	http://www5.ocn.ne.jp/~minoh-c/	mc-rc@citrus.ocn.ne.jp
20	守口	http://www.moriguchi-rc.jp	info@moriguchi-rc.jp
21	守ロイブニング	http://www7b.biglobe.ne.jp/~m-eveningrc/	m-evening@msj.biglobe.ne.jp
22	寝屋川	http://neyagawa-rc.net/	jimukyoku@neyagawa-rc.net
23	大阪	http://www.osaka-rc.org	secretariat@osaka-rc.org
24	大阪中央	http://www.osaka-central-rc.org/	osaka-central-rc@nifty.com
25	大阪堂島	http://sites.google.com/site/osakadojimarc/	dojimarc@violin.ocn.ne.jp
26	大阪フレンド	http://ofrc.info	osakafriend-rc@soleil.ocn.ne.jp
27	大阪東	http://www.osaka-east-rc.org	osaestrc@silver.ocn.ne.jp
28	大阪東淀ちゃやまち	http://www1.ocn.ne.jp/~hycm-rc/	h-yodo-chaya-m.rc@shore.ocn.ne.jp
29	大阪平野	http://www.geocities.jp/hiranorc06/	hiranorc@lily.ocn.ne.jp
30	大阪イブニング	http://www5.ocn.ne.jp/~evening/	evening@theia.ocn.ne.jp
31	大阪城南	http://www.osaka-johnan-rc.org/	johnan25@crocus.ocn.ne.jp
32	大阪城東	http://www.osaka-jrc.org	jrc@almond.ocn.ne.jp
33	大阪柏原	http://www4.ocn.ne.jp/~okrotary/	okrc@pearl.ocn.ne.jp
34	大阪北	http://www.osaka-north-rc.org/	info@osaka-north-rc.org
35	大阪北梅田	http://www.kita-umeda2660rc.org/	info@kita-umeda2660rc.org
36	大阪御堂筋本町	http://www.omh-rc.com	mido-honrc@poplar.ocn.ne.jp
37	大阪南	http://www15.ocn.ne.jp/~o-south	osaka-south@alpha.ocn.ne.jp
38	大阪みおつくし		encourage55@nifty.com
39	大阪中之島	http://www.osaka-nakanoshima-rc.org	nakanoshima@ace.odn.ne.jp
40	大阪難波	http://osaka-namba-rc.org	osaka-namba@poem.ocn.ne.jp
41	大阪なにわ	http://osaka-naniwa-rc.org	naniwarc@theia.ocn.ne.jp
42	大阪南西	http://www.nanseirc.org/	nanseirc@poppy.ocn.ne.jp
43	大阪ネクスト	http://osaka-next.com/	osaka.next@gmail.com
44	大阪西	http://www.osaka-westrc.org	osaka-w@cronos.ocn.ne.jp

No.	クラブ名	ホームページ	E-mail
45	大阪大手前	http://www.otemae-rotary.com	info@otemae-rotary.com
46	大阪大淀	http://osaka-oyodo-rc.com/	oyodo-rc@h7.dion.ne.jp
47	大阪リバーサイド	http://www3.ocn.ne.jp/~osriver/	osrvsdr@lily.ocn.ne.jp
48	大阪咲洲	http://www18.ocn.ne.jp/~sakishim/	sakishima-rc@extra.ocn.ne.jp
49	大阪西北	http://www3.ocn.ne.jp/~osknwrc/	osk1nwrc@pearl.ocn.ne.jp
50	大阪西南	http://osaka-southwest-rc.org/	seinanrc@pearl.ocn.ne.jp
51	大阪船場	http://www4.ocn.ne.jp/~semba-rc/	semba@cocoa.ocn.ne.jp
52	大阪心斎橋	http://www.shinsaibashirc.jp/	s-rotary@galaxy.ocn.ne.jp
53	大阪城北	http://www.osaka-shirokita-rc.jp/	shirokita@s5.dion.ne.jp
54	大阪そねざき	http://www.osakasonezaki-rc.jp	jimukyoku@osakasonezaki-rc.jp
55	大阪天満橋	http://temmabashirc.xsrv.jp/	temma-rc@temmabashirc.xsrv.jp
56	大阪天王寺	http://www1a.biglobe.ne.jp/tennoji-rc	osaka_trc_1969@kfd.biglobe.ne.jp
57	大阪帝塚山	http://tezukayama-rc.cocolog-nifty.com/	tezukayama-rc@nifty.com
58	大阪東南	—	tounanrc@chive.ocn.ne.jp
59	大阪鶴見	http://rc-osaka-tsurumi.jp/	rcosatrm@cf.mbn.or.jp
60	大阪梅田	http://osaka-umeda-rc.sakura.ne.jp/	umeda-rc@ace.ocn.ne.jp
61	大阪梅田東	http://www.umeda-e.jp	mail@umeda-e.jp
62	大阪アーバン	http://www.osaka-urban-rotaryclub.org	osaka-urban@ou-rc.org
63	大阪うつぼ	http://www.osa-utsuborc.com/	office@osa-utsuborc.com
64	大阪淀川	http://osaka-yodogawa-rc.jp	office@osaka-yodogawa-rc.jp
65	大阪ユニバーサルシティ	http://www.osaka-ucrc.org	ucrc@osaka-ucrc.org
66	千里	http://www15.ocn.ne.jp/~senri-rc/index.html	senri-rc@giga.ocn.ne.jp
67	千里メイプル	http://www2.ocn.ne.jp/~maplerc/	maplerc@lime.ocn.ne.jp
68	摂津	http://www.settsu-rc.gr.jp	info@settsu-rc.gr.jp
69	四條畷	http://www4.ocn.ne.jp/~nawaterc/	shijyonawaterc@gamma.ocn.ne.jp
70	新大阪	http://www.shin-osakarc.jp	shin-osaka.rc@m6.dion.ne.jp
71	吹田	http://www.suitarotary.marche.ne.jp	suitarotary@sutv.zaq.ne.jp
72	吹田江坂	http://www.suitaesaka-rc.net/index.html	esaka-rc@lake.ocn.ne.jp
73	吹田西	http://www.suita-west-rc.org	src@jasmine.ocn.ne.jp
74	高槻	http://www.takatsuki-rc.org/	takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp
75	高槻東	http://takatsukieast.jp	jimu@takatsukieast-rc.org
76	高槻西	http://rc-takatsuki-west.main.jp/	aef02524@nifty.com
77	豊中	http://www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/	jtrc2660@sun-inet.or.jp
78	豊中南	http://toyonaka-src.com/	tsrc@mail.infomart.or.jp
79	豊中—大阪国際空港	http://www.ae-osaka.co.jp/kuhkohrc/index.html	t-airport@dance.ocn.ne.jp
80	豊中千里	http://toyonakaseni-rc.main.jp/	info@toyonakaseni-rc.main.jp
81	八尾	http://www.yaorc.com/	info@yaorc.com
82	八尾中央	http://www6.ocn.ne.jp/~ycentrc/	yaocentrc@pearl.ocn.ne.jp
83	八尾東	http://yaohigashi.org/	yaohigashi@japan.email.ne.jp

RI世界本部ホームページ <http://www.rotary.org/>

ロータリー・ジャパン・ウェブホームページ (日本語によるロータリーの公式ウェブサイト) <http://www.rotary.or.jp/>

災害支援プロジェクト報告 (第25回)

災害支援プロジェクト委員長

高島凱夫 (大阪中之島RC)

1. 災害支援プロジェクト寄付送金口座

今年度も災害支援のためのご寄付をお願い申し上げます。
新しい送金先銀行口座は下記のとおりです。

りそな銀行 大阪営業部 普通 1527285

口座名義：第2660災害支援 会計 片岡基博

(ダイニロクロクゼロサイガイシエン カイケイ カタオカモトヒロ)

2. 災害支援地区基金の状況 (2013年6月12日現在)

【収 入】

(単位:円)

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備 考
1	岡部年度からの繰越	708,892	
2	大阪中之島RC	57,750	
3	大阪城南RC	15,460	
4	利息	5	
5	大阪東南RC	500,000	
6	大阪中之島RC	100,000	
7	寝屋川RC	37,000	
8	大阪咲洲RC	30,000	
9	大阪ユニバーサルシティRC	300,000	
10	大阪城南RC	45,440	
11	国際大会日本人朝食会余剰金	14,547	
12	井上暎夫PG	30,000	
13	寝屋川RC	13,000	
14	八尾中央RC	77,000	
15	大阪帝塚山RC	100,000	
16	大阪城南RC	10,000	
17	大阪フレンドRC	46,000	
18	千里RC	330,000	
19	大阪城南RC	800,000	
20	PSC(財団奨学生OB)	3,000	
21	東大阪東RC	100,000	
22	八尾東RC	50,000	
23	大阪ユニバーサルシティRC	50,000	
24	豊中-大阪国際空港RC	50,000	
25	大阪リバーサイドRC	50,000	
26	大阪西南RC	100,000	
27	大東RC	50,000	
28	大阪中央RC	50,000	
29	大阪難波RC	50,000	
30	大阪フレンドRC	50,000	
31	東大阪みどりRC	50,000	

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備 考
32	大阪西北RC	50,000	
33	大阪うつぼRC	50,000	
34	くずはRC	100,000	
35	寝屋川RC	50,000	
36	大阪咲洲RC	50,000	
37	茨木西RC	50,000	
38	茨木RC	50,000	
39	豊中千里RC	50,100	
40	利息	139	
41	大阪北梅田RC	50,000	
42	香里園RC	50,000	
43	八尾中央RC	50,000	
44	大阪大手前RC	100,000	
45	東大阪RC	100,000	
46	大阪心斎橋RC	50,000	
47	高槻西RC	50,000	
48	大阪城南RC	6,417	
49	大阪フレンドRC	6,270	
50	八尾RC	50,000	
51	高槻RC	470,000	プロジェクト中止返金
52	大阪イブニングRC	50,000	
53	大阪城南RC	418,425	災害支援No.51支援金
54	大阪城南RC	7,117	
55	ガバナー事務所募金箱	5,527	
56	大阪船場RC	85,792	
	合 計	5,867,881	

【支 出】

(単位:円)

	地区基金支出内容	金 額	備 考
1	豊中RC	158,600	寄付金一部返金
2	振込手数料	600	
3	千里RC	650,000	地区基金申請No.46
4	振込手数料	600	
5	熊谷教材社 (八尾中央RC申請分)	150,000	地区基金申請No.47
6	振込手数料	600	
7	高槻RC	470,000	地区基金申請No.48
8	振込手数料	600	
9	大阪ユニバーサルシティRC	250,000	地区基金申請No.49
10	振込手数料	300	
11	千里メイプルRC	208,000	地区基金申請No.50
12	振込手数料	600	
13	水沢東RC	836,850	地区基金申請No.51
14	振込手数料	600	
15	石巻東RC	441,000	地区基金申請No.53
16	振込手数料	600	
17	2520復興支援特別委員会	1,680,000	地区基金申請No.52
18	振込手数料	600	
	合 計	4,849,550	

【残 高】

(単位:円)

預金残高	1,018,331	2013年6月12日現在
------	-----------	--------------

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

田 坂 新 一 会 員 (大 阪 鶴 見 R C)

2013年 5月19日 逝去 (享年72歳)

幹事、理事、環境保全委員長、
クラブ会報委員長、親睦活動委員長、
プログラム委員長

米山功労者 (マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

柏 木 尚 会 員 (豊 中 R C)

2013年 6月13日 逝去 (享年88歳)

会長、理事、社会奉仕委員長、
R I 第2660地区ガバナー、
新世代奉仕委員長、会員選考委員長

ポール・ハリス・フェロー
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター

三 原 幸 二 会 員 (大 阪 南 R C)

2013年 6月10日 逝去 (享年76歳)

会長、副会長、社会奉仕理事、
社会奉仕活動委員長、友好委員長、
S A A、米山奨学委員長

米山功労者 (マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター

お知らせ

■クラブ名表記変更 (2013年7月1日より)

大阪淀川ロータリークラブ → 大阪淀川ロータリークラブ
(大阪淀川ローターアクトクラブも大阪淀川ローターアクトクラブになります)

■事務局移転 (2013年7月1日より)

大阪東淀ちゃやまちロータリークラブ
〒530-0012 大阪市北区芝田2-1-3 梅仙堂ビル3階
(TEL・FAXは変更ありません)

大阪アーバンロータリークラブ
〒533-0005 大阪市東淀川区瑞光4-4-28 大阪冶金興業株式会社内
TEL: 06-6328-1345 FAX: 06-6328-1380

■例会場変更 (2013年7月1日より)

大阪東淀ちゃやまちロータリークラブ
ホテル阪急インターナショナル TEL: 06-6377-2100

大阪天満橋ロータリークラブ
インターコンチネンタルホテル大阪 TEL: 06-6374-5700

■ホームページアドレス変更 (2013年7月1日より)

東大阪中央ロータリークラブ	http://higashiosaka-central-rc.com/
寝屋川ロータリークラブ	http://neyagawa-rc.net/
大阪御堂筋本町ロータリークラブ	http://www.omh-rc.com
大阪鶴見ロータリークラブ	http://rc-osaka-tsurumi.jp/
豊中南ロータリークラブ	http://toyonaka-src.com/
八尾東ロータリークラブ	http://yaohigashi.org/

■メールアドレス変更 (2013年7月1日より)

寝屋川ロータリークラブ	jimukyoku@neyagawa-rc.net
高槻東ロータリークラブ	jimu@takatsukieast-rc.org

文庫通信 (309号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリアンの著書より (2)

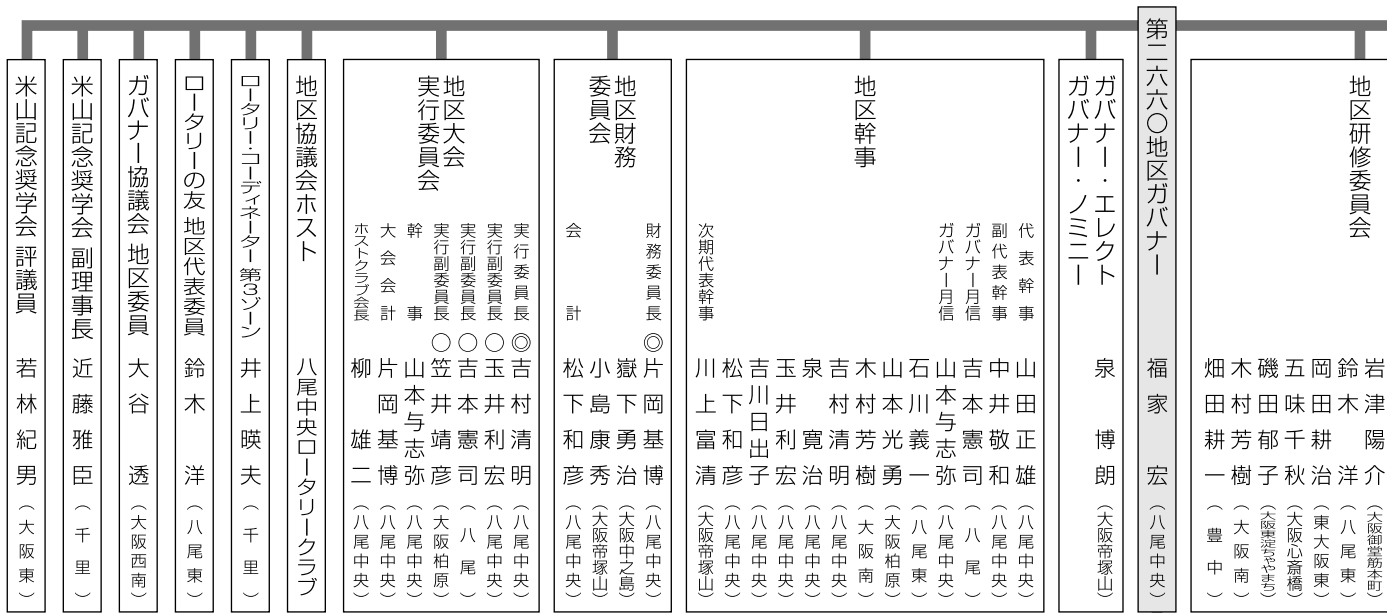
- 「ガバナー読本」
直木 太一郎 1973 40p
- 「ロータリー・ニュース1983年-85年」
直木 太一郎 神戸RC 1985 98p
- 「童心に学ぶ『ロータリーの本質』」
中山 義之 川崎幸RC 1994 11p
- 「ロータリーの追続けるもの-米山梅吉の夢は」
中山 義之 1998 20p
- 「ロータリーにおける革新と保守について」
中山 義之 1999 41p
- 「ロータリーの国際性について」
中山 義之 1999 16p
- 「ロータリーの職業奉仕の概念と各論について(職業奉仕研修会記録)」
深川 純一 1997 56p
- 「職業奉仕論ノート」
深川 純一 1998 60p
- 「ロータリー学入門-クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕」
深川 純一・田中 毅 D.2680 2003 89p
- 「素晴らしい出逢い よき師、よき友は人生の宝(1)」
戸田 孝 2006 207p

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 午前10時~午後5時 休館 土・日・祝祭日

2013-14年度 国際ロータリー-第2660地区 《組織図》



<p>ガバナー補佐</p> <p>○ ○ ○ ○</p> <p>泉大岩若井 谷田林上 博宙紀映 朗透造男夫</p> <p>(大阪帝塚山) (大阪西南) (大阪東) (千里)</p>	<p>ガバナー補佐エレクト</p> <p>新杉山川辻亀井正 見浦田崎本井上岡 敬英 一信義</p> <p>(大阪中央) (大阪城北) (大阪船場) (大阪天王寺)</p>	<p>ガバナー補佐エレクト</p> <p>植矢戸緒井西簡西 村宏田方川邨宮 一勝和孝智仁富</p> <p>(大阪南西) (大阪南) (大阪北) (八尾) (香里園) (箕面) (茨木)</p>	<p>地区ガバナー指名委員会</p> <p>岡松大横高 部本谷山島 泰新太守凱 鑑郎透雄夫</p> <p>(大阪城南) (八尾) (大阪西南) (大阪中央) (大阪中之島)</p>	<p>地区諮問委員会</p> <p>名譽顧問</p> <p>宮高岡松大横新岩神若井寺近大菅廣戸 田島部本新太谷山田崎林上田藤森生瀨田 宏凱泰郎透雄一造茂男夫之臣祥三郎孝</p> <p>(大阪北) (大阪中之島) (大阪城南) (八尾) (大阪西南) (大阪中央) (池田くれは) (大阪西) (大阪東) (千里) (大阪) (茨木) (大阪西南) (大阪北)</p>	<p>意義ある業績賞委員会</p> <p>岡松高 部本島 泰新太 鑑郎夫</p> <p>(大阪城南) (八尾) (大阪中之島)</p>
--	---	--	--	---	---

新世代奉仕部門	社会奉仕部門	職業奉仕部門	クラブ奉仕部門
---------	--------	--------	---------

顧問 岡部 泰 鑑 (大阪城南)	顧問 新谷 秀 一 (池田くれは)	顧問 松本新太郎 (八尾)	顧問 高島 凱 夫 (大阪中之島)
------------------	-------------------	---------------	-------------------

<p>新世代合同委員長会議</p> <p>◎ 岡部 泰 鑑 (大阪城南) ○ 西谷 雅 之 (大阪城南) 田 邊 司 郎 (寝屋川) 梅 崎 道 夫 (大阪城南) 辻 村 和 弘 (大阪大手前) 西 本 健 二 (吹田江坂) 久 保 義 誓 (茨木) 松 井 隆 雄 (大阪天王寺)</p>	<p>社会奉仕委員会</p> <p>◎ 西 宮 富 夫 (箕面) ○ 脇 隆 俊 (大阪御堂筋本町) 滝 川 博 嗣 (門真) 佐 藤 剛 司 (摂津) 寺 内 清 視 (大阪天満橋) 中 嶋 英 貴 (大阪鶴見) 竹 田 伸 伸 (大阪難波) 初 木 賢 司 (くすは) 小 林 知 義 (橋エーザシテ) 中 山 正 隆 (大阪ハイサイド) 奥 谷 英 夫 (千里)</p>	<p>職業奉仕委員会</p> <p>◎ 岡 本 雄 介 (大阪大手前) ○ 庄 野 晋 吉 (大阪) ○ 北 川 忠 嗣 (東大阪東) ○ 木 越 正 司 (大阪西) 堀 田 修 平 (枚方) 黒 松 克 行 (大阪城東) 國 田 欣 吾 (くすは) 朝 倉 通 憲 (高槻) 鈴 木 公 平 (大阪心斎橋) 田 中 德 彦 (大阪西南) 河 合 秀 行 (大阪西北)</p>	<p>クラブ奉仕・拡大増強委員会</p> <p>◎ 吉 村 昭 (大阪平野) ○ 福 田 忠 博 (大阪中之島) ○ 齊 城 正 之 (豊中大阪国際空) 榎 本 桂 子 (寝屋川) 中 平 公 士 (大阪東) 松 崎 達 郎 (大阪東南) 東 村 高 良 (大阪うつほ) 中 島 武 (大阪おつくし) 新 居 誠 一 郎 (大阪南) 峠 本 敏 夫 (交野)</p>
--	---	---	--

<p>青少年活動委員会</p> <p>◎ 西 本 健 二 (吹田江坂) ○ 井 上 善 博 (東大阪みどり) ○ 庄 司 修 二 (箕面) 松 本 晴 充 (大阪中央) 松 井 研 次 (大阪東南) 古 山 柄 博 (千里メイプル) 石 川 益 三 (大阪難波) 石 田 夏 彦 (豊中千里) 池 田 文 治 (大東中央) 高 橋 一 雅 (大阪北) 植 田 昌 克 (大阪北) 石 井 正 人 (大阪フレンド) 西 崎 哲 弘 (大阪城北) 瓦 谷 勝 (大阪西南)</p>	<p>ロータリーアクト委員会</p> <p>◎ 久 保 義 誓 (茨木) ○ 山 本 和 良 (大阪南) ○ 丸 尾 照 二 (大阪御堂筋本町) 前 田 要 之 助 (大阪東ちやまち) 松 尾 治 (東大阪西) 栗 村 卓 家 (大阪西) 柳 田 雅 範 (東大阪) 末 松 大 幸 (大阪淀川) 長 澤 利 治 (茨木) 田 中 実 (大阪北) 井 上 智 裕 (守口) 山 本 博 之 (大阪東)</p>	<p>広報委員会</p> <p>◎ 岡 村 剛 行 (大阪東) ○ 平 野 誠 治 (大阪西北) 梅 原 一 樹 (大阪中之島) 片 山 一 歩 (大阪帝塚山) 松 任 保 勇 (大阪中之島) 林 邦 彦 (大阪西) 石 田 秀 (大阪西南) 上 場 俊 哉 (高槻東) 小 森 敏 鑑 (大阪南西)</p>
---	---	---

<p>インターアクト委員会</p> <p>◎ 松 井 隆 雄 (大阪天王寺) ○ 東 村 正 剛 (大東) 足 立 菅 治 (大阪帝塚山) 鮫 島 武 信 (大阪南) 西 秀 樹 (八尾) 中 野 秀 一 (大東) 小 泉 祐 助 (大阪) 水 取 孝 司 (大阪天王寺)</p>	<p>◎: 委員長もしくはリーダー ○: 副委員長もしくはサブリーダー ※新世代合同委員長会議においては ◎: 議長</p>
---	--

42	大阪新西	74/ 6/10	水	12:30	スイズホテル南海大阪	(06)6646-1111	556-0014	大阪市浪速区大国1-3-20	居仁ビル 3階	(06)6643-8721	(06)6643-8722	小池 廣子	小森 敏彦
43	大阪ネグスト	07/10/13	水	19:30	中央電気倶楽部 会議室101	(06)6345-6351	556-0005	大阪市浪速区日本橋4-9-9	生玉ビル 4階 大阪ネグストR.C事務係	(06)4394-8817	(06)6586-6540	茨木 繁	柳川 裕之
44	R 大阪西	57/ 6/ 4	月	12:30	ビルトン大阪	(06)6347-7111	530-0001	大阪市北区梅田1-13-13	阪神百貨店内	(06)6348-8436	(06)6347-4556	高士 雅次	相崎 秀樹
45	大阪大手前	83/ 3/18	金	12:30	帝国ホテル大阪	(06)6681-1111	530-0042	大阪市北区天満橋1-8-50	帝国ホテル大阪 806号室	(06)6357-8917	(06)6357-8907	大藤 政勝	長谷 裕代
46	大阪淀屋	73/ 2/22	木	12:30	ザ・リッツ・カールトン大阪	(06)6343-7000	530-0001	大阪市北区梅田2-5-4	千代田ビル西館内	(06)6341-3811	(06)6341-3812	矢野 殿	白野 孝明
47	大阪リバーサイド	80/ 4/10	木	12:30	中之島センタービル 31階 トツテララージュ	(06)6445-1977	530-6691	大阪市北区中之島2-27	中之島センタービル 31階	(06)6445-0654	(06)6445-0906	徳山 善雄	石田 由美子
48	大阪吹洲	95/10/11	水	12:30	ハイアットリージェンシー 大阪	(06)6612-1234	559-0034	大阪市住之江区南港北1-13-11	ハイアットリージェンシー大阪 1523号室	(06)6613-5633	(06)6613-5665	長元 良二	成山 肇
49	大阪西北	69/ 5/27	火	12:30	ビルトン大阪 4階「真珠の間」	(06)6347-7111	530-0001	大阪市北区梅田1-8-8	ビルトン大阪 1105号室	(06)6347-7100	(06)6347-7109	小山 登	芦谷 裕一
50	R 大阪西新	69/ 5/21	水	12:30	リーガロイヤルホテル	(06)6448-1121	530-0005	大阪市北区中之島5-3-68	リーガロイヤルホテル 416号室	(06)6443-2819	(06)6443-1441	清水 達也	吹田 康雄
51	大阪船場	88/ 5/23	月	12:30	ホテル日航大阪 32階	(06)6244-1111	542-0066	大阪市中央区西心斎橋1-7-3	大丸北豊町ビル 6階	(06)6244-1008	(06)6244-1010	清水 清一	塩尻 明夫
52	大阪心斎橋	70/11/10	金	12:30	ホテル日航大阪 32階	(06)6244-1111	542-0066	大阪市中央区西心斎橋1-7-3	大丸北豊町ビル 3階	(06)6245-4950	(06)6244-0932	佐伯 良一	五味 千秋
53	大阪城北	77/ 6/29	水	12:30	太閤園	(06)6355-1111	534-0026	大阪市都島区綱島町9-10	太閤園ビル 3階	(06)6352-0634	(06)6352-6207	藤田 敦善	森本 匡昭
54	大阪芝布さき	94/ 3/ 2	水	12:30	ビルトン大阪	(06)6347-7111	530-0027	大阪市北区堂山町1-2 R&Eビル5階	太閤園内	(06)6314-2899	(06)6314-2667	長尾 依子	松尾 勝裕
55	R 大阪天神橋	67/11/ 4	木	12:30	インターコンチネンタルホテル大阪	(06)6374-5700	530-0012	大阪市北区芝田2-3-19	東洋ビルインコン本館 3階 312号室	(06)6374-0303	(06)6374-0310	在本 茂	中島 康之
56	大阪天王寺	69/ 6/10	火	12:30	天王寺都ホテル	(06)6628-3200	543-0055	大阪市天王寺区薬師堂町8-11	新和興ビル 302号室	(06)6772-5816	(06)6779-7956	谷野 清孝	若宮 邦弘
57	大阪新富山	61/ 2/14	水	12:30	天王寺都ホテル 5階	(06)6628-3200	545-0053	大阪市阿倍野区松崎町2-3-5	藤和テラスエグゼ 503号室	(06)6628-0450	(06)6628-0451	片山 一歩	出口 敏士
58	大阪東新	85/11/26	火	12:30	ホテルニューオータニ大阪	(06)6941-1111	540-8578	大阪市中央区城見1-4-1	ホテルニューオータニ大阪 510号室	(06)6910-2420	(06)6910-2422	杉浦 勝昭	高崎 充弘
59	大阪鶴見	84/ 7/10	火	12:30	太閤園	(06)6355-1111	534-0026	大阪市都島区綱島町9-10	太閤園内	(06)6357-8171	(06)6357-8011	広瀬 芳和	鳥居 和久
60	R 大阪船田	77/ 6/29	火	12:30	ザリッツカールトン大阪 4階「ラヌール」	(06)6343-7000	530-0001	大阪市北区梅田2-5-8	千代田ビル西館館 3階	(06)6343-7792	(06)6343-7793	内海 閑一郎	相原 克偉
61	大阪船田東	88/ 5/20	金	12:30	新阪急ホテル 2階	(06)6372-5101	530-0012	大阪市北区芝田1-1-35	新阪急ホテル 3階	(06)6375-3522	(06)6375-3523	山内 幸久	森田 大
62	大阪アークバレー	11/12/ 8	水	7:30	ホテルグランヴィア大阪 20階	(06)6344-1235	533-0005	大阪市東淀川区瑞光4-4-28	大阪お金屋株式会社内	(06)6328-1345	(06)6328-1380	寺内 俊太郎	村上 康司
63	大阪うつぼ	81/ 4/17	火	18:00	堂島ホテル 6階	(06)6341-3802	550-0004	大阪市西区粉本町2-9-11	同崎ビル本館 405号室	(06)6445-1000	(06)6445-1028	岩堀 和加子	大竹 光明
64	R 大阪淀川	61/ 1/14	金	12:30	ホテルグランヴィア大阪 20階	(06)6433-1235	530-0001	大阪市北区梅田1-13-13	阪神百貨店 11階	(06)6348-8437	(06)6456-2100	西川 正一	小田 真三
65	大阪ニハールシティ	01/ 3/27	金	12:30	ANAグランヴィアホテル大阪 5階「カネビル」	(06)6347-1112	530-0004	大阪市北区堂島兵1-3-1	ANAグランヴィアホテル大阪 2階	(06)4799-1561	(06)4799-1582	久保田 秀一	鈴木 正明
66	千里	73/ 6/12	火	12:30	千里阪急ホテル	(06)6672-2211	560-0082	豊中市新千里東町2-1-D-1	千里阪急ホテル内	(06)6833-7891	(06)6833-7557	上橋 芳雄	御前 治
67	千里メイツビル	98/ 6/13	木	18:30	ホテル阪急エキスポパーク「緑樹」	(06)6678-5151	565-0826	吹田市千里万博公園1-5	ホテル阪急エキスポパーク 306号室	(06)6816-7077	(06)6816-7073	藤田 芳浩	古山 柄博
68	摂津	70/ 9/26	金	12:30	ホテル阪急エキスポパーク	(06)6678-5151	566-0001	摂津市千里丘7-9-31	コカ・コーラエクス棟 6階	(06)6330-2267	(06)6330-2267	飯室 正樹	北畑 瑞穂
69	四條堀	77/11/30	水	18:00	四條堀市商工会 2階 会議室	(072)879-1656	575-0003	四條堀市岡山東2-1-33	平井マンション 101号室	(072)879-5505	(072)879-5505	平井 正雄	吉田 裕彦
70	新大阪	85/ 5/ 8	水	12:30	新大阪コンソントホテルラザ 2階	(06)6303-8111	532-0011	大阪市淀川区西中島5-5-15	新大阪コンソントホテルラザ 2階	(06)6305-1010	(06)6301-2525	榊山 洋一郎	北野 克美
71	R 吹田	58/12/18	木	12:30	サニーストホテル	(06)6396-0001	564-0052	吹田市広芝町10-3	サニーストホテル内	(06)6388-0266	(06)6388-5801	平山 直樹	河内 幸枝
72	R 吹田五坂	90/ 2/27	火	12:30	新大阪江坂東急イン	(06)6338-0109	564-0063	吹田市江坂町1-23-101	大同生命江坂ビル 12階	(06)6821-0222	(06)6821-0206	西山 俊明	新井 性哲
73	吹田西	80/ 6/12	月	18:00	新大阪江坂東急イン	(06)6338-0109	564-0051	吹田市豊津町9-40	東急ラザ江坂	(06)6338-0832	(06)6338-0020	石崎 克弘	井伊 圭一郎
74	高槻	54/ 6/15	水	12:30	オーロラモーター高槻西武 6階 多目的ホール	(072)684-5379	569-1116	高槻市白梅町4-1	オーロラモーター高槻西武 6階	(072)683-1158	(072)683-1174	川面 智義	伊藤 智秋
75	高槻東	73/ 3/ 1	金	12:30	たかつき京都ホテル 2階	(072)675-5151	569-0065	高槻市城西町4-39	たかつき京都ホテル 711号室	(072)661-0711	(072)661-0712	高岸 久典	橋本 光司
76	高槻西	89/ 6/15	木	18:30	オーロラモーター高槻西武 6階 多目的ホール	(072)684-5379	569-0803	高槻市高槻町9-21	小山ビル 201号室	(072)683-0015	(072)683-1171	森本 茂	永井 和夫
77	豊中	59/ 6/16	火	12:30	ホテルアライナー	(06)6849-1111	560-0021	豊中市本町3-1-16	ホテルアライナー内	(06)6888-1551	(06)6887-0011	榊田 広司	武枝 敏之
78	豊中南	69/ 6/ 5	木	12:30	ホテルアライナー	(06)6849-1111	560-0021	豊中市本町3-1-16	ホテルアライナー内	(06)6841-6996	(06)6882-2500	水野 茂	森本 裕次
79	豊中 大阪国際空港	72/ 2/23	金	12:30	大阪国際空港ターミナル中央ロッキング 3階「館の間」	(06)6655-6659	560-0036	豊中市堂池西町3-555	大阪国際空港ターミナルビル 4階	(06)6656-8855	(06)6656-8855	田中 竹二	齋城 正之
80	豊中千里	86/ 2/ 5	水	12:30	千里阪急ホテル	(06)6672-2211	561-0572	豊中市寺内2-4-1	緑地駅ビル 2階	(06)6886-2800	(06)6886-5000	森田 正治	地崎 剛史
81	八尾	61/ 3/28	水	12:30	八尾商工会議所	(072)991-2129	581-0006	八尾市清水町1-1-6	八尾商工会議所 208号室	(072)991-2129	(072)924-0010	高井 榮彌	川田 隆
82	八尾中央	82/12/ 7	火	18:30 新1245棟 18:30 第3棟	八尾商工会議所 3階 シェラトンホテル大阪	(072)992-1110 (06)6779-1111	581-0006	八尾市清水町1-1-6	八尾商工会議所 207号室	(072)992-1110	(072)924-0050	柳 雄二	藤木 良顕
83	八尾東	73/ 2/23	金	12:30	西武百貨店/八尾店 8階「バンケットルーム	(072)997-0111	581-0803	八尾市光町2-60	西武百貨店内 8F	(072)997-0626	(072)997-2620	山田 哲男	品川 芳洋

①=インテナープログラムの提唱ロータリークラブ、R=ロータープログラムの提唱ロータリークラブ、②=ロータープログラムの共同提唱ロータリークラブ

2013 — 2014年度 国際ロータリー第2660地区 ロータリークラブ一覧表

NO.	RI	クラブ名	創立年月日	例会曜日	例会時間	例会場	例会場TEL	郵便番号	事務所住所	事務所	事務所TEL	事務所FAX	クラブ会長	クラブ幹事
1	I	大東	67/12/26	火	12:30	大東市民会館 4階「大会議室」	(072) 871-0001	574-0046	大東市赤井1-2-10	ホツタカワソ住連本館 4F	(072) 875-1200	(072) 875-0590	上田 正義	小川 芳男
2		大東中央	96/ 3/14	水	18:00	ホテル阪奈 4階「平塚の間」	(072) 869-0181	574-0046	大東市赤井1-2-10	ホツタカワソ住連本館 4F	(072) 872-6349	(072) 872-6552	田中 正義	北田 宗男
3	R	東大阪	57/ 6/ 4	水	12:30	シエラント都ホテル大阪 3階「志摩の間」	(06) 6773-1111	543-0001	大阪市天王寺区上本町6-1-55	シエラント都ホテル大阪 636号室	(06) 6779-5050	(06) 6779-5045	国宗 範彰	横田 孝久
4		東大阪中央	72/ 2/20	月	12:30	シエラント都ホテル大阪 3階「志摩の間」	(06) 6773-1111	543-0027	大阪市天王寺区藤ヶ崎町5-38	ロイヤルパークス桃桜 1112号	(06) 6772-2320	(06) 6772-2327	鈴木 勝俊	金子 勝信
5		東大阪東	65/ 3/ 4	木	12:30	ホテルセイリユカ	(072) 981-5001	579-8012	東大阪市上石切町1-11-12	ホテルセイリユカ 302号室	(072) 985-0189	(072) 985-0577	広田 甫	水上 雅博
6		東大阪みどり	98/ 9/24	木	18:30	KRホテル大阪	(06) 6941-1122	540-0007	大阪市中央区馬場町1-8	メソ・ト・ヴィレ大阪城公園前 402号室	(06) 6945-1800	(06) 6945-1808	山本 昌宏	竹内 靖剛
7		東大阪西	85/ 3/18	月	18:30	大阪国際交流センター	(06) 6772-5931	543-0001	大阪市天王寺区上本町6-8-21	オルクス上甲 502	(06) 6775-5111	(06) 6775-5112	弓手 宏亮	中野 博之
8	R	枚方	61/ 2/28	火	12:30	北大阪商工会議所	(072) 843-5304	573-0027	枚方市大垣内町2-12-27	北大阪商工会議所内 3F	(072) 843-5304	(072) 843-5100	家高 健志	西本 和彦
9	㊦	茨木	59/12/23	水	12:30	とり象別館 割烹片桐 2F	(072) 626-2722	567-0881	茨木市上中条1-9-20	茨木商工会議所 3F	(072) 622-2255	(072) 624-1105	土手 基史	中西 康良
10	㊦	茨木東	74/ 2/14	木	12:30	茨木商工会議所 4階会議室	(072) 622-6631	567-0881	茨木市上中条1-9-20	茨木商工会議所 3F	(072) 627-5753	(072) 623-9902	大木 誠一	瀬川 理也
11	㊦	茨木西	93/12/ 8	水	18:30	ホテル阪急エキスポパーク 3階「緑樹」	(06) 6978-5151	567-0033	茨木市松ヶ本町2-35	大阪北摂パルク会館 1F	(072) 623-2668	(072) 622-1173	橋本 善治	岩上 高幸
12	R	池田	54/ 4/24	水	12:30	マヌミ荘	(072) 752-3355	563-0043	池田市神田1-18-10	池田商工会議所 2階	(072) 752-3355	(072) 752-7800	田嶋 也洋志	柴田 宜孟
13		池田くれば	84/ 4/16	月	18:30	池田市民文化会館	(072) 761-8811	563-0043	池田市神田1-18-10	池田商工会議所 2階	(072) 753-5353	(072) 751-9080	松室 利幸	奥村 宗彦
14		門真	69/ 4/17	木	12:30	ホテル・フコウ大阪守口	(06) 6994-1111	570-0038	守口市河原町10-5	ホテル・フコウ大阪守口	(06) 6993-0107	(06) 6993-0108	西川 亮彦	福田 隆
15		交野	84/ 6/25	木	12:30	私設会館 301号室	(072) 893-3700	576-0052	交野市私部1-36-1	私設会館 306号室	(072) 893-3700	(072) 893-3800	佐藤 義也	森脇 薫三
16		香里園	95/ 4/29	水	12:30	北河内農業協同組合香里支店 3階会議室	(072) 834-1011	572-0838	豊屋川市八坂町1-5-10	樋口第1ビル 2階	(072) 823-6622	(072) 823-1110	淺井 勝彌	泰江 征樹
17		くすは	74/ 5/30	水	12:30	椿葉パブリックコルクラシアハウス 3F	(072) 855-5125	573-1121	枚方市椿葉花園町1-4-2	椿葉パブリックコルクラシアハウス 2F	(072) 855-5125	(072) 855-5180	北川 順清	日野 守之
18		箕面	69/ 4/17	木	18:30	箕面観光ホテル	(072) 723-2323	562-0006	箕面市温泉町1-1	箕面観光ホテル内	(072) 724-2781	(072) 724-1786	上島 一彦	庄司 修二
19		箕面千里中央	80/ 6/13	金	12:30	千里阪急ホテル	(06) 6972-2211	560-0085	豊中市上新田2-4-53	カーサカカス内	(06) 6935-2300	(06) 6935-2500	原 暉	森本 光
20	R	守口	61/ 3/20	水	12:30	ホテル・フコウ大阪守口	(06) 6994-1111	570-0038	守口市河原町10-5	ホテル・フコウ大阪守口 5F	(06) 6994-0010	(06) 6994-0009	菊田 芳	正木 一光
21		守口マインツ	00/11/ 2	木	18:30	ホテル・フコウ大阪守口	(06) 6994-1111	570-0038	守口市河原町10-5	ホテル・フコウ大阪守口 5F	(06) 6995-7440	(06) 6995-7441	福田 治夫	金丸 大介
22	R	豊原川	69/ 4/18	金	12:30	シテイホテルニューコンパター「おるろーじゅ」	(072) 823-7000	572-0836	豊原川市木田町17-4	シテイホテルニューコンパター 2F	(072) 822-6622	(072) 822-6555	上村 章	辻本 啓治
23	R1	大阪	22/11/17	金	12:15	リーガロイヤルホテル	(06) 6448-1121	530-0005	大阪市北区中之島5-3-68	リーガロイヤルホテル 418号室	(06) 6441-7930	(06) 6441-7720	立野 純三	上山 直英
24	R	大阪中央	84/ 1/26	木	12:30	ホテルグランヴィア大阪	(06) 6344-1235	530-0001	大阪市北区梅田3-1-1	ホテルグランヴィア大阪 21F	(06) 6345-6881	(06) 6345-6882	辻川 一	藤田 定信
25		大阪豊島	87/ 6/15	月	12:30	ANAクラウンプラザホテル大阪5階「カーニバルム」	(06) 6347-1112	530-0004	大阪市北区堂島栄1-3-1	ANAクラウンプラザホテル大阪 2階	(06) 6344-2008	(06) 6344-2009	川村 俊明	秋元 貞夫
26		大阪ミノン	99/ 6/ 3	水	12:30	ホテル日航大阪	(06) 6244-1111	542-0086	大阪市中央区西心斎橋1-5-12	心斎橋「アパライフ」907号	(06) 6253-3012	(06) 6253-3013	栗原 大	林 尚美
27	R	大阪東	57/ 6/ 6	木	12:30	帝国ホテル大阪	(06) 6681-1111	530-0042	大阪市北区天満橋1-8-50	帝国ホテル大阪フネックス 2F	(06) 6367-5151	(06) 6367-5252	堀谷 眞治	森 良夫
28		大阪東淀川やまち	70/ 6/26	月	12:30	ホテル阪急インターナショナル	(06) 6977-2100	530-0012	大阪市北区芝田2-1-3	梅仙健ビル 3階	(06) 6375-0088	(06) 6375-0087	大澤 一雅	中村 隆俊
29		大阪東野	75/ 2/20	木	12:30	天王寺都ホテル	(06) 6628-3200	545-0053	大阪市阿倍野区松崎町2-3-47	アパライフ「アパライフ」101	(06) 6627-3813	(06) 6627-3823	三野 久光	榎原 克次
30		大阪マインツ	86/ 1/23	木	18:30	ホテルトラスホテル大阪阿倍野	(06) 6530-0011	543-0054	大阪市天王寺区南河堀町9-38	天王寺マインツハウス 305号室	(06) 4305-8844	(06) 4305-8845	松浦 克巳	木下 恵美子
31		大阪城南	69/ 5/30	金	12:30	シエラントホテル大阪	(06) 6773-1111	542-0012	大阪市中央区谷町9-1-22	NK谷町ビル 407号	(06) 6796-9898	(06) 6796-9899	永井 正美	西澤 吉樹
32		大阪城東	73/ 4/27	金	12:30	ホテルニューオータニ大阪	(06) 6941-1111	540-6578	大阪市中央区城見1-4-1	ホテルニューオータニ大阪 501号室	(06) 6910-1220	(06) 6910-1226	福山 信也	杉野 政史
33		大阪柏原	70/ 6/ 1	火	12:30	アゼリア柏原 6F	(072) 973-3655	582-0007	柏原市上市1-2-2	アゼリア柏原 5F	(072) 973-3655	(072) 973-2300	笠井 靖彦	三田 昌孝
34	R	大阪北	52/12/16	水	12:30	大阪新阪急ホテル 2階	(06) 6972-5101	530-0012	大阪市北区芝田1-1-35	大阪新阪急ホテル 3F	(06) 6375-0905	(06) 6375-0915	村上 清	一瓢 秀次
35		大阪北梅田	92/ 1/20	月	12:30	ウエスタンホテル大阪	(06) 6440-1111	531-0076	大阪市北区大淀中1-1-20	ウエスタンホテル大阪内	(06) 6454-0401	(06) 6454-1614	伊藤 長範	岸本 健之亮
36	R	大阪御堂筋本町	91/ 3/26	木	12:30	ホテル日航大阪 32階「シエラント」	(06) 6244-1111	542-0086	大阪市中央区西心斎橋1-10-4	エースビル 5階	(06) 6777-3468	(06) 6777-3471	岡田 俊作	岡田 茂治
37	R1	大阪南	52/12/16	火	12:30	スイエホテル南海大阪 5階「芙蓉の間」	(06) 6646-1111	556-0011	大阪市浪速区難波中1-12-5	難波堂ビル 8階	(06) 6647-6236	(06) 6647-6237	小谷 公穂	熊田 昭夫
38		大阪みおつくし	13/ 3/ 7	木	14:30	大阪大学中之島センター 9階交流サロン	(06) 6444-2100	530-0005	大阪市北区中之島4-3-53 大阪大学中之島センター	大阪大学中之島会内	(06) 6444-3660	(06) 6444-3661	中島 武	小林 恵美子
39		大阪中之島	92/10/29	木	12:30	太閤園	(06) 6356-1111	534-0026	大阪市都島区綱島町9-10	太閤園内	(06) 6353-2215	(06) 6353-9889	山本 肇	木村 眞敬
40		大阪難波	76/ 8/ 5	木	12:30	スイエホテル南海大阪 5階「芙蓉の間」	(06) 6646-1111	542-0076	大阪市中央区難波5-1-60	スイエホテル南海大阪 5階	(06) 6692-3956	(06) 6692-3957	夏 明義	井上 清昭
41		大阪なにわ	84/ 2/23	木	18:00	スイエホテル南海大阪 7階「花柳の間」	(06) 6646-1111	556-0011	大阪市浪速区難波中2-6-15	ユーニアラサビル 802号室	(06) 6692-7281	(06) 6692-7289	池御 一司	井戸 正

月信編集委員会からのおねがい

□ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。

□投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。

□物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

□今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 福家 宏
- 地区代表幹事 山田 正雄
- 地区副代表幹事 中井 敬和
- 担当地区幹事 吉本 憲司
- 担当地区幹事 山本与志弥
- 事務局長 栗正 久美

2013—2014年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	福家 宏
地区代表幹事	山田 正雄
地区副代表幹事	中井 敬和
事務局長	栗正 久美
事務局員	春名 志保
	奥田 純子
	井上 望美

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

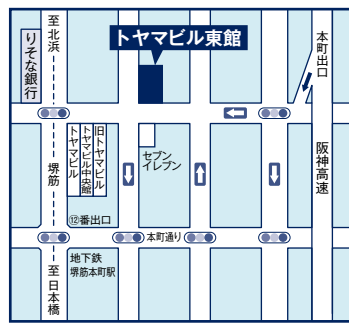
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日
夏季
2013年8月13日(火)~
2013年8月18日(日)
年末年始
2013年12月28日(土)~
2014年1月5日(日)



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 12番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階

TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

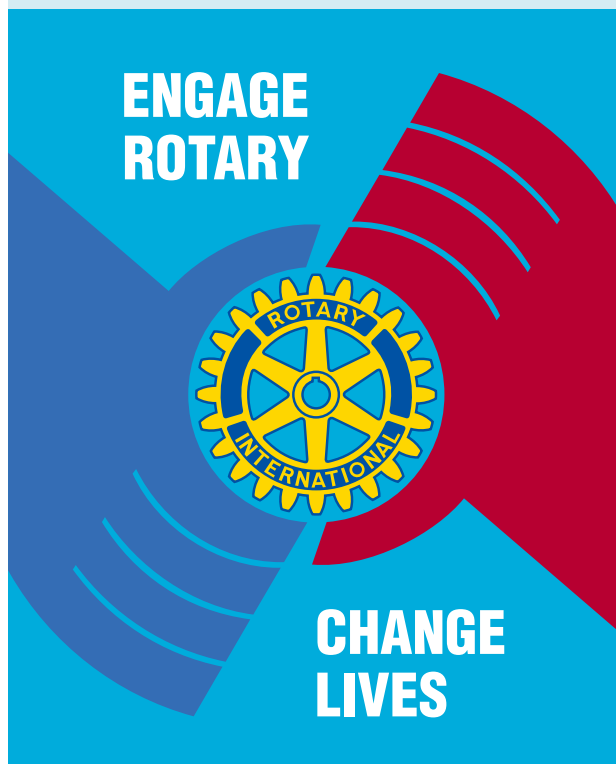
Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan

TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

2013 – 2014
August
vol. 2

8



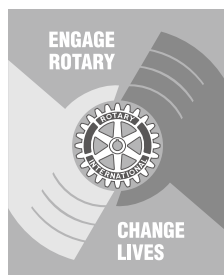
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信8月号

国際ロータリー 第2660地区
2013–2014年度ガバナー

福家 宏



2013-2014 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

August vol.2

CONTENTS

ガバナーメッセージ（会員増強および拡大月間）	1
会員増強・拡大月間にあたって	2
ガバナーノミニー候補者推薦について	3
GSE派遣団帰国報告	4
青少年交換プログラム 派遣学生募集要項	5
青少年交換プログラム 送別会・歓送会	6
災害支援プロジェクト報告（第26回）	7
インターアクト新入生歓迎会	9
ロータリー奨学生オリエンテーション報告	10
米山奨学制度寄付金30,000円目標設定について	11
文庫通信	13
敬弔／お知らせ	14

会員増強・拡大月間にあたって ～プロジェクト3900～

皆様は今、会員維持・増強のために
どんなことをなさっておられますか？

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

福家 宏



世界のロータリアンの数は、過去15年間以上にわたり約120万人程度に留まり続けています。毎年12万人ほど入会して、毎年同数が退会していくためにロータリアンの数は増加の兆しを見せません。日本においては横ばいではなく、減少傾向が続いています。かつて10万人以上を誇ったロータリアンの数は9万人を切り、更に減り続けているのです。このまま減り続けると、日本の3ゾーンのうちどれかが他国と合併させられることにもなりかねません。会員減少の問題は決して楽観は出来ないと思います。

私たちの第2660地区では、昨年高島直前Gが「プロジェクト3900」を立ち上げられ、会員の拡大(新クラブ創立)維持・増強を推し進めて来られました。その結果年初よりも会員数は増加しておりますが、3700人には届いておりません。私もこの「プロジェクト3900」を引き続き推進して参りたいと考えております。

カルヤン・パネルジーR | 元会長も、田中作次R | 直前会長も「日本における会員減少」をとっても憂えておられます。そのような中でR | 理事会は2015年6月末日までに世界のロータリアンの数を130万人にするという決議を致しました。

日本ではこれを受けて、地区の枠を超えた全国レベルでの新会員獲得運動をサクセス・ジャパンとし、田中作次会長のお名前を盛り込んでSAKUJI大作戦と名づけ、これを実施することになりました。当地区内でも多くのクラブ様がこの作戦に賛同して下さっております。ご承知のようにSAKUJI大作戦は、皆様の地域にお住ま

いの方でなくても、ロータリアンに相応しいお知り合いがあれば、その方をその地域のロータリーにどしどし紹介しようというものです。これが成功すれば、日本全体のロータリアンの数の底上げが図れる訳で、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

そして大切なことは会員数の維持です。新しい会員を獲得したならば、もうその日から「退会防止」を心がけて、新会員を守っていかなければなりません。

新会員に出来るだけ早く正しいロータリー情報を提供し、クラブにおいて重要な役割を担うことが出来るように配慮する必要があります。またRIやロータリー財団のプログラムには早い時期から参加させて、ロータリーを実践する(Engage Rotary)ことが出来るよう導いていかなければならないでしょう。

皆様はロータリーがこれからも存続しつづけ、ご自身もロータリアンであり続けたいと思っておられることでしょう。それならばやはり、ロータリアンである私たちは会員減少に歯止めをかけて増強のための活動を始めなければなりません。

会員の維持・増強は誰かに任せては成功しません。会員維持・増強は皆様お一人お一人の責務だと捉えて、今すぐにも本腰を入れて会員増強に取り組まないと、「プロジェクト3900」の成功は難しいと思います。世界や日本、そして私たちの地区やクラブ、そして皆様ご自身のために、会員拡大増強月間には今一度何をすべきかお考えになり、是非とも直ちに行動を起こして下さい、お願い致します。

会員増強・拡大月間にあたって

クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員長

吉村 昭 (大阪平野RC)



8月は会員拡大増強月間です。福家ガバナーは、地区の活動ポイント5項を提案され、そのひとつに「会員の維持と増強」を挙げられています。また、地区の会員数を3900人に、クラブの会員数は6%純増を目標とされました。

6月1日(出)、大阪YMCA会館にておこなわれました「R1第2660地区クラブ奉仕・会員拡大増強セミナー」では、第3ゾーンロータリー・コーディネーター/地区研修委員会リーダーの井上バスター・ガバナーに「会員増強とクラブの活性化」をテーマにご講演いただきました。

R1の現状から、クラブの取り組むべき課題等わかりやすくご説明いただき、ご出席いただいた皆様には大変勉強になりました。

また、後半のバズセッションでは、各クラブの人数順で5~6クラブを1グループとし、クラブ会長エレクト、会員増強委員長の皆様に参加いただき、会員増強・会員維持の策を議論していただきました。

そのなかで見えて来た事は、人数の大小で多少悩みの違いはありますが、増強に対しての想いや方法は、各クラブほぼ同じでした。

会員増強

- ①会長・増強委員長が、年度目標を掲げ会員から広く候補者を募集
- ②「ゲストの日」を設定し多数の参加者を要請

- ③公開卓話を実施し新入会員の見込み作り
- ④若い会員や女性会員を積極的に発掘
- ⑤パンフレットやHPの充実

会員維持

- ①同好会活動を通じて、会員の個人的な付き合いを深める
- ②元会長や在籍の永い会員にも委員長を任命する
- ③入会年度の浅い会員と古参会員で茶話会を開いている
- ④例会を常に新鮮になるよう、朝例会、移動例会を年に数回行う
- ⑤新入会員にはカウンセラーを3人にする

会員の維持と増強には絶対的な有効策はありません。会長、会員増強委員長の強い決意とリーダーシップを発揮しクラブ全員で取り組むこと、これが最高の策です。

時代の変化と共に街が変化し、新しい企業や職業が生まれ、ロータリーへの新入会員の方も変化して来ています。若い世代の方々にどのように入会していただき、ロータリーの魅力をどのように伝え、クラブの将来像をどう描くかによって、クラブが活性化していくのでしょうか。

変えてはならないことと、変えなければならないことを明確にし、素晴らしいロータリアンを一人でも多く入会いただけるようご努力宜しく願いいたします。

2016-2017年度 ガバナー・ノミニー候補者推薦について

国際ロータリー第2660地区 ガバナー **福家 宏**
地区ガバナー指名委員会 委員長 **高島凱夫**

ガバナー・ノミニー候補推薦書提出の要請

RI細則13.010の規定及び地区ガバナー指名委員会の規定により地区内の各クラブで2016年-2017年度ガバナー・ノミニー候補者がおられましたら、10月31日までにガバナー指名委員会委員長(地区ガバナー事務所)宛に必着するよう提案して下さい。

なお、地区ガバナー・ノミニーの資格条件については、

国際ロータリー細則第15条15.070、15.070.1~15.070.6の条件を満たす者であることを要します。

また、地区ガバナー指名委員会が地区ガバナー・ノミニー候補者の選択を行うにあたっては、その選択の範囲は地区内クラブによって提案された氏名に限定されるものではない、ということをご承知下さい。

国際ロータリー細則第13条13.020.5(参照)

RI第1890地区への GSE派遣団帰国報告

団長

吉崎広江 (東大阪東RC)



派遣先：R I 第1890地区 (ハンブルク市、シュレーシュビヒ・ホルシュタイン州、ニーダーザクセン州北部)

派遣期間：2013年5月21日より6月21日まで

地区ガバナー：Henning Kramer

訪問クラブ (担当日)：

- 9 RC Hamburg-Hafencity (21-27)
- RC Wyk/Fohr (27-29)
- RC Amrum (29-31)
- RC Oldenburg (31-04)
- RC Kappeln (04-08)
- RC Rendsburg / RC Mittelholstein (08-13)
- RC Buchholz i.d. Nordheide (13-16)
- RC Bordesholm (16-20)

総プレゼンテーション数：

10回 (各クラブに1回ずつと、6/8地区大会 in Kiel)

総職業研修数：5日 (ただし、時間は個人別に異なる)

訪問施設 (全員で訪問した施設)：

ハンブルク市庁舎 (市担当者よりプレゼンあり)、ブーフホルツ市長訪問、オルデンブルク市長訪問、カッペルン市長訪問、エアバス (工場見学)、ミニチュア博物館、IBA (国際建築展示場)、教会 (6箇所)、ハーフェンシティ見学、バイオガスファーム (2箇所)、風力発電所 (2箇所)、太陽光発電ファーム (2箇所)、美術館 (2箇所)、博物館 (4箇所)、灯台ツアー、風車ツアー、城・邸宅 (3箇所)、療養所、キール運河鉄橋、ELAC (スピーカーメーカー)、エッペンドルフ (工場見学)、アウトレットセンター、和牛牧場

アクティビティ (全員で参加した活動)：

バルト海湾岸クルージング、原野をめぐる馬車ツアー、リュベック市観光、フレンスブルク観光、デンマーク訪問

ホストファミリー数：31 (うちホテル1、ドミトリ1)

(まとめ)

乗り換えを含め16時間かかってやっと到着したハンブルク空港では「ようこそハンブルク」という日本語の

看板を手に、ガバナーのクラマーさんをはじめ、最初の受け入れロータリークラブのみなさん、以降のホストファミリーのみなさんが花束を手に迎えてくださいました。思えば、きつい日程のプログラムではありましたが、出会うすべてのみなさんの暖かさとおしやすさが、この時の暖かい歓迎に現れていたのだと思います。

私達のプレゼンは、地区紹介、大阪紹介、自己紹介、震災支援の現状説明、歌 (上を向いて歩こう) の5本立てで長いものですが、ほとんどのところが夜間例会であったため、時間の制約なく全部を披露することができました。時には歌を聞き、東北の様子に涙して下さるロータリアンの方々に触れるうちに、私達も現在起こっているドイツ南部の洪水に対し、何かできる事がないのかと感じるようになりました。

結局最後のお別れパーティで、担当クラブの方のご好意で着物をチャリティオークションすることができました。国がちがっても、ロータリアンの気持ちは同じとここでも感じた次第です。

最初の1週間は凍えるような気候ではありましたが、どんどん進化を続ける都市ハンブルクの「今」に触れ、その後の2週間は、良い天候の中、北海からバルト海へと沿岸の島やフィヨルドの自然に触れ、最後の1週間は内陸をめぐるこれまでの訪問を振り返り私達から何かを発信できた良い旅であったと思います。

詳しい報告は、今後団員と一緒に詳細版をまとめる予定ですが、この研修に参加したことで、5人のメンバー全員が忘れがたい思い出と一生の経験を得ることができました。両ガバナーには、すばらしい機会をいただいたことを御礼申し上げます。また、すべてのプレゼンテーションにもれなく出席して下さった第1890地区GSE委員長のJanusさん、送り出してくださった第2660地区GSE委員会のみなさん、受け入れてくださったすべてのロータリアンとご家族、推薦クラブのみなさま方のご支援があつてのことと、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

Vielen Dank!

青少年交換プログラム 2014-2015年度 派遣学生募集要項

青少年交換委員会 委員長

辻村和弘 (大阪大手前RC)



来日学生と派遣学生の東京研修旅行

青少年交換プログラムは、1920年代にヨーロッパでロータリアンの子供同士を交換し、互いにホームステイさせあい、我が子のように育ててみようという試みに端を発しています。子どもたちは異国という厳しい環境の中、好意に溢れたロータリアンの庇護のもとで、異文化にふれあい、生活することで互いの立場や違いを認め、尊重する真の国際人として成長していきます。そしてこのプログラムは、次世代の青少年の育成という有意義な奉仕活動として認められ、1972年にRIの定める正式プログラムとなりました。近年、世界中で年間7,000人の16歳から18歳の高校生が参加しています。

こうしたプログラムの成り立ちから、青少年交換プログラムのみ、ロータリアンの子弟参加が認められています。また、ロータリアンの子弟のみならず、関係者の子弟、または来日学生達がお世話になった高等学校からの推薦などにより応募できます。

次々年度(2014-2015年度)の青少年交換学生を下記の要領で募集いたします。各クラブにおかれましては、このプログラムの次世代を担う青少年の育成という趣旨と目的をご理解いただきまして、是非ともご参加していただきますようお願いいたします。

1. 主な交換相手国
アメリカ、カナダ、フランス、フィンランド、オーストラリア、スイス、スウェーデン、台湾、ポーランド
2. 交換期間
2014年8月に出発し、期間は約1年間。
採用及び派遣先は青少年交換委員会において決定します。
3. 交換内容
各々の派遣先のご家庭でホームステイをし、現地の高等学校に通学します。
現地の言葉を学び、人々と交流し、その文化や習慣、歴史を学ぶと共に、日本の文化や伝統、国情を伝え、青少年大使としての国際理解と親善に努めます。
4. 費用
プログラム参加費(100,000円)、派遣先までの往

復旅費、保険料、現地での諸雑費は本人(保護者)の負担とします。現地での生活費、教育費(高校)の全額及び少々の小遣いは、ホストロータリークラブが負担します。

5. 応募資格
 - 1) 出発時、16～18歳の高校生であること。
 - 2) 健康で礼儀正しく、水準以上の学力を持ち、外国語の習得に意欲的な学生であること。学業成績は、学年で上位1/3以内の者。(在学高校により差があるので、相談に応じます。)
 - 3) 学校長の推薦と、1年間の派遣先での修学許可が得られる学生であること。(派遣中における現在の学校での単位取得等に関しましては、各学校とご相談下さい。また、派遣相手国での学校の単位は基本的には取得できません。)
 - 4) ロータリークラブの推薦が得られる学生であること。
6. 応募期限
2013年8月31日(土)(期限を厳守願います。)
7. 応募方法
応募者は、スポンサークラブを通じて地区青少年交換委員会またはガバナー事務所にお申込みください。
なお、申込書はガバナー事務所までご請求ください。
8. 来日学生の受入
原則として、派遣学生を送出したロータリークラブは、交換相手国より来日学生を受け入れなければなりません。(来日学生受入クラブには、委員会から支援金として50万円(2012-13年度実績)程度が支給されます。)
9. 短期交換プログラム
1年間の長期交換のほかに、夏休みに約1ヶ月づつ交換する短期交換プログラムもあります。

《お問い合わせ》

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー事務所

〒541-0052

大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F

Tel. 06-6264-2660 Fax. 06-6264-2661

青少年交換プログラム 送別会・歓送会

青少年交換委員会 直前委員長

角谷真枝 (茨木西RC)



6月15日17時30分より、市内シティプラザ大阪ホテルにて来日交換学生5名(1名は6月3日に帰国)、派遣学生4名(1名は修学旅行中の為欠席)の為の歓送会がおこなわれました。

まず最初に、過去に地区の青少年交換委員をつとめられ、ホストファミリーのご経験も豊かな泉博朗GEより暖かいご挨拶を頂きました。続いて、受け入れ校、ホストファミリーの方々に委員長より感謝状贈呈を行ないました。

引き続き、8月初旬にはそれぞれの派遣国に出発する派遣生が、パワーポイントを使用し、自己紹介を行いました。これは派遣国での予行演習を兼ねています。彼等の10か月間のオリエンテーションは、素晴らしい成果を示してくれました。引き続き、派遣生各人が自己アピールの為のパフォーマンスを披露、前田真樹君(寝屋川RC)栗正絵美さん(城東RC)は二人でピアノの連弾演奏、高橋収君(茨木西RC)は駒まわし、重富崇人君(守口RC)は空手の型で笑いをとっていました。

続いて6月30日には全員帰国してしまう来日学生の

登場です。アメリカ・カリフォルニアからの来日生アンドレ・レイト君は一段と上手になった日本語で感謝を述べ、来日時には日本語が全く喋れなかったフランスからのヨアン・ドアイオン君は、大阪弁を交えて「又日本にきます」と挨拶。アメリカからのクリスティーナ・ピッコロさんリンゼー・ヤムリックさんも1年間お世話になった方々に感謝を述べました。

一番圧巻だったのはフィンランドからの来日生サラ・カウピネンさんです。彼女は白地に赤の花模様の一重の和服を着て、(なんと驚くことに、彼女は一人で着物の着つけができるのです)インターネットで聞いて覚えたという「月光」の曲を、ピアノで堂々と演奏しました。あらためて、今世界で注目されている、フィンランド教育の成果の高さに驚かされた次第です。そして今年は今来日生への修了書授与を、ローテックス発案で日本式の卒業式の様「仰げば尊し」を演奏して行いました。

ローテックスの皆さんから、金本委員、委員長の私、今井事務局長に花束と記念品の贈呈があり、最後は「手に手つないで」を合唱し会を終了しました。



災害支援プロジェクト報告 (第26回)

災害支援プロジェクト委員長

高島凱夫 (大阪中之島RC)

1. 災害支援プロジェクト寄付送金口座

りそな銀行 大阪営業部 普通 1527285

口座名義：第2660災害支援 会計 片岡基博

(ダイニロクロクゼロサイガイシエン カイケイ カタオカモトヒロ)

2. 災害支援地区基金の状況 (2013年6月30日現在)

【収 入】

(単位:円)

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備 考
1	岡部年度からの繰越	708,892	
2	大阪中之島RC	57,750	
3	大阪城南RC	15,460	
4	利息	5	
5	大阪東南RC	500,000	
6	大阪中之島RC	100,000	
7	寝屋川RC	37,000	
8	大阪咲洲RC	30,000	
9	大阪ユニバーサルシティRC	300,000	
10	大阪城南RC	45,440	
11	国際大会日本人朝食会余剰金	14,547	
12	井上暎夫PG	30,000	
13	寝屋川RC	13,000	
14	八尾中央RC	77,000	
15	大阪帝塚山RC	100,000	
16	大阪城南RC	10,000	
17	大阪フレンドRC	46,000	
18	千里RC	330,000	
19	大阪城南RC	800,000	
20	PSC(財団奨学生OB)	3,000	
21	東大阪東RC	100,000	
22	八尾東RC	50,000	
23	大阪ユニバーサルシティRC	50,000	
24	豊中-大阪国際空港RC	50,000	
25	大阪リバーサイドRC	50,000	
26	大阪西南RC	100,000	
27	大東RC	50,000	
28	大阪中央RC	50,000	
29	大阪難波RC	50,000	
30	大阪フレンドRC	50,000	
31	東大阪みどりRC	50,000	
32	大阪西北RC	50,000	
33	大阪うつぼRC	50,000	
34	くずはRC	100,000	

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備 考
35	寝屋川RC	50,000	
36	大阪咲洲RC	50,000	
37	茨木西RC	50,000	
38	茨木RC	50,000	
39	豊中千里RC	50,100	
40	利息	139	
41	大阪北梅田RC	50,000	
42	香里園RC	50,000	
43	八尾中央RC	50,000	
44	大阪大手前RC	100,000	
45	東大阪RC	100,000	
46	大阪心斎橋RC	50,000	
47	高槻西RC	50,000	
48	大阪城南RC	6,417	
49	大阪フレンドRC	6,270	
50	八尾RC	50,000	
51	高槻RC	470,000	プロジェクト中止返金
52	大阪イブニングRC	50,000	
53	大阪城南RC	418,425	災害支援No.51支援金
54	大阪城南RC	7,117	
55	ガバナー事務所募金箱	5,527	
56	大阪船場RC	85,792	
57	大阪ユニバーサルシティRC	60,000	
58	大阪城南RC	6,685	
59	大東中央RC	117,874	
	合 計	6,052,440	

【支 出】

(単位:円)

	地区基金支出内容	金 額	備 考
1	豊中RC	158,600	寄付金一部返金
2	振込手数料	600	
3	千里RC	650,000	地区基金申請No.46
4	振込手数料	600	
5	熊谷教材社 (八尾中央RC申請分)	150,000	地区基金申請No.47
6	振込手数料	600	
7	高槻RC	470,000	地区基金申請No.48
8	振込手数料	600	
9	大阪ユニバーサルシティRC	250,000	地区基金申請No.49
10	振込手数料	300	
11	千里メイプルRC	208,000	地区基金申請No.50
12	振込手数料	600	
13	水沢東RC	836,850	地区基金申請No.51
14	振込手数料	600	
15	石巻東RC	441,000	地区基金申請No.53
16	振込手数料	600	
17	2520復興支援特別委員会	1,680,000	地区基金申請No.52
18	振込手数料	600	
	合 計	4,849,550	

【残 高】

(単位:円)

預金残高	1,202,890	2013年6月30日現在
------	-----------	--------------

第2660地区 インターアクト新入生歓迎会

インターアクト委員会 委員長

松井隆雄 (大阪天王寺RC)



6月2日(日)、朝から曇り空で小雨がパラついていましたが、開会式が始まる頃には雨もあがり、予定した活動を終えることが出来ました。

大阪府羽衣青少年センターに大阪桐蔭・浪速・金光八尾・清風・相愛・四天王寺中学・高校のインターアクター76名、顧問の先生11名、ローターアクト3名、高島凱夫ガバナー・泉博朗ガバナーノミニーはじめ26名のロータリアン、事務局1名合計117名が集まり新入生歓迎会を行いました。

中野秀一委員長から新入生に対する歓迎の言葉とインターアクトの活動内容等についての説明があり、高島ガバナーから青少年の健全な育成にインターアクトクラブの果たす役割の重要性と期待を込めた激励の言葉が贈られました。

まず最初にインターアクター達はセンターのスタッフ(職員)から焼板造りの手ほどきを受けました。竈に薪の入れ方、火の付け方、板の焼き方、板の洗い方等懇切丁寧に指導を受けて作業に取りかかりました。インターアクター達は薪に火を付けたり、たわしで焼いた板を水で洗うなど、初めての体験に戸惑いながらも、側にいたロータリアンの手助けを受けながら一生懸命取り組んでいました。きれいな服が汚れ、顧問の先生に汚れを取って貰っている姿も見受けられました。

焼板は乾かして後で絵付けの作業を残し、昼食のバーベキューの準備にかかりました。センターで用意された肉や野菜(キャベツ、人参、タマネギ)を炭火で網で焼き、それぞれグループごとに団欒しながら食していました。ロータリアンが日ごろの実力を発揮し、焼奉行をしているグループもあり、一方大食漢あり、食傷気味の生徒もいてバラエティーに富んだ楽しい食事会でした。

食事の後片付け後、焼板に絵付けの作業に取りかかりインターアクター達は思い思いの絵やら文字を描いていました。「インターアクト」と書かれた焼板が多く見

られました。

その後、公園内をグループごとに分かれ約50分間のウォークラリーを行いました。このころになると新入生も含め学校の枠を超え、和気藹々とインターアクトの仲間の輪が拡がり繋がっていきました。新入生歓迎会の目的が達成できた思いがしました。これを機にインターアクトクラブの奉仕活動が活性化されていくことを期待しました。

若いインターアクター達は元気が有り余っていましたが、ロータリアンには若干顔に疲労のいろが出てきていました。閉会式では泉ガバナーノミニーの問いかけに全員「楽しかった」と声をそろえて答えていました。

次年度当番校(幹事校)の四天王寺高等学校・中学校に地区旗の引継ぎがなされ、新入生歓迎会は無事終了しました。

最後になりましたが、このような素晴らしい新入生歓迎会を企画、運営して頂きました浪速高等学校・中学校のインターアクトクラブの皆さま、顧問の先生、大阪帝塚山ロータリークラブの皆さま、そして裏方で支えてくださいましたガバナー事務所の栗正久美様に心から感謝申し上げます。

今後ともインターアクトクラブの活動に、ご理解とご支援をよろしくお願い致します。



2013-2014年度 ロータリー奨学生オリエンテーション報告

2012-2013年度
財団奨学金・学友委員会 委員長

北埜 登 (東大阪東RC)



日 時 2013年6月2日(日)

場 所 ウェスティンホテル大阪

出席者 高島G、大谷財団部門次年度顧問、福家GE、泉GN、溝畑DRFC、宮里地区補助金小委員会次年度委員長、梅崎次年度担当グループリーダー、田中提唱クラブロータリアン(大東RC)、福田ロータリー奨学生、宮尾ロータリー奨学生、財団奨学金・学友委員会副委員長、委員 他

2012-2013年度地区財団奨学金・学友委員会と2013-2014年度地区補助金小委員会奨学金・学友・ロータリー平和フェロシップ担当グループ第2回合同委員会開催後に、ロータリー奨学生の為のオリエンテーションを開催しました。

ロータリー奨学生は、オリエンテーションに参加しな

ければならない義務があります。2013-2014年度の奨学金制度は大きく変更になり、グローバル補助金による奨学生(ロータリー奨学生)は昨年10月に募集、11月に書類選考、面接試験を行い下記の2名のロータリー候補生を選考し今年の5月にロータリー財団に申請受理、承認されました。

福田真弓 ロータリー奨学生

重点分野：疾病予防と治療

留学機関：Harvard School of Public Health

支援期間：1年間

提唱クラブ：千里RC

受け入れクラブ：Evening Downtown Boston RC

奨学金：74,000ドル(内クラブ拠出金4,000ドル)

宮尾真梨子 ロータリー奨学生

重点分野：平和と紛争予防／紛争解決

留学機関：Monterey Institute of International Studies Graduate School of International Policy and Management

支援期間：1年間

提唱クラブ：大東RC

受け入れクラブ：Carmel by the Sea RC

奨学金：43,400ドル

三好副委員長の司会で、北埜委員長の趣旨説明、ロータリー奨学生、提唱クラブロータリアンの紹介で始まり、続いて高島ガバナーのロータリー奨学生を励ます挨拶後、それぞれのロータリー奨学生に高島ガバナーからロータリー奨学生名刺、ロータリー奨学生徽章、受け入れクラブへのお土産バッジを贈呈しました。

次に福田、宮尾ロータリー奨学生からそれぞれの近況報告、留学後の進路等について話がありました。

引き続き、阪上副委員長よりロータリー奨学生、提唱クラブロータリアンの方々に、ロータリー財団の支援の下に留学していることを常に念頭に置く事、留学中の注意事項や責務について、また留学後も学友に入りロータ

リーと関わりを持つ事などの説明を行いました。

最後に、溝畑ロータリー財団委員会委員長より閉会の挨拶があり、ロータリー奨学生の為のオリエンテーションを閉会しました。

会場を移し、先程のオリエンテーションとはがらりと雰囲気が変わり、PSCの方々も加わり、泉ガバナーノミニの乾杯の発声で歓送会が始まりました。

ロータリー奨学生もようやく緊張感から解放され、PSCの方々の留学経験談に耳を傾け、多くの質問をしていました。

最後に阪上副委員長のロータリー奨学生へ激励と閉会の言葉で、歓送会は和やかな雰囲気で終了しました。

2013-2014年度 米山奨学制度寄付金30,000円目標設定について

米山奨学委員会 委員長

西谷雅之 (大阪城南RC)

平素は米山奨学制度に対し多大なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2013-2014年度米山奨学制度への寄付目標額30,000円の設定に関しまして、様々なご意見を頂戴しておりますが、中でも「もっと詳しく説明せよ」とのお言葉が多数寄せられておりますので、ここに再度ご説明させていただきますと共にご理解とご協力をお願い申し上げます。

まず、既に御承知のことと存じますが改めて米山奨学制度そのものの成り立ちについてご説明させていただきます。

米山奨学会は60年の歴史を持つ日本のロータリー独自の国際奨学事業であります。この国際奨学事業は1952年、日本で最初に設立されたクラブである東京ロータリークラブが、日本のロータリーの創始者と呼ばれる米山梅吉氏の功績を記念して始まりました。戦後の復興の道を歩み始めた当時の日本にとって、二度と戦争の悲劇を繰り返さない為に世界の国々との人物交流を深める必要性を多くの人々が感じていた時代背景のもと、ロータリー米山記念奨学事業は「留学生が平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築く」事を目的に始められ、『日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業』と高く評価され全国に拡大し、国際ロータリーが認める日本で唯一の日本の全ての地区が関わる「他地区合同活動」となり、日本最大の民間国際奨学事業として現在に至っております。

しかしながら、奨学生の採用数を見ると2005年にそれまでの1,000名から800名に削減、特別積立財産を取り崩して2012年度採用までの8年間800名を維持してまいりましたが、2013年度採用より更に100名削減の700名となっているのが現状です。

当R12660地区に目を向けますと、2008年には42名の採用と地区全クラブ数の約半分のクラブに奨学生

を送りこむ事ができる採用数を割り当てられておりましたが、2013年度は新規採用28名と継続奨学生10名の38名となっております。

地区米山奨学委員会では、地区84クラブ全てに奨学生を送り込むという目標を掲げております。採用奨学生の中で最も多いのは大学院生で、月140,000円の支給を受けていますので、それをもとに試算いたしますと、

奨学生1人にかかる年間の費用

$140,000 / 月 \times 12 \text{ か月} = 1,680,000$

全84クラブで必要となる年間の費用

$1,680,000 / 人 \times 84 \text{ クラブ} = 141,120,000$

当地区ロータリアンの数を3,700名として

おひとり当たりにお願ひしたい年間寄付額

$141,120,000 \div 3,700 \text{ 名} \approx 38,141 \text{ 円}$

これが、3月23日に開催されたPETSや4月27日開催の地区協議会でお話しさせていただきました「おひとり4万円の寄付を頂ければ84全てのクラブに奨学生の面倒を見ていただけるようになる」との私の発言の根拠です。しかし、現状を考えた場合いきなり倍の4万円はどうだろうかとの意見が委員会内にもあり、段階的と言う事で3万円とさせていただきました。

一方、ここ数年地区米山奨学委員会ではロータリアンおひとり年間2万円の寄付をお願いしてまいりました。内訳は普通寄付5,000円+特別寄付15,000円です。これは達成されてきたのでしょうか？残念ながら過去5年間を見ても一度も達成されておられません。2011年の個人平均寄付額は19,384円です。

クラブ別にみますと、

20,000円達成クラブ36 (達成率43.3%)

未達成かつ10,000円未満10

うち1クラブは5,000円未満です。5,000円未満と言

う事はお願いした普通寄付にも達していないと言う事です。確かに、普通寄付は各クラブで金額を設定し会員数分送金していただく寄付金です。義務でもありません。しかしながら、1967年に財団法人の認可を申請した際、安定財源が無い為認可に難色を示す文部省(当時)に対し、普通寄付金による一定収入が見込めると説得して、国内全クラブから普通寄付の確約をもらう事を条件に設立許可を得た経緯があります。

皆様の中には20,000円達成を目指す方が先ではないかとお考えの方が居られるかもしれません。しかし、従来通り20,000円の目標を提示していたらここまで皆様の関心を引く事ができたでしょうか。現状に目を向け耳を傾けていただけたでしょうか。また仮に個人平均

20,000円が達成されても増えるのは220万円強、一人分の枠増に過ぎません。全84クラブに奨学生をという地区委員会の目標にはほど遠いのです。そしてジリ貧になりつつある米山奨学制度の現状も変わらないのです。

当地区は地区内に47の指定有資格校が存在し、現在24校を指定校としております。これは他地区に比べてはるかに学校数が多く、米山奨学制度にとって恵まれた環境にあると言えます。また、当地区の元R1理事・近藤PGは米山記念奨学会の副理事長です。米山奨学制度に造詣と理解の深いPGを擁し、環境的にも恵まれた当R12660地区から再度「日本で唯一の他地区合同活動」という冠にふさわしい米山奨学会とすべく、ご理解とご協力をお願いする次第です。

文庫通信 (310号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリーの資料より

- 『リーダーシップ』について
深川純一 2013 13p (D.2760 地区大会記録誌)
- 「古澤文作・米山梅吉・和田菊松に関する三題話」
神崎正陳 2013 5p (D.2550 月信)
- 「ロータリーの初心を訪ねて」
安平和彦 2013 16p (D.2680 西播第2グループIM報告書)
- 「元気なクラブになるために(会員増強・維持)」
桑原 茂 2013 9p (D.2500 地区大会報告書)
- 「決議23-34」
鈴木 宏 2013 6p (D.2550 月信)
- 「ロータリーの楽しみ方」
■野孫左エ門 2013 1p (D.2620 月信)
- 「クラブ活性化の戦略計画」
山下皓三 2013 2p (D.2730 月信)
- 「和訳『ロータリーの綱領』が変わります」
木村大三郎 2013 2p (D.2670 月信)
- 「米山梅吉と5人の群像」
宮崎幸雄 2013 3p (米山梅吉記念館館報)

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

篠原 耕一 会員（大阪梅田RC）

2013年 7月10日 逝去（享年80歳）

会員選考理事、
社会奉仕委員長、雑誌委員長
職業分類委員長、広報委員長

米山功労者（マルチプル）
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター

お知らせ

■事務局移転

大阪ネクストロータリークラブ

〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-6-12 小学館ビル スタジオB&M内
TEL：06-6341-2285 FAX：06-6348-1164 Eメール：osaka.next@gmail.com

大阪アーバンロータリークラブ

〒533-0005 大阪市東淀川区瑞光4-4-28 大阪冶金興業株式会社内
TEL：06-6328-1345 FAX：06-6328-1380

■ホームページ リニューアル

高槻東ロータリークラブ

<http://www.takatsukieast-rc.org>

■Eメールアドレス変更

大阪東南ロータリークラブ

osktounanrc@gmail.com

月信編集委員会からのおねがい

□ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。

□投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。

□物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

□今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 福家 宏
- 地区代表幹事 山田 正雄
- 地区副代表幹事 中井 敬和
- 担当地区幹事 吉本 憲司
- 担当地区幹事 山本与志弥
- 事務局長 栗正 久美

2013—2014年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	福家 宏
地区代表幹事	山田 正雄
地区副代表幹事	中井 敬和
事務局長	栗正 久美
事務局員	春名 志保
	奥田 純子
	井上 望美

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

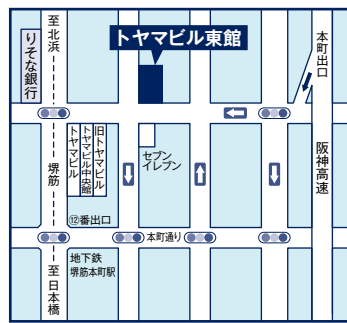
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日
夏季
2013年8月13日(火)~
2013年8月18日(日)
年末年始
2013年12月28日(土)~
2014年1月5日(日)



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 12番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー 第2660地区

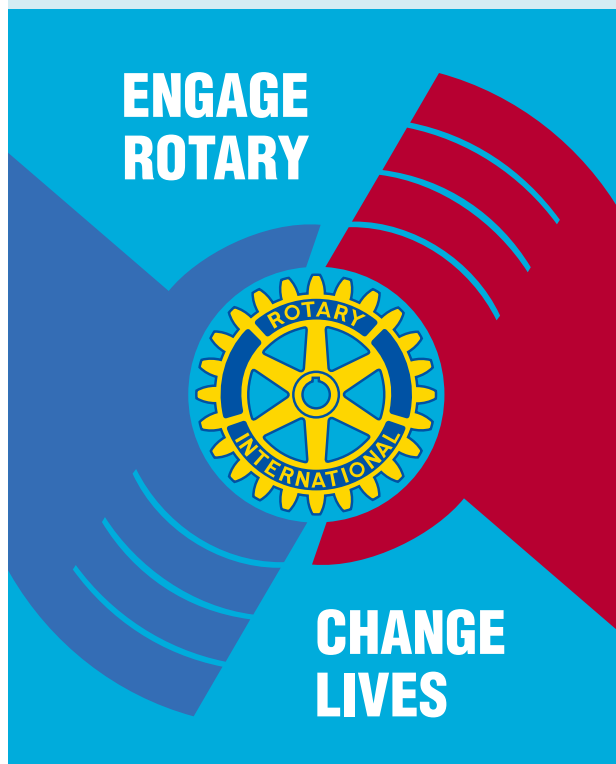
〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan
TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

2013 – 2014
September
vol. 3

9



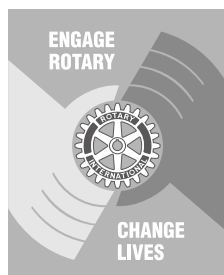
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信9月号

国際ロータリー 第2660地区
2013–2014年度ガバナー

福家 宏



2013-2014 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER September vol.3

CONTENTS

ガバナーメッセージ（青少年活動月間に当たって）	1
新世代のための月間に寄せて	2
意義ある業績賞について	3
クラブ広報委員長会議 報告	4
合同地区委員会 報告	5
世界平和フォーラム 参加報告	6
創立40周年記念式典 in 須賀川	8
ロータリー財団情報	9
災害支援プロジェクト報告（第27回）	10
2013年7月度 会員数・出席報告	11
文庫通信	12
敬弔／お知らせ	13

青少年活動月間に当たって

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

福家 宏



2013年4月、米国イリノイ州シカゴにおいて規定審議会が開催され、当地区からは岩田宙造PGが代議員としてご出席下さいました。その規定審議会で、新世代奉仕部門は、かつての名称である青少年奉仕部門に変更されました。

ロータリーでは1908年から青少年を対象としたプログラムが実施されて来ました。そして1979年、国連の国際児童年に合わせてRIは「ロータリーは子どもを大切に」というスローガンを採択し、また「ロータリアンは青少年の模範」"Every Rotarian an Example to Youth"の標語を採択しました。

その後1996年度ルイス・ジアイRI会長は、青少年対策を最重点課題と考え、未来を担う新世代が何を望んでいるかを知るために、全世界のクラブが新世代会議を開催することを要請しました。この年度より従来の「青少年活動月間」の名称が「新世代のための月間」となりました。そして、それまで14才から30才までの若者を対象としたプログラムが、新世代のためのロータリー・プログラムでは、0才から14才の子ども達も視野にいった活動に拡大されました。

さらに2010年規定審議会で、新世代奉仕はロータリー・クラブの活動の土台となるクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕に続く、第5の奉仕部門として承認され昨年度まで、新世代奉仕としての活動が続けられて来たのです。

では今後0才から13才を対象としたロータリーのプログラムはどうなるのでしょうか？RIやロータリー財団は、乳幼児と学童への奉仕活動については青少年育成とは異なった人道奉仕の一環として捉えて、未来の夢計画FVPの補助金を用いる形で実施しようと考えているようです。すなわちグローバル補助金で示されている6つの重点分野のうち、直接的には「母子の健康」「基本的教育と識字率の向上」「疾病予防と治療」などの分野で、乳幼児と学童のためのプログラムを立ち上げて行くということだと考えられます。もっとも当地区では青少年活動委員会が小学生高学年を対象とした少年

少女ニコニコキャンプが実施されています。

RIは年齢30才までの若い人すべてを含む青少年の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来を確実なものとするために青少年の生活力を高めることによって、彼らに将来への準備をさせること」をロータリアンの責務とし、すべてのクラブと地区は青少年の基本的ニーズを支援するプロジェクトに着手するよう奨励して来ました。基本的ニーズとは、健康、人間の価値、教育、自己開発であり、国際ロータリーが用意する次の四つの常設プログラムで、これらを実践する必要があります。

- インターアクト(13才～18才)
- ローターアクト(18才～30才)
- ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)(14才～30才)
- ロータリー青少年交換(高校生)

私たちの2660地区でもこれらのプログラムは活発に実践されております。

更に、RIは児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的および精神的な虐待、とくに性的虐待あるいはハラスメントの防止に関する声明や指針を設け、その実践を勧めています。当地区では、不幸にもあってはならないトラブルに対応するために、危機管理委員会が設置され、危機管理積立金が用意されています。

日本には米山奨学金制度や米山学友会があり、米山奨学生や学友会メンバーとロータリアン、そして他の青少年プログラムの若い人々との活発な交流が望ましいと、私は考えております。そして、新しい世代の人々がロータリーについての知識を深め、近い将来ロータリアンになって頂けるように、私たちは努める必要があると考えます。

ロータリーの高齢化や会員減少に歯止めをかけることは今や非常に大切な課題となっています。若い世代の人々との交流には、ソーシャル・メディア・ネットワーク・システムが威力を発揮します。地区の広報委員会にも力をお借りして、このシステムが本格的に機能し始めることを願っております。

新世代のための月間に寄せて



パストガバナー

岡部泰鑑 (大阪城南RC)

9月は新世代青少年のための月間です。

各ロータリアンの責務は年齢30歳までの若い人すべてを含む新世代の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来をもたらすための新世代の生活力を高めることによって、新世代に将来への準備をさせることである。すべてのクラブと地区は、新世代の基本的ニーズを支援するプロジェクトに着手するよう奨励されている。基本的ニーズとは、健康、人間の価値、教育、自己開発である。新世代のためのR I常設プログラムには、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)、ロータリー青少年交換がある。

(2010手続要覧 第10章 新世代奉仕 より)

年齢30歳までの青少年すべてを含む新世代の多様なニーズを認識しつつ、より良い未来を確かなものとするために新世代の生活能力を高めることによって、新世代の将来への準備をさせることは、ロータリアン一人一人の責務である。すべてのクラブと地区は、健康、人間的価値、教育、自己開発といった新世代の基本的ニーズを支えるプロジェクトに取り組むよう奨励されている。

(ロータリー章典 新世代奉仕部門 より)

当地区としては、新世代青少年の健全な教育を目指して5つのプログラムが常設されています。

- ①ロータリー青少年交換
- ②ニコニコキャンプ
- ③インターアクト
- ④ローターアクト
- ⑤ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)

です。

永い歴史の中でロータリアンは、それぞれの地域で青少年の支援に力を注いできました。

R I戦略計画は5つの奉仕部門でバランスの取れた活動を行うことを目指しています。

その活動によっては、複数の部門に当てはまるものもありますが、新世代青少年奉仕は冒頭の手続要覧、ロータリー章典の引用部でも述べましたが、若者のためのロータリアンによる活動価値を認め、そうした活動をさらに広げるよう各クラブに奨励するものです。

その土台には「すべてのロータリアンには若い人々が抱えるさまざまなニーズを認識し、彼等の人間的・職業的成長を支援する責務がある」という考え方がありません。簡単に申し上げれば、すべての若者に色々なチャンスを我々が与えることです。

しかし、そのすばらしい活動の中で注意すべき点が多々あります。その一端として、手続要覧(P125から)に掲げられています。

- 青少年と接する際の行動規範に関する声明
- 虐待およびハラスメントの防止
- 青少年保護法の順守を怠った場合
- 青少年交換学生の国外旅行
- 新世代のための月間
- インターアクト
- ローターアクト
- ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)

以上のことが詳しく記されています。必ず一読下って、次の時代を担う若者たちが健全な社会人に、そして品位ある国際人に成長することをお手伝いし、我々も若者の模範となる常々の精神こそがロータリー人生と思います。

意義ある業績賞について

意義ある業績賞委員会 委員長

高島凱夫 (大阪中之島RC)



ロータリークラブの有意義で卓越したロータリー活動に対して、R I から「意義ある業績賞」が贈呈されます。そのために、各地区のガバナーは受賞クラブを選び、R I に選定を証明する手続きをとることになっています。地区レベルの競争であるため、また、その中から有意義なクラブ・プロジェクトを見極めるため、ガバナーが地区選考委員会を選出し、発表することが奨励されるとあります。本年度の第2660地区における選考基準及び手続きは次の通りです。(申請手続きについては2010年度「手続要覧」P105を参照)

■選考基準

本賞の受賞資格を有するのは、1つのクラブにより遂行された1件のクラブ・プロジェクトのみです。また、推薦できるのは、1地区につき1つのクラブのみです。既に意義ある業績賞を受賞したことのあるプロジェクトは、資格がありません。R I 意義ある業績賞に推薦するプロジェクトを選出する前に、以下の選考基準を満たしているかどうかをご確認ください。プロジェクトは以下を満たしていなければなりません。

- 地元地域社会の深刻な問題やニーズに取り組むものである (いかに意義あるものであっても、国際奉仕プロジェクトは本賞の受賞資格がありません)。
- 単なる金銭的奉仕ではなく、クラブ会員の大半または全員が、直接参加しているものである。
- クラブの規模、および利用可能な資源に釣り合ったものである。
- 地域社会におけるロータリーのイメージを向上させるものである。
- 他のロータリークラブの模範となりうるものである。
- 現在実施中、もしくは本賞が授与されるロータリー一年度中に完了するものである (ただし、現ロータリー一年度に開始されたものである必要はありません)。

■推奨推薦手続

以下は、意義ある業績賞を選考するにあたっての推奨選考手続です。

- 8月1日までに、本賞への応募の受理、および審査を行う地区選考委員会を地区ガバナーが選任し、告示する。地区ガバナーは、この委員会の職務上の委員となる。
- 地区ガバナーは、その月信で、選考基準(左記参照)と共に、この委員会に関する発表を行い、申請書を委員会委員長が受理する締切日を公示する。推薦書式は地区ガバナーから入手できるようにする。
- 地区選考委員会は、2月1日までに会合を開き、5つのプロジェクトまでを候補プロジェクトとして選び、これを3月1日までに届くよう地区ガバナーに提出する。
- 選考委員会が選んだ受賞候補プロジェクトの中から、地区ガバナーは地区選考委員会と協議の上、1つのプロジェクトを選定する。
- 地区ガバナーは、推薦するプロジェクトを、必要な書類と共に国際ロータリーに提出する。
- 提出締切日までに国際ロータリーが受理した推薦書式は、R I 選考委員会で審査される。締切日を過ぎて受理された推薦書式は、審査の対象とはならない。

当地区の本年度の「意義ある業績賞」の提出締切日は2014年1月31日(金)とします。

R I に提出後、正式決定されると認定状が送付されます。

その後、例年通りガバナーが地区大会でこの認定状を受賞クラブに贈呈して表彰いたします。

第1回 クラブ広報委員長会議 報告

広報委員会 委員長

岡村剛行 (大阪東RC)

去る、平成25年7月6日(土)午後2時より、本年度第1回広報委員長会議を、葉業年金会館にて開催しました。福家ガバナーをはじめ、ガバナー補佐の皆様、地区研修委員会の皆様、各クラブからは総勢80名ほどの広報委員長に出席いただきました。

本年度最初の土曜日であり、就任されたばかりの各クラブの広報委員長の皆様に、広報についてよく知って頂き、各クラブでの広報活動に活かして頂きたいというのが、本委員長会議の趣旨です。

まず、御来賓のご紹介の後、福家Gのご挨拶があり、その中で「感動の体験を!! 人々にも、自身にも」という地区方針に基づき、「広報活動」は、今年度の地区の5つの目標の1つでもあり、R1戦略計画の重点事項「公共イメージと認知度の向上」に関わるものであるということを強調されました。

次に、広報委員長である私より、今年度の広報委員会の活動について、ご紹介しました。内容の概略は、以下の通りです。

1. 各クラブの奉仕活動の紹介

- ①第2660地区ホームページを大幅改訂して、各クラブの奉仕活動をアップしやすくし、対外広報を活性化
- ②「ロータリーの友」地区代表委員と連携して、各クラブの奉仕活動の投稿を促進

2. クラブ広報委員長会議の開催

各クラブの広報体制の検討、意見募集



3. マスメディアを通じた広報

ラジオ番組・テレビCM

この中で、特に各クラブの奉仕活動を地区ホームページへアップすることと「ロータリーの友」へ積極的に投稿いただくことをお願いさせていただきました。地区ホームページにつきましては、私から、大幅改訂を行い、すでに対外コンテンツをトップページに掲載し、各クラブの奉仕活動を各クラブの広報委員長が直接アップできる仕組みを構築した旨をご説明いたしました。「ロータリーの友」については、鈴木代表委員から投稿促進についてご説明いただきました。

そして、その後は、ホームページを作成いただいたビジネスラボラトリーの内田様よりホームページ改訂の趣旨、奉仕活動の具体的なアップ方法について、レクチャーいただきました。そして休憩の後「奉仕活動の広報促進策について」のテーマでIMごとに分かれてバズセッションを行いました。

最後に、高島PGにご講評頂くとともに、泉GEに閉会のご挨拶を頂き、第1回広報委員長会議を終了しました。皆様、長時間熱心にご参加頂き、ありがとうございました。

次回のクラブ広報委員長会議は2014年1月18日を予定しております。皆様の奉仕活動の広報促進状況について、成果を発表していただく場にしたいと考えております。第2660地区の広報の充実のため、皆様、1年間どうぞよろしくお願い致します。



2013-2014年度 合同地区委員会 報告

地区代表幹事

山田正雄 (八尾中央RC)

新しい年度がスタートし、地区委員会のメンバーが一堂に会する「合同地区委員会」が7月20日に大阪YMCA会館にて開催されました。

開会に際し、福家Gから各地区委員諸氏に、委員受任の御礼と、地区活動へのご協力のお願いと、今年度の地区活動がスムーズに実施されることを要望されました。そして、今年度のRIテーマ「Engage Rotary Change Lives ~ ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」を語られました。そして地区方針として「感動の体験を!! 人々にも、自身にも~Participate~参加し、敢行しよう!!」と熱く語られました。

当日は、猛暑の中を14名のPG・泉GE、そして、AG・AGE全員にご出席いただきました。

災害支援プロジェクト委員長の高島直前Gから、今年度の活動方針について説明をいただき、前年度に引き続き支援への協力を訴えられました。

次に、地区会計の片岡委員長、G月信の吉本地区幹事、ロータリーの友地区代表委員の鈴木委員長から、説明と

お願いをさせていただき、吉村地区大会実行委員長から、2月21日・22日に開催されます地区大会のご案内とご参加のお願いをさせていただきました。

そして、今年度の地区委員会活動計画の発表と「地区チーム」としての意気込みを16名の委員長から発表していただきました。各委員会の活動計画をお互いに理解していただく機会になったことと思います。

地区代表幹事より、地区委員の皆様へ地区委員会の円滑な運営等についてのお願いを申し上げ、そして、大きく変動がありましたガバナー事務所のスタッフの紹介をいたしました。

最後に泉GEから、この合同委員会をこれからの地区活動に役立たせていただきたい旨の閉会御挨拶をいただき、すべてのプログラムを終了いたしました。

改めてご出席いただきました地区の役員、委員の皆様へ御礼申し上げ、地区活動にお力添えをいただきます様、お願い申し上げます。



2012-2013年度 世界平和フォーラム 参加報告

2012-2013年度
地区ローターアクト 幹事

高橋洋子

開催日時：2013年5月17日(金)~18日(土)

開催場所：広島国際会議場

ANAクラウンプラザホテル広島

主催：国際ロータリー

参加者：地区RA委員長 池田佳弘様
地区RA副委員長 永田大介様
地区RA委員 久保義誓様 丸尾照二様
RA地区役員7名、アクター22名、
ライラリアン(RA・OG)1名
(1日参加者、両日参加者含む)

2012-13年度の田中RI会長のテーマは 「奉仕を通じて平和を」

国際ロータリーはベルリン、ホノルル、広島の3都市で「2012-13ロータリー世界平和フォーラム」を開催し、平和について語り、未来のビジョンを考える、これからの未来への展望を考えることを目的として、また、ロータリアンや地域のリーダーとともに平和への決意を固めることを目的として行われました。

広島では、特に新世代に焦点を当て、ロータリアンとともに、平和への日常的な意識と行動に種火を点火し、次の時代に行動を引き継いでいく出発点とすることを目指し、新世代プログラムの参加者を交えて行われました。

ベルリン：国境のない平和 (Peace Without Borders)

ホノルル：平和にいたる緑の道

(The Green Path to Peace)

広島：平和はあなたからはじまる

(Peace Begins with You)

私たち一人ひとりが日々の生活や地域社会での活動で平和を推進することができるか、未来志向のこの会議では、一人ひとりが今後(何日、また何年にもわたり)どう貢献していけるかを、参加者に問いかけ、進行されていきました。

このフォーラムの中で、何度か出ていた言葉。『心が平

和でありますように』という言葉がとても印象的でした。すべての人たちの考えの中に平和を位置付け、日々作らないといけない平和、さまざまなプロセスを経ていく平和、心底から信じて平和を構築していく事が大切だというメッセージが伝えられました。

広島で開催された平和フォーラムでは、52カ国、約2,000名の参加者が集まり、盛大に開催されました。

開会式で、国際ロータリーの田中作次会長が「人の役に立つために何ができるかを考え、世界を少しずつ平和にしていこう」と挨拶されました。

基調講演では「国連憲章の制定にはロータリー会員が携わった。力を合わせ、平和を実現したい」と話されていました。また、広島県知事、広島市長、中国新聞社社長が、世界平和のため広島が担うべき役割を話し合うパネルディスカッションも行われました。

2日目全体フォーラムでは「平和はあなたから始まる」ロータリアンだけでなく、外部のゲストからも多くの貴重な講演を聞くことができました。

閉会式では「ひろしま平和宣言」、国連とRIとの記念品授受そして国際RI会長 田中作次氏による講評で無事閉会となりました。

広島という地域から改めて平和ということを考え直し、このフォーラムを通じて、平和について考えるきっかけとなりました。各自何かを感じ取って帰った実り多き一日になったことと思います。

また、フォーラムを通じて、他地区、他国の新世代と交流することができました。

ここからは私が参加した部門について記載します。

1日目 プレフォーラムワークショップ

テーマ：宗教・文化・生活習慣は平和を阻むのか？

コーディネーター：片野淳彦氏(札幌大学非常勤講師)

私が参加させて頂いたセッションでは「小樽」にある公衆浴場で実際に起こった事件「小樽温泉入浴拒否問題」をもとに、浴場経営者・日本人利用者・ロシア人利用者の立場を踏まえ、「サークルプロセス」という手法を用いて、ワークショップを行いました。

サークルプロセスとは、北米の先住民の伝統的な手法

を模した話し合いの方法で、参加者は輪になって集まり、互いの声にじっくりと耳を傾け合い、話し合うためのもので、参加や発言はすべて任意で、強制されることがありません。

マイクを持つ人だけが話す権利を持っており、マイクを持っていない人は一切の発言の権利がなく、マイクを持つ人の話をしっかりと聞きます。セッションを通じて、異なる世代・異なる国籍の異なる考えを持つ方々と国籍や世代の壁を取り払い議論することで、世界を身近に感じる一方で、日本社会が国際化に向け、多くの問題を抱えている事を実感しました。

課題を解決するためには固定概念にとらわれるのではなく、変化を恐れず相手を理解し、理解してもらい、互いに歩み寄ることが重要だと強く認識しました。

やはりコミュニケーションが大切で、お互いに文化や生活習慣等を紹介して理解し合い、相手を尊重して接することが大切であるとの結論になりました。

2日目は、ポール・ハリス・ランチョンセミナーとして軽食を取りながら、交流する場が設けられていました。

2日目 ポール・ハリス・ランチョンミーティング 東日本大震災「絆」の部屋

東日本大震災後の東北のその後、ロータリーの支援について話を聞きました。

ミーティングでは瓦礫撤去がおわったところだという現在の東北の現状、ボランティアの数の著しい減少等の現状が報告され、このまま被災地が忘れ去られていくのではないかという不安と、これから震災の地域に何が必要かと言うことを議題として話し合われました。

海外の参加者の中には、今回の震災で親を失った子供達、特に兄弟が離ればなれになって生活していくことが忍びないと、その子供達を養子として迎え入れたいといった言葉や、心のケアという観点から、新世代をこの夏被災地に連れて行き、地域の子供たちと交流し、被災地の子供たちの心のケアを行いたいと言った提案が出されました。

途中、田中作次RI会長が入ってこられショートスピーチと多額の寄付がなされました。



創立40周年記念式典 in 須賀川

高槻東RC
2012-2013年度 幹事

上場俊哉

東日本大震災以降、当クラブは継続的な被災地救援・復興支援に関し、福島県須賀川RCを窓口として行ってまいりました。

いくつかのプロジェクトをする中、須賀川RCは創立50周年で、是非とも一緒に創立記念式典を須賀川の地にて合同でさせていただきたいと無謀なお願いさせていただき、2013年5月19日、石井会長の熱い思いで「同じ式典費用を支払うなら須賀川へ行こう！」と須賀川市において友好親善と復興支援の一環として当クラブ創立40周年記念式典を須賀川RCとロータリー史上初の合同開催をいたしました。

5月18日には112名参加で母畑温泉八幡屋にて前夜祭、翌19日にはベルクィーンズにて230名のご参加を頂き、盛大な合同創立記念式典を敢行いたしました。式典前には、当クラブと須賀川RCとの姉妹クラブ締結式、当クラブと台北南徳RCとの姉妹クラブ締結式も実施され、橋本・須賀川市長様、矢野R1第2660地区ガバナー補佐様(茨木東RC)、神山・郡山RC会長様、児

島・高槻RC会長様からご祝辞を頂き、厳かで、和やかで、全員が笑顔の記念式典・祝賀会であったことが印象的でした。

翌20日には18組で合同記念コンペが宇津峰CCで開催され、創立50周年の大越会長が50位、創立40周年の石井会長が40位と言うのも、神様のいたずらに感心させられました。

東日本大震災以降2年が経ち、大阪では既に風化が相当進行しているように思えますが、まだまだ福島では東日本大震災被害、福島原発被害から1日たりと目を背けることは出来ません。この現実を一人でも多くの方にお伝えするのもロータリアンの責務ではないかと思えます。

この記念式典の大成功は、ひとえに須賀川RCのメンバー皆様の温かいご理解と友情の賜物で、深く敬意を表し、また感謝いたします。同時に、姉妹クラブとなり今後の友好親善と復興支援に当クラブは、邁進していくことをお約束いたします。



2013-14年度 ロータリー財団情報

ロータリー財団委員長

溝畑正信 (東大阪東RC)

平素はロータリー財団に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年度に引き続いて地区財団委員長を仰せつかっております。2013年7月より全世界で導入されましたロータリー財団の新補助金制度(未来の夢)、財団プログラムへの参加、寄付増進に一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

ロン D. バートンRI 会長のメッセージ

ロータリーは今、その歴史に残る変革の時期を迎えています。ポリオ撲滅がまた一歩実現に近づき、ロータリー史の一章が幕を閉じようとしているのと同時に、未来の夢の全面導入は、新たな一章の幕開けを告げるものです。

ロータリーの新しい補助金モデルは、ロータリーの強みをさらに高いレベルへと引き上げるものです。ロータリアンが最も効果的な方法で人々を支援すると同時に、奉仕の方法を柔軟に選ぶことができます。従来の奉仕の方法から大きく転換するため、すべてのロータリアンが変化の内容を理解し、その恩恵を受け、ロータリー財団のリソースを最大限に活用できるよう支援することが、皆さまロータリー・リーダーの責務の一つとなります。

李 東建 2013-14年度ロータリー財団管理委員長は財団目標を、①ポリオ撲滅を撲滅し、ポリオのない世界という夢をかたちにする。②新しい補助金モデルの導入を成功させ、画期的な未来の夢計画を全世界で実施する。③より公平で平和な世界を築くため、革新的なプロジェクトと創造的なパートナーシップに参加する。④年次基金、恒久基金、ポリオ・プラス基金を支援して、ロータリー財団が自分たちの財団であるという自覚と誇りを築く。"としており、この目標の達成を目指しましょう。

寄付と認証

ポール・ハリス・ソサエティは、毎年1,000ドルを年次基金、ポリオ・プラス、財団が承認した補助金に個人として寄付するロータリアンやロータリー財団の支援者を認証するプログラムです。管理委員会が2013年7月からロータリー財団の公式認証プログラムになることを決定しました。2013-14年度地区ガバナーは、この認証プログラム推進のため新たに地区ポール・ハリス・ソサエティ・コーディネーターを任命しました。ご協力よろしくようお願い申し上げます。

ポリオ・プラス

ロータリーとビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団は、リスボンで開催されたロータリー国際大会において、ポリオ撲滅活動を支援するパートナーシップの拡大を発表しました。この新しいパートナーシップでは、2018年までの5年間、ロータリーがポリオ撲滅に寄せる寄付に対して、ゲイツ財団が2倍の額を上乗せすることとな

ります(年間3,500万ドルまで)。これにより、最高で5億ドル(約500億円)の資金確保も可能となります。

【ポリオ症例数】2013年7月30日現在のポリオ症例数です。

	2013年1月1日~7月30日	2012年
アフガニスタン	3	37
パキスタン	22	58
ナイジェリア	40	122
ポリオ常在国以外	105	6
世界合計	170	223

2013年7月30日現在のポリオ症例数です。現在、ポリオ常在国はアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3カ国です。

ソマリアとケニアで野生種のポリオの発生が確認されたため、両国と隣国では感染の拡大を防ぐため大規模な予防活動がおこなわれるなどの緊急の措置が取られています。

ロータリー財団地域セミナー (Zone 1.2.3)

7月2日(火)、東京で「ロータリー財団地域セミナー」が開催され、全国から約300名が参加しました。今回のセミナーでは、規定審議会や広島平和フォーラムの報告、ポリオの現状、新しく発行されることになったロータリービジネスカードの概要、また、国際基督教大学で学んでいるロータリー平和フェローが作成したビデオの上映など多岐にわたるものとなりました。

第2570地区推薦の第8期ロータリー平和フェローで、パレスチナ紛争地域において活動している金子由佳さんは、ロータリー平和センタープログラムについて「様々な国、立場で国際協力に従事していた人達がロータリー平和フェローの名のもとに集まり、勉強や活動を通じて交流することで、卒業後の実践的なネットワークの構築につながります。個々のフェロー達が、ネットワークで結ばれることにより、平和構築関連事業における適材適所のアプローチ、包括的視点に基づくアプローチが可能となります。」と述べ、このプログラムへの支援について深い感謝の言葉を伝えました。

ロータリーカード

ロータリーカードに「ビジネスカード」が誕生しました。これにより「ゴールド」と「スタンダード」を加えた合計3種類のロータリーカードから目的に応じた利用方法をお選び頂けます。法人代表者向けのビジネスカードは最大20枚までの発行が可能となり、利用可能額も発行カード毎に設定できます。利用金額の0.5%と年会費3,150円(税込)のうち1,500円が自動的にロータリー財団に寄付されます。ビジネスカードを利用して会社の経費を決済するたびにロータリー財団へも貢献することができます。新規入会者1名(メンバー会員含む)につき、1,000円が地区の年次基金となります。是非「ビジネスカード」をお申込みください。

災害支援プロジェクト報告 (第27回)

災害支援プロジェクト委員長

高島凱夫 (大阪中之島RC)

1. 災害支援プロジェクト寄付送金口座

りそな銀行 大阪営業部 普通 1527285

口座名義：第2660災害支援 会計 片岡基博

(ダイニロクゼロサイガイシエン カイケイ カタオカモトヒロ)

2. 災害支援地区基金の状況 (2013年8月19日現在)

【収 入】

(単位:円)

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備 考
1	前年度からの繰越	1,211,870	
2	大阪RC	100,000	インド支援金
3	大東中央RC	20,000	インド支援金
4	香里園RC	10,000	インド支援金
5	大阪帝塚山RC	9,764	募金箱寄付(基金)
6	門真RC	27,000	インド支援金
7	大阪フレンドRC	30,000	インド支援金
8	守ロイブニングRC	28,000	インド支援金
9	八尾中央RC	50,000	基金
10	大阪うつぼRC	27,200	インド支援金
11	東大阪東RC	100,000	基金
12	大阪難波RC	59,060	基金
13	東大阪東RC	34,000	インド支援金
14	利息	4	
15	大阪南西RC	30,000	基金
16	東大阪みどりRC	60,000	基金
17	交野RC	50,000	基金
	合 計	1,846,898	

【残 高】

(単位:円)

預金残高	1,846,898	2013年 8月19日現在
------	-----------	---------------

※ 前月報告時残高(1,202,890円)以降に、下記出入金がありました。

- ① 大阪城南RCより 11,480円 入金(基金)
- ② 利息 200円 入金
- ③ 口座管理手数料 2,100円 出金
- ④ 次年度口座への振替手数料 600円 出金

よって、前年度からの繰越額は 1,211,870円となります。

2013年7月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初	7月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
		会員数	全員	女性						
I M 第1組	池田	37	37	2	0	0	0	5	73.17	69.71
	池田くれは	28	28	1	0	0	0	4	87.44	86.30
	箕面	25	25	1	0	0	0	4	88.25	81.10
	箕面千里中央	21	21	0	0	0	0	4	82.90	79.78
	豊中	45	46	4	1	0	1	4	84.16	72.76
	豊中南	28	29	2	1	0	1	4	81.65	78.51
	豊中-大阪国際空港	20	20	0	0	0	0	4	69.74	67.11
	豊中千里	39	39	3	0	0	0	4	76.92	74.89
	小計	243	245	13	2	0	2		80.53	76.27
	I M 第2組	茨木	25	25	3	0	0	0	5	94.14
茨木東		39	41	4	2	0	2	4	83.69	73.89
茨木西		28	28	6	0	0	0	4	92.86	83.04
千里		38	38	0	0	0	0	4	88.81	81.80
千里メイプル		22	22	2	0	0	0	4	94.05	88.10
摂津		37	37	2	0	0	0	4	92.54	75.85
吹田		60	62	10	2	0	2	4	94.76	88.26
吹田江坂		34	34	2	0	0	0	4	96.75	88.66
吹田西		47	47	2	0	0	0	4	100.00	89.40
高槻		51	51	6	0	0	0	4	89.81	85.72
高槻東	36	36	1	0	0	0	4	96.95	91.87	
高槻西	20	20	0	0	0	0	4	97.50	86.25	
小計	437	441	38	4	0	4		93.49	85.00	
I M 第3組	大東	42	42	0	0	0	0	5	99.50	94.52
	大東中央	28	28	11	0	0	0	5	75.01	70.36
	枚方	40	42	0	2	0	2	5	82.61	77.75
	門真	30	32	6	3	1	2	4	83.60	75.00
	交野	32	32	1	0	0	0	4	84.73	77.52
	香里園	15	15	0	0	0	0	4	90.00	83.34
	くずは	52	53	0	1	0	1	5	75.71	72.00
	守口	42	42	4	0	0	0	4	89.53	81.45
	守口イブニング	27	27	4	0	0	0	4	91.67	82.41
	寝屋川	42	42	5	0	0	0	4	99.41	84.52
四條畷	12	12	0	0	0	0	4	95.46	95.46	
小計	362	367	31	6	1	5		87.93	81.30	
I M 第4組	東大阪	70	71	0	1	0	1	4	92.84	82.56
	東大阪中央	33	33	0	0	0	0	4	91.31	91.31
	東大阪東	55	55	3	0	0	0	4	93.93	82.74
	東大阪みどり	30	30	1	0	0	0	4	88.33	73.33
	東大阪西	31	31	0	0	0	0	4	97.14	75.98
	大阪柏原	30	30	2	0	0	0	5	84.83	80.56
	大阪ネクスト	19	19	8	0	0	0	4	67.10	50.00
	八尾	60	60	0	1	1	0	5	80.22	79.48
	八尾中央	16	17	1	1	0	1	5	89.98	87.63
	八尾東	26	26	1	0	0	0	4	75.00	64.87
小計	370	372	16	3	1	2		86.07	76.85	

I M 組	クラブ名	7月期初	7月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
		会員数	全員	女性						
I M 第5組	大阪中央	46	49	5	3	0	3	4	93.37	77.19
	大阪堂島	28	30	1	2	0	2	4	88.79	81.03
	大阪北	197	197	0	0	0	0	5	77.99	66.55
	大阪北梅田	50	50	3	0	0	0	4	77.16	69.04
	大阪西	75	75	0	0	0	0	4	89.01	85.02
	大阪大淀	36	36	0	0	0	0	4	93.28	79.85
	大阪リバーサイド	34	36	7	2	0	2	4	96.15	80.73
	大阪西北	49	51	0	2	0	2	4	91.37	84.19
	大阪そねざき	35	35	22	0	0	0	5	97.65	85.92
	大阪梅田	25	24	1	0	1	-1	4	82.05	72.06
大阪梅田東	25	27	0	2	0	2	4	96.96	70.71	
大阪ユニバーサルシティ	32	32	5	0	0	0	4	90.83	82.50	
小計	632	642	44	11	1	10		89.55	77.90	
I M 第6組	大阪	257	259	1	2	0	2	4	75.19	61.13
	大阪東	117	116	0	1	2	-1	4	93.25	77.42
	大阪東淀ちゃやまち	30	30	3	0	0	0	4	77.27	72.73
	大阪城東	43	43	5	0	0	0	4	93.20	86.94
	大阪中之島	27	27	1	0	0	0	4	90.73	76.84
	大阪大手前	35	36	4	1	0	1	4	84.85	78.72
	大阪城北	49	49	3	0	0	0	5	80.26	78.52
	大阪天満橋	68	68	0	1	1	0	4	84.61	80.50
	大阪鶴見	32	32	0	0	0	0	5	88.46	84.61
	大阪淀川	28	28	3	1	1	0	4	94.47	84.88
新大阪	32	34	1	2	0	2	4	91.18	87.50	
小計	718	722	21	8	4	4		86.68	79.07	
I M 第7組	大阪フレンド	25	25	3	0	0	0	5	94.37	71.63
	大阪御堂筋本町	61	61	4	0	0	0	4	84.71	79.43
	大阪南	144	151	0	7	0	7	5	88.89	76.31
	大阪難波	46	46	0	0	0	0	4	94.79	85.54
	大阪なにわ	25	26	3	1	0	1	4	93.83	86.74
	大阪南西	15	15	3	0	0	0	4	83.50	83.50
	大阪西南	98	98	19	0	0	0	4	94.50	75.92
	大阪船場	39	39	0	0	0	0	4	91.00	83.75
	大阪心斎橋	33	33	0	0	0	0	4	96.21	86.93
	大阪うつぼ	33	34	4	1	0	1	5	94.49	82.00
小計	519	528	36	9	0	9		91.63	81.18	
I M 第8組	大阪平野	32	32	3	0	0	0	4	100.00	87.06
	大阪イブニング	14	14	3	0	0	0	3	88.10	71.43
	大阪城南	53	55	0	2	0	2	4	100.00	90.77
	大阪咲洲	18	18	1	0	0	0	5	86.66	76.66
	大阪天王寺	56	57	0	1	0	1	4	88.99	81.37
	大阪帝塚山	53	55	4	2	0	2	5	76.09	73.44
	大阪東南	50	50	0	0	0	0	5	94.00	64.80
	大阪アーバン	23	23	7	0	0	0	4	76.09	75.00
	大阪みおつくし	34	34	17	0	0	0	4	66.92	65.44
	小計	333	338	35	5	0	5		86.32	76.22

合計	クラブ名	7月期初 会員数	月末会員 数	女性 会員	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均出席率	ホームクラブ 平均出席率
	83	3614	3655	234	48	7	41	87.8	79.2

文庫通信 (311号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演他より

- 「ロータリーの奉仕と平和」
朴柱寅 2012 9p (D.2790 地区大会記念誌)
- 「国際ロータリー長期計画について」
南園義一 2013 7p (『ロータリーの友』と共に)
- 「国際ロータリー 2013年規定審議会提出立法案採決結果一覧表」
加藤玄静 2013 13p (国際ロータリー 2013年規定審議会報告書)
- 「会員増強をうながす職業奉仕」
田中毅 2013 11p (D.2680 地区研修セミナー講演集)
- 「国際情勢とロータリーの役割」
羽賀友信 2013 2p (D.2560 地区大会記録)
- 「ロータリーは宗教か」
進保政 2013 2p (D.2720月信)
- 「初期ロータリー外史」
鈴木宏 2013 12p (D.2550 月信)
- 「『素晴らしいロータリーへの再生』のために『クラブの活性化』を」
山下皓三 2013 3p (D.2730 月信)
- 「再びロータリーとは」
石丸鐵太郎 2013 2p (D.2680 月信)

[以上申込先：ロータリー文庫]

- 「DVD/国際ロータリーの進化とその原点～家庭集会(炉辺会合)の一助に」
講師：重田政信 高崎北RC 2013

[申込先：高崎北RC TEL (027) 330-6060]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

谷 口 俊 文 会 員 (八 尾 R C)

2013年 7月20日 逝去 (享年73歳)
理事、国際奉仕委員長、
米山功労者
ポール・ハリス・フェロー

中 塚 一 郎 会 員 (門 真 R C)

2013年 7月29日 逝去 (享年83歳)
会長、幹事、社会奉仕委員長、
国際奉仕委員長、30周年記念事業委員長 他
ポール・ハリス・フェロー

山 浦 荘 平 会 員 (大 阪 北 R C)

2013年 8月10日 逝去 (享年82歳)
副会長、友好委員長、SAA、
ロータリー財団委員長、プログラム委員長
米山功労者 (マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

お知らせ

■ ホームページ開設

東大阪みどりロータリークラブ
<http://www.george24.com/~midorirc/>

■ メールアドレス変更

寝屋川ロータリークラブ
jimukyoku@neyagawa-rc.net

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 福家 宏
- 地区代表幹事 山田 正雄
- 地区副代表幹事 中井 敬和
- 担当地区幹事 吉本 憲司
- 担当地区幹事 山本与志弥
- 事務局長 栗正 久美

2013—2014年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー 福家 宏
地区代表幹事 山田 正雄
地区副代表幹事 中井 敬和
事務局長 栗正 久美
事務局員 春名 志保
奥田 純子
井上 望美

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

<http://www.ri2660.gr.jp/>

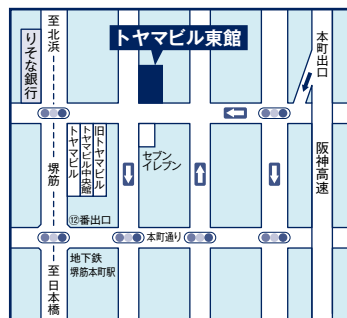
●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日

年末年始
2013年12月28日(土)~
2014年1月5日(日)



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 12番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー 第2660地区

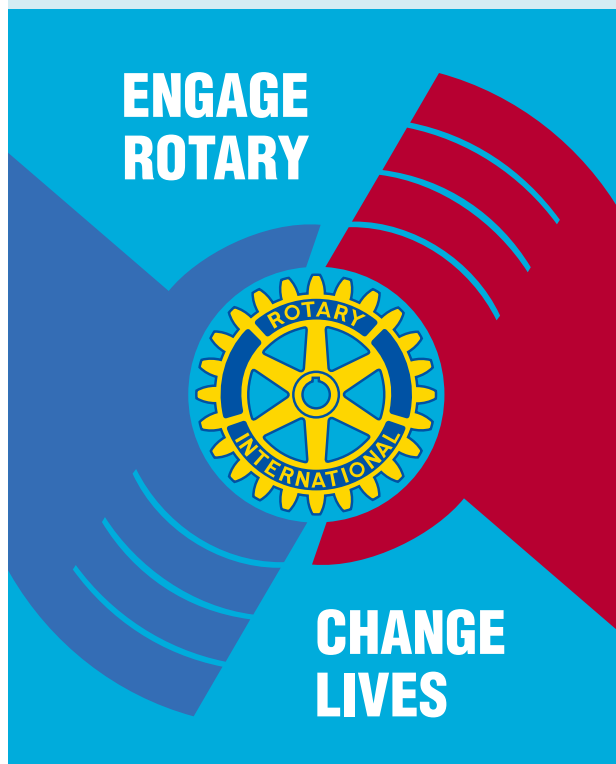
〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan
TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

2013 – 2014
October
vol. 4

10



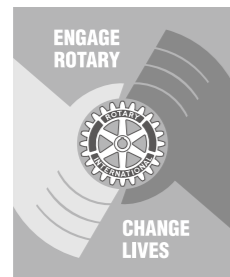
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信10月号

国際ロータリー 第2660地区
2013–2014年度ガバナー

福家 宏



2013-2014 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER October vol.4

CONTENTS

ガバナーメッセージ（職業奉仕月間／米山月間）	1
職業奉仕月間によせて	3
米山月間によせて	4
クラブ国際奉仕委員長会議 報告	5
クラブ社会奉仕委員長会議 報告	6
少年少女ニコニコキャンプ 報告	7
インターアクト海外研修 報告	8
米山奨学委員会 大学／地区意見交換会	10
米山奨学委員長およびカウンセラー研修会 報告	11
ガバナー補佐からのメッセージ	13
我がクラブの目指すところ（IM第1組）	14
災害支援プロジェクト報告（第28回）	18
地区ロータリー財団セミナー報告／ロータリー財団情報	20
米山奨学委員会／ロータリー財団	23
2013年8月度 会員数・出席報告	25
文庫通信	26
敬弔／お知らせ	27

職業奉仕および米山月間

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

福家 宏



職業奉仕月間

先ずこれより記載する内容は、RIの「職業奉仕入門」の抜粋であります。

「ロータリーの目的」は、ロータリーの存在目的とロータリアンの責務について記した哲学的な声明です。職業奉仕はその第2項を土台としています。即ち「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする」と第2項です。この項でロータリアンは次のことを奨励し育てることが求められています。

- 職業上の高い倫理基準
- 役立つ仕事は全て価値あるものという認識
- 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする

そして職業奉仕はどのように実践できるのでしょうか。いくつかの方法があります。

- 例会で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学び合う
- 地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを生かす
- 高潔の精神で仕事に取り組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促す
- 若者のキャリア目標を支援する
- 専門能力の開発を奨励し、指導する

職業奉仕に意欲と熱意を感じる人にとって、ロータリーほどその実践にふさわしい場はありません。職業奉仕はロータリーの真髄であり、ロータリーをほかの団体と分かつ要素でもあります。（以上が抜粋です）この短い説明の中には、私たちが学ぶべき大切なことが濃密に盛り込まれていると思います。

職業奉仕はロータリアンのすべての活動の根幹をなすものだと思います。私の仲間のある医師（ロータリアン）が職業奉仕月間にこんなことを言いました。「私は患者さんの立場に立って、患者さんを自分の家族のように思って日々診療をつづけているけれど、職業奉仕など難

しいことを言わなくても、それでいいのではないかな」私は正しくそれは立派な職業奉仕だと返事を致しました。この医師はこのような形で職業奉仕を実践しているのです。しかしこれは職業奉仕の一つの姿に過ぎません。職業奉仕活動を実践するとすれば、やはり、他者への働きかけも必要かと思われます。それが上述の「職業奉仕の実践」です。これにはロータリーならではの活動方法が示されていると思います。

今年度から「未来の夢計画」FVP:Future Vision Planが始まりました。新しくVTT: Vocational Training Teamというプログラムが提供されています。これまでのGSEとは異なり、交換は必須では無くなりました。VTT（職業研修チーム）は、実地参加を通じて職業奉仕の機会を提供しています。これなどは「職業奉仕活動」の典型的なものだと思われます。ただし、このプログラムの実践はそれほど容易では無いのが残念であります。

米山月間

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、外国人留学生を支援する、国内では民間最大の奨学団体です。

目的：将来母国と日本の懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することです。

規模：米山奨学生の採用数は年間800人で事業規模・採用数ともに民間では国内最大です。

特色：奨学金による経済的支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援が特色です。

さて当地区は今年度米山奨学事業への特別寄付は3万円という目標を掲げました。

何故3万円に増額されるのかについて、皆様のご理解を頂きたいと存じます。（以下西谷雅之地区米山奨学委員長の文書を拝借致します）

この国際奨学事業は1952年、米山梅吉氏の功績を記念して始まりました。戦後の復興の途上にあった当時の日本にとって、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために世界の国々との人物交流を深める必要性を多くの人

が感じていた時代背景のもと、ロータリー米山記念奨学事業は「留学生が平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築く」ことを目的として始められ、『日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業』と高く評価され全国に拡大し、国際ロータリーが認める日本で唯一の日本の全ての地区が関わる「他地区合同活動」となり、日本最大の民間国際奨学事業として現在に至っております。

しかしながら、奨学生の採用数を見ると2005年にそれまでの1,000名から800名に削減、特別積立財産を取り崩して2012年度採用までの8年間800名を維持してまいりましたが、2013年度採用より更に100名削減の700名となっているのが現状です。

当RI第2660地区に目を向けますと、2008年には42名の採用と地区全クラブ数の約半分のクラブに奨学生を送りこむ事ができる採用数を割り当てられておりましたが、2013年度は新規採用28名と継続奨学生10名の38名となっております。

採用奨学生の中で最も多いのは大学院生で、月140,

000円の支給を受けていますので、それをもとに試算いたしますと、

奨学生1人にかかる

年間の費用 140,000/月×12か月=1,680,000

全84クラブで必要となる年間の費用

1,680,000/人×84クラブ=141,120,000

当地区ロータリアンの数を3,700名としてお1人当たりにお願ひしたい年間寄付額 $141,120,000 \div 3,700 \text{名} \approx 38,141 \text{円}$ となります。(以上西谷委員長の文書を拝借致しました)

これが、特別寄付目標額3万円の根拠です。詳しくは当地区G月信8月号に、西谷雅之地区米山奨学委員長が投稿されておりますので、これをお読み頂きたいと思ひます。

世界に誇る米山奨学事業がすたれることの無いように、皆様のご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

職業奉仕月間によせて 今こそ実践

職業奉仕委員会 委員長

岡本雄介 (大阪大手前RC)



「職業奉仕」とは「奉仕の理想」とは、「なんのためにロータリークラブにはいるのか」など疑問に感じられたことはありませんか。私は特に地区職業奉仕委員長を拝命してからそのように感じられることが多くなりました。自分が行動するとき、常にその成果や自分の得るもの、学ぶもの、相手にもたらす影響などを先に想像してしまいます。

私は建築業ですが、自分の仕事上では私たちが建築した建物でお客様が幸せに生活していただくことを願ってやっていると、紆余曲折があったとしても最終的には喜んでいただけると確信を持って仕事に臨めます。ロータリーの職業奉仕という理念に対してはまだその感覚にはなれませんでした。それを払拭してくれたのが今年度地区職業奉仕委員会に出向してくれたある委員の話でした。

自分のクラブの職業奉仕委員長の時に出席授業を企画して、初めて実施されたそうですが、ご本人も職業奉仕についてはそれほど理解していなかったとのことですが、出席授業を終わって初めて「職業奉仕」について感

ずるものがあったとのことでした。「そしてやってよかった」という思いも一入だったと…。

先日昨年度の地区職業奉仕委員長とお話する機会がありました。ロータリーも仕事もバリバリされています。「職業奉仕に対して何か答えを持っておられますか？」とお聞きすると、「とにかくたくさん奉仕して、すればするほどそこから力をもらえるんですよ。そしてそのパワーを自分の仕事に注いでいるんです」とおっしゃいました。今一番自分の納得できる答えでした。悩むより実践だと痛感いたしました。

今年度は前年度委員長が作成された「職業奉仕に関するパワーポイントの資料」を各クラブの委員長さんにお配りしました。卓話やフォーラムに是非ご活用いただきたいと思ひます。また出席授業・職場体験学習を実践しやすいように地区委員会で資料を作成し、情報提供させていただきます。

福家ガバナーの方針は「参加し、敢行しよう」です。今年度は各クラブで職業奉仕に関する事業を是非実践に向け動き出す時です！

米山月間によせて なぜ米山奨学事業なのか

米山奨学委員会 委員長

西谷雅之 (大阪城南RC)



「日本が第2次世界大戦に向かって突き進んでいかなければならなかったのは日本の味方をしてくれる友好国が無かったから」

これは中学3年生の時の歴史の先生の言葉です。明治維新を成し遂げ近代化・西洋化の道を歩んだ日本。眠れる獅子と呼ばれた清に勝利し、世界最強と言われたバルチック艦隊をも破った極東の小さな島国日本は当時の列強と言われる国々の目にはどの様に映ったのか、列強に追い付け追い越せという過程で友好国を作る努力を怠った日本はやがてその包囲網から国際連盟を脱退するしか道が無くなって行く、その時止めてくれる国や諒めてくれる国、また仲を取り持ってくれる国が無かった事が日本の不幸ではなかっただろうか？先生はそう仰いました。それから20年、私はロータリークラブと言う場でその言葉を思い出す事になりました。

「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ、日本のロータリーに

最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか」奨学事業の構想が立案されたのが終戦の7年後、そしてその5年後に全国組織となるロータリー米山奨学委員会が結成されました。上記の言葉は当時の日本のロータリアンの偽らざる気持であったと思います。

さて、今年は米山基金の募金が開始されて60年目になります。人生で言えば還暦を迎えた米山記念奨学会はここ数年その体力が下降傾向にあります。1000人規模であった奨学生数は800人となり今年度から700人になりました。この60年の間にバブルの崩壊など日本と言う国の体力低下、それに伴う日本のロータリーの体力低下は有るでしょう。しかし、奨学制度設立当時の日本のロータリアンの心まで低下させてはならないと思います。

是非奨学事業の使命・意義を再確認し、構想立案当時の時代背景やロータリアンの心に想いを馳せて頂きまして、米山奨学事業へのさらなるご理解ご協力をお願いいたします。

クラブ国際奉仕委員長会議 報告

国際奉仕委員会 委員長

栗原 大 (大阪フレンドRC)

8月3日に第1回クラブ国際奉仕委員長会議を開催させて頂きました。各クラブの国際奉仕委員長総勢100以上の皆様に出席頂き無事終了できる事ができました。心より御礼申し上げます

【福家Gから開会のご挨拶】

第2660地区の各クラブの活発な国際奉仕活動に、さらなる今年度も活動を期待されました。また今年度から新しく始まるFVPについては、資金力に難易度が高いプロジェクトについても有効に活用できるシステムである事を話されました

【国際奉仕委員会 委員長 栗原 大の今年度の国際奉仕活動について】

今年度、地区国際奉仕委員は10名の委員で構成されております。各IMごとに担当を決めており、国際奉仕活動についてご質問・ご相談ございましたら、担当メールにて頂ければご回答差し上げたいと思います。世界社会奉仕に変わる呼称について今年度当地区は国際奉仕プロジェクト、また基金については国際奉仕基金と変更になっております。またアンケート実施につき、当地区の国際奉仕活動をクラブ単位で確認してもらうことにより、IM内・近隣クラブ同士の共有資料にして頂き、まだ国際奉仕プロジェクトが未計画なクラブ様には出来るだけクラブ同士でプロジェクトへ参加を促していただきたいと考えます。地区内のすべてのクラブ様

が国際奉仕プロジェクトに携わっていることを今年度の目標とし地区国際奉仕委員会としては精一杯ご協力させて頂きます。最後に今年度は新しい補助金システムが始まりますが、随時情報源を分かりやすくお報告したいと考えています。是非、地区発行の地区国際奉仕ニュースレターを会長・幹事・国際奉仕委員長に、ご確認頂ければと思います。

【地区財団補助金小委員会 地区補助金 グローバル補助金担当グループ 四宮孝郎リーダーからのロータリー財団の補助金について】

ロータリー財団の補助金の概要説明および申請要件についてお話がありました。地区補助金については前年度からの計画の必要性そしてグローバル補助金については期限はございませんが、プロジェクトの立案について授与と受諾の条件・補助金管理の手引きをよく理解し計画する必要性がありますが、新しい補助金システムを貴クラブのプロジェクトに有効に活用して頂きたいと話されました。

【泉博朗GEからの講評】

第2660地区各クラブの活発な国際奉仕活動に、さらなる今年度も活動を願っております。

【国際奉仕部門 顧問 横山守雄PGから閉会のご挨拶】

各クラブが大小かわかわらず国際奉仕活動を活発に実施されることを期待します。



クラブ社会奉仕委員長会議 報告

社会奉仕委員会 委員長

西宮富夫 (箕面RC)

2013年8月10日(土) 2時より、葉業年金会館にて第1回クラブ社会奉仕委員長会議を開催し、成功裏に終了いたしましたことをご報告いたします。

まず、福家 宏ガバナーより、各クラブは毎年単年度で完了する社会奉仕プロジェクトを実施することが義務付けられていることなどご参加の社会奉仕委員長の皆様を激励するご挨拶をいただきました。

次に、国土交通省近畿地方整備局大和川河川事務所の井上貴嗣河川環境課長より、ワースト1と言われた大和川にアユが遡上するほどに水質改善が進んだことについてご講演をいただきました。昭和38年には大和川は泳げたが、昭和45年には日本で水質ワースト1となり、その後水質改善を進めてきたが、平成17年からは流域住民が一斉に生活排水対策を実施することでようやく環境基準BOD 5mg/ℓをクリアできるようになったとのこと。

環境省の報告書によると、アジア各国では都市化によって河川の汚濁がかっての大和川同様深刻な問題となっているようです。ロータリアンができることは大和川で実施された「流域住民が一斉に生活排水対策を実施する手法」を海外に紹介することと思われました。

次に大阪府健康医療部薬務課麻薬毒劇物グループの

藤川博之総括主査より、大阪府の薬物乱用防止についてご講演をいただき、大阪府の薬物事犯は増加傾向にあって憂慮すべき状況であり、しかも青年層に乱用が広がっているとの報告がありました。大阪府としては「正しい知識」「手を出さないこと」などをキャンペーン等の啓発活動を通じて訴えることや学校での薬物乱用防止教室、地域での講習会の開催などを推進しているとのことでした。

また、地区補助金小委員会宮里唯子委員長より、地区補助金の申請と管理について各種注意事項のご説明をいただきました。今年は地区補助金申請締切が5月末とのことですが、2月にはMOU提出による補助金申請資格認定もあり、全クラブに参加してほしいとのことでした。

最後に、泉 博朗ガバナーエレクトから社会奉仕委員長がクラブの奉仕活動の主役であり、毎日の暮らしの中でやりたいと思うことがあればひやっしてほしいとの激励がありました。また、大阪府赤十字血液センターの「血液事業の現状と今後の献血活動の取組み」に関する資料について、献血はロータリーの重要な社会奉仕活動と考えていますとのコメントがありました。



少年少女ニコニコキャンプ報告

青少年活動委員会 委員長

西本健二 (吹田江坂RC)

2013~2014年度少年少女ニコニコキャンプは「夏だ！わいわい友達と思いつくろう！」をテーマに、8月2日から4日まで大阪府泉南市の紀泉わいわい村におきまして2泊3日のプログラムで実施いたしました。

まずはこのプログラムの準備、運営で大変ご苦労頂きましたホストクラブの大阪北RCの皆様へ厚く御礼申し上げます。また同じく大阪北RCの皆様を中心とする多くのローターアクターの皆様本当にお疲れ様でした。常にローターアクターの良き相談相手になり縁の下で支えていただいたチームライラの皆さんにも感謝いたします。

今回の参加人数は児童76名、ローターアクター54名、そしてロータリアンの登録は539名頂きました。このプログラムは地区内各クラブの皆様よりの児童の推薦及び登録なくしては成り立たちません。多くのご登録に対して感謝申し上げます。

さて今年の少年少女ニコニコキャンプの内容を簡単にご紹介いたします。

ゲームもない、テレビもない、携帯電話もない、クーラーもないし冷蔵庫もない。クワガタやカブトムシ、ムカ

デやクモまで色々な昆虫や沢山のかえる、そんな環境での3日間のキャンプでした。

朝ごはんは、子供たちがかまどや七輪を使って作り、五右衛門風呂も体験いたしました。昔の日本の暮らしを通して感じるものがあったと思います。また恒例のキャンプファイヤー、カレー作りを通して自分一人では何もできない、友達の大切さを実感したことでしょう。

ニコニコキャンプの目的は二つあり、一つは子供たちが友情や連帯や心の豊かさを養い、自然に対する畏敬の念を持つことであり、もう一つはローターアクターのリーダーシップ研修の場でもあります。今回の少年少女ニコニコキャンプは以上二つの目的を十分に達成したと思います。加えまして子供たちの言動、表情は実に正直で可愛いものでした。

あらためて子供たちと接することで、子供たちの将来に思いをはせロータリーの青少年奉仕の大切さを再認識いたしました。このプログラムは当地区オリジナルのものですが、来年以降も新たなホストクラブ様のもと、さらに発展する事を切望いたしますとともにロータリアン各位の一層のご協力をお願い申し上げます。



インターアクト海外研修報告

インターアクト委員会 委員長

松井隆雄 (大阪天王寺RC)

本年度の海外研修は8月4日～8日まで現地3泊5日の行程でRⅠ第3350地区タイ・バンコクを訪問しました。

参加者は6校(清風・相愛・金光八尾・四天王寺・浪速・大阪桐蔭)のインターアクター30名、顧問の先生7名、ロータリアン13名、ガバナー事務所事務局長、看護師、合計52名。当地は昨年度に第2660地区のローターアクト28名が海外研修で訪問したところでもあります。

第1日目

関西国際空港4階特別会議室で結団式(出発式)を行いました。早朝から福家ガバナー・泉ガバナーエレクト・IM8組の新見ガバナー補佐ご夫妻にご臨席頂き、また多数の提唱クラブ(大阪南・大阪・八尾・大阪天王寺・大阪帝塚山・大東)のロータリアンと保護者の皆様が見送りに来て頂きました。

福家ガバナーの挨拶の中で「可愛い犬が近づいて来ても、手を出さないように、注意して下さい。噛まれると狂犬病になり大事になります」との言葉は現地で全員が犬に敏感に反応していたのが印象的でありました。

日頃6校のインターアクトクラブは個別に奉仕活動をしています海外研修はインターアクター全員が一致団結して行動することを誓い、タイ・バンコクへ向け出発しました。Suvarnabhumi(スワンナプーム)国際空港に到着すると、RⅠ第3350地区のPP(直前会長)Boonlert kidsomkiatさん、Assistant Governor(ガバナー補佐)Somboonさんら多数のロータリアンに出迎えられました。

空港から約40分間バスに乗り宿泊先のザ・ツインタワーズ・ホテルバンコクに到着、チェックイン後小休止をして再び専用バスでタイ古典舞踊のディナーショーを見るためSILOMVILAG(シーロンビレッジ)に行き、そこでタイ料理の食事をした後、ホテルに戻り、河内音頭のリハーサルをしました。

第2日目

エメラルド寺院・王宮見学後、交流会の会場であるSrivikorn Highschool(シリビヨンハイスクール)行きました。学校の体育館・講堂に通されインターアクターによる管弦楽の演奏と美しい歌声で歓迎を受けました。

用意された昼食を頂き、グループに分かれ校舎内の教室・図書室・実験室・音楽室・コンピューター室・理科(生物)標本室・談話室・遊戯室・インターアクトクラブ部屋等の全館を案内して貰い、授業中の風景やジニアスクラスのゼミを見学させていただきました。この学校は幼児から高校生までの総合教育をする私的教育機関でありました。(学校の理事長がロータリアンとお聞きしました。)カリキュラムが個性重視・子供中心・英語プログラムに組み込まれており、設備の整った広大な敷地に建てられた校舎は富裕層子弟の英才教育の環境に創られていることに感激しました。

夕刻からRⅠ第3350地区ガバナー Prawitrojkaajonnapalai氏が来られ、Srivikorn Highschoolのインターアクターの司会による夕食会と交流会が開かれました。日本のインターアクターは浴衣に着かえグループごとにタイのインターアクターとテーブルを囲み食事と談話をして楽しく交流を深めておりました。Prawitrojkaajonnapalai氏から歓迎の言葉を受け、タイロータリー旗やタイ人形の贈呈を受け、記念品の交換、パナーの交換等たくさんの贈り物を頂き、プロのグループによるタイ歌謡や日本の歌謡曲が披露され、日本のインターアクターとロータリアンは法被をはおり手にうちわを持ち河内音頭を披露しました。途中からは両国の会場にいた人たちが入り、乱舞し交流会は絶好調になり、タイのインターアクターによる舞踊や歌が絶唱され交流会は最高潮に達しました。踊り終え法被とうちわをタイのインターアクターやロータリアンに差し上げました。

閉会時にはRⅠ第3350地区バスターガバナー Chairat Presertlum氏が駆けつけて来られ閉会の挨拶を受けました。全員で記念撮影をして、タイのインターアクターやロータリアンと別れを告げ宿泊先への帰路につきました。

第3日目

早朝よりバンコクから130キロ離れたカンチャナブリーへ行きました。タイのインターアクターも同行して日本のインターアクターとの交友を深めていました。

洞窟時で浮遊する尼さんのショーをみて、象の背中に乗ってジャングルクルーズを楽しみました。竹で作っ

たいかだに乗って川下りをしました。いかだを操る船頭は前日交流会で会ったインターアクターと同じ年頃か、それ以下の少年でありました。稚拙な竿捌きにもまして働く姿を見てタイの地方と都市との国民の間に著しい貧富の差を感じ、感傷的になりました。

旧泰緬鉄道の列車に乗りクワイ(クウエー)川鉄橋を渡るため待つこと1時間20分・乗車時間(一駅)20分・その間車内でのドリンクサービスと絵葉書等の車内販売がありました。バスに乗り換えクワイ川鉄橋に向かい、映画「戦場に架ける橋」の舞台になったクワイ川鉄橋を歩いて渡りました。

第4日目

水上マーケット(DamnoenSaduak)に行くため運河を航行する6人乗りのロングテールボートに乗り込みました。運河の両岸には古い民家が並んでいましたが、景観を楽しむ遊覧船とは違いました。その後はバンコク市内の免税店や民芸品店へショッピングにタイのインターアクトと行動を共にしていました。

帰国準備を済ませホテルの夕食会場で解団式を行いました。

委員長として今回の海外研修の総評を行いました。

ハードなスケジュールであった感が致しました。一時体調を崩した生徒(インターアクター)がおりました

が、事故もなく全員元気に帰国できることが何よりであります。出発の際、6校のインターアクター全員が一致団結して助け合い、協力して行動して下さいとお願いしましたが見事にこのお願いを聞いていただき自覚と責任ある行動をとって頂きましたことを感謝いたします。二日目の交流会は筋書きな交流会でありましたが、現地のインターアクトクラブ・ロータリアンから心暖まるおもてなしを受け、和気あいあいとした雰囲気の中で交流を深めることができ実際親善、国際交流に貢献して頂き、海外研修の目的が達成できたと確信し、感謝いたします。

今回の海外研修の企画、実施を担当いただきました清風高校のインターアクトクラブの皆さん、顧問の中村先生・高橋先生に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。そして最初から最後まで全般にわたりお世話頂きましたガバナー事務所の栗正事務局長さんに感謝いたします。ありがとうございました。

同行頂きました顧問の先生方、そしてロータリアンの皆様方どうもありがとうございました。海外研修は来年も行われますのでご支援、ご協力のほどよろしく願いたします。

解団式(会食)を済ませ日本へ帰国の途に着きました。



米山奨学委員会 大学／地区意見交換会

米山奨学委員会 委員

北山治信 (東大阪みどりRC)

日時：2013年7月12日(金) 15:00～17:00

会場：ガバナー事務所

参加者：西谷雅之委員長、近藤菜穂子副委員長、

田中真人、吉田悦治、田中隆弥、古城紀雄、島井宏子、口野孝、北山治信各委員

参加大学等：追手門大学、大阪大学、大阪教育大学、大阪経済大学、大阪経済法科大学、大阪工業大、大阪国際大学、大阪産業大学、大阪商業大学、大阪市立大学、大阪電気通信大学、関西大学、関西外国語大学、近畿大学、摂南大学、相愛大学、東大阪大学、(独)日本学生支援機構 大阪日本語教育センター、大阪コミュニケーションアート専門学校、大阪ハイテクノロジー専門学校

7月12日、地区米山奨学委員会と大学・専門学校との地区懇談会がガバナー事務所会議室で行われました。2014年度の米山奨学生を選考するにあたり、17の大学と3校の専門学校の担当者の方々にご出席頂きました。

古城委員の司会のもと、西谷委員長が挨拶され、昨年より重視された学校からの推薦学生の国籍基準、推薦される学生が一国籍で過半数を占めないと言う内容を再度確認され、米山奨学事業の抱えている現在の問題点についてお話しされました。

現状、米山寄付が減り採用される米山奨学生も少なくなっている現実を打破する為に、どの様な留学生の推薦をお願いしたいかと言う具体的な次の内容も発表されました。

- 1) 推薦される学生の現在の日本語能力は問わない。
- 2) コミュニケーション能力が有る事。
- 3) ロータリアンの方々にかかれる性格で有る事。
- 4) 例会(月に一回)、米山行事への積極的な参加が出来ること。
- 5) 奨学生終了後もロータリーとのつながりを大切に出来る事。

以上の様な学生を推薦して頂き、ロータリアンの中での米山奨学事業ファンを増やす事につなげ、ロータリアンの米山寄付を増やしていただき、当地区で採用できる米山奨学生を増やす事に、大学等担当者の皆様に御協力願いたいと述べられました。

つづいて、大学等の担当者の皆様に事前にお願ひしました、アンケートの内容について、募集・審査・面接・選考・ロータリーへの推薦に至る流れを各校に発表して頂きました。各校が発表された内容につき、地区米山委員との具体的な内容の確認・質疑など、米山委員の米山事業に対する熱い想いをお伝えする事も出来ました。

また、学校の担当者の方より昨年米山奨学生であった生徒が「例会参加や世話クラブの行事に参加して世界が広がった」と言う具体的な事例の発表も有り、最後に近藤副委員長の挨拶で、大学等の担当者の方をはじめ、担当教官、教授の方にもこの米山事業をもっと御理解いただく事をお伝えし、大学等と地区米山委員会が協力し、感動を与える米山奨学事業にする事を確認して閉会しました。



米山奨学委員長および カウンセラー研修会 報告

米山奨学委員会 委員

三木得生 (豊中南RC)

概要 2013年7月27日 午後14時から16時まで OMMビル1-3号室

参加者 73クラブの米山奨学委員長およびカウンセラー 80名、福家ガバナー、若林地区米山担当顧問、近藤米山奨学会副理事長、正岡・井上・辻本・山田 各IMガバナー補佐、磯田地区研修委員、米山奨学委員長以下12名の地区委員、総計100名

以下、式次第の順に報告いたします。

福家ガバナーあいさつ

米山の制度が順調なのは、カウンセラー制度に負うところが大きい。とくに精神面でのサポートの力が大きい。今後もしっかりと奨学生と絆を結んでいただきたい。

現在、財政事情がよくなり奨学生の数を減らさざるをえない状況にあるので、1.5倍の3万円のご協力をお願いした。

西谷委員長あいさつ

「米山を身近に」が今期のスローガンです。全クラブに奨学生を付けるには、会員一人あたり4万円の寄付金で可能。それをめざすために当面3万円をお願いする。強制ではないが、米山の意義を深く理解してもらい、気持ちよく寄付いただくことができるように、この研修会を開催した。

近藤米山奨学会副理事長の問題提起

奨学生の現地採用にもっと関心を持つべきである。お金の問題で、一人あたりの奨学金の額が、ほんとうに感謝してもらえるほど十分なのか調査する必要がある。

日本人に金を出して海外留学をさせたらとの意見があるが、日本財団の仕事で、米山の役割ではない。

中国人留学生が多すぎないかとの意見については、本当の人類愛の気持ちで対処すべきである。

学友会からの推薦が台湾からだけであること。これは、日本の大学の魅力が減っているからではないのか。反省が必要では。

私はフルブライトで2年アメリカ留学したが、ホスト

ファミリーに愛情をもって面倒を見ていただいた。そのことが忘れられず、いまでも私は親米派だ。カウンセラーの皆様が温かい心で奨学生に接していただいて、日本ファンをつくってほしい。

DVD鑑賞「米山梅吉とその生涯について」

米山梅吉の生い立ちからロータリー結成とその後の活躍まで、ドラマ仕立てのDVD。約30分(思わず引き込まれてしまいました。日本におけるロータリーの歴史が学べました。初めて見たという方が多かったです。)

「米山奨学会の今後の展望」 古城委員によるパワーポイントを使った解説

米山奨学事業についての歴史と意義について、図や写真をもふんだんに用いた説明している。とくに第2660地区における取り組み状況をたいへん詳しく報告されており、この事業の大切さがよく理解でき、それに関われるロータリアンとしての誇りとよろこびをよびおこしてくれる。約40分(今年度より寄付を3万円にすることを皆様に理解していただくうえでもたいへん有用なツールとなります。)

若林顧問の講評

これまで、テーブル別けしてのバズセッション形式だったが、今回は、スクール形式で、米山記念奨学事業について、その誕生のいきさつから現在の取り組み状況まで、正確に詳しく理解できるように工夫されていた。

DVDの映像は初めて見たが感動的であった、また古城委員は率直に寄付金の増額を訴えられた。



浄財は目的と感動が合わさってなり立つものだ。皆様にはご苦勞をおかけするが米山を幅広く知っていただけるよう力を貸していただきたい。

福田副委員長閉会の辞

カウンセラーのみなさんには、奨学生と直接ふれあい

ながら、共にはぐくみ育ち合う関係「共育」の観点でがんばってほしい。

単純計算で、1177名の会員が特別寄付をいただいている。お一人1万円で奨学生6から7名増やせる。より一層のご協力をお願いしたい。

本日は長時間ごろうさまでした。



[ガバナー補佐からのメッセージ] IMの将来像



IM第1組 ガバナー補佐

正岡 哲 (池田くれはRC)

私がロータリーに入会したのは、29年前のことです。入会時に「ロータリーの綱領を守って、クラブの会合に出れば良い。地区の大きな会は、地区大会とIMだからそれには参加しなさい。」と教えられました。

それを守って29年間、殆どの例会と地区大会、IMに参加しています。その体験から考えるなら、本来「ロータリー」は、私達が自分の職場以外の人達と接して楽しい時間を持つためにあるものです。そのためは、ある程度のルールに従った活動をしないとルーズになって楽しくないと感じてしまいます。

ルールは、時代とともに変化します。また、人間の考え方も変わります。しかし「公正さ」と「信頼」は人類の不変の望むものでしょう。ロータリーは、この精神が根底にあるので、私は、ロータリークラブにずっと入っていると云っても過言ではありません。

この考えを常に持って、ロータリークラブは、様々な方向へ歩んできました。各クラブ運営や地区大会やIMもそうです。その事業を行う上で、その精神さえあれば、少々変わっていても、何をしても良いと私は考えています。

クラブで節約して工夫した会をもったり、少し高い講演料を払って有名人に話しをしてもらったり、メンバー会員参加型であったり、クイズをクラブ対抗戦形式で行ったりしても良いのです。どのような形式も長所と欠点があります。一方へ片寄ると改善すれば良いのです。人間の社会は、これこそ最善というものはありません。どんなに善いものでも繰り返すと飽きがきます。

これからのIMの将来像は、参加した後、楽しかったと感じることができるものでありさえすれば、それが最善と言えるのではないのでしょうか。

我がクラブの目指すところ (IM第1組)

池田RC 会長

田嶋也寸志

池田ロータリークラブは、本年度創立60周年を迎えます。5つの子クラブ、6つの孫クラブ、1つの曾孫クラブに恵まれた伝統のあるクラブですが、伝統を受け継ぎながらも新しい時代に即したクラブに変化していかなければなりません。また、地域に根ざしたクラブとして、地域社会との密接な関係を維持していく必要があります。

このような状況の中で、当クラブは会員減少と例会出

席率の低下という大きな問題を抱えています。特に会員減少は各クラブ共通の問題であると思いますが、その解決のためにも外部に開かれたロータリーであることが必要です。

また、奉仕活動においても自己満足に終わること無く、客観的に成果を評価しなければなりません。このような奉仕活動と広報活動を継続的に行うことで、地域と世界に貢献できるクラブ目指していきます。

池田くれはRC 会長

松室利幸

当クラブはお陰様で2014年4月に創立30周年を迎えます。スポンサークラブである池田ロータリークラブの創立30周年を機に設立されました。

昨年度のIMホストに続き、今年度も様々な創立記念事業の実施に向けてクラブも非常に良い雰囲気になっております。

記念事業を策定するに当たり、クラブ内で今後のクラブの在り方について議論を重ねた中で、私たちはロータリー創立の原点に立ち返り、会員相互の親睦を通じて魅

力あるクラブ創りを目指し、会員ひとり一人がクラブにより一層愛着を持ってもらえるようにすることが重要であると考えております。

また対外的には、行政や地域各種団体の皆様方と例会や事業を通じてコミュニケーションを深め、ニーズに即した事業展開を心がけることにより、これからも地域の皆様に愛され、必要とされるクラブとなるよう努力を続けてまいります。

箕面RC 会長

上島一彦

箕面ロータリークラブは「超我の奉仕」を原点に、地域社会において真に必要なとされるクラブを目指して、今後の活動に取り組むたいと考えています。

本年度から、ロータリー財団の「未来の夢計画(FVP)」が新システムとして導入されますが、当クラブでも、新地区補助金を活用して、「薬物乱用撲滅キャンペーン大会(10/5)」関連プロジェクトを実施します。

「薬物乱用撲滅キャンペーン大会」では、大阪府の中原教育長、箕面市の倉田市長等によるパネルディスカッションの他、世界大会で優勝した府立・箕面高校ダンス部によるパフォーマンス等を通じて、薬物乱用の危険性を広く青少年に呼びかけて参ります。

また、地域の各種団体との連携を図り、阪大環境サークルGECSとの箕面川清掃、箕面RC杯ゲートボール大

会や、シンボルロード・クリーン作戦等、地域社会のニーズに応えるプロジェクトを実践して、ロータリーの社会的認知度を向上すれば、クラブの会員増強にも繋がります。

現在、25名の会員ですが、このままクラブ会員の減少傾向が続けば、財政が硬直化し、特定の会員に過重な負担をかけるため、奉仕活動を縮小せざるを得ない事等、悪循環を招いてしまいます。

新会員に入会をお願いする事は全ロータリアンの責任であり、クラブの存亡をかけた会員増強に一丸となつて取り組みます。

「いまだ見ぬ人を探し、人から学び、人を育てる」、[量

は質に転化する]等、すでに増強の議論は尽くされており、もはや行動あるのみです。

さらに、会員増強は新会員を入会させて終わるのではなく、新会員がクラブの活動に意欲的に参加し、互いの親睦を深め、奉仕活動の意義を実感出来るようになって初めて、目的が達成されます。

また、本年度は国際ロータリー第2660地区・第1組・インターシティー・ミーティングのホストクラブを担当(4/12)しており、米国弁護士としての国際的な経験と明確な教育ヴィジョンを併せ持つ、大阪府の中原教育長の講演等を通じて、各クラブの「新世代奉仕」活動の充実につなげたいと願っております。

箕面千里中央RC 会長

原 たかし

本年度のRI会長はロン・D・バートン氏です。RIテーマは「ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES」「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」です。

重点目標は、

- 人道的奉仕の重点と増加
- クラブのサポートと強化
- 公共イメージと認知度の向上 です。

RI第2660地区ガバナーは福家 宏氏です。地区の方針は「感動の体験を!! 人々にも自身にも」Participate!!~参加し、敢行しよう~です。

重点目標は、

- 会員の維持・増強
- ポリオ撲滅
- FVP: 未来の夢新補助制度
- 東日本震災復興支援
- 広報活動 です。

上記の内容詳細については、ロータリー発行冊子及び地区HP等でご理解をお願いします。

我がクラブは本年で34周年を迎えます。当クラブの

活動の特色として、国際奉仕・地域奉仕・クラブの親睦を引き続き行っていききたいと思っております。

一時は会員58名、平均年齢50歳でしたが、現在は21名、平均年齢70歳代のロータリアンでスタートします。私が入会して27年目になります。

人材にすぐれた少数精鋭の個性あるクラブですが、ここで再度初心を振り返り行動していききたいと思っております。ロータリーの誕生とその成長やロータリーの綱領を理解し、特に四つのテスト

- ①真実かどうか
- ②みんなに公平か
- ③好意と友情を深めるか
- ④みんなのためになるかどうか

を、常に念頭において行動していききたいと思っております。

限られた人数で活動するにあたり、クラブ会員が望んでいることを集約し、クラブの独自性を理解し、理事・役員会、各委員会、各委員を通じて、コミュニケーションを重視、情報を共有しつつ、新アイデアを出し合える素晴らしいクラブにしていくつもりです。どうか皆様の理解と賛同をお願いします。

豊中RC 会長

横田広司

私ども豊中ロータリークラブは、平成25年8月末現在、会員数46名、うち在籍5年以内の会員は17名です。直近5年間では会員数45名前後で大きな増減はなく、毎年の自然退会の人数を会員増強でカバーしている状況です。

また、クラブの奉仕活動としては、職業奉仕、青少年奉仕の「出前授業」、国際奉仕の「グローバル Grant」をここ十数年継続して行っており、当クラブの重要な活動

になっています。

ただ、活動の中心はベテランの会員になっており、次世代の会員への継承が急務と思われれます。

会員育成は単年度の取組みでも必要ですが、継続性を持たせた長期的な取組みが大切だと思います。より多くの活動に参加してもらい、ロータリーの奉仕を理解いただき、個々にあった奉仕が見出せるようクラブ全体で取り組んでいく所存です。

豊中南RC 会長

水野 茂

7月4日、本年度第一回目の例会で二年ぶりの新入会員をお迎えし、現在29名のメンバーで和気藹々とロータリー活動に勤しんでいます。

2020年東京オリンピックの開催決定で盛り上がるわが国日本ですが、7年後の当クラブを想像すると楽天的な私ではありますが、会員数的にあまり喜ばしい状況ではないと予測します。

50年後の日本の人口は35%減少して8,000万人と推定されています。

高齢過疎化した集落で抜本的な改革方法が見出せないまま先送りすると、やがて医療、教育等の市民サービスが受けられなくなりXdayを迎えます。

やるべき活動、維持増強は精一杯やる。ロータリー活動の素晴らしさはあらゆる方法で広報することを約束する前提で、人口と世相に応じたクラブ数への統廃合を行う必要があると考えます。精神論、根性論ではなく現実を見据えた調整が理想の奉仕を永続的に行う方法ではないでしょうか。

豊中一大阪国際空港RC 会長

田中竹二

私共のクラブは、会員が20名から21名の間を彷徨しているクラブです。関空が開港する迄は、70名余の会員を擁するクラブでした。現在、会員増強に力を注いでいるところですが、なかなか成果が上がらないのが実状です。

反省点としては、奉仕活動の消極的な姿勢にあったのではと思っています。例会に出席し、親睦、友情と思い

やりに支えられた奉仕に傾注すべきであるということ、そして実践した事から習得した事例を職業奉仕へ繋ぎ、地域社会に奉仕する。全ての行動は職業奉仕に通じるのであり「職業奉仕こそ、ロータリーを活性化」させるものと思っています。

遅まきながら、昨年度後半、老人施設を慰問し、車椅子の寄贈も実践しました。これらの実績を基に、新入会員

の発掘に努力したいと考えています。

国際奉仕部門では、台湾・桃園東ロータリークラブとの姉妹提携関係の強化に力を入れたいと思っています。

3.11東日本大震災では、逸速く450万円の義援金を送金して下さった、大変親日家の国であり、年に1回交流を深めているのです。同ロータリークラブの姉妹クラブでもある、韓国・東安養ロータリークラブとも年1

豊中千里RC 会長

森田正治

元来、ロータリークラブの出発は社会的にも精神的にも、またしっかりした論理性を持った商取引が出来る仲間がロータリーを創立しました。その成長過程で商取引の他に、社会奉仕化国際化等が社会的に必要となってきました。

その奉仕活動により一般社会に於いて認められてくるようになったのです。ロータリークラブに入会する人は、人格的にすぐれた人と又信頼できる人との交流を求めてロータリークラブに入会するのではないでしょう

か？
回交流を図る事になり、回を重ねる毎に、親しくなり、政治的な事は別として、親善に双方努め、友好的な姿勢で互いに理解し合うようになった事は大変有意義で今後も継続したいと考えているところです。

私共クラブは概ねこの様なクラブであります。まだまだ42周年を迎えた未熟なクラブですが、どうか皆様のご指導をよろしくお願いします。

か？

そのためには「親睦に始まり親睦に終わる」と言われて来ましたことを実践し、一人でも多くのメンバーと交流する機会を増やして、地域社会とのつながりや奉仕活動などを通じて相互の信頼又友情へと進んで行き、それがクラブ内の融和と向上を造っていくのではないのでしょうか。それが、人材の育成と会員勧誘への動機となり、新入会員も増加しクラブ自身の向上につながると思います。その様なクラブを目指しています。

災害支援プロジェクト報告 (第28回)

災害支援プロジェクト委員長

高島凱夫 (大阪中之島RC)

1. 災害支援プロジェクト寄付送金口座

りそな銀行 大阪営業部 普通 1527285

口座名義：第2660災害支援 会計 片岡基博

(ダイニロククロクゼロサイガイシエン カイケイ カタオカモトヒロ)

2. 災害支援地区基金の状況 (2013年9月17日現在)

【収入】

(単位:円)

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備考
1	前年度からの繰越	1,211,870	
2	大阪RC	100,000	インド支援金
3	大東中央RC	20,000	インド支援金
4	香里園RC	10,000	インド支援金
5	大阪帝塚山RC	9,764	募金箱寄付(基金)
6	門真RC	27,000	インド支援金
7	大阪フレンドRC	30,000	インド支援金
8	守口イブニングRC	28,000	インド支援金
9	八尾中央RC	50,000	基金
10	大阪うつぼRC	27,200	インド支援金
11	東大阪東RC	100,000	基金
12	大阪難波RC	59,060	基金
13	東大阪東RC	34,000	インド支援金
14	利息	4	
15	大阪南西RC	30,000	基金
16	東大阪みどりRC	60,000	基金
17	交野RC	50,000	基金
18	東大阪RC	50,000	基金
19	東大阪西RC	50,000	基金
20	大阪城北RC	57,000	基金
21	門真RC	62,000	基金
22	高槻西RC	43,000	基金
23	大阪中央RC	50,000	基金
24	大阪鶴見RC	50,000	基金
25	吹田RC	50,000	基金
26	大阪リバーサイドRC	50,000	基金
27	大阪エバーグリーンRC	80,000	基金
28	大阪フレンドRC	50,000	基金
29	守口RC	50,000	基金
30	大阪心斎橋RC	50,000	基金
31	大阪帝塚山RC	50,000	基金
32	内海閑一郎(大阪梅田RC会長様)	30,000	基金
33	枚方RC	50,000	基金
34	東大阪中央RC	50,000	基金

35	大阪東淀ちややまちRC	50,000	基金
36	吹田西RC	50,000	基金
37	大阪咲洲RC	50,000	基金
38	八尾RC	122,000	基金
39	大阪イブニングRC	50,000	基金
40	大東RC	66,000	基金
41	寝屋川RC	81,000	基金
42	豊中千里RC	51,000	基金
	合計	3,238,898	

【支出】

(単位:円)

	地区基金支出内容	金額	備考
1	東大阪東RC・宮城県南三陸町平成の森仮設住宅支援事業	435,600	地区基金申請No.55
2	振込手数料	100	
3	大阪御堂筋本町RC・大阪御堂筋本町RAC 東北支援プロジェクト	210,923	地区基金申請No.54
4	振込手数料	400	
	合計	647,023	

【残高】

(単位:円)

預金残高	2,591,875	2013年9月17日現在
------	-----------	--------------

地区ロータリー財団セミナー報告

ロータリー財団情報

ロータリー財団委員会 委員長

溝畑正信 (東大阪東RC)

日時：2013年8月31日(土) 14:00~17:00

場所：大阪YMCA 会館 2Fホール

地区ロータリー財団セミナーがG主宰で開催されました。クラブの会長、ロータリー財団委員長、奉仕部門担当実務者の皆様を対象に、福家 宏G、菅生浩三元RI理事/PG、近藤雅臣元RI理事/PG、井上暎夫第3ゾーンRコーディネーター/地区研修委員会リーダー/PG、戸田 孝PG、大森慈祥PG、寺田和之PG、若林紀男 地区研修委員会サブリーダー/PG、大谷 透地区R財団部門顧問/地区研修委員会サブリーダー/PG、地区財団監査委員会委員長 岡部泰鑑PG、災害支援プロジェクト委員長 高島凱夫直前G、泉 博朗GE、地区研修委員会、AG、AGEの皆様など多数の指導者のご参加を頂きました。司会は山田正雄地区代表幹事が務められました。

福家 宏G

ロータリー財団は、本年度から“Future Vision Plan = FVP”の実行年度に入り、多くのクラブが昨年度地区補助金を使つての奉仕プログラムの申請をされ、承認を受けたものを今年度実施して頂く。グローバル補助金も現時点で4件の承認を受けた。ぜひ今年度も積極的に取り組んで頂きたい。さらに、2つのお願いとして、一つは、ロータリー平和センターに寄付支援、これは地区内ロータリアンで恒久基金1万ドル以上のメジャードナーにはロータリー平和センターへの基金に転換して頂き、またロータリー平和センターの冠名基金設立は25,000ドルからであり、その金額に近い方に残りの寄付をお願いし冠名基金設立にもって行っていただきたい、もう一つは、国際ロータリー第2530地区福島復興キャンペーン“会津の里にこらんしょ!”にご協力、ご支援をお願いしたいと、挨拶されました。

財団部門顧問 大谷 透PG

リスボン国際大会での田中作次直前RI会長の挨拶を引き合いに、世界で支援を待っている人たちに、自身の子供、孫、家族にすると同じように考えてほしい、そして

日本ロータリー平和センター支援委員会委員でもある大谷PGは、ICU東ヶ崎記念ダイアログハウスに支援協力募金のお願いをされました。国際基督教大学(ICU)は、世界で8か所あるロータリー平和センターのある大学の一つで、アジア圏で唯一の平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー平和センター(修士課程)が設置されている学舎、世界平和と人類の幸せ、ロータリー平和フェロウシップ制度の意義をご理解ください、と話されました。また、トルコとのVTTの可能性について言及されました。

災害支援プロジェクト委員会 委員長 高島凱夫PG

東日本大震災が発生して、すでに2年5カ月が過ぎようとしているが、復興は遅々として進んでいない。

「地区災害復興支援基金」への資金拠出願いと、この資金とのマッチングでの支援、「地区補助金」と「地区災害復興支援基金」との上手な使い分け、また、地区内全ロータリークラブに「クラブ災害支援基金」創設の推奨をされました。

東日本大震災への支援は、数年に亘り行われなくてはならない大きな事業であり、さらに他の災害支援に対して地区の方針を模索し、実践したいので、是非ご支援をお願いしたい、と話されました。

溝畑正信ロータリー財団委員長

ロータリー財団 未来の夢計画 新補助金制度というタイトルで、ロン・D・バートン2013-14年度RI会長の、“新補助金モデルとは：ロータリー財団の新たな時代の幕開けであり、人々の人生を豊かにするロータリーの可能性を実現する機会である、持続可能な国際プロジェクトを促すと同時に、地域社会のニーズに応える地元プロジェクトの柔軟性を高めることによって、ロータリーを新しい次元へと昇華させるものである”、を紹介し、財団目標の、ポリオ撲滅、未来の夢計画、財団の教育的プログラムと人道的プログラムへの参加を通じて世界に平和を育む、全ロータリアンにロータリー財団への寄付を奨励、財団の資金を守る、に沿って話しました。未来の夢計画は、ロータリーという組織全体に有益であ

るという考えの下に立ち上げられたものであり、新地区補助金、グローバル補助金を通じて、より良いプロジェクトが実施されれば、地域社会により大きな影響を与えることができる。ロータリーの公共イメージも高まると考えられる。そうなれば寄付の増加、クラブの活性化、より良いプロジェクトへとつながる、と話しました。

ポリオ・プラス小委員会 木村芳樹委員長

まず、日本におけるポリオの歴史を紹介し、ポリオの現状、1985年以来、ポリオの発症数は99%減少し、年間35万件だった当初と比べ、2011年には650件に、2012年には223件になった。現在野生ポリオウイルスの常在国は、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの3カ国で、インドではポリオ無発症の状態を維持しているが、アフリカの角での野生株1型の流行がソマリアで広がっている、残る1%の、容易でないポリオ撲滅運動への協力を要請致しました。

寄付増進小委員会 今西敦之委員長

ロータリー財団の寄付と認証：寄付の種類<年次基金および用途指定寄付、恒久基金>、認証の種類、クラブ別年次寄付一覧、ロータリー財団への寄付は、税制上の優遇措置の対象となることについて話し、財団への寄付増進とロータリーカードへの入会を要請致しました。

ポールハリス・ソサエティ 辻川功一コーディネーター
本年度から任命されました。ポールハリス・ソサイ



アティは、年次基金、ポリオ・プラス、財団が承認した補助金プロジェクトへ、年間1,000米ドル以上を寄付頂いたロータリアンやロータリー財団支援者を認証するためのプログラムで、理解と協力を要請致しました。

資金管理小委員会 和氣 圭委員長

クラブ覚書(MOU)について、クラブ参加資格、財務管理計画、銀行口座に関する要件、補助金資金の使用に関する報告、書類の保管、補助金資金の不正使用に関する報告について説明しました。

財団補助金小委員会 宮里唯子委員長

財団プログラムと補助金について、新しい財団補助金には地区補助金、グローバル補助金、パッケージ грантがあること、FVP導入の理由と目的、新しい補助金と活動、さらに当地区での地区補助金申請要項、グローバル補助金について、6重点分野、職業研修チーム(VTT)、グローバル補助金申請要項について、そしてDDF申請要項、補助金申請要件、地区補助金申請スケジュール(2014年)、地区補助金申請の留意点、地区補助金の報告書、2012-13年度地区補助金は44クラブが承認を受けた、現時点でグローバル補助金が4件承認されていることを報告致しました。

奨学金・学友・ロータリー平和フェロウシップ担当グループ 梅崎道夫リーダー
国際関係、平和研究、紛争解決とその関連分野の修士



米山奨学委員会／ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2013年 7月末	全国寄付金合計額 ……………	205,015,352円	(前年度比2000万円増)
	第2660地区寄付金合計額 ……………	11,601,450円	(前年度比47.82%増)
	全国寄付合計トップ10		
		1. 第2750地区	14,676,150円
		2. 第2770地区	13,738,500円
		3. 第2760地区	12,484,300円
		4. 第2660地区	11,601,450円
		5. 第2650地区	10,795,800円
		6. 第2690地区	8,908,500円
		7. 第2790地区	8,752,700円
		8. 第2700地区	8,592,250円
		9. 第2580地区	7,988,350円
		10. 第2590地区	7,929,000円

号、あるいは平和と紛争解決の分野の専門能力修了証の取得を目指す学生にロータリー平和フェローシップを提供するロータリー平和フェローシップ生の募集、およびグローバル補助金奨学生の募集について説明の後、当地区は本年度すでに2名のグローバル奨学生が留学していることを報告致しました。

講評・閉会挨拶

泉 博朗GEは、本日の財団セミナーに携わった財団部門各位に労をねぎらわれ、そしてクラブに対して、地区83クラブのうち、地区補助金で44件が承認され、グローバル補助金ですでに4件承認を受けているのは素晴らしいことであり、今後とも取り組んで頂きたいと講評と閉会の挨拶をされました。

質疑応答

前もって頂いていた質問には、当日お答えし、また当日の質問にもお答えしました。

なお、地区ロータリー財団セミナーの詳細は、地区ホームページをご覧ください。

ロータリー財団の補助金

日本のGG補助金申請状況

(8月20日現在)

GGプロジェクト	奨学金	VTT	人道的	合計
最初のステップ	—	—	—	—
申請書作成中	3	6	7	16
提出済	—	—	3	3
承認済	21	1	1	23

第2660地区はこのうち奨学金2、人道的1が承認済です

ポリオ症例数

2013年8月28日現在のポリオ症例数です

	2013年1月1日～8月28日	2012年
アフガニスタン	4	37
パキスタン	25	58
ナイジェリア	43	122
ポリオ常在国以外	チャド	5
	エチオピア	1
	ケニア	13
	ソマリア	128
	ニジェール	1
世界合計	214	223

2013年8月28日現在のポリオ症例数です。現在、ポリオ常在国はアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3カ国です。

ソマリアでポリオの発症が広がっています。隣国のエチオピアでも2006年以来、初めてポリオの発症が確認されました。この状況に対応するため国際ポリオ・プラス委員会の勧告を受け、財団管理委員長は50万ドルの補助金を支出することを承認しました。

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2013年7月)

氏名	回数	クラブ名
谷本 勲一	1回目	茨木西RC
櫻井 京子	1回目	茨木西RC
新子 茂生	2回目	大阪なにわRC
境 高彦	7回目	大阪城南RC
西尾 誠一郎	1回目	大阪大淀RC
島 伸彦	5回目	大阪大淀RC
岩本 潤三	6回目	大阪大淀RC
小田 晃三	1回目	大阪淀川RC
奥村 宗彦	1回目	池田くれはRC

氏名	回数	クラブ名
森田 正治	1回目	豊中千里RC
長澤 格	1回目	豊中千里RC
仲 光男	2回目	枚方RC
田邊 誠	2回目	枚方RC
西本 和彦	2回目	枚方RC
澤村 繁	3回目	枚方RC
庄司 修二	2回目	箕面RC
芝野 弘三郎	5回目	箕面RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2013年7月)

クラブ名	回数
茨木西RC	14回目
東大阪東RC	42回目
枚方RC	27回目

米山功労法人

次の方に米山功労法人の称号が贈られました。(2013年7月)

会社名	回数	クラブ名
広栄株式会社	1回目	東大阪東RC

2013年8月度 会員数・出席報告

ボール・ハリス・フェロー 次の方たちにボール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2013年7月)

氏名	クラブ名	氏名	クラブ名
吉原 博	枚方RC	小嶋 敦	大阪西北RC
仲 光男	枚方RC	櫻井 京子	茨木西RC
長江 稔	大阪東南RC	谷本 勲一	茨木西RC
高崎 充弘	大阪東南RC	丸山 和豊	守ロイプニングRC
薄井 修司	大阪東南RC	木村 眞敏	大阪中之島RC
濱浦 紀代輝	大阪なにわRC	杉村 雅之	大阪中之島RC
井戸 正	大阪なにわRC	橋本 芳信	吹田西RC
立花 英司	大阪難波RC	北村 光司	大阪大手前RC
小田 浩司	大阪難波RC	庄司 茂	大阪南RC
丹下 慎司	大阪難波RC	八ツ橋 直	大阪南RC
中川 静夫	大阪難波RC		

マルチプル・ボール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ボール・ハリス・フェローです。(2013年7月)

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
東野 晃三	2回目	大阪大淀RC	森田 正治	1回目	豊中千里RC
岡本 政和	7回目	大阪大淀RC	別處 了一	3回目	茨木西RC
井原 悦司	2回目	大阪大淀RC	西尾 忠夫	2回目	茨木西RC
村岡 正啓	1回目	大阪大淀RC	大森 保子	4回目	茨木西RC
尾崎 雅俊	1回目	大阪大淀RC	須川 就三	3回目	茨木西RC
畑 守人	3回目	大阪大淀RC	田中 猛夫	1回目	茨木西RC
武富 貞敏	2回目	大阪大淀RC	稲葉 正	4回目	大阪北梅田RC
橋本 佳明	3回目	大阪大淀RC	家村 武志	3回目	吹田西RC
家高 健志	1回目	枚方RC	金高 好伸	1回目	大阪大手前RC
新庄 幸一	1回目	枚方RC	曾我部 律夫	2回目	大阪大手前RC
大東 将啓	1回目	枚方RC	平岡 英信	4回目	大阪南RC
宇佐美 貴史	1回目	大阪東南RC	清水 裕	2回目	大阪南RC
下宮 義弘	1回目	大阪東南RC	早石 誠	2回目	大阪南RC
溝畑 正信	6回目	東大阪東RC	北嶋 勇志	2回目	大阪南RC
隅防 嘉之	3回目	大阪西北RC	高地 健	4回目	大阪淀川RC

ベネファクター 次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2013年7月)

氏名	クラブ名
大蔭 政勝	大阪大手前RC
夏 明義	大阪難波RC
水上 雅博	東大阪東RC

I M 組	クラブ名	7月期初	8月未会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
		会員数	全員	女性						
I M 第 1 組	池田	37	37	2	0	0	0	3	74.29	72.00
	池田くれは	28	28	1	0	0	0	3	88.58	84.03
	箕面	25	25	1	0	0	0	4	91.65	81.65
	箕面千里中央	21	21	0	0	0	0	4	90.64	90.64
	豊中	45	46	4	1	0	1	3	84.09	71.97
	豊中南	28	29	2	1	0	1	4	78.30	73.74
	豊中-大阪国際空港	20	20	0	0	0	0	4	58.01	51.43
	豊中千里	39	39	3	0	0	0	4	87.28	85.03
	小計	243	245	13	2	0	2		81.61	76.31
	茨木	25	25	3	0	0	0	3	88.40	68.70
	茨木東	39	41	4	2	0	2	4	80.25	63.75
茨木西	28	28	6	0	0	0	3	92.86	78.57	
千里	38	38	0	0	0	0	3	88.59	80.55	
千里メイブル	22	22	2	0	0	0	4	95.18	89.16	
I M 第 2 組	摂津	37	37	2	0	0	0	4	91.78	74.60
	吹田	60	62	10	2	0	2	4	93.97	86.34
	吹田江坂	34	34	2	0	0	0	3	97.81	93.39
	吹田西	47	48	2	1	0	1	3	100.00	84.79
	高槻	51	51	6	0	0	0	3	79.06	74.02
	高槻東	36	36	1	0	0	0	4	95.39	90.84
	高槻西	20	21	0	1	0	1	4	97.62	83.33
	小計	437	443	38	6	0	6		91.74	80.67
	大東	42	42	0	0	0	0	3	99.02	89.68
	大東中央	28	28	11	0	0	0	3	80.20	67.53
枚方	40	42	0	2	0	2	3	85.59	77.48	
門野	30	32	6	3	1	2	4	89.85	81.25	
交野	32	32	1	0	0	0	4	85.08	81.78	
香里園	15	15	0	0	0	0	3	84.45	73.33	
くずは	52	54	0	2	0	2	3	81.04	68.77	
守口	42	42	4	0	0	0	3	86.66	78.33	
守ロイプニング	27	27	4	0	0	0	4	79.63	74.07	
寝屋川	42	42	5	0	0	0	4	91.07	82.14	
四條畷	12	12	0	0	0	0	3	96.97	96.97	
小計	362	368	31	7	1	6		87.23	79.21	
I M 第 3 組	東大阪	70	71	0	1	0	1	3	90.90	82.08
	東大阪中央	33	33	0	0	0	0	3	95.44	91.99
	東大阪東	55	58	4	3	0	3	4	90.63	85.76
	東大阪みどり	30	30	1	0	0	0	4	72.50	65.00
	東大阪西	31	31	0	0	0	0	3	94.95	74.14
	大阪柏原	30	30	2	0	0	0	3	85.71	84.52
	大阪ネクスト	19	19	8	0	0	0	3	71.93	57.89
	八尾	60	60	0	1	1	0	3	76.40	75.78
	八尾中央	16	17	1	1	0	1	3	81.22	76.91
	八尾東	26	26	1	0	0	0	4	84.79	70.46
小計	370	375	17	6	1	5		84.45	76.45	

I M 組	クラブ名	7月期初	8月未会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
		会員数	全員	女性						
I M 第 5 組	大阪中央	46	49	5	3	0	3	4	93.88	82.71
	大阪堂島	28	30	1	2	0	2	3	91.11	85.55
	大阪北	197	196	0	2	3	-1	3	76.52	65.18
	大阪北梅田	50	51	3	1	0	1	3	80.82	71.05
	大阪西	75	75	0	0	0	0	3	88.95	83.63
	大阪大淀	36	36	0	0	0	0	4	90.55	80.31
	大阪リバーサイド	34	36	7	2	0	2	4	99.22	80.61
	大阪西北	49	51	0	2	0	2	3	88.41	78.92
	大阪そねざき	35	35	22	0	0	0	3	88.50	79.20
	大阪梅田	25	24	1	0	1	-1	3	80.30	77.27
	大阪梅田東	25	30	0	5	0	5	4	92.22	74.25
大阪ユニバーサルシティ	32	32	5	0	0	0	3	94.44	81.11	
小計	632	645	44	17	4	13		88.74	78.32	
I M 第 6 組	大阪	257	261	1	4	0	4	4	79.07	61.53
	大阪東	117	116	0	1	2	-1	3	94.97	79.52
	大阪東淀ちやまち	30	30	3	0	0	0	3	84.85	74.24
	大阪城東	43	43	5	0	0	0	4	89.93	84.28
	大阪中之島	27	27	1	0	0	0	4	92.58	71.27
	大阪大手前	35	36	4	1	0	1	4	83.10	75.46
	大阪城北	49	49	3	0	0	0	3	78.48	76.03
	大阪天満橋	68	68	0	1	1	0	4	84.63	82.47
	大阪鶴見	32	32	0	0	0	0	3	89.95	83.08
	大阪淀川	28	28	3	1	1	0	4	94.60	84.87
新大阪	32	33	1	2	1	1	3	90.20	88.24	
小計	718	723	21	10	5	5		87.49	78.27	
I M 第 7 組	大阪フレンド	25	26	3	1	0	1	3	92.15	70.80
	大阪御堂筋本町	61	60	3	0	1	-1	4	80.53	71.68
	大阪南	144	153	0	10	1	9	3	86.65	74.78
	大阪難波	46	46	0	0	0	0	4	94.63	85.71
	大阪なにわ	25	26	3	1	0	1	4	89.79	76.41
	大阪南西	15	15	3	0	0	0	3	85.17	82.60
	大阪西南	98	99	19	1	0	1	3	93.39	72.53
	大阪船場	39	39	0	0	0	0	3	92.30	86.30
	大阪心斎橋	33	33	0	0	0	0	4	96.93	85.16
	大阪うつぼ	33	34	4	1	0	1	4	89.55	80.17
小計	519	531	35	14	2	12		90.11	78.61	
I M 第 8 組	大阪平野	32	31	3	0	1	-1	4	97.55	92.60
	大阪イブニング	14	14	3	0	0	0	4	83.65	65.66
	大阪城南	53	55	0	2	0	2	4	98.55	92.57
	大阪咲洲	18	19	1	1	0	1	3	82.16	67.74
	大阪天王寺	56	58	0	2	0	2	3	81.78	69.15
	大阪帝塚山	53	55	4	2	0	2	3	73.21	71.64
	大阪東南	50	50	0	0	0	0	3	92.00	67.33
	大阪アーバン	23	25	7	3	1	2	3	85.33	84.00
大阪みおつくし	34	34	17	0	0	0	4	71.32	70.59	
小計	333	341	35	10	2	8		85.06	75.70	

合計	クラブ名	7月期初 会員数	8月未会員数 全員	女性	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均出席率	ホームクラブ 平均出席率
	83	3614	3671	234	72	15	57	87.1	77.9

文庫通信 (312号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

講演より

- 「日本人が知るべき、日本人の精神・美しさ・誇りとは…」
竹田恒泰 2013 6p (D.2600 地区大会報告書)
- 「チーム力」
柿本倫明 2013 5p (D.2600 中信第二グループIM報告書)
- 「"超"ものづくりへの挑戦—これからの100年をデザインする」
奥山清行 2012 27p (D.2550 地区大会記念誌)
- 「動物と人 共に生きる」
伊藤年一 2012 7p (D.2750 インターアクト年次大会報告書)
- 「思いやりの気持ちが平和をつくる」
紺野美沙子 2013 2p (D.2760 地区大会記録誌)
- 「進化するX線技術と社会へのインパクト」
村松康司 2013 2p (D.2680 西播第2グループIMReport)
- 「私の登った外国の山々」
渡辺玉枝 2013 4p (米山梅吉記念館館報21号)
- 「『荒城の月』原曲」
岡村 健 2012 4p (福岡南RC会報)
- 「『故郷：ふるさと』～柳の下のどじょう?」
岡村 健 2012 6p (福岡南RC会報)

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

草 島 一 会員 (大阪南RC)

2013年 8月29日 逝去 (享年85歳)

米山功労者 (マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

お知らせ

■例会場の変更

大阪御堂筋本町ロータリークラブ
ホテル日航大阪 32階「ジェットストリーム」 → ホテル日航大阪 32階「スカイテラス」

ガバナー・エレクト業務開始のご案内

ガバナーエレクト 泉 博朗 (大阪帝塚山RC)
10月1日よりガバナー・エレクト業務をスタートいたしました。 次年度地区代表幹事 川上 富清 (大阪帝塚山RC)

所在地：〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話 06-6264-2660 FAX 06-6264-2661 E-mail gov@ri2660.gr.jp

執務時間：月曜日～金曜日 9:30～17:30 ※土・日・祝は休ませていただきます。

事務局員：井上 望美

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 福家 宏
- 地区代表幹事 山田 正雄
- 地区副代表幹事 中井 敬和
- 担当地区幹事 吉本 憲司
- 担当地区幹事 山本与志弥
- 事務局長 栗正 久美

2013—2014年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	福家 宏
地区代表幹事	山田 正雄
地区副代表幹事	中井 敬和
事務局長	栗正 久美
事務局員	春名 志保
	奥田 純子
	井上 望美

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

<http://www.ri2660.gr.jp/>

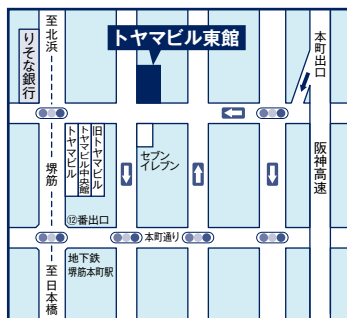
●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日

年末年始
2013年12月28日(土)~
2014年1月5日(日)



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー 第2660地区

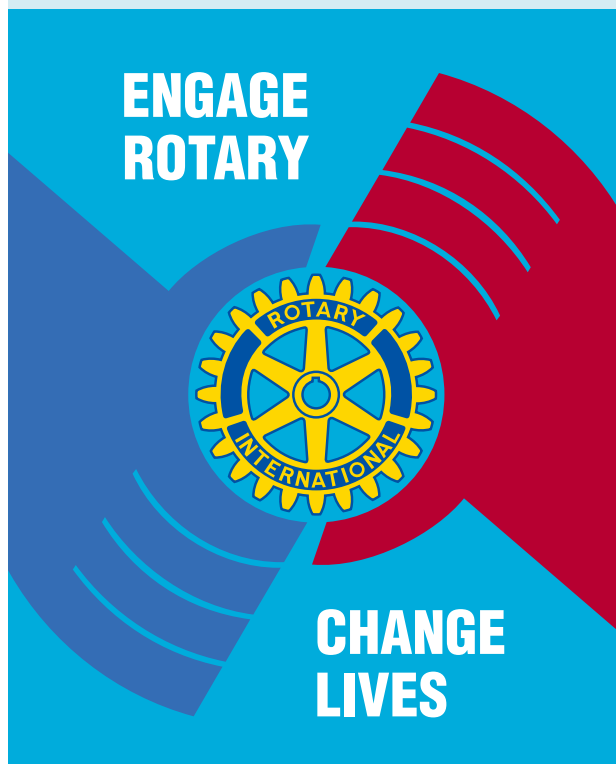
〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan
TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

2013 – 2014
November
vol. 5

11



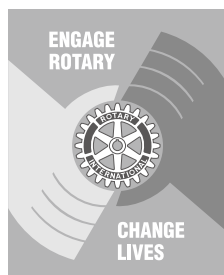
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー一月信11月号

国際ロータリー 第2660地区
2013–2014年度ガバナー

福家 宏



2013-2014 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER November vol.5

CONTENTS

ガバナーメッセージ（ロータリー財団月間／世界インターアクト週間）	1
ロータリー財団月間によせて	3
世界インターアクト週間にあたって	6
青少年交換委員会 来日学生一泊研修	7
ガバナー補佐からのメッセージ	8
我がクラブの目指すところ（IM第2組）	9
ガバナー・ノミネー指名宣言	14
災害支援プロジェクト報告（第29回）	15
地区米山奨学委員会より	18
米山奨学委員会／ロータリー財団	18
2013年9月度 会員数・出席報告	19
文庫通信	20
敬弔／お知らせ	21

ロータリー財団月間 世界インターアクト週間

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

福家 宏



ロータリー財団月間

2010年7月から有効となったRI戦略計画は、RIとロータリー財団それぞれが進むべき道が一致するように練り上げられたものです。そのうちロータリー財団が実施した大きな変革がFVP「未来の夢計画」であります。3年間のパイロット期間を経て、いよいよ今年度から全世界でFVP「未来の夢計画」が始まりました。今年2月には皆様に補助金管理セミナーを受けて頂き、クラブと地区の間でMOU(覚書)を交わしました。そして昨年度は地区補助金の計画年度でありましたが当地区内では44クラブが地区補助金の申請をされ、これを地区がロータリー財団に対して一括申請を行いました。この申請は承認され7月には補助金が地区に届きました。またグローバル補助金には8件の申請があって、4件もの申請がロータリー財団から承認を受けております。私は今年度の地区方針と共に、5つの目標をお示し致しましたが、そのうちの一つがFVPの成功であります。我が地区は初年度から「成功」が確信出来る状況となっております。これは地区内クラブ様の熱心なお取り組みと、地区ロータリー財団委員会補助金部門の皆様、献身的なご努力の賜物であると、私は感謝致しております。

ここでロータリアンの寄付とDDF: District Designated Fund(地区財団活動資金)について私の考えを述べさせていただきます。先ず私たちの年次基金寄付や恒久基金は、ロータリー財団の組織やプログラムを根幹から支えているものであります。これまでにロータリー財団はどんな業績を残して来たでしょうか?最初の事業は国際親善奨学生派遣です。1956年から1966年の間に、研究グループ交換、技術研修奨学金、活動補助金(後のマッチング・グラント)の3つの新しいプログラムが開始されました。1978年には保健、飢餓追放、人間性尊重(3-H)補助金プログラム、1984-85年度にはポリオ・プラスの設置が発表され、その翌年、大学教員のためのロータリー補助金が設けられました。1987-88年度には初の平和フォーラムが開催され、こ

れが後になって財団の平和および紛争解決研究プログラムの創設を現実のものとなりました。

例えば3Hプログラムはフィリピンで200万人の子供たちへのポリオ・生ワクチン接種を成功させましたが、これは単なる1例であり、上述した素晴らしいロータリー財団の各種プログラムは到底一つのクラブだけの寄付金や活動では成し得るものではありません。全世界のロータリアンが寄付金を拠出しているからこそロータリー財団は活動し続けることが出来るのです。

年次基金や恒久基金への寄付金は3年間留保ののち、私たちのロータリー財団活動の原資として年次基金の50%、恒久基金利息の50%をDDFとして利用することが出来ます。そして今年度からDDFの最大50%までが、地区補助金として利用可能となりました。グローバル補助金の場合も、これまでのマッチング・グラントと同様にDDFを利用出来るだけでは無く、クラブ拠出金の半分およびDDFと同額のWorld Fund(国際財団活動資金)をさらに付加してもらえるわけです。だから1クラブでは到底取り組むことの出来ないプロジェクトが実現可能となるわけです。

ロータリー財団を理解し、プログラムを実践するロータリアンを中心に財団への支援は飛躍的に増えていきました。現在までに、100万人以上がポール・ハリス・フェローとして認定されています。ポール・ハリス・フェローとは、年次プログラム基金に1,000ドルを寄付した個人、またはその名義で寄付が行われた人に与えられる称号です。ロータリー財団の未来が確かなものとなり、今後も国際理解と世界平和の実現に必要な活動を続けていくことができるのは、こうした力強い支援と世界中のロータリアンによる積極的な参加のおかげなのです。

ロータリー財団月間

ロータリー・ジャパンの解説を引用しますと、インターアクトクラブ(Interact Club、IAC)とは、奉仕と国際理解に貢献する青少年のための、ロータリー

クラブ(RC)提唱の世界的団体で、高校に在学中の生徒、または年齢12~18歳までの青少年が入会できます。Interact という名は「国際的活動」International Actionを意味します(2010年1月の国際ロータリー理事会で、インターアクターの会員資格の最低年齢が14歳から12歳へ引き下げられることが決定しました)。

1959-60年度の国際ロータリー(RI)会長・ハロルド・トーマスは、世界各地のロータリアンが共通して「ロータリーは青少年奉仕を開発する力を、十分に発揮していない」という気持ちを抱いていることに気づきました。そうした中で、世界中の青少年が共に活動できるような組織をつくろう、という機運はますます高まり、トーマスRI会長は1960年、5人のロータリアンからなる委員会を発足させました。2年後の1962年、RI理事会により、インターアクトプログラムが宣言され、この年、理事会は初めてのIACの発足を認証しました。世界最初のIACは、アメリカ・フロリダ州メルボルンRCの提唱により10月28日に結成、23人でスタートしたメルボルン高校IACです。その後、IACは次々と広がっていき、現在では、世界各地で、青少年がさまざまなインターアクト活動を通じ、国際理解と親睦の輪を広げています。

さて当地区のインターアクト・クラブですが過去に

は大阪RCが大阪市立東中学校を、大阪南西RCが大阪教育大学附属平野中学・高等学校および四天王寺羽曳が丘中学・高等学校を、大阪阿倍野RCが大谷中学・高等学校を、大阪城南RCが明浄学院高等学校を提唱しておりました。現在は表の通りです。

提唱クラブ	インターアクトクラブ	設立年月日
大阪南	清風学園中学・高等学校	1975年 9月25日
大 東	大阪桐蔭中学・高等学校	1976年 7月 8日
大阪帝塚山	浪速中学校・高等学校	1982年 5月 5日
大阪天王寺	四天王寺高等学校・中学校	1982年 3月28日
八 尾	金光八尾中学・高等学校	2002年11月 5日
大 阪	相愛中学校・高等学校	2003年 9月 5日

当地区内には83のRCがありますが、提唱クラブは6クラブに過ぎません。

世界のインターアクターは次第に増えて32万人を超えている現状からすると、いささか淋しい感じが致します。地区内のどこかのクラブが、提唱クラブとして手を挙げて頂けることを念願せずにはおれません。

インターアクターは、将来的にはローターアクターに、そして更にはロータリアンになって頂きたいという思いもあります。インターアクト週間を機会に、一度皆様には、当地区のインターアクトについてクラブの中で協議の時間をお持ち頂ければ幸いです。

ロータリー財団月間によせて 今こそ財団を学ぶ時

ロータリー財団委員会 委員長

溝畑正信 (東大阪東RC)



今月はロータリー財団月間です。ロータリー財団月間である11月に、財団に焦点を当てた卓話やプログラムを是非行なって頂きたいと思います。

*本年度の財団目標

李 東建 (D.K.Lee) 2013-14年度ロータリー財団管理委員長は財団目標を、

1. ポリオを撲滅し、ポリオのない世界という夢をかたちにする。
2. 新しい補助金モデルの導入を成功させ、画期的な未来の夢計画を全世界で実施する。
3. より公平で平和な世界を築くため、革新的なプロジェクトと創造的なパートナーシップに参加する。
4. 年次基金、恒久基金、ポリオ・プラス基金を支援して、ロータリー財団が自分たちの財団であるという自覚と誇りを築く。

としています。

*ポリオ撲滅に関して、

私たちが知っておくべきことはなんですか？

1988年から始まった世界ポリオ撲滅推進計画 (GPEI) は、過去に類を見ない大規模な国際的協力に基づく公衆衛生プロジェクトで、2011年に650件だったポリオの発症が2012年には223件に減少しています。

ロータリーとビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団は、リスボンで開催されたロータリー国際大会において、ポリオ撲滅活動を支援するパートナーシップの拡大を発表しました。この新しいパートナーシップでは、2018年までの5年間、ロータリーがポリオ撲滅に寄せる寄付に対して、ゲイツ財団が2倍の額を上乗せすることとなります (年間3,500万ドルまで)。

この「End Polio Now - Make History Today」と呼ばれる協同活動は、世界保健機関 (WHO)、ユニセフ、アメリカ疾病対策センター、ゲイツ財団、RI が2018年までにポリオウイルスを一掃するための、2913~18年ポリオ撲滅ならびに終盤戦に向けての戦略計画のため

に55億ドルをあつめるための一環として行われるものです。

今年の世界のポリオ発生件数は、2013年10月1日現在、287件です。(昨年の同時期は154件、1年間の総発生件数は223件でした。)

内訳はナイジェリア49件 (90)、パキスタン36件 (40)、アフガニスタン6件 (19)、チャド (5)、エチオピア4件 (0)、サウススーダン3件 (0)、ケニア14件 (0)、ソマリア175件 (0)、ニジェール (1) です。

[流行国91 (149)、非流行国196 (5)]

()内は昨年同時期の発生数。

25年間にわたる努力が実り、ロータリーと協同団体は、ポリオの撲滅にあと一步というところまでたどり着きました。しかし、完全な撲滅を果たすには、今、すべての力を振り絞らなければなりません。ポリオ撲滅のために一層のご協力をお願い致します。

*「未来の夢計画」とは何であり、 クラブにとって何を意味しますか？

2013-14年度から、未来の夢計画が世界中で導入されました。長い間、国際親善奨学生に代表される教育的プログラムがその主流でしたが、次第に人道的支援がロータリー財団の主流になってきました。

1965年から2000年までの35年間で1万件であったマッチング・グラントは、2000年から2004年の4年間で1万件を超えました。この人道的分野でのマッチング・グラントの爆発的成長は、ロータリー財団が取り組むべき問題点を浮き彫りにし、その長い歴史の中で最も革新的な変革「未来の夢計画」誕生の、一つの要因となりました。

少額プロジェクトの増加は、補助金を上回る経費とともに膨大な事務量を生じ、あふれる書類に、人的対応が追いつかなくなったのです。さらに、小さなプロジェクトでは、せつかくの奉仕も持続的効果が望めないなど、多くの問題点が指摘されました。

そこでロータリー財団は「Future Vision Plan-----未

来の夢計画」委員会を発足させ、ロータリー財団100周年(2017年)を迎えた時、財団がいかにあるべきか、の検討を始めました。そのコンセプトは、●プログラムと運営の簡素化●ロータリー財団が自分たちの財団であることを自覚し、身近な存在とすること●世界的目標と地元の目標の両方を果たすための資金を提供することなど、「素晴らしい財団」とするための骨格を決めました。クラブと地区は、地区補助金とグローバル補助金の2種類の補助金制度を通じて、地元や海外での奉仕活動のような人道的プロジェクト、また奨学金や職業研修チームなどの教育的プロジェクトを実施することができます。またパッケージ・グラントでは、ロータリー財団が選んだ戦略パートナー(協力組織)との提携の下に、地区とクラブが活動に当たり、資金は全額、WF(国際財団活動資金)および協力組織から提供されるものです。

***新しい補助金制度とは、どのようなものですか？**

1. 地区補助金は、財団の使命を支える教育的および人道的活動(職業研修チーム、奨学金、人道的奉仕プロジェクト、文化交流を含む)を対象とし、毎年一括でDDFの50%を各クラブに配分されます。比較的規模の小さい活動やプロジェクト向きで、地元と海外いずれの活動にも使用され、幅広い指針の下、地区に裁量権が与えられています。
2. グローバル補助金は、グローバル補助金として使用できるDDFの最大額は、3年前の年次基金の25%+恒久基金の運用益の25%+前年度からの繰越金で、対象は6つの重点分野に属し、持続的で測定可能なプロジェクトに対し、総額、最低3万ドル以上の大規模プロジェクト向き、クラブ拠出金+地区の補助金+財団の補助金(15,000ドル以上)のものです。
3. パッケージ・グラントは、ロータリー財団が選んだ戦略パートナー(協力組織)との提携の下に、地区とクラブが活動に当たります。資金は全額、WF(国際財団活動資金)および協力組織から提供されるも

ので、グローバル補助金と類似し、重点分野に関連するプロジェクトや活動(奨学金、人道的プロジェクト、職業研修)を実施するためのもので、現在、アガ・カーン大学、マーシー・シップ、ユネスコ水教育研究所の3つ戦略パートナーとのパッケージ・グラントが提供されています。

【日本のグローバル補助金・奨学生の承認された件数】

9月1日の時点で、今年度の日本のGG奨学生は20人です。これは、アメリカ全体の30人に次いで2番目で、全世界では25%です。受入れが一番多かった国は、イギリスの32人です。

<世界の補助金申請状況>

9月16日現在

申請	地区補助金	グローバル補助金	パッケージ・グラント
申請書作成中	285	4,490	676
承認済	169	137	16

【地区補助金】

2013-14年度からの地区補助金は、2012-13年度までの地区補助金と日本語訳は同じですが、別のプロジェクトです。相違点を一覧にしたものです。

項目	今年度から地区補助金(District Grant)	昨年度まで地区補助金(District Simplified Grant)
申請方法	オンラインで「使用計画、銀行口座情報等」を提出	書面で「申請総額と銀行口座情報等」を提出
申請時期	前年度7月1日から実施年度5月15日	前年度と実施年度の7月1日から3月31日
報告時期	補助金配分後	プロジェクト完了後
報告期限	支払から1年または完了後2ヵ月以内に最終報告	支払から1年毎に中間報告全プロジェクト完了後2ヵ月以内に最終報告
報告書類	オンラインで「実際の配分額と通帳の写し」を提出	書面で「地区の概要報告書、個別プロジェクトの完了報告書、通帳の写し」を提出
支払い条件	前年度の地区補助金がCLOSEDしていること	前年度の地区補助金の50%以上の報告が受理されていること。
資金	DDFの50%が上限(3年前の寄付額による)	DDFの20%が上限(3年前の寄付額による)
用途	奨学金など教育的分野にも利用可能	人道的プロジェクト

* 寄付はどのようなのですか？

1. 年次基金は、3年間据置され、財団活動資金として、運用益は財団運営費として使用されます。寄付は、ポール・ハリス・フェロー 認証の対象となります。地元や海外で実施されるロータリー財団の幅広い活動を支援する主な資金源で、シェア・システムを通じて、ロータリー財団への寄付は、世界と人々の生活をより良くするための補助金となります。50%が国際財団活動資金(WF)、50%が地区財団活動資金(DDF)として使用されます。
2. ポリオ・プラス基金は、ポリオのない世界のため、ロータリーのポリオ撲滅活動につかわれます。寄付は、ポール・ハリス・フェロー 認証の対象となります。
3. 恒久基金は、ロータリー財団の確かな明日を築くためのものです。恒久基金はロータリー平和センターも支援しています。寄付は、ベネファクター 認証の対象となります。恒久基金に寄せられた寄付は、恒久的に保存されます。この基金の投資収益の一部は、財団の確かな明日を築くために、年次プログラム基金を補い、ロータリーの最優先活動の支援に役立てられます。
4. ロータリー平和センターでは、未来のリーダーが、紛争予防や解決に必要な研修を受け、専門的な経験を積む機会を提供しています。平和な世界を築くため、寄付(1回限り、または自動定期寄付)をお寄せください。
5. 財団から承認された特定のプロジェクトに現金を寄付することができます。寄付の際には補助金番号が必要となります。寄付は補助金プロジェクトに送られます。

世界インターアクト週間にあたって

インターアクト委員会 委員長

松井隆雄 (大阪天王寺RC)



11月が「世界インターアクト週間」であることをご存じのロータリアンが当地区に何人おられるでしょう。

R Iの常設プログラムではありますが、当地区には現在インターアクト提唱ロータリークラブは6クラブしかありません。すべてのクラブと地区は青少年の基本的ニーズである健康・人間の価値・教育・自己開発を支援するためのプロジェクトに着手するよう奨励されています。インターアクトは自己開発のプログラムであります。

インターアクターは世界中の109ヶ国地域に10,700以上のクラブに所属する約20万人がいます。

1962年11月5日アメリカ・フロリダ州メルボルンRCの提唱により、メルボルン高校に世界最初のインターアクトクラブが結成されました。その創立記念日を祝い、11月5日の週を「世界インターアクト週間」と指定されました。この週はインターアクトクラブの地域社会への貢献を多くの人々に知ってもらおう機会にしたいと期待されています。

日本最初のインターアクトクラブは1963年6月27日に宮城県の仙台東ロータリークラブの提唱で仙台育英学園高校インターアクトクラブが結成されました。現在日本には約537クラブに約15,000人のインターアクターが所属しております。

当地区のインターアクトクラブは学校を基盤として学校の規律と方針に従い課外活動の一環として運営されています。

インターアクトクラブは奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神をもちともに活動する機会を提供することです。そして少なくとも毎年2つの社会奉仕のプロジェクトを行い、そのうち1つは国際理解と親善を推進するものでなければならないとロータリー章典に定められています。

当地区のインターアクトクラブは大阪桐蔭(提唱クラブ:大東RC)、浪速(大阪帝塚山RC)、金光八尾(八尾RC)、四天王寺(大阪天王寺RC)、清風(大阪南RC)、相愛学園(大阪RC)の6校がそれぞれ地域の奉仕活動をしております。

6校のインターアクトクラブが合同で行うプログラムは海外研修、年次大会、新入生歓迎会と機関紙SCRUMUの発行があります。本年の海外研修は8月4日～8日まで現地3泊5日の行程でR I第3350地区タイ・バンコクを訪問しました。

参加者は6校のインターアクター 30名、顧問の先生7名、ロータリアン13名、ガバナー事務所事務局長、看護師、合計52名でした。タイ・バンコクのシビリヨンハイスクールで熱烈的な歓迎を受け、同校インターアクターとの交流会で第3350地区のロータリアンを交え、国際交流・国際親善を図ることができました。

今年度のインターアクト年次大会は、四天王寺高校・中学インターアクトクラブが担当し、11月23日(土) 勤労感謝の日に開催予定です。

青少年交換委員会 来日学生一泊研修 2地区(D2660・D2680)合同オリエンテーション

青少年交換委員会 委員

松岡一郎 (大阪RC)

日 時：2013年9月21日(土)～22日(日) 1泊2日

場 所：パナソニックリゾート大阪・インスタントラーメン発明記念館・大阪万博記念公園

参加者：第2660地区 来日学生5名、青少年交換委員会他、地区関係者25名

第2680地区 来日学生5名、青少年交換委員会他、地区関係者18名

日本からの派遣学生との交換で毎年8月、海外より青少年交換学生が来日します。国籍も生活習慣も違う学生達、本年もフランス、メキシコ、ブラジル、アメリカ、カナダなどの学生が来日しました。

来日後すぐの慣れない日本の学校生活、ホストファミリーとのホームステイの生活も1ヶ月の間にいろいろな問題が起こってきます。そこで来日後、1ヶ月の早い時期に、問題があった場合も皆で知恵を出し合って青少年交換プログラムを成功へ導きたいとの目的で6年前から他地区との合同オリエンテーションが開催されています。

例年この一泊研修は、日本文化に少しでも触れていたかどうかとの志向もあり、1日目のスタートは、大阪府池田市にある「インスタントラーメン発明記念館」を見学、日本が誇る世界的な発明品であるインスタントラーメン製造の体験をしました。見学後、ロータリー関係者の自家用車に分乗して、宿泊先である「パナソニックリゾート大阪」に向かいました。

到着後、和室、畳の部屋を利用して、「合気道の体験」をしていただきました。

来日学生の中には、合気道を熱心に習得しようとする学生もあり、様々な関節技などを覚えているようで日本の伝統武術は、海外学生にも関心や興味があることだと

ということがわかりました。

合気道体験の後、来日学生にも意外にも評判がよかった大浴場でのお風呂に入り、食事の後、再び和室に集合しROTEXのメンバーとの意見交換、オリエンテーション、青少年交換委員会を開催、21時に解散し1日目の行事は、終了しました。

2日目は、朝9時半にロビーに集合して、参加RC会員の自家用車に分乗、大阪万博記念公園に向かいました。到着後、公園内を散策、レストランでの昼食、国立民族博物館を見学し、最後に参加者全員で集合写真を撮って解散。来日学生は、それぞれのホームステイ先へ戻っていただきました。

2日間共に、晴天に恵まれ無事に一泊研修を終えることができ、この一泊研修は、第2680地区と第2660地区のRC関係者との友好の機会の場合でもあったことも認識しました。

研修が習慣も言葉も違う来日学生とRC関係者間の円滑なコミュニケーションの一助となり、これから楽しい時間をともに過ごし、今後の日本での生活が人生の有意義な時間になることを願います。

最後にご尽力いただきました。辻村委員長、青少年交換委員会の皆様、ホストファミリー、ROTEX、ガバナー事務所、関係者の皆様ありがとうございました。



[ガバナー補佐からのメッセージ] IMの将来について

IM第2組 ガバナー補佐

井上義信 (吹田RC)



現在のIMは講演会形式が多い。テーマはロータリーの一のことに限らず、一般社会で話題性のあるものなら、良いとされている。ただ区内の会員の親睦も重要な目的なので、その配慮も必要だ。

第2組の前期の事例からいくつか気になったことがある。一つは出席に関することである。会員数448名で当日出席者は201名・出席率44.8%であり、事前にクラブから出席と連絡を受けた会員、つまり登録者数308名に対し当日出席者は201名だから予備登録者に対して出席率65%である。107名の誤差がある。これでは会場の設営や運営をしていただくホストクラブに

大変な迷惑を掛けることになる。ロータリアンは心したい。

今後のIMについても課題はある。その一つは現在、出席者率を上げるためか、有名講師を迎える傾向が強い。有名講師なら謝礼も80万円、90万円と高額だ。謝礼をもっと抑えて、僅かでも幸せの灯を灯す奉仕活動に回せないものか。

二つ目はIMに対する地区の関与である。運営の独自性は尊重すべきだが、ホストクラブに依存し過ぎていないだろうか。IMの在り方について地区の課題として、今後の検討が待たれる。

我がクラブの目指すところ (IM第2組)

茨木RC 会長

土手基史

戦後復興期を経て、クラブ数が急増を始めた元年とも言える昭和34年茨木ロータリークラブは誕生しました。テレビCMで大きいことはいいこととか、隣の車が小さくみえるとかは少し後年のことになりますが、高度成長の高揚感が見られ始める時期だったと想像できます。

55周年を2014年に控えた今、永く続くことはいいことだ、をキーワードに据えていきたいと思います。今年度のクラブ方針の一つにも、「クラブを50年余維持して

きた先人の知恵に学ぶ」ことを掲げています。また会長の時間も私自身への学習ノルマとして今に語り継がれる主だったRCの先輩の事績を辿ることにしています。

永く続いているということは、企業をはじめとしてその団体が社会からのニーズに応えてきたという評価・ご褒美だと思います。

いい人材の増強を進め、将来の持続可能性をさらに高めたいと願っています。

茨木東RC 会長

木本誠一

茨木東ロータリークラブは本年度で40周年を迎えます。そこでこの茨木東ロータリークラブを創ったチャーターメンバー達の思いを振り返ってみました。

現在、チャーターメンバーは一人もクラブには残っていませんが、我々のクラブの長年積み上げ、守ってきた個性として受け継がれています。それは「和」「素朴」「純

真」の心です。

40周年でこの心をあらためて確認し、又、新しい時代に合ったロータリー活動も構築していかなばなりません。

会員一同和やかな中にも元気あふれるロータリークラブを目指していきます。

茨木西RC 会長

橋本善治

ロータリアンの基本として職業奉仕を大切に、会員一人一人が自らの事業に高い倫理性を求め、よい仕事をし社会に貢献すること、そして地域社会に貢献するクラブとする。

会員の長年の事業活動を通じてのみ得られる知恵・知恵とロータリーにおける職業奉仕に照らして得られることを会員各自が若い人に伝え広めること。家族、社

員、知人へロータリーの思想を広めることが重要であると考え。また、クラブの独自性を堅持しながらも地区や他クラブと協力し、ロータリー活動の成果を高めるようにする。そしてメンバーと会員家族がロータリーを楽しめるクラブとなることを目指す。

当クラブは本年度創立20周年を迎えるが、クラブの成熟はこれからです。

千里RC 会長

上橋芳雄

千里ロータリークラブは、昨年度40周年を迎え、さらに成熟したクラブになりました。しかし、会員数の減少や高齢化等課題も多く、今年度はじっくりと腰を据え会員一丸となって、この問題に取り組んでいます。

会員増強に関しては、金子委員長を中心に昨年度40周年の記念事業として、オープン例会を4回開催した際に参加していただいた方々をリストアップし、今年度の我がクラブの目玉である音楽例会にお招きし、さらに交流を深めることによって、入会のきっかけになるように

会員全員で努力しています。また、現状のロータリークラブの認知度の低さを少しでも打破するために、社会奉仕委員会の活動として、一般市民向けに（認知症予防について）の講演会を開催し、ロータリークラブの認知度を上げると共に存在意義をPRしたいと思っています。

その他、今年度の主な目標は、3年目を迎えるベトナムの子供たちの識字率向上プログラムをひき続き実施すること、そして東日本大震災復興支援にも出来る限り協力する事等で社会に貢献したいと考えています。

千里メイプルRC 会長

藤田芳浩

千里メイプルロータリークラブは、1998年6月13日に創立し、RI承認日は、1998年6月24日です。

本年6月25日には創立15周年記念例会を開催致しました。創立時の会員数が27名、その後3年目に31名となりましたが、現在は、会員数22名のクラブです。

第2660地区の中でも少人数のクラブですが、本年5月に第2660地区の各クラブ様のご協力を得て、ホストクラブとしてライラを開催致しました。この経験は、我がクラブにとって得難い財産となり、クラブ全体が一体感を持ち知恵を絞り互いに協力し、全員参加で実りあるライラを開催出来ました。

我がクラブの目指すところは、真に全員参加・全員協力です。しかしこれを達成するためには、日頃の例会が

大切です。

会員相互に敬意と友情を持ち、品位と礼節を尊びユーモアに溢れている、そんな例会を積み重ねることによってしか、この一体感は生まれてこないと思います。もちろん現状を満足しているわけではなく、千里メイプルロータリークラブを理解し親近感をもって頂く方の入会を積極的に活動して、同志をもっと増やさなければならぬのです。そうすれば、より内容のある、幅広い奉仕活動が実現できるのです。

これからも従来の例会とは趣の違う例会を企画し、会員の知人・友人の皆様に参加頂き、我がクラブへの理解と親近感を深め、入会したいと思われるクラブ作りを、全員参加・全員協力で目指していきたいと思っています。

摂津RC 会長

飯室正樹

電車・バス等に優先座席が設けていますが、実際殆ど機能していない様に思います。確かに立っている人が少ない時は、優先座席は空いていますが少し混んで来ると、優先座席も満席に成る。

先日私が天下茶屋始発の阪急電車に乗って摂津市駅に行く時、始発なもので空気で、私は車両の真ん中に座って出発するのを待っていると、母親が小学生2・3年位の男の子を連れて入ってきた時、その子供が端の優先座席の方へ行こうとしたら、母親は「そこは駄目」と云って違う席に座らせて、説明していた様でした。

確かに殆どの方は分かっておられるが、混んで来ると止むを得ない、自分一人だけ頑張ってもしょうがない。何かの切っ掛けが無いと出来るものではないでしょうか。

ここで提案なんですけど、優先座席は「一席」だけ空席を設ける運動を根気よくしていけば、やがては年寄りも安心して電車に乗れるのでは無いでしょうか。一個人がするには限度があります。

第2660地区の皆さんと一緒に声を上げれば、いずれ良い世の中に成るのでは無いでしょうか。

吹田RC 会長

平山直樹

私は、吹田ロータリークラブ第55代目の会長であります。私が入会した当時、伝統と格式を重んずるクラブに相応しい先輩方に例会時、お会いする度に自分の人生経験のなさ知識のなさに、身の縮むおもいをしたことを昨日の事のように思い出します。

強烈な印象として今でも鮮明に覚えているのですが、ある例会時会長が挨拶をしている最中にあるテーブルの会員仲間がべちゃくちゃ喋っていますとある大先輩が「黙らっしゃい」と一喝されたのであります。会員数

が減る傾向にある昨今、会員数を減らさないためにも、会員数を増やすためにも、どうしても楽しい雰囲気のある例会を求めてしまいがちです。

しかし、それでロータリークラブの存在価値を持ち続けることができるのでしょうか。

ロータリークラブの会員は、それぞれの職業において功を遂げ名を成した人たちのはずで、楽しい例会の中にも規律・礼儀・道徳を重んずるクラブをこれからも目指さなければと考えます。

吹田江坂RC 会長

西山俊明

私どものクラブは、1990年2月に創立され、次年度に25周年を迎えます。現在の会員数は34名です。

クラブの特徴として、毎回の例会開始時に、会員相互

の再会を祝して相互に握手を行い、心を和らげて例会が始まります。また、第2660地区内で、女性会員第一号が誕生しており、毎回の例会で彼女の美声を聞くことも

楽しんでいます。更に、大学RACも地区で初めての創立で、クラブとの交流も年々深まっています。情報集会やハイキング同好会等も工夫を重ね、一層親睦を深めることに貢献しています。

ただ、会員数が減少傾向にあり、それに伴ってクラブの財政状態も年々厳しい状況になっています。新会員の増強が不可欠であることから、会員増強特別委員会を設置して具体的な対策を検討しながら、会員の増強意識をしっかりと持っていただくよう努力しています。

吹田西RC 会長

石崎克弘

ロータリーの本質はクラブです。各々クラブには歴史背景があります。10年前、また前年度と同じであれば何も改革ができない、社会から乖離してしまう。だからクラブの状況を把握して目標を考えなくてはなりません。

そこで私は、基本テーマ「クラブの伝統を継承し、改革への挑戦」のもと、クラブの伝統、すなわち土台を変えることなくロータリーの価値観に従い地域社会にこれらの価値観を広めるクラブ改革を敢行していかなくてはならないと思います。

会員増強は重点課題ではありますが、2010年、新世代奉仕(2013年規定審議会で青少年奉仕に変更)が五

クラブの目指すところとしては、地域との交流を深め、地域の奉仕に貢献したいと考えています。そのため、地域の奉仕活動を実践されているリーダーを卓話にお招きして、具体的なお話をお聞きして、会員の意識を高めています。

また、地元関西大学RACとの交流も年々深まり、今後、共同して地域の奉仕活動を実施するなどして、ロータリークラブへの理解を深めてもらい、他方で若い世代の育成にも力を入れていきたいと考えています。

大奉仕部門に位置づけられたことから、ロータリーの奉仕の理想を青少年と理解し合うことを目指さなければならぬと感じました。

我がクラブは本年度より新世代奉仕部門を組み入れました。ローターアクト、インターアクト、RYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)、青少年交換などのプログラムは、新世代奉仕の重要な部分といえます。若いリーダーを育成し新会員として迎えることにより、地域社会をより良くしロータリーの未来が開かれていくと確信します。

「感動の体験を！人々にも、自身にも」

～参加し、敢行せよ～

高槻RC 会長

川面智義

学校教育にない教育支援として市内各公立高等学校から意欲溢れる推薦学生延べ200人を対象に課外学習として「高槻未来塾」の開講準備をしています。

このプロジェクトは、教育委員会・6校長様が目指したい教育理念と当RCが掲げる「日本の心の文化と新世

代の育成」～文化の担い手となる地域社会づくり～のコンセプト、とが一致し、スタートした事業です。

お蔭様で私達は、2014年6月15日に創立60周年を迎えます。高槻の文化と伝統の中で先輩諸氏が培われてこられた実績を顧み、会員一同、記念事業の成功に向

け新たな気持で取り組んでいます。

もう一つの目指すところは、クラブの事業計画やクラブ活性化・積極的寄付には活動基金が必要ですし、なくては何事も成しえません。将来を見据えても基金つ

くりは大切な活動です。各会員の寄付に対する意識革命の啓蒙と理解でこれも順調に推移していると判断しています。

高槻東RC 会長

高岸久典

高槻東ロータリークラブは昨年度において「台湾南徳RC」及び福島県「須賀川RC」と姉妹クラブ締結を行いました。

我がクラブの目指す処と致しましては、今後「台湾南徳RC」との関係を深め、国際平和に貢献すべく、また「須賀川RC」との関係につきましては、遅々として進まない東日本大震災の復興に少しでも貢献するために全力を注ぎたいと考えております。

国際奉仕に関しましても、カンボジア医療支援を行っております。

しかしながら、現下の状況を鑑みれば、会員減少が、今後の目標達成に大きな足かせになって参るのではないかと危惧される次第であります。

当クラブでは、37名の会員ですが、平均年齢もみましても65.86才となっており、現在、各プロジェクトを遂行されておられるのは、ごく限られた会員であり、次代を背負う若い世代を養成しなければ各プロジェクトとも頓挫しかねない状況であります。

その為、会員増強・若手の育成が喫緊の課題と考えられる次第であります。

高槻西RC 会長

森本 茂

1989年6月15日に創立。国際ロータリー第2660地区所属となり、本年で25周年を迎えます。

当初より親睦を重視し、地域社会への思いやりを大切にしつつ、ロータリー精神「超我の奉仕」の基、奉仕活動を行っています。

創以来、青少年交換事業「派遣、受入れ」を中心に、文化講演会・女性の為の健康教室・ゲートボール大会・

老人ホーム慰問・座禅とお茶会等々、クラブは地域に根ざした活動を心掛け、事業展開しています。

この25周年を機に30周年・50周年に向けて更なる推進を行い、青少年交換プログラムを軸とし、小さな子ども達から高齢者の方々を対象とした「新たなる高槻西ロータリークラブの支援活動」を確立することを指標と致します。

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー・ノミニー指名宣言

第2660地区 ガバナー・ノミニー候補者の指名

地区ガバナー指名委員会の規約に基づき、当指名委員会において慎重審議の結果、大阪RC会員、立野純三氏を2015-2016年度国際ロータリー第2660地区ガバナー候補者として指名することに決定いたしました。

2012-2013年度ガバナー月信8月号において、地区内各クラブに対し、国際ロータリー細則第13条及び当地区ガバナー指名委員会規約により候補者の推薦をお願いしましたところ1件、大阪RCより立野純三氏の推薦がありましたが、ガバナー・ノミニーの資格条件の一つであるRI細則第15.070.3項(クラブ会長の任務を1年間全うしていること)に抵触しておりましたが、過日、RI会長、RI理事会よりこの件を免除するロン・バートン会長のサインをもって、承認されました。

ここに国際ロータリー細則第13条に基づき、当指名委員会により選出された同氏を上記年度のガバナー候補者として指名いたします。

2012-2013年度
地区ガバナー指名委員会

第2660地区 ガバナー・ノミニー指名宣言

国際ロータリー細則第13条の規定に基づき、大阪RC会員、立野純三氏を2015-2016年度国際ロータリー第2660地区ガバナー候補として宣言します。

2013年10月

国際ロータリー第2660地区
2013-2014年度
ガバナー 福家 宏

立野純三(たてのじゅんぞう)氏の略歴

生年月日 1947年 3月 8日 (66歳)

勤務先 株式会社 ユニオン

経歴 1970年 甲南大学 法学部 卒業
1973年 株式会社 ユニオン
1990年 株式会社 ユニオン 代表取締役社長 就任

職業分類 金物製造

ロータリー歴 1989年 大阪ロータリークラブ 入会
1993年度 ローターアクト委員会 委員長
1996年度 クラブ幹事
2001年度 地区代表幹事
2004年度 プログラム委員会 委員長
2005年度 ロータリー財団委員会 委員長・理事
2008年度 社会奉仕委員会 委員長・理事
2010年度 会員増強委員会 委員長
2013年度 会長

その他 ベネファクター



災害支援プロジェクト報告 (第29回)

災害支援プロジェクト委員長

高島凱夫 (大阪中之島RC)

1. 「インド北部大洪水支援金」の送金が終了

本年6月に発生致しました「インド北部大洪水」に対しまして、地区内各クラブに支援金をお願い致しましたところ、8クラブから総額276,200円の浄財を頂戴致しました。早速、インド (RID3060) ・ Vapi RC (元RI会長 カロヤン・バナジー氏所属クラブ) にコンタクトをとり、送金の意思を伝えました。

しかし、数回の当方からの連絡に対して返信が全くございません。その他、国際赤十字・赤新月社連盟 (IFRC) へも連絡をとりましたが、インドへの送金の困難さを指摘されました。そこで、最終的に日本赤十字社のインド洪水災害救援金募集窓口を通じて支援金を送付 (平成25年10月4日) 致しました。

改めまして、ご支援を戴きました各クラブに心から感謝申し上げますとともに、前述のように送金に手間取り、またご報告が遅れましたことをお詫び申し上げます。

支援金ご協力ロータリークラブ

大阪・大東中央・香里園・門真・大阪フレンド・守口イブニング・大阪うつぼ・東大阪東 (支援金入金順)

2. 震災支援の報告

東大阪東RC

I. プロジェクト概要

プロジェクト名：宮城県南三陸町平成の森仮設住宅支援事業

実施場所：宮城県南三陸町平成の森仮設住宅

実施期間：2013年9月～2016年8月 (3か年)

受益者：平成の森仮設住宅住民 216世帯 561人 (南三陸町歌津地区住民)

概略：自治会を通しての軽トラック貸与 (3年間)

仮設住宅住民がガソリン代だけで利用できる車両として、新古の軽トラックを近隣の自動車会社を通してメンテナンスリースする。仮設住宅の解散までの3年間を対象とする。

大阪御堂筋本町RC

※2013-2014年度より提唱ロータリー／大阪御堂筋本町RCの方との10年かけた長期プロジェクト「東北支援事業」がスタート。大阪御堂筋本町RCとの合同支援事業です！

I. プロジェクト概要

プロジェクト名：大阪御堂筋本町ローターアクト 東北支援プロジェクト

実施場所：宮城県伊具郡丸森町の塩田

実施期間：2013年9月20日～2013年9月22日

受益者：宮城県伊具郡丸森町の被災農家

概略：東北学院大学の災害ボランティアステーションと共同で「東北コットンプロジェクト」にて塩害があった田んぼを再生する。

これは、津波により稲作が困難となった農地で被災した農家が綿を栽培、紡績から商品化・販売を参加各社が共同で展開する、農業から震災復興を目指すプロジェクトです。当プロジェクトをきっかけに被災地とのつながりを作り、次年度以降の活動に活かしていく。

3. 第2660地区 東日本震災復興支援基金（地区基金）の申請と寄付

地区内クラブは、東日本の復旧・復興の為に活動やプロジェクトの為に、第2660地区基金を申請することができます。同基金は、地区内各クラブから拠出された寄付金を原資としており、同基金への寄付も同時に募集しております。

【地区基金の申請方法】

申請資格：2013年7月以降、表題基金に寄付をしたクラブ

受付期間：2013年9月～基金枯渇まで随時

対象プロジェクト：東日本大震災の災害復興支援を目的とし、クラブ拠出金が20万円以上のプロジェクト

申請方法：申請書・見積書を第2660地区災害支援プロジェクトまで提出

補助金額：20～50万円/件（但し、クラブ拠出額に対し同額補助）

審査期間：約1週間

報告書：少なくとも6か月ごとに報告書を提出

最終報告書（領収書コピー添付要）は、プロジェクト終了後1か月以内に提出（写真は任意）

その他：①原則クラブが申請できる回数は年度内1回です

②複数クラブで合同申請の場合は、代表クラブの拠出金に同額補助

③ロータリアンは、補助金の受給者にはなれません（交通費や宿泊費等）

④原則、継続事業には申請できません

⑤出来るだけ、ガバナー月信に活動紹介記事や写真を投稿下さい

【地区基金への寄付】

寄付額：会員一人あたり2,000円以上、または各クラブ5万円以上

寄付受付：随時

振込先：りそな銀行 大阪営業部 普通1527285

（口座名） 第2660災害支援 会計 片岡 基博（タニロカケロサイガイシケンカケイカホキヒロ）

4. 災害支援地区基金の状況（2013年9月18日～10月17日）

【収入】

（単位：円）

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備考
1	前年度からの繰越	2,591,875	
2	大阪アーバンRC	50,000	基金
3	茨木西RC	56,000	基金
4	くずはRC	100,000	基金
5	大阪平野RC	64,000	基金
6	大阪北RC	270,000	基金
7	大阪天王寺RC	116,000	基金
8	大阪御堂筋本町RC	120,000	基金
9	大阪梅田RC	51,500	基金
10	香里園RC	50,000	基金
11	千里RC	65,000	基金
12	池田RC	50,000	基金
13	茨木東RC	50,000	基金

14	守ロイブニングRC	50,749	基金
15	千里メイプルRC	66,000	基金
16	真柄志津様(大阪イブニングRC会員ご親戚)	11,000	基金
17	大阪西南RC	200,000	基金
18	大阪天満橋RC	50,000	基金
合 計		4,012,124	

【支 出】

(単位:円)

	地区基金支出内容	金 額	備 考
1	インド復興基金送金・日本赤十字社	276,200	
2	振込手数料	400	
合 計		276,600	

【残 高】

(単位:円)

預金残高	3,735,524	2013年10月17日現在
------	------------------	---------------

米山奨学委員会／ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2013年 8月末	全国寄付金合計額 ……………	288,331,153円	(前年度比470万円増)
	第2660地区寄付金合計額 ……………	13,216,950円	(前年度比11.78%増)
	全国寄付合計トップ10		
		1. 第2750地区	21,000,652円
		2. 第2770地区	20,854,000円
		3. 第2760地区	17,859,800円
		4. 第2650地区	16,655,783円
		5. 第2580地区	14,939,850円
		6. 第2590地区	14,231,500円
		7. 第2660地区	13,216,950円
		8. 第2790地区	12,116,700円
		9. 第2690地区	11,432,205円
		10. 第2710地区	10,964,800円

米山功労者 次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2013年8月)

氏名	回数	クラブ名
村上 泰啓	1回目	大阪城南RC
弓手 宏亮	1回目	東大阪西RC
川上 卓男	3回目	東大阪西RC
藤原 史嗣	3回目	東大阪西RC
石崎 義公	3回目	東大阪西RC
広田 甫	3回目	東大阪東RC
澤村 榮一	1回目	豊中千里RC

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2013年8月)

氏名	クラブ名
秀浦 宣夫	東大阪西RC
岸上 好廣	大阪なにわRC
小山 登	大阪西北RC

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2013年8月)

氏名	回数	クラブ名
松川 雅典	1回目	新大阪RC
松井 素子	3回目	大阪リバーサイドRC
川上 卓男	1回目	東大阪西RC
嶋田 亘	2回目	東大阪西RC
宇野 能史	5回目	大阪イブニングRC

ベネファクター 次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2013年8月)

氏名	クラブ名
塩谷 眞治	大阪東RC

2013年9月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	9月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第1組	池田	37	37	2	0	0	0	4	76.43	70.72
	池田くれは	28	29	1	1	0	1	3	87.31	87.31
	箕面	25	25	1	0	0	0	4	91.38	75.26
	箕面千里中央	21	22	0	1	0	1	4	86.00	86.00
	豊中	45	45	4	1	1	0	4	83.99	72.53
	豊中南	28	29	2	1	0	1	4	86.44	83.38
	豊中-大阪国際空港	20	21	0	1	0	1	4	63.75	56.25
	豊中千里	39	39	3	0	0	0	4	87.79	77.16
	小計	243	247	13	5	1	4		82.89	76.08
	I M 第2組	茨木	25	26	3	1	0	1	4	88.83
茨木東		39	41	4	2	0	2	4	82.89	71.70
茨木西		28	28	6	0	0	0	4	92.86	79.46
千里		38	38	0	0	0	0	4	90.13	81.77
千里メイプル		22	21	2	0	1	-1	4	98.75	92.50
摂津		37	37	2	0	0	0	4	87.07	68.33
吹田		60	61	10	2	1	1	4	95.59	89.38
吹田江坂		34	34	2	0	0	0	3	94.72	84.17
吹田西		47	48	2	1	0	1	3	100.00	95.24
高槻		51	50	6	0	1	-1	4	91.37	86.23
高槻東		36	36	1	0	0	0	4	98.53	94.98
高槻西		20	21	0	1	0	1	4	90.48	84.52
小計		437	441	38	7	3	4		92.60	83.98
I M 第3組	大東	42	43	0	1	0	1	3	100.00	94.59
	大東中央	28	28	11	0	0	0	3	77.20	71.90
	枚方	40	44	0	4	0	4	4	84.62	79.49
	門真	30	32	6	3	1	2	4	82.82	71.88
	交野	32	32	1	0	0	0	4	84.41	80.38
	香里園	15	16	0	1	0	1	4	88.75	84.06
	くずは	52	54	0	2	0	2	4	77.37	68.80
	守口	42	42	4	0	0	0	4	85.63	78.32
	守口イブニング	27	27	4	0	0	0	4	82.41	77.78
	寝屋川	42	42	5	0	0	0	4	91.67	79.76
	四條畷	12	12	0	0	0	0	4	97.72	97.72
	小計	362	372	31	11	1	10		86.60	80.43
I M 第4組	東大阪	70	72	0	2	0	2	4	87.15	71.93
	東大阪中央	33	33	0	0	0	0	3	93.14	89.72
	東大阪東	55	58	4	3	0	3	3	88.65	78.73
	東大阪みどり	30	30	1	0	0	0	4	76.67	73.33
	東大阪西	31	32	0	1	0	1	3	96.42	77.32
	大阪柏原	30	31	2	1	0	1	3	90.78	89.54
	大阪ネクスト	19	19	8	0	0	0	4	69.74	48.69
	八尾	60	61	0	2	1	1	4	76.44	74.08
	八尾中央	16	17	1	1	0	1	4	79.43	77.96
	八尾東	26	26	1	0	0	0	4	78.26	72.00
	小計	370	379	17	10	1	9		83.67	75.33

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	9月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第5組	大阪中央	46	49	5	3	0	3	4	93.88	82.47
	大阪堂島	28	30	1	2	0	2	3	90.00	82.22
	大阪北	197	198	0	5	4	1	4	77.25	65.06
	大阪北梅田	50	52	3	2	0	2	3	81.82	69.48
	大阪西	75	76	0	1	0	1	3	89.85	85.67
	大阪大淀	36	37	0	1	0	1	4	89.31	83.21
	大阪リバーサイド	34	36	7	2	0	2	4	97.71	78.76
	大阪西北	49	52	0	3	0	3	4	89.58	77.07
	大阪そねざき	35	35	22	0	0	0	4	94.78	78.69
	大阪梅田	25	24	1	0	1	-1	4	83.87	73.54
	大阪梅田東	25	30	0	5	0	5	4	88.33	70.82
	大阪ユニバーサルシティ	32	32	5	0	0	0	4	89.17	76.67
	小計	632	651	44	24	5	19		88.80	76.97
I M 第6組	大阪	257	263	1	8	2	6	4	75.26	60.88
	大阪東	117	116	0	1	2	-1	4	94.88	76.91
	大阪東淀ちゃやまち	30	30	3	0	0	0	3	80.30	72.73
	大阪城東	43	42	5	0	1	-1	4	87.27	78.94
	大阪中之島	27	27	1	0	0	0	4	90.73	73.14
	大阪大手前	35	36	4	1	0	1	4	87.50	68.96
	大阪城北	49	49	3	0	0	0	4	75.19	74.48
	大阪天満橋	68	67	0	1	2	-1	4	84.55	80.77
	大阪鶴見	32	32	0	0	0	0	4	88.13	84.74
	大阪淀川	28	29	3	2	1	1	4	93.90	85.40
	新大阪	32	33	1	2	1	1	4	86.37	82.58
	小計	718	724	21	15	9	6		85.83	76.32
I M 第7組	大阪フレンド	25	26	3	1	0	1	4	91.00	77.00
	大阪御堂筋本町	61	60	3	0	1	-1	4	80.53	70.91
	大阪南	144	157	0	14	1	13	4	88.09	74.87
	大阪難波	46	50	0	4	0	4	4	93.42	84.13
	大阪なにわ	25	26	3	1	0	1	4	94.91	82.82
	大阪南西	15	15	3	0	0	0	4	85.17	71.80
	大阪西南	98	99	19	1	0	1	4	91.98	73.23
	大阪船場	39	39	0	0	0	0	4	93.50	81.25
	大阪心斎橋	33	33	0	0	0	0	4	99.24	82.60
	大阪うつぼ	33	34	4	1	0	1	4	94.21	83.23
	小計	519	539	35	22	2	20		91.21	78.18
I M 第8組	大阪平野	32	32	3	1	1	0	4	99.17	89.05
	大阪イブニング	14	14	3	0	0	0	4	80.08	72.53
	大阪城南	53	55	0	2	0	2	4	98.05	89.71
	大阪咲洲	18	19	1	1	0	1	4	78.95	65.79
	大阪天王寺	56	58	0	2	0	2	4	83.57	75.71
	大阪帝塚山	53	55	4	2	0	2	4	75.69	70.57
	大阪東南	50	50	0	0	0	0	5	92.00	56.40
	大阪アーバン	23	25	7	3	1	2	4	87.00	85.00
	大阪みおつくし	34	34	17	1	1	0	4	71.32	68.38
	小計	333	342	35	12	3	9		85.09	74.79

合計	クラブ名	7月期初 会員数	9月末 会員数	女性 会員数	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均出席率	ホームクラブ 平均出席率
	83	3614	3695	234	106	25	81	87.1	77.8

文庫通信 (313号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー最近の文献より

- 「われらは地球の相乗り客」
ジョージ・ミーンズ 1970 1p (D.365月信)
- 「どこに差があるか？」
ジェームズ・コンウェイ 1970 1p (D.365月信)
- 「ロータリーの魅力は童心と微笑」
塚本義隆 1970 1p (D.365月信)
- 「ホームクラブへ出席がなぜ大切」
塚本義隆 1970 1p (D.365月信)
- 「ロータリーの目的は4つある？」
本田博己 2013 2p (D.2840月信)
- 「『奉仕の理想』ってどういう意味？ そして、『超我の奉仕』とはどういう関係？」
本田博己 2013 4p (D.2840月信)
- 「職業奉仕とロータリーの魅力」
大迫三郎 2013 2p (D.2730月信)
- 「会員増強月間」
沖田哲義 2013 1p (D.2710月信)
- 「幹事心得10箇条」
岡村泰岳 2013 1p (D.2720地区協議会プログラム)
- 「ロータリー徽章に隠された秘密」
山本正治 2013 2p (ロータリーこぼれ話)
- 「国際貢献と二つの奉仕理念」
石井良昌 2013 9p (2680地区研修セミナー講演集)

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

浅川正英 会員（大阪天満橋RC）

2013年 9月20日 逝去（享年73歳）

会長エレクト、理事、国際奉仕委員長、
友好委員長、出席委員長、米山奨学委員長

米山功労者（マルチプル）
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

お知らせ

■例会場電話番号の訂正

大阪淀川ロータリークラブ

（誤）06-6433-1235 → （正）06-6344-1235

月信編集委員会からのおねがい

□ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。

□投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。

□物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

□今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 福家 宏
- 地区代表幹事 山田 正雄
- 地区副代表幹事 中井 敬和
- 担当地区幹事 吉本 憲司
- 担当地区幹事 山本与志弥
- 事務局長 栗正 久美

2013—2014年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	福家 宏
地区代表幹事	山田 正雄
地区副代表幹事	中井 敬和
事務局長	栗正 久美
事務局員	春名 志保
	奥田 純子
	井上 望美

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

<http://www.ri2660.gr.jp/>

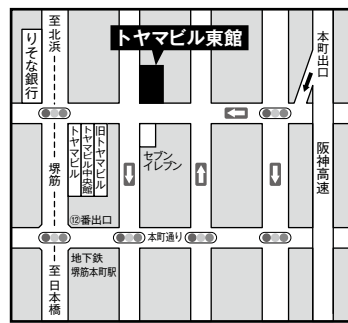
●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日

年末年始
2013年12月28日(土)~
2014年1月5日(日)



※地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー 第2660地区

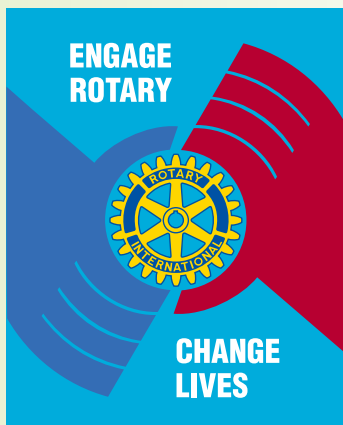
〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階

TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan

TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp



ロータリーを实践し
みんなに豊かな人生を

感動の体験を!!

人々にも自身にも

Participate! 参加し、敢行しよう!!

2013-2014年度 国際ロータリー第2660地区

地区大会

第1日目

2014年

2月21日 金

大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)

開会式 <5階メインホール> 14:00 開会
合同研修会 <5階メインホール> 15:10 開会

リーガロイヤルホテル

家族の集い <2階ペリドットの間> 15:30 開会
RI会長代理御夫妻歓迎晩餐会 <光琳の間> 18:00 開宴

第2日目

2014年

2月22日 土

大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)

本会議 <5階メインホール> 13:00 開会
特別講演 <5階メインホール> 15:30 開会

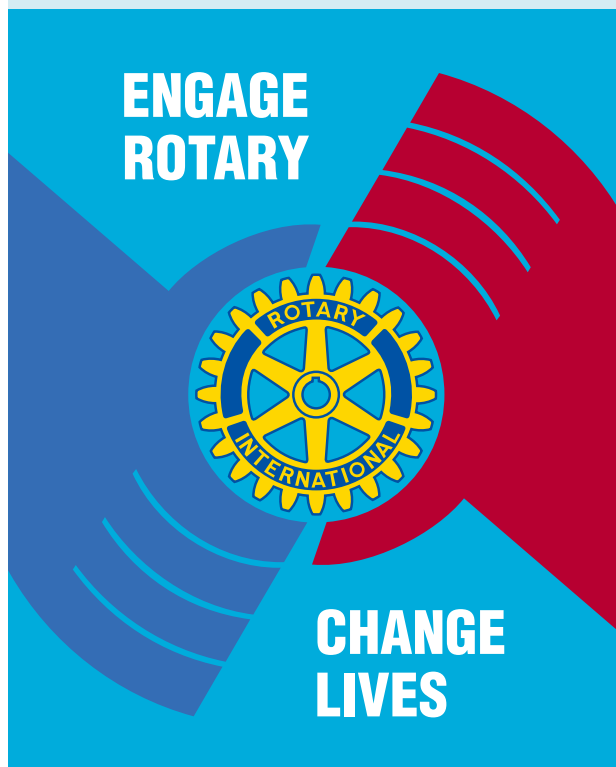


「日本の進路と誇りある国づくり」
櫻井よしこ氏

ジャーナリスト、国家基本問題研究所理事長。
クリスチャンサイエンスモニター紙 東京支局の助手として
ジャーナリズムの仕事を始め、アジア新聞財団 DEPTH NEWS
記者、東京支局長、NTVニュースキャスターを経て、現在に
至る。
2007年にシンクタンク、国家基本問題研究所を設立し、国
防、外交、憲法、教育、経済など幅広いテーマに関して日本の
長期戦略の構築に挑んでいる。

2013 – 2014
December
vol. 6

12



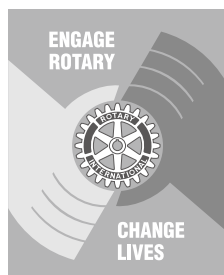
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信12月号

国際ロータリー 第2660地区
2013-2014年度ガバナー

福家 宏



2013-2014 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

December vol.6

CONTENTS

ガバナーメッセージ（ロータリー家族月間）	1
秋のライラ報告	2
米山レクリエーション報告	3
ガバナー杯野球大会	4
地区大会案内	5
ガバナー補佐からのメッセージ	6
我がクラブの目指すところ（IM第3組）	7
災害支援プロジェクト報告（第30回）	12
地区米山奨学委員会より	14
米山奨学委員会／ロータリー財団	14
2013年10月度 会員数・出席報告	15
文庫通信	16
敬弔／お知らせ	17

ロータリー家族月間にあたって

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

福家 宏



12月は家族月間(Family Month)です。

1995～96年度ハーバート・ブラウン会長は、世界平和は地域、家族から始まるとの考えを表明しました。そして1995年11月のRI理事会において、2月の第2週を「家族週間」と指定することになりましたが、2007年7月の同理事会において、2003～04年度ジョナサン・マジニアベRI会長が家族の重要性を強調していることを称え、理事会は12月を「家族月間」と指定し、これに伴って「家族週間」を廃止しました。

ロータリー家族とは、ロータリアンの配偶者や子弟、ロータリー財団学友(当地区ではPSC)GSE体験者(当地区ではアルムニ会)米山学友、米山奨学生、ローターアクター、インターアクター、ROTEX、青少年交換学生など全てを指しています。ロータリアンは「ロータリー家族」と共に奉仕プロジェクトを行なうことも推奨されています。

「ロータリー家族月間」は、ロータリアンが奉仕活動や諸行事を通じてロータリー家族や地域社会への献身を

示す月間であります。そしてクラブおよび地区はロータリアンとその配偶者や子弟、元ロータリアン、亡くなったロータリアンの配偶者等に対する家族的な心配りを実践する月間でもあります。私たちは12月を迎えるにあたって、この月間の意味を十分に理解し、ロータリー家族の大切さや、ロータリアンとしてロータリー家族にどう向き合い、何をすべきかについて改めて考えてみては如何でしょうか。

多くのと言うより、殆どのクラブが12月には「忘年家族会」や「クリスマス会」を計画されることでしょう。そのような行事には是非ロータリー家族をお招きになり、交流を深めておくことは大切です。

この月間にはロータリアンがロータリー家族とともにさまざまな建設的考えを分かち合うことによって会員を増強し、退会を防止し、組織を強化し、更には人道的奉仕活動を発展させることによって、社会におけるロータリーの信用度を高め、活力ある豊かなロータリーの発展に繋げることが期待されているのです。

2013-2014年度 秋のライラ(上級)報告

青少年活動委員会 委員長

西本健二 (吹田江坂RC)

日 時：2013年10月12日～10月14日(2泊3日)

場 所：大阪市立信太山青少年野外活動センター

ホストクラブ：大阪フレンドRC(栗原 大会長、柴山泰範実行委員長)

テーマ：Be Strong!! 五心を育み絆を深めよう ～素直な心・反省の心・謙虚な心・奉仕の心・感謝の心～

受講生：16名

ロータリアン登録数：256名

昨年度より当地区のライラは春に初級、秋に上級という形でっております。今回の秋のライラは初級を修了した青少年を対象に受講生を募りました。結果16名の青少年が初級よりさらに高度な上級ライラセミナーを受講し修了いたしました。当地区では上級ライラ修了生は引き続き「チームライラ」に加入してライラの企画運営を行う機会も与えられます。

チームライラとは地区青少年活動委員会に所属する組織でありライラ・ニコニコキャンプなどの企画運営をホストクラブとの協力のもと行う実行部隊です。このように初級ライラ、上級ライラ、チームライラと一度きりの研修でなく、長期的にリーダーの育成を図るライラプログラムを行っているのが当地区の特色で他では例を見ません。

さらに上級ライラ修了生には国際ライラへの派遣の機会も与えられます。この青少年にとって非常に意義のある長期的なプログラムの入り口は春に行われる初級ライラです。是非多くの青少年のご推薦を引き続き

お願いいたします。

さて今回の研修プログラムは関西大学元理事長でロータリアンでもある森本靖一郎様の基調講演で始まりしました。自らの経験をもとにしたリーダー論は非常に明快であり3日間のセミナーを前にした受講生にファイトを与える熱い講演でした。

その後身体を動かし、頭を使い、仲間と強調する各種セミナーを消化した受講生は、最後の夜にロータリアンとの2時間にも及ぶファイアークで今後の人生における貴重なヒントを得ることが出来ました。こうして3日間のライラは無事終了いたしました。

今回は平均年齢が49歳という若さと活気あふれる大阪フレンドRCにホストをしていただきました。クラブの雰囲気そのままの素晴らしいライラの運営に對しましてあらためて感謝申し上げます。

またご登録を賜りましたすべてのロータリアンにも感謝申し上げます。引き続きこのプログラムへのご理解をお願いいたします。



米山奨学生レクリエーション

米山奨学委員会 委員

北山治信 (東大阪みどりRC)

日 時：2013年10月6日(日)

会 場：宝塚大劇場・エスプリホール

参加者：米山奨学会副理事長、近藤雅臣P G、泉博朗G E、西谷雅之委員長、福田治夫副委員長、近藤菜穂子副委員長、田中真人、吉田悦治、田中隆弥、古城紀雄、島井宏子、口野孝、三木得生、北山治信各委員、米山奨学生27名、米山奨学学友会(関西)10名、ロータリアン、家族

2013年度の米山奨学生レクリエーションは、恒例となりました宝塚大劇場にて、10月16日に開催されました。今回は総勢110名を越える参加者により、盛大に開催されました。

当日の公演は宝塚歌劇団 宙組講演「風と共に去りぬ」です。

昨年の「J I N」とは違い、世界的な映画の劇場版と言う事もあり、ストーリーは事前にご存知の方も多かったと思います。ストーリーはアメリカ南北戦争時の悲劇を題材にしていますので、良かったと言う感想は多かったですが、楽しかったと言う感想は少なかったと思います。但し、世界平和を願うロータリーとしては、感動の中に、平和について考えさせられた、良い公演だと感じました。観劇が終了後、懇親会は劇場内の「エスプリホール」にて引き続き開催されました。

島井地区委員の司会により、西谷地区米山奨学委員長

の「米山奨学金も60年を迎え、これを100年に持つていく為には、奨学生の皆様が、私が米山奨学事業の主役で有る自覚を持って、勉学に励んで欲しい」と言う、奨学生への激励を混じえた、開会の挨拶が有りました。

次に懇親会開会と言う事で、泉博朗ガバナーエレクトより「奨学生の皆様の母国文化などを世話クラブの方々に教えて頂き、ロータリアンとの文化交流にも努力して頂きたい」と言うアドバイスを頂きました。

これより、近藤雅臣米山奨学会副理事長の乾杯の御発声により懇親会スタート！楽しい会話がはずみだした頃に恒例の奨学生の近況報告が有り、緊張しすぎて話せない奨学生や冗談を交えながら会場の笑いを取る奨学生など、楽しい報告会と成りました。

最後に泉博朗ガバナーエレクトの講評が有り、近藤地区米山副委員長の閉会の挨拶により、楽しい有意義な米山レクリエーションは終了致しました。



第25回 第2660地区ガバナー杯争奪 軟式野球大会開幕

磯田郁子 (大阪東淀ちややまちRC)

快晴の9月29日(日)サントリー箕面総合トレーニングセンターグラウンドにおいてガバナー杯争奪軟式野球大会が開幕しました。今回はAブロックに寝屋川RC、大阪御堂筋本町RC、くずはRC、大阪帝塚山RC、八尾RC、大阪中之島RCの6チーム、Bブロックに八尾東RC、大阪城北RC、吹田西RC、大阪平野RC、大阪うつぼRCの5チーム、合計11チームがガバナー杯をかけて戦います。

第1試合の寝屋川RC対大阪御堂筋本町RCの試合に先立ち、泉博朗GEによる始球式が行われました。ご自身も大阪帝塚山RCの野球同好会のメンバーでいらっしゃる泉博朗GEは力強い1球をキャッチャー目掛けて投げられ、10日間の熱戦が幕を開けました。

1日目は4試合が行われ、珍プレー好プレーありで笑い声と拍手がグラウンドに響いていました。大会の日程は以下の通りです。

大会組み合わせ表

	第1試合(9:00)	第2試合(10:50)	第3試合(12:40)	第4試合(14:30)
第1日目 9月29日 サントリー球場	寝屋川 御堂筋本町	くずは 帝塚山	八尾東 大阪城北	吹田西 大阪平野
第2日目 10月6日 サントリー球場	大阪城北 吹田西	大阪平野 大阪うつぼ	くずは 八尾	帝塚山 大阪中之島
第3日目 10月13日 サントリー球場	御堂筋本町 くずは	帝塚山 八尾	大阪城北 大阪うつぼ	
第4日目 10月20日 サントリー球場	八尾東 大阪平野	寝屋川 帝塚山	吹田西 大阪うつぼ	
第5日目 10月27日 関西電力	大阪城北 大阪平野	寝屋川 くずは	八尾 大阪中之島	
第6日目 11月3日 柏原高校グラウンド	くずは 大阪中之島	寝屋川 八尾	御堂筋本町 帝塚山	八尾東 大阪うつぼ
第7日目 11月10日 関西電力	八尾東 吹田西	御堂筋本町 大阪中之島		
第8日目 11月17日 関西電力	御堂筋本町 八尾	寝屋川 大阪中之島		
決勝戦など 11月24日 関西電力		3位決定戦	決勝戦	
予備日 12月1日 ミキハウス球場				



地区大会のご案内

地区大会実行委員会 委員長

吉村清明 (八尾中央RC)

R I テーマ：「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」

地区方針：「感動の体験を!! 人々にも自身にも」～参加し、敢行しよう!!～

地区大会テーマ：「明るい日本の未来に向かって」

《大会日程》

2013-2014年度地区大会開催：2014年2月21日(金)・22日(土)

ホストクラブ 八尾中央ロータリークラブ

コ・ホストクラブ 八尾RC、大阪柏原RC、八尾東RC

サポートクラブ 東大阪RC、東大阪東RC、東大阪中央RC、東大阪西RC、
東大阪みどりRC、大阪ネクストRC、大阪フレンドRC

第一日目 2014年2月21日(金) 大阪国際会議場 5階 メインホール

14:00～17:10 「友愛の広場」地区活動等の情報提供。お飲み物をご用意しております。

「開会式」大会決議案上程承認

「合同研修会」大阪国際会議場 5階 メインホール

今年度は「合同研修会」として出席者が一堂に会して行います。

1部：「ロータリアンの奉仕とは何か」

第3ゾーン ロータリー・コーディネーター

バスト・ガバナー 井上暎夫 氏

2部：「奉仕の現場からの報告」

① [カンボジアでの奉仕] 元国際親善奨学生 西口三千恵 氏

② [被災地支援] 元国際親善奨学生 倉内菜穂子 氏

合同研修会参加者は、会長、幹事、クラブ研修リーダー、クラブ奉仕、青少年、国際奉仕、米山奨学、R財団の各部門委員長、および各奉仕委員長、入会3年未満の会員は必ずご参加お願い致します。ご家族の方々も、是非ご参加頂きます様お願い申し上げます。

15:30～17:00 「家族の集い」リーガ・ロイヤルホテル 2階 ペリドットの間

お二人のトーク、楽しく興味深いお話をお聞きかせいただきます。

観世流能楽師 山本章弘氏、講談師 旭堂南陽氏

18:00～20:30 「R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会」リーガ・ロイヤルホテル 光琳の間

第二日目 2014年2月22日(土) 大阪国際会議場 5階 メインホール

13:00～17:30 「本会議」大会決議案上程、決議、採択

「特別講演」[日本の進路と誇りある国づくり]

ジャーナリスト、国際基本問題研究所理事長 櫻井よしこ 様

[ガバナー補佐からのメッセージ] IMの将来について

IM第3組 ガバナー補佐

亀井信昭 (寝屋川IRC)



「IM」は、自らが所属しているクラブに一番身近な隣接クラブの集まりであり、職業を通じた知人や親戚なども多く存在する地域です。

しかし、我がIM3組には、11クラブが存在し、個々のクラブは独自の味を持っています。また、個々のクラブの位置する市(町村)には、その市(まち)独自のまち自慢があります。即ち、個々のクラブそして、そのまちには、みんな誇れるアイデンティティがあると思いま

す。interとは、「際」(はざま)のことです。まちとまちの「際」違う特色を相互に理解し、認め合える。そんなIMでありたい。いつまでも仲のいい11クラブでありたいと思います。

また、IMという年一回の出会いは、自らのクラブ以外の近隣の友人と出会える場でもありますので、IMの将来像は、参加してよかった！楽しかった。又、来年、元気で会おう！と感じるものでありたいと思います。

我がクラブの目指すところ (IM第3組)

大東RC 会長

上田正義

クラブの目指すべき方向性・指針の基本は、大東ロータリークラブ定款及び細則R I 定款の基本の元に、歴代会長の年度方針の積み重ねが、現在の大東ロータリークラブのカラーを作られました。私で46代目になります。

先輩諸兄が築き上げられました大東ロータリークラブ46年の歴史と伝統に敬意を抱き、さらなる発展の為、魅力ある楽しいクラブ・会員相互の親睦・友情を深めるクラブを目指してまいります。

当クラブは年齢別にバランスが取れているかと思えます。確かに会員数は71名から現在43名になっていますが、人数が減った分、全員が年齢相応な活動されている姿を垣間見えた時、会長として非常に有難い気持ちで

一杯になります。

私の本年度方針は「今を生きる、そして未来につなげる」としました。歴代会長がされてこられた「未来につなげる」、そして「今」があるのです。偉大なる人々が努力と試行錯誤されて今日の輝かしいロータリークラブがあるのです。我々ロータリアンは「今」何をすべきか、先輩会員から後輩会員に「そして未来につなげる」責任があるのです。この繰返しが大東ロータリークラブの歴史でもあり目指すところでは。

私は本年度を会員相互で、「未来につなげて」いただく事に、少しでもお役に立てる様に会長といたしまして、お世話したいと思っております。

大東中央RC 会長

田中正美

我が大東中央ロータリークラブは、28名の男女混合のクラブです。

目指すところは、例会が楽しくて、そして会員相互の笑顔が見たくて、全会員が出席するのが楽しみになる。そして、活動が活発に行なわれ、奉仕の心を持ち、計画された目標に向かって進み、成果を上げる。ニコニコ箱や財

団への寄付も喜んで進んで行き、心から世界平和を願い、笑顔が満ちあふれるクラブ。

もちろん、増強なども心配せずに、素晴らしい会員がどんどん集まる。いいですね～いいですね。そんなクラブの姿です。そんなクラブを目指して私は努力奮闘中です。

枚方RC 会長

家高健志

私が今年度のクラブ目標として掲げたのは「1.会員増強」「2. IT利用によるクラブ活動活性化」「3.ロータリーを楽しもう」です。

今年で創立53年目となり、近年ベテラン会員の引退等により昨年7月には38名迄会員数が減少してしまいました。

しかしその後会員一丸となった新人勧誘活動により、昨年9月より現在までに12名の方が入会され11月にはさらに2名の方の入会が予定されています。

誠にうれしい限りですが、「最初が肝心」という言葉がありますように、新人の方に対する日頃のちょっとした声掛けを心がけております。

例会出席がロータリーの一番の基本であり、又クラブに馴染む一番の近道であるのは言うまでもありませんが、しかし泡付きのお水を頂きながらの夜の勉強会は、より一層「好意と友情を深める」のに大きな効果があります。(実に日本的ですが)

私も退会防止の為(?) 新人の方と既存会員を交えて

の夜の小例会を催しますが、私自身にとっても楽しく、有意義な時間となっています。

ロータリークラブに参加することで、多くの気付きと、生涯の友人を得ることができる事をたくさんの方に知っていただき「行って楽しいロータリー」「行って為になるロータリー」を目指し目標と致します。

門真RC 会長

西川亮彦

本年で創立45周年を迎えます。周年の式典等は考えていませんが、念願であった「身近なところで姉妹クラブを」が実現でき、このたび10月27日に台湾台北市の益成扶輪社(イツェンロータリークラブ)と締結調印式を台北君悦大飯店(グランドハイアット台北)で行う運びとなりました。国際奉仕活動がより一層広がるものと期待しています。

40周年を終えた時に次の10年の長期計画をたて、一年一年実現に向け着々と進んでいます。

当クラブは松下電工(株)丹羽正治社長で創立。会員32名中、企業会員7割、地元会員3割の構成で、創立当初の雰囲気を保ちながら仲良く運営しています。

50周年には40名を目指しています。「入りたい人」よりも「入ってほしい人」を基本に増強を図っています。

本年「友に学び共に幸福(しあわせ)を素敵な門真ロータリークラブとともに」を掲げ、これからも入会してよかったと思えるクラブであり続けたいと思っています。

交野RC 会長

佐藤義也

会員ひとりひとりが、いついかなるときも「ロータリアンでよかった」と思えるクラブでありたいと願っています。

それは、クラブが行うロータリー活動において、会員に大なり小なり一人一役を担ってもらい、無言のうちに「自分はこのクラブにとって欠くべからざる大事なパートである」と自覚してもらうことから始まると思います。

その上で、会員が誇れるような、クラブとして特色があり、地元にも密着したロータリー活動を行うこと

が大切だと考えます。

特に近年、交野ロータリークラブでは、職業奉仕、会員相互の親睦はもとより、新世代奉仕、社会奉仕に力を入れ、毎年、交換留学生、または米山奨学生を、地元交野市国際交流協会と連携して迎える傍ら、岩手県大槌町、福島県いわき市などへの被災地支援、大阪府生駒花屏風構想に賛同しての植樹、交野市と連携してのスリランカ児童へのリユース自転車贈呈など特色ある取組みをしています。

香里園RC 会長

浅井勝彌

私どもの香里園ロータリークラブは寝屋川ロータリークラブを親クラブに、20年前に発足し来年周年を迎えます。

一時は20数名を維持しておりましたが、現在総勢15名の弱小クラブで、IM3組内ではブービーの位置にいます。それを鑑み、身の丈に合ったクラブ運営に代々の会長は努めて参りました。私もそのように継続努力したいと思っております。

私、浅井勝彌が今期の会長就任に当たり、掲げたテーマは“Home Sweet Home 小さいながらも楽しい我が家”副題は“継続は力なり”です。

このテーマからご想像頂けると思いますが、このクラブに入ってから良かった！との思いを会員一人一人が抱いていただけるような、親しみやすい、アットホームなクラブになればいいなどの願いを込めております。

我がクラブ独自の事業と致しましては、昨年に被災

地東北の業者さんと呼び寄せて、“東日本大震災の支援市”を府立寝屋川公園近くに出来た、VIVAMALLの一角で2日間開催し、大変な盛況をみ、近隣住民からも高く評価して頂いたものと自負いたしております。出来ればこの事業も継続していきたいとは考えております。

さらには、8年前より、寝屋川市立の障害児療育施設“あかつき・ひばり園”に訪問して、園児と共にゲームをし、絵本の読み聞かせを致しております、こちらも、園児をはじめ職員父兄からも喜ばれていて、これは継続していく覚悟です。

後、IMの当番に当たってしまして、この行事を滞りなく終えるのが今年最大の課題です。会員全員一丸となり、取り組んで参りますが、至らぬ事多々生じるのではと、危惧しております。

弱小クラブ故と目をつぶって頂いて、お許しとご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

くずはRC 会長

北川順清

当クラブは来年創立40周年を迎えますが、今日まで様々な奉仕活動に取り組み“ロータリーを实践”して参りました。それらの活動は地域社会にもしっかりと根ざし、その功績が残されています。

本年度は40周年に向けての準備年度として、また40年の節目を繋ぐ大事な年度であります。福家ガバナーの言われるクラブ強化(より充実したプロジェクト)に取り組み、継続事業や奉仕活動を会員一丸となって“ロ

ーリーを实践”する中で、会長テーマ「自他敬愛」を提唱いたします。やさしさや思いやり、愛情は大切な部分ですが、目には見えません。その目に見えない部分を大切に、精一杯の活動をして参ります。

その為にはクラブの活性化を図り、第一に会員の増強(3名以上)55名以上の会員、第二は出席率の向上、第三は地域でリーダーとなりクラブ全員で取り組む奉仕活動を実践いたします。

守口RC 会長

菊田 芳

ロータリークラブは云うまでも無く職業、国際、社会、新世代の各奉仕活動を通じて社会に貢献するのをその旨としています。

我がクラブに於いても会員相互の親睦を一層深め、職業を通じて地域社会への貢献を目指していますが、その活動主体に於いて、他の会員から言われて惟なんとなく義理的に追行するのではなく、クラブの各事業に参画す

るに際し「ロータリーに入会して良かった」と実感できるような事業展開を諮って行きたいと思っています。

その為には事業展開に際し、当然のことながら各委員会や理事会で議論を尽くし会員のコンセンサスを得、事業参画に無力感を感じている会員に積極的に参画する生甲斐を持って貰うようなクラブを目指します。

守口イブニングRC 会長

福田治夫

当クラブは誕生後13年で14年目になろうとしている若いクラブです。会員は27人で少人数ですが、お互いの顔が見えるまとまりのあるクラブです。「初心に戻る」と言うことから本年度のクラブのテーマはチャーターナイト時のR I テーマの一説を引用し「Take action 行動しよう!」としました。

当クラブは、小規模なクラブなので、会員からの浄財が一人一人に頑張っていたいただいても総額では少額です。R I や地区の補助金を活用し姉妹クラブや友好クラブと連携して奉仕活動を行っていくように努力していま

す。

新たな試みとして、守口イブニングロータリークラブが提唱クラブとなって「インターアクトクラブ」を立ち上げ、インターアクトクラブの奉仕活動の指導、助言、支援をしていきたいと思っています。また、その活動に参加する若者が将来、「社会に奉仕する」ロータリアンとなることを期待しています。当クラブとして初めての取り組みであるため、地区や会員の皆様にはいろいろとご負担、混乱を招くことがあると思いますが、未来を担う青少年のためにご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

寝屋川RC 会長

上村 章

寝屋川ロータリークラブは、本年、創立45周年を迎えることになりました。

2011～2012年度に立てました下記の「中期活動計画」を継続・発展して進めています。

- 5年後の会員数50人を目標として会員増強に取り組む（現在は42名）。
- ニコニコ募金を充当している「市民活動支援基金」活

動を継続する。

創設以来11年となり、前年度までに82の個人・団体に約1,000万円を支援しています。

- 第31回 寝屋川ロータリークラブ杯争奪各市親善ソフトボール大会
- 第11回 寝屋川ロータリークラブ杯学童軟式野球大会
- 寝屋川レスリング大会

○寝屋川市国際交流協会

○東日本大震災に関する支援等継続しています。

又、昨年度より国際奉仕活動として、他地区のロータリークラブと共にネパールの「ルーザートレーニングセンター」に支援をしています。

そして、45周年記念事業の一つとして、ロータリーク

ラブの公共イメージアップのための街頭看板の設置を企画中です。

今年度、会長テーマとして「一步前に!! より楽しく、より深く」と致しました。より親睦を深め楽しく、より深くロータリーを学び自分自身の人格を高め、自分の職業を通じ奉仕することを目指したいと思います。

四條畷RC 会長

平井正雄

四條畷ロータリークラブは、大東ロータリークラブを親局として、昭和52年11月に創立総会を実施し、スタートされました。

それ以来、我がクラブは活動に意欲と熱意をもって市行政、各地区のスポーツ団体を通じ子供たち等へも奉仕活動を実施してきました。ロータリー活動の良き理解者作りにもなればと思っています。

地域に愛され必要とされるクラブになる様続けて活動して行きたいと思います。その為にも増員が最重要課題と位置付け頑張っております。

又、この1年「思いやりの心を」と題して会員皆様方と共に取り組んでいるところです。私たちは創立の原点に立ち返り、会員相互の親睦を通じて魅力あるクラブ創りを目指していきたいと考えています。

災害支援プロジェクト報告 (第30回)

災害支援プロジェクト委員長

高島凱夫 (大阪中之島RC)

1. 災害支援プロジェクト寄付送金口座

りそな銀行 大阪営業部 普通 1527285

口座名義：第2660災害支援 会計 片岡基博

(ダイニロクロクゼロサイガイシエン カイケイ カタオカモトヒロ)

2. 災害支援地区基金の状況 (2013年11月15日現在)

【収 入】

(単位:円)

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備 考
1	前月からの繰越	4,659,147	
60	大阪ネクストRC	30,000	基金
61	高槻RC	96,000	基金
62	豊中-大阪国際空港RC	52,500	基金
63	大阪大淀RC	53,552	基金
64	大阪西RC	50,000	基金
65	高槻東RC	72,000	基金
66	大阪中之島RC	50,000	基金
67	大阪梅田東RC	57,736	基金
68	箕面RC	50,000	基金
69	八尾東RC	50,000	基金
70	東大阪RC	100,000	基金
	合 計	5,320,935	

【支 出】

(単位:円)

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備 考
1	前月からの繰越	923,623	
7	大阪西RC 気仙沼地区奨学金プロジェクト ※1	375,000	地区基金申請No.56
8	振込手数料	400	
9	大阪リバーサイドRC 南三陸町 名足小教育機材支援プロジェクト ※2	500,000	地区基金申請No.57
10	振込手数料	400	
	合 計	1,799,423	

【残 高】

(単位:円)

預金残高	3,521,512	2013年11月15日現在
------	------------------	---------------

※1 【概要】

家庭の事情で十分な学力がありながら大学進学を諦めざるを得ない学生の為に、大学入学費用を含めた奨学金支援を行うことで、将来大学卒業後に社会人となって、故郷のために役立ってくれることを目的とします。対象者は1名でロータリアンが面接し、特定のロータリアンにより大学入学後もフォローするとともに、さらなる支援が必要かケアしていきます。

※2 【概要】

南三陸町歌津地区北東沿岸地域に位置する名足小学校は、2013年11月8日に校舎改修完了、学校を再開するが、震災以来2年半の放置に依り、流出したもの、錆びて使用不可等多数あり、必要最優先にもかかわらず町の正式予算で整えてもらえないもの、つまり、元々地域等からの寄付による機材・備品の支援要請。可能な限りの教育環境を整える事で、元へ戻ろうとする地域住民と児童・生徒の増加で、学校の再開を決断した地域の復興・活性化にも大きく資するものと思われる。

インド復興基金 日本赤十字社 受領証

第 RINF-0006090 号

国際ロータリー第 2660 地区 様

このたびは、赤十字にご協力をいただきありがとうございます。
お寄せいただきましたご寄付は、ご趣旨に沿うよう大切に使用させていただきます。

受 領 証

¥276,200-

但 海外教授金（2013年インド洪水災害教授金）として

この受領証記載の金額は、個人については所得税法第78条第2項第3号、法人については法人税法第37条第4項の規定に基づき寄附金に該当します。

上記のとおり受領致しました

平成25年10月7日

日本赤十字社
社長 近衛 忠 雄
〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-5
TEL. 03-3438-1311

米山奨学委員会／ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2013年 9月末	全国寄付金合計額 ……………	343,758,081円	(前年同期比790万円減)
	第2660地区寄付金合計額 ……………	16,254,950円	(前年度比22.41%増)
	全国寄付合計トップ10		
		1. 第2770地区	24,966,500円
		2. 第2750地区	23,260,652円
		3. 第2650地区	21,492,783円
		4. 第2590地区	19,550,000円
		5. 第2760地区	19,532,300円
		6. 第2580地区	17,867,850円
		7. 第2660地区	16,254,950円
		8. 第2790地区	13,605,200円
		9. 第2690地区	12,718,205円
		10. 第2700地区	12,305,000円

米山功労者 次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2013年9月)

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
勝亦 良彰	2回目	大阪西北RC	島田 喜代司	19回目	大阪平野RC
近藤 治郎	5回目	大阪西北RC	梶田 梓聞	1回目	東大阪東RC
岩城 本臣	7回目	大阪西北RC	表 康之	5回目	東大阪東RC
山本 博通	1回目	大阪東RC	水谷 弘道	6回目	東大阪東RC
小切間 俊司	1回目	大阪東RC	島 顕佑	7回目	東大阪東RC
藤野 洋一	2回目	大阪東RC	都井 正剛	1回目	豊中RC

米山功労クラブ 次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2013年9月)

氏名	クラブ名
大阪RC	105回目
大阪西北RC	42回目
大阪大手前RC	27回目
大阪東RC	82回目

ポール・ハリス・フェロー

次の方にポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2013年10月)

氏名	クラブ名
橋山 宗弘	大阪東RC

ベネファクター 次の方にベネファクターの称号が贈られました。(2013年10月)

氏名	クラブ名
川面 智義	高槻RC

2013年10月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初	10月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
		会員数	全員	女性						
I M 第1組	池田	37	37	2	0	0	0	4	71.43	67.14
	池田くれは	28	30	1	2	0	2	3	85.31	85.31
	箕面	25	27	2	2	0	2	4	80.95	76.03
	箕面千里中央	21	22	0	1	0	1	4	94.50	93.11
	豊中	45	46	4	2	1	1	5	86.95	68.49
	豊中南	28	29	2	1	0	1	5	89.60	82.22
	豊中-大阪国際空港	20	21	0	1	0	1	4	60.00	57.50
	豊中千里	39	37	3	1	3	-2	4	92.91	82.73
	小計	243	249	14	10	4	6		82.71	76.57
	I M 第2組	茨木	25	26	3	1	0	1	4	83.83
茨木東		39	41	4	2	0	2	5	83.68	70.43
茨木西		28	28	6	0	0	0	4	90.18	82.14
千里		38	38	0	0	0	0	4	87.50	79.54
千里メイプル		22	22	2	1	1	0	4	98.80	93.98
摂津		37	37	2	0	0	0	4	90.17	76.63
吹田		60	61	10	2	1	1	4	94.16	83.46
吹田江坂		34	34	2	0	0	0	5	96.15	92.29
吹田西		47	48	2	1	0	1	3	100.00	95.24
小計		437	442	38	8	3	5		92.23	84.40
I M 第3組	大東	42	43	0	1	0	1	4	99.22	79.00
	大東中央	28	28	11	0	0	0	4	80.78	74.43
	枚方	40	43	0	4	1	3	4	83.12	79.86
	門真	30	32	6	3	1	2	4	85.94	75.00
	交野	32	32	1	0	0	0	5	79.33	78.67
	香里園	15	16	0	1	0	1	4	87.50	79.69
	くずは	52	54	0	2	0	2	4	81.48	69.13
	守口	42	42	4	0	0	0	4	77.08	70.78
	守口イブニング	27	27	4	0	0	0	4	83.33	78.71
	小計	362	371	31	11	2	9		86.10	78.53
I M 第4組	東大阪	70	72	0	2	0	2	4	86.08	76.79
	東大阪中央	33	33	0	0	0	0	3	98.85	84.47
	東大阪東	55	59	4	4	0	4	4	88.89	72.91
	東大阪みどり	30	30	1	0	0	0	5	83.33	77.30
	東大阪西	31	32	0	1	0	1	3	96.39	62.57
	大阪柏原	30	31	2	1	0	1	5	91.61	88.20
	大阪ネクスト	19	19	8	0	0	0	4	69.74	51.32
	八尾	60	61	0	2	1	1	5	70.70	69.20
	八尾中央	16	16	0	1	1	0	5	85.83	75.50
	小計	370	379	16	11	2	9		85.08	72.62

I M 組	クラブ名	7月期初	10月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
		会員数	全員	女性						
I M 第5組	大阪中央	46	49	6	4	1	3	4	92.86	77.99
	大阪堂島	28	30	1	2	0	2	3	84.44	78.88
	大阪北	197	197	0	6	6	0	5	76.46	64.19
	大阪北梅田	50	52	3	3	1	2	3	79.22	70.78
	大阪西	75	76	0	1	0	1	3	88.52	81.74
	大阪大淀	36	39	0	3	0	3	5	95.40	86.78
	大阪リバーサイド	34	37	7	3	0	3	5	94.19	80.66
	大阪西北	49	52	0	3	0	3	4	89.35	78.70
	大阪そねざき	35	37	23	3	1	2	5	94.83	78.52
	小計	632	657	46	35	10	25		88.19	75.97
I M 第6組	大阪	257	264	1	10	3	7	4	70.25	56.15
	大阪東	117	118	0	4	3	1	5	93.66	75.25
	大阪東淀ちゃやまち	30	30	3	0	0	0	3	83.33	74.24
	大阪城東	43	41	5	1	3	-2	4	89.88	81.40
	大阪中之島	27	28	1	1	0	1	5	90.41	75.02
	大阪大手前	35	36	4	1	0	1	4	82.23	66.26
	大阪城北	49	51	3	2	0	2	4	79.81	75.26
	大阪天溝橋	68	67	0	1	2	-1	4	82.77	78.94
	大阪鶴見	32	31	0	0	1	-1	4	86.23	82.84
	小計	718	728	21	24	14	10		85.77	75.03
I M 第7組	大阪フレンド	25	28	4	3	0	3	4	91.31	77.72
	大阪御堂筋本町	61	60	3	0	1	-1	4	83.52	71.94
	大阪南	144	157	0	14	1	13	4	85.93	73.72
	大阪難波	46	50	0	4	0	4	4	92.48	82.32
	大阪なにわ	25	27	3	2	0	2	4	90.51	84.69
	大阪南西	15	15	3	0	0	0	4	90.66	83.24
	大阪西南	98	99	19	1	0	1	5	93.95	69.49
	大阪船場	39	38	0	0	1	-1	3	92.00	83.30
	大阪心斎橋	33	33	0	0	0	0	4	95.46	85.21
	小計	519	541	36	25	3	22		91.18	79.98
I M 第8組	大阪平野	32	32	3	1	1	0	4	97.38	86.83
	大阪イブニング	14	14	3	0	0	0	5	86.92	77.91
	大阪城南	53	55	0	2	0	2	4	97.99	86.38
	大阪咲洲	18	19	1	1	0	1	5	85.26	70.52
	大阪天王寺	56	58	0	2	0	2	4	82.95	73.97
	大阪帝塚山	53	55	4	2	0	2	4	80.36	72.36
	大阪東南	50	51	0	1	0	1	4	92.16	65.44
	大阪アーバン	23	25	7	3	1	2	4	77.00	76.00
	大阪みおつくし	34	30	13	1	5	-4	4	74.17	71.67
	小計	333	339	31	13	7	6		86.02	75.68

合計	クラブ名	7月期初 会員数	10月末 会員数	女性 会員数	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均出席率	ホームクラブ 平均出席率
	83	3614	3706	233	137	45	92	87.2	77.3

文庫通信 (314号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演より

- 「ロータリーにおける不易流行とは(パネルディスカッション)」
沢島武徳(コーディネーター) 2013 10p (D.2630地区大会記録誌)
- 「それこそロータリー」
関場慶博 2013 14p (D.2530地区大会記念誌)
- 「新世代に伝えるべきこと(トークセッション)」
新浪剛史 他 2013 5p (D.2720地区大会記録)
- 「新世代の育成に情熱を!!」
岡村泰岳 2013 4p (D.2740地区大会記録)
- 「善き仲間と共に」
中村靖治 2013 6p (D.2720地区大会記録)
- 「これからのロータリー～新世代育成の現状と展望(シンポジウム)」
茂木正光(コーディネーター) 2013 5p (D.2580地区大会の記録)
- 「職業奉仕の理念と実践」
黒田正宏 2013 3p (D.2730地区大会記録誌)
- 「職業奉仕の基本理念」
深川純一 2013 4p (D.2730地区大会記録誌)
- 「シェルドンから学ぶ」
田中 毅 2013 3p (D.2730地区大会記録誌)
- 「時代を先駆けたシェルドン職業奉仕の実践」
小船井修一 2013 4p (D.2730地区大会記録誌)

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

桂 知 良 会員（大阪城東RC）

2013年10月18日 逝去（享年78歳）

会長、幹事、理事、クラブ奉仕委員長、
職業奉仕委員長、社会奉仕委員長、
国際奉仕委員長、創立35周年委員長

米山功労者（マルチプル）
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター

阿部成之助 会員（大阪鶴見RC）

2013年10月22日 逝去（享年87歳）

会長、幹事、職業奉仕部門理事、
クラブ奉仕部門理事、
地区財団国際親善奨学委員長、
ロータリー財団委員長、米山奨学委員長、他

米山功労者（マルチプル）
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

お知らせ

■お詫びと訂正

月信11月号2ページに間違いがありましたので、お詫びして訂正いたします。

11月号2ページ 右の段一番上

（誤）大阪市立東中学校 → （正）大阪市立東高等学校

月信編集委員会からのおねがい

□ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAX
またはE-mailにてお願い致します。
折り返し、できるだけ早くご連絡致します。

□投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載
月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。
原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。
掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月
の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任
下さい。

□物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い
致します。

□今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・
事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を
設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には
有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきます
ので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待
ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 福家 宏
- 地区代表幹事 山田 正雄
- 地区副代表幹事 中井 敬和
- 担当地区幹事 吉本 憲司
- 担当地区幹事 山本与志弥
- 事務局長 栗正 久美

2013—2014年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	福家 宏
地区代表幹事	山田 正雄
地区副代表幹事	中井 敬和
事務局長	栗正 久美
事務局員	春名 志保
	奥田 純子
	井上 望美

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

<http://www.ri2660.gr.jp/>

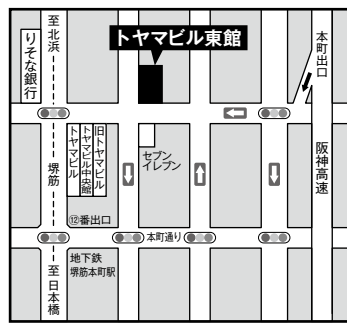
●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日

年末年始
2013年12月28日(土)~
2014年1月5日(日)



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を
併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所まで
お問い合わせください。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー 第2660地区

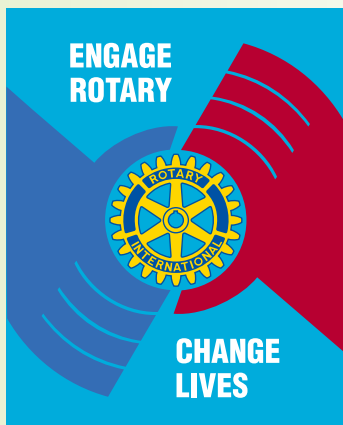
〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階

TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan

TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp



ロータリーを实践し
みんなに豊かな人生を

感動の体験を!!

人々にも自身にも

Participate! 参加し、敢行しよう!!

2013-2014年度 国際ロータリー第2660地区

地区大会

第1日目

2014年

2月21日 金

大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)

開会式 <5階メインホール> 14:00 開会
合同研修会 <5階メインホール> 15:10 開会

リーガロイヤルホテル

家族の集い <2階ペリドットの間> 15:30 開会
RI会長代理御夫妻歓迎晩餐会 <光琳の間> 18:00 開宴

第2日目

2014年

2月22日 土

大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)

本会議 <5階メインホール> 13:00 開会
特別講演 <5階メインホール> 15:30 開会

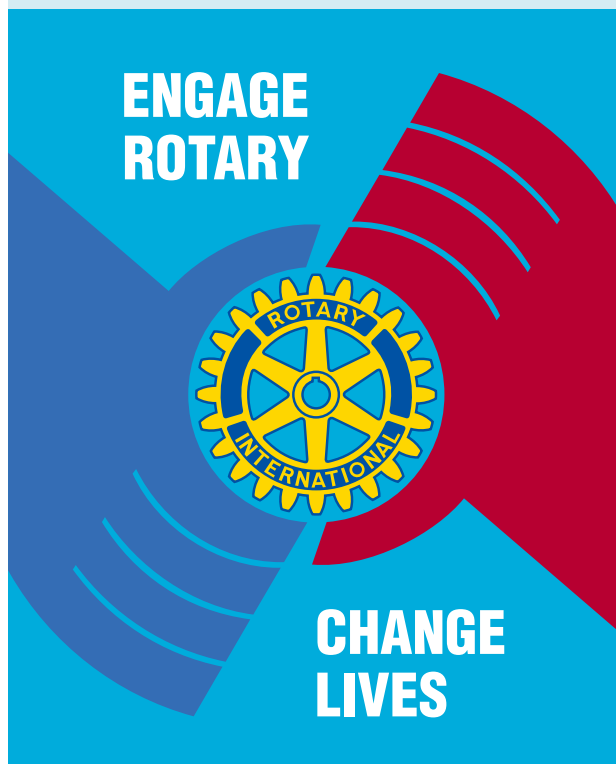


「日本の進路と誇りある国づくり」
櫻井よしこ氏

ジャーナリスト、国家基本問題研究所理事長。
クリスチャンサイエンスモニター紙 東京支局の助手として
ジャーナリズムの仕事を始め、アジア新聞財団 DEPTH NEWS
記者、東京支局長、NTVニュースキャスターを経て、現在に
至る。
2007年にシンクタンク、国家基本問題研究所を設立し、国
防、外交、憲法、教育、経済など幅広いテーマに関して日本の
長期戦略の構築に挑んでいる。

2013 – 2014
January
vol. 7

1



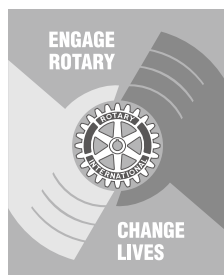
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信1月号

国際ロータリー 第2660地区
2013-2014年度ガバナー

福家 宏



2013-2014
**GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER**
January vol.7

CONTENTS

ガバナーメッセージ（ロータリー理解推進月間）	1
ロータリー理解推進月間にあたって	2
ローターアクト海外研修報告	3
米山奨学生ふれあいスピーチコンテスト報告	5
インターアクト年次大会報告	6
クラブロータリー財団委員長会議報告と財団情報	7
地区協議会会計報告	9
ガバナー補佐からのメッセージ	10
我がクラブの目指すところ（IM第4組）	11
災害支援プロジェクト報告（第31回）	15
米山奨学委員会／ロータリー財団	16
2013年11月度 会員数・出席報告	18
文庫通信	19
敬弔／お知らせ	20

ロータリー理解推進月間にあたって

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

福家 宏



この月間にあたっては、ロータリアン自身がロータリーへの理解を深めることが第一ですが、ロータリアンではない周囲の人々にロータリーを紹介するというもう一つの大切な活動であります。

さて具体的には何をすれば良いのでしょうか。何はともあれ、一度国際ロータリーのホームページを開いてみて下さい。数限りないロータリー情報が満載されています。つまりしっかりした情報源がそこにあることをご確認下さい。

それ自体とても意味のあることだと思います。ただホームページを十分に読んだ積りでも、なかなか理解が進むと言うものではありませんが、自分が是非とも必要としている内容であれば、即座に理解が進む筈です。

ロータリーへの理解を深めることは、デスクの前に腰かけていてもある程度可能ではありません。しかしRIやロータリー財団のプログラムに実際に参加すれば、つまり実践を伴えば、理解は数倍進みます。プログラムに関して分からないことがあれば、どんどんリーダーに質問を投げかけて下さい。そしてもう一度ホームページを開いてみて下さい。さらに理解は進みます。ロータリーの理解を推進するには、まずは参加して自ら実践す

ることが最も有効だと私は思っております。

ロータリアンでない人にロータリーを紹介するということも大切です。大船渡市漁業組合の岩脇洋一組合長は、震災で壊滅状態となった地元漁業の復旧に全力を挙げていました。物品の運搬は、手分けして自転車を利用していました。

そこに大阪のRCから支援物資として軽トラック5台が届いたのです。岩脇氏は非常に驚き、感激されました。そして彼は言いました。「ロータリーって何でこんなことが出来るんだ」と。彼が大船渡西RCに入会されたのはそれから間もないことでした。奉仕を通じてロータリーを紹介した素晴らしい一例です。

(岩脇洋一氏は今年度当地区の地区大会に訪問されることになっています)

入会してから年数の浅い会員の皆様に対して、情報集会でロータリー情報を伝えることは、極めて大切です。しかし仮に入会後の年数の短い会員が、実際に大船渡市まで出かけて、岩脇組合長の感激に接したらどうなのでしょう？彼はロータリーそのものに感動する筈です。ロータリアンにとって、このような体験が私は非常に大切だと考えております。

ロータリー理解推進月間にあたって



パストガバナー

若林紀男 (大阪東RC)

「ロータリーの目的」の第4項に“奉仕の理念で結ばれた職業人が国際ロータリーの活動を通して、国際理解、親善、および平和を推進すること”と記されております。近年のロータリーはその活動を第4項に主眼をおいているようです。この目的に合ったエピソードを思い出しましたので披露申し上げます。

<Episode 1>

南米のチリとアルゼンチンの両国間で国境問題が持ち上がり、国民間にも険悪な空気が流れておりました。

時のRI会長(1979~1980)ジェームス・ポリマー(テネシー州、シエルビービルRC)は1980年、会長主催親善会議に2国から各45組の夫妻を招き会議を持ちました。

初めはギスギスした雰囲気でしたが、会議が進むにつれお互いに親しく打ち解けて話し合うようになり、会議の終わりには両国民を和解させる方法まで話し合われ結論を得ました。彼らの関係改善への尽力が和解への大きな一助となり、以来両国は良好な関係を維持し続けています。

この功績を称えポリマー会長に国際共同委員会から名誉ある「アンデスのコンドル章」が授与されました。

<Episode 2>

イスラエル・パレスチナ問題でカナダ外相であったレスター・ピアソン(カナダ、オンタリオ州 オタワRC 名誉会員)は「オスロ和平合意」を推進した功績で1957年ノーベル平和賞を受賞、受賞した際に「人々がお互いを知らなければ世界に平和がありえるでしょうか？また会ったこともなければどうしてお互いを知り合えるでしょうか？」と述べたといわれています。

オスロのスカエンRCはピアソンに影響を受け、1994年に平和プロジェクト「シャローム・サラーム」を開始しました。このプロジェクトは、イスラエル人とパレスチナ人の大学生が半々のグループをオスロでの夏季講習プログラムに全額負担で招待し、彼らが協力して学び、遊び、食事を共にすることで、かつて敵と見做していた人々について新しい発見をするというものでした。

この2つは第4項の主旨におおいに適う良い事例だと思います。

“世界の人々が相互理解を深め、更なる親交によって信頼を得ることが世界平和に繋がる”と信じて日々のロータリー活動に力を貸して下さい。

* 参考文献「奉仕の一世紀」

国際ロータリー 第2660地区 ローターアクト 海外研修報告

ローターアクト委員会 委員長 **久保義誓** (茨木RC)
地区ローターアクト 代表 **徳永貴大**

本年度のローターアクトの海外研修は、11月1日～5日にインドネシアを訪問致しました。例年は一つの地区へ訪問するのですが、インドネシアは、ジャワ島より西を第3410地区、バリ島より東を第3420地区と定めており、本年度は、その2地区にまたがった交流をしてまいりました。

第2660地区の参加者は、ローターアクター 27名、ロータリアンが4名の総勢31名。3410地区は、ガバナーを含めた40名。第3420地区も40名と、のべ80人近くの現地ロータリアン、ローターアクターとの国際交流を図ることができました。

海外研修は、海外へ訪問することを目的にしているものではありません。今年度は下記の通り明確な目的を定め、その目的に重きを置いた活動を行いました。

- ①国際ロータリー第3410地区・第3420地区のローターアクトとの交流
- ②現地ローターアクトとの共同奉仕活動
- ③研修参加者は、安全で秩序ある団体行動を続ける為に、研修プログラムを精力的かつ主体的に消化し、参加者全員が有意義な海外体験を積み、今後における国際奉仕活動の学習を行う。

①に関しましては、想像以上に第2660地区のローターアクターから現地ローターアクターへ積極的にコミュニケーションを取りに行く姿が見受けられました。

②に関しましては、ジョグジャカルタでは、文化遺産でのクリーンハイク、現地の高校での植樹活動。バリでは、亀の保護を行いました。

③に関しましては、ローターアクト地区役員のもと、出発前に3回のオリエンテーションを行い、インドネシアについての事前学習や現地での企画を進め、また、現地へ行ってからも団体行動の中でそれぞれが役割を果たし、その中から多くのことを学び得たようです。

以上の3点を踏まえて、海外研修を日ごとに振り返りたいと思います。

1日目

関西国際空港にて結団式を行い、地区代表からの海外研修における意思表示が発表されました。そして、飛行機に乗る事7時間半、ジョグジャカルタへと到着。空港では現地のローターアクターに歓迎して頂き、そのまま夕食を一緒にとり交流を図りました。

2日目

現地のローターアクター達と共にポロブドゥール遺跡へと訪問し、世界文化遺産を観光しながらクリーンハイクを実施。

その後、現地の高校へと訪問し、学生たちと共に植樹プログラムを実施致しました。訪問した際には、学生達による伝統舞踊や現地の楽器を用いた歌で、今までに経験したことのない心温まるおもてなしを受けました。

その夜は、ウェルカムパーティー。パーティーは、現地ガバナーの挨拶より始まり、福家ガバナーよりの親書を代読、久保委員長挨拶、地区代表挨拶、地区ごとの活動報告やバナー交換を行いました。共に準備をしていたパフォーマンスを行った際には、会場が参加者の笑顔に包み込まれ、国際交流がしっかりと行われている事を感じ取れる懇親会でした。

3日目

名残惜しいですが、ジョグジャカルタのメンバーにお別れを告げ、バリのテンパサル空港へと出発致しました。2日目と同じく、到着後にバリのロータリアン、ローターアクター達とウェルカムパーティーを実施。こちらも終始笑いの絶えない懇親会になりました。その後、現地ローターアクターの案内でバリの街を楽しむこともできました。

後日、ウェルカムパーティーで行った、互いの地区の活動紹介がきっかけとなり、第2660地区が毎年行っている献血活動を、今後、第3410地区でも行うと聞いております。

4日目

早朝からベノアビーチに向かい、亀の保護活動を行い、お昼以降はケチャダンス等の伝統舞踊を現地ローターアクト達と共に楽しみました。その後、夕食を共にとった後、空港でバリのローターアクトと最後のお別れをし、日本へと帰国致しました。

このように、ハードスケジュールにも関わらず大きな事故もなく計画どおり海外研修を終えられ、ホッとしたとともに、先程申し上げた3つの目的を実行した参加ローターアクト達には大変感銘を受けました。

今後、この経験を基に第3410地区・第3420地区と

の国際交流が続くことこそ、本当の海外研修の意義だと私は思っております。そして、その交流を通し、海外研修の参加者たちがロータリー活動の本質に近づくことを願っております。

最後になりましたが、今年度の海外研修を一から計画し、実施したローターアクト地区役員の皆様、同行頂きました地区ローターアクト委員の皆様。また、インドネシア第3410地区・第3420地区の皆様。そして、この研修を支えてくださっている第2660地区の各ロータリークラブの皆様にご心から御礼申し上げ、海外研修の報告と致します。



第4回

米山奨学生ふれあいスピーチコンテスト報告

米山奨学委員会 委員

中川和之 (大阪船場RC)

日 時：2013年11月2日(土) 14:00~16:00

場 所：OMMビル

参加者：審査員 泉GE、近藤元RI理事、岡部PG、磯田研修委員 以上4名

西谷委員長、近藤副委員長、福田副委員長、吉田、田中、島井、田中、口野、三木、北山、中川各委員
参加者86名

スピーチコンテストも第4回を迎える事となりました。いつもながら驚かされるのは奨学生の日本語の上手さです。今回も素晴らしい日本語のスピーチを披露してくれました。またそれ以上に日本語を通じて自分の成長体験、感動、喜び、不安等を伝える臨場感には毎年感動させられます。日本に一人に来て、今までになかった不安を覚え、真の「個」を見つめ直す。その中で本当の人の温かさにふれ、今までになかった感動と喜びを体験し、自分の過去の反省と未来の任を悟られています。その人生観が若い彼等、彼女等の日本語のスピーチから伝

わってきます。

奨学生の皆様が自国と日本、自国と世界の架け橋になってくれる事を期待し、このスピーチコンテストがその出発点となるよう願っています。

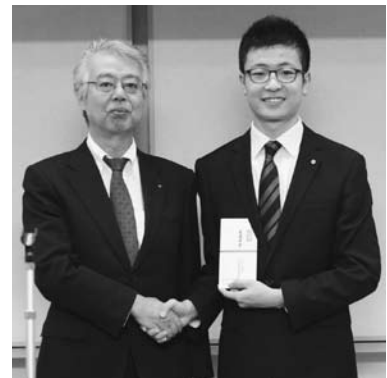
一人の奨学生が言ってくれました。「人はみな生きている中で、自分の方向性を決める出会いに巡りあうことがあります。人によって異なるとは思いますが、わたしにとってそれは米山ロータリアンとの出会いでした。」
米山奨学生に感謝。

【最優秀賞】 陳 思暢(中国) 「寛容・・・私が伝えたい思い」
大阪ハイテクノロジー専門学校 世話クラブ 守口イブニング

【優 秀 賞】 鄭 鍾恩(韓国) 「米山奨学生としての私の成長」
近畿大学4回生 世話クラブ 大阪難波

【特 別 賞】 サバルワーラ・ラワァーニヤ(インド)
「自己発見！自分が成長したと感じる事」
大阪大学博士課程 世話クラブ 千里

陳 瑋文(台湾) 「感謝の気持ち」
大阪大学修士課程 世話クラブ 大阪大手前



インターアクト年次大会報告

インターアクト委員会 委員長

松井隆雄 (大阪天王寺RC)

2013年11月23日(出国民の祝日である勤労感謝の日、四天王寺高等学校・中学校 和光館で福家 宏G、岡部泰鑑PG、泉 博朗GE、立野純三GN、岩津陽介地区研修委員、西本健二地区青少年活動委員長、久保良誓地区ローターアクト委員長をお迎えして、四天王寺高等学校・中学校インターアクトクラブがホストクラブ(スポンサークラブ 大阪天王寺RC)となり開かれました。

参加者はインターアクター101名、顧問16名、保護者3名、ロータリアン29名、特別ゲストとして青少年交換来日学生2名、ローターアクト6名の総勢165名の参加を得て盛大に行われました。

年次大会は当2660地区の6校(大阪桐蔭、浪速、金光八尾、四天王寺、清風、相愛学園)のインターアクトクラブ合同で行う最大のプログラムであります。

当日のメインテーマ「One for all and all for one」～ひとりみんなのために、みんなはひとりのために～であります。

6校の参加インターアクトクラブから本年度の活動報告の後、早稲田大学大学院専任講師の西條剛央(さいじょうたけお)先生に「シンプルで本質的なリーダーシップとは？」(構造構成主義の考え方の一つ)と題して講演をしながらA～Pにグループ分けしたインターアクターに「リーダーシップとは」と質問を投げかけグループごとに討論ワークして、各グループで集約して発表して貰い、それについて西條先生のコメントがなされた。グループワークを通じ「リーダーシップの本質」について理解を深められていった。

西條先生は宮城県仙台市の出身で心理学と哲学の専門であります。

ボランティアの経験をされたことがないのに2011年3月11日に起きた東日本大震災の復興支援に早く立ち上がり、独自の理論「構造構成主義」を駆使し日本最大級の支援組織「ふんばろう東日本支援プロジェクト」を創られ、現在その代表をされています。

人を助けるすごい仕組みの中でも「物資支援プロジェクト」は行政や外の支援団体から支援が受けられなかった膨大な物資を避難所や仮設住宅等へ支援された。このような仕組みを考えられた根底には人に対する思いやり、人に対する優しさの心があったからですが、この



ようなプロジェクトを支えている構造構成主義のもう一つの考え方である「方法の原理」についてテーマを与えられグループワークをして貰ったが、時間の関係でグループごとの発表はなく先生の体験を通じての哲学的話であった。方法の有効性は①状況と②目的から規定からされる。という考え方であった。そのためにもどいうやり方がいいか判断する際には、この2点から勘案すればよいと「自分にむいている方法と、むいて無い方法がある。まねしてもうまくいかない、自分に合わないことがある」「全ての価値は欲望・目的・関心との相関関係にある」

西条先生は前例を重んじる堅い文化の行政では考えられない「柔軟な文化」を持って支援組織を作り運営されていると感じました。

何時起こるかも分からない大震災に遭遇したとき、どのような行動をとるべきか、またリーダーシップを発揮し被災した人々を救援し、支援できるか、そのためには日々考えて行動すべきであることをインターアクターに投げかけられた思いがしました。ロータリーはインターアクトクラブの目標としてインターアクターに対し建設的な指導力を養成し、自己の完成を図ること、人に対する思いやりと、他人の力になる心構えを奨励し、これを実践することを掲げています。

本日の年次大会がこの目標に向かって大いに役立ったと確信しました。

インターアクターにとって有意義な一日となりました。

最後になりましたが、本日のため長きに亘って準備して頂きました四天王寺高等学校・中学校インターアクトクラブと顧問の岡 宏治、野口 弘、三井淳子、松本真奈先生方に厚くお礼申し上げます。協力頂きました大阪天王寺RCはじめ当地区関係ロータリークラブの皆さまに感謝いたします。

今後ともインターアクトに対し、ご支援とご協力をよろしくお願い致します。

クラブロータリー財団委員長会議報告と 財団情報

ロータリー財団委員会 委員長

溝畑正信 (東大阪東RC)

日時：2013年11月2日(土) 14:00~16:15

場所：薬業年金会館 6F

クラブロータリー財団委員長会議が福家 宏G、大谷 透地区R財団部門顧問／地区研修委員会サブリーダー／PG、AG、AGE、地区代表幹事、財団部門地区委員の皆様など多数のご参加を頂き開催されました。

福家 宏 G

“Future Vision Plan = FVP”モデルがスタートした今年度、現在グローバル補助金は10件の申請があり、うち5件が承認された。これは日本34地区のうち承認件数トップであり、12月1日に東京で開催される財団地域セミナーにおいて溝畑財団委員長に発表して頂く。是非グローバル補助金に取り組み、挑戦して頂きたい。

PHSコーディネーターに辻川さんになって頂いた。当地区で、PHSメンバーに10名以上の方になって頂いて嬉しい。

ロータリーカード加入者は他地区に水を空けられている。ロータリアンは無審査で入会できるもので是非ご入会頂きたい。さらに、あと少しのところまで来たポリオ撲滅と、災害支援に協力をと挨拶されました。

財団部門顧問 大谷 透 PG

ロータリー財団の創設者であるアーチ・クランプは誠意と熱意の人である、Doing good in the world、その簡潔な言葉のうちにも誠意と熱意が込められている、とアーチ・クランプ物語を話され、クラブ財団委員長はロータリアンの牽引車、燃料は寄付。ロータリアンになったからには燃料の供給者に期待されている、会員に説明してほしい、リーダーシップを発揮してほしいと挨拶されました。

ロータリー財団委員会 溝畑正信 委員長

ロータリー財団の戦略とクラブ財団委員長の役割というタイトルで、人道的・教育的プロジェクトの規模をこれまでよりも広げ、持続可能性を高めることを目的としたロータリーの「未来の夢計画」がエジソン銀賞を受賞したこと、財団の戦略として、プログ



ラムを全面的に見直し、人道分野の6重点分野を提唱して、数が限定された規模の大きなプロジェクトへ資金を提供していくこと、短期的プログラムを地区へ移管し、地区補助金の改革をした。

クラブ財団委員長の務めとして、ロータリー財団の戦略と戦術を知り、財団の財務を知り、世界及び日本の奉仕活動の現状を知り、地区の補助金による奉仕活動の実情を知り、クラブ奉仕活動を先導し、年次基金寄付や大口寄付を募ること、と話しました。

ポリオ・プラス小委員会 木村芳樹 委員長

まず、国際ロータリー発行の“Amazing Stories of POLIO!”を委員会で翻訳した冊子を配布し、地区広報委員会のテレビ大阪でのポリオキャンペーン”あと少しです。力を貸してください”の放映、ロータリーとポリオ、ポリオの現状、ソマリアでポリオ発症について話し、ロータリーの最優先項目であるポリオ撲滅活動に理解と寄付の推進を要請しました。

財団補助金小委員会 補助金担当グループ 四宮孝郎 リーダー

FVPが導入されて補助金はどのように使われているか、制度が簡素化されたこと、世界での補助金申請状況、日本でのグローバル補助金申請状況、当地区の地区補助金・グローバル補助金について、また地区補助金の事例を説明しました。

寄付増進小委員会

今西敦之 委員長・松下一彦 委員

今西委員長はロータリー財団の寄付と認証：寄付の種類<年次基金および使途指定寄付、恒久基金>、認証の種類、クラブ別年次寄付一覧、ロータリー財団への寄付は、税制上の優遇措置の対象となることについて話し、財団への寄付増進とロータリーカードへの入会を要請し、松下委員はロータリーカード利用を考える～ロータリーカード使用による効果～で説明しました。

ポールハリス・ソサエティ 辻川功一 コーディネーター

ポールハリス・ソサエティは、年次基金、ポリオ・プラス、財団が承認した補助金プロジェクトへ年間1,000米ドル以上を寄付頂いたロータリアンやロータリー財団支援者を認証するためのプログラムであり、第2660地区では現在14名がその協力者リストであり、一層の理解と協力を要請しました。

財団補助金小委員会 奨学金・学友・ロータリー平和フェローシップ担当グループ 梅崎道夫 リーダー

今年度のグローバル補助金により留学中の2名の奨学生、福田真弓さん、宮尾真利子さん、元ロータリー平和フェローの寺西悦子さん、元国際親善奨学生の西口三千恵さん、上村雄彦さん、中村弘子さんについて話し、ロータリー平和フェローシップ生の募集、およびグローバル補助金奨学生の募集について説明しました。



資金管理小委員会 和氣 主 委員長

補助金資金管理チェックリストを示し、全クラブ向けおよび補助金を申請したクラブにチェックして頂くよう求めました。

なお、クラブ財団委員長会議の詳細は、地区ホームページをご覧ください。

「財団情報」

ロータリー財団の補助金

＜日本のGG補助金申請状況＞ 2013年11月13日現在

GGプロジェクト	奨学金	VTT	人道的	合計
申請書作成中	4	6	36	46
提出済	0	1	8	9
承認済	22	1	8	31

第2660地区はこのうち奨学金2、人道的3が承認済です。

＜ポリオ症例数＞ 2013年12月10日現在のポリオ症例数

	2013年1月1日～12月10日	2012年	
アフガニスタン	11	37	
パキスタン	74	58	
ナイジェリア	50	122	
ポリオ常在国以外	チャド	—	5
	エチオピア	6	—
	カメルーン	4	—
	ケニア	14	—
	ソマリア	183	—
	シリア・アラブ共和国	17	—
	ニジェール	—	1
世界合計	359	223	

2013年12月10日現在のポリオ症例数です。現在、ポリオ常在国はアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3カ国です。

ソマリアでポリオの発症が広がっています。隣国の

エチオピアでも2006年以来、初めてポリオの発症が確認されました。この状況に対応するため国際ポリオ・プラス委員会の勧告を受け、財団管理委員長は50万ドルの補助金を支出することを承認しました。

今年が多いのは非流行国でのアウトブレイクが多かったためです。10月17日にはシリアでポリオの集団発生がありました。シリアで最後にポリオ野生株患者が発生したのは1999年でした。子どもたちをポリオから守るためには、現在その国でポリオが発生していても、ポリオワクチンの接種をしっかりとっておかねばなりません。

インドでは官民一体となったポリオワクチン接種が継続されており、2011年1月の発生を最後に、その後発生がありません。

2013-14年度 ロータリー財団地域セミナー (Zone1,2,3)

2013年12月1日に、ホテルグランバシビック LE DA IBAで開催されました。ここで、当地区溝畑正信財団委員長は「第2660地区でのFuture Visionへの取り組み—特にGlobal Grant」で講演しました。今年1年目で解らないことも多く、実際にグローバル補助金プロジェクトを経験した地区から、ベストプラクティスを聞きたいという要望が強い、うまくいった点や苦労した点を紹介して頂きたい、皆さんをエンハンスしてほしいとの依頼を受けました。

地区協議会会計報告

代表幹事

山田正雄 (八尾中央RC)

開催日：2013年4月27日 会場：大阪国際会議場 ホストクラブ：八尾中央ロータリークラブ

収入の部

会員数	負担金	クラブ数	収入金額
29名以下のクラブ	90,000円	26	2,340,000円
30名以上のクラブ	110,000円	56	6,160,000円
利子			814円
会員数		82	8,500,814円

支出の部

項目	内訳	金額	項目別小計	内訳
会場費	会場	2,757,490円		国際会議場・会場案内板等
	音響・照明	980,890円		音響照明要員等
	飲み物等	398,064円		飲み物・昼食等
	小計		4,136,444円	
会合費等	室料等	40,812円		葉業年金・講師宿泊室料
	小計		40,812円	
印刷費	プログラム	716,100円		
	資料その他			
	小計		716,100円	
記録費	記録冊子	1,627,500円		
	小計		1,627,500円	
謝礼金	講演料等	112,465円		講師・ソングリーダー・ピアニスト
	小計		112,465円	
人件費	給与等	1,386,395円		
	小計		1,386,395円	
雑費	振込手数料	12,990円		
	消耗品	1,120円		文具・コピー代
	送料	8,640円		郵便料・ヤマト運輸
	保険料	27,200円		
	小計		49,950円	
合計				8,069,666円

収入の部	支出の部	残高
8,500,814円	8,069,666円	431,148円

2013-14年度の為の地区協議会会計決算を平成25年度11月26日に八尾中央ロータリークラブ事務局にて開催し、帳票類、領収書等を精査した上で、上記の通りであることを報告します。

平成25年11月26日

実行委員長 野中志郎
協議会幹事 柳雄二
協議会会計 片岡基博

平成25年11月26日に協議会会計を解約利子を含め、5,431,456円を地区会計に、振込手数料600円にて5,430,856円送金しました。(仮払い金5,000,000円+残金431,456円)

[ガバナー補佐からのメッセージ] IMの将来について



IM第4組 ガバナー補佐

辻本一義 (東大阪RC)

当地区内で、従来から一般的に行われてきたIMの内容について、見直す必要があるのではないかとの意見を耳にする事がある。

その理由は、過去に多く見られたIMの形式は、著名人を講師としての講演がメインであり、高額な講演料を必要とすると共にロータリーの奉仕活動に直接関わりのない内容である事が多々あると感じられる点が指摘されている。

しかし前記の形式は、講師の名前にひかれて参加会員が多くなり、さらに普段は直接聞く事のできない話を聞けるメリットがある。

そこで私の意見としては、研修と親睦面で成果をあげることの出来る内容であれば、ホストクラブの自主性に任せるべきで、前記の形式が採用されるのを否定する意見に賛同できない。

しかし他の形式を模索し、ホストクラブの方針により他の形式を採用されるのであれば、これは新鮮味があり

有意義であると考えます。

この形式として直ぐに思い浮かぶのは、外部講師によらない全クラブ参加形式である。これは、共通のテーマを決めて各クラブの代表者が例えば10分ずつ発表するものである。

テーマとすれば、例えば、会員の維持増強、職業奉仕の具体例、成果をあげた国際奉仕の具体例、姉妹クラブとの付き合いの現状、クラブの問題点とその対策、その他色々考えることが出来る。全クラブから発表者が出るのであれば、参加者の動員にも役立つのではないかと考える。

また、各クラブから最近の新入会員に登壇してもらい、新入会員の紹介やロータリーの感想や運営についての意見発表をするのも面白いと思う。

さらにIM内の会員が一同に集まる機会はないから、懇親の場を設けて他クラブの会員との交流を図るのも従来通り行う意義はある。

我がクラブの目指すところ (IM第4組)

東大阪RC 会長

国宗範彰

当クラブは昭和32年に布施ロータリークラブとして設立。その後の三市合併による東大阪市の誕生を受けて東大阪ロータリークラブと改名し、以来地元根ざした奉仕活動に従事して来ました。

私達は創立55周年時にクラブの将来に向けた存在価値と継承、更なる発展を考えて中期計画を策定しました。クラブの組織誕生の背景と受け継がれるべき精神は、初代会長が設立時の会報の中で述べていますが、その精神を忘れる事無く、会員各位が価値観や充足感、時にステータスを享受し、心の満足を得られるようなクラ

ブライフを実現して行こうと考えています。その為に一定の規模も必要です。21名のチャーターメンバーでスタートした当クラブは現在72名を有しています。3年後の60周年までには最低75名、出来れば80名まで増やしていきたいと考えています。

一方で会員選考委員会ではロータリアンとして相応しくなければ、入会を断る勇気をもってクラブの付加価値と格式を守り、会員資質の向上に努めながら、倫理観とロータリー哲学に準拠した活動を続けて行きたいと思いを。

東大阪中央RC 会長

鈴木勝俊

3年後45周年(50周年の前哨として)に向けて、①会員の増強、②クラブの財政面の黒字化、周年事業に向けて財産の積立を増やす、③五大奉仕部門による奉仕活動の活性化、特に東日本大震災復興支援、FVP取組、米山留学生のお世話をさせていただく、④会員同士の益々の

親睦の増進等々となります。

11月21日に行われた情報集会ではクラブに対する熱い思いの発言が相次ぎました。参考にさせて頂きました。有難うございました。

東大阪東RC 会長

広田 甫

東大阪東RCは1965年創立され次年度に50周年を迎えます。会員は現在59名(7月1日時点55名)、平均年齢は64歳です。

どのクラブも年代の構成を考えると同じ傾向だと思えますが、我がクラブは60歳代が56%です。10年先のことを考えますと40歳代、50歳代の新会員を確保していかなければクラブそのものの存立が危ぶまれてくるのは必定です。

今年度の第一の方針は会員増強であり、若い、元気の

あるロータリーに相応しい会員を一人でも多く確保すべく努力をしています。

第二の方針は例会出席率の向上です。魅力あるクラブ、活性化されたクラブを目指すには例会や理事会、委員会、協議会などを充実させてより多くの会員に参加していただけるように働きかけが必要であると思いを。第三の方針は新入会員を含めた3年未満の会員に対する研修を充実させて1日も早くロータリーを理解して頂き活躍してもらえるようサポートすることです。特

に新会員にはカウンセラーを2名付けています。

第四の方針は奉仕活動にも積極的に取り組むつもりです。その一つに2005年度に初めて開催した“よろず

相談室”が前年度は行うことが出来ませんでした。今年度は第8回目の“よろず相談室”を今までとは少し趣を変えて主に高齢者をターゲットに開催する予定です。

東大阪みどりRC 会長

山本昌宏

東大阪みどりロータリークラブは、今年の10月26日に創立15周年式典を無事終える事が出来ました。我々のロータリー活動の一つとして、東大阪市において青少年育成の為に事業があります。その内容は「絵本の読み聞かせ」と絵本の配布を行ってきました。絵本を通じて人への思いやりや優しさをお子たちに伝えたいという思いで続けています。15周年式典において野田市長

から感謝状を頂き、今まで以上に、地域の青少年育成に関して活動を続けていきたいと思っています。

今後のロータリー活動は、大小問わず、心を込めて思いを込めて活動していきたいと思っています。

会員増強においては、昨年3名の純増が出来ました。今年度の目標も純増3名を目指し、今後も創立時の53名を目標に増強を続けていきたいと思っています。

東大阪西RC 会長

弓手宏亮

東大阪西ロータリークラブは、今年度31名でスタートしました。“ロータリーの仲間の輪を広げよう”のスロロガンのもと、会員増強に力を入れております。と言いますのも、31名の会員中 会長経験者が20数名となっております。頭デッカチとなっております。

昨年度よりの未加入会員の掘り起こしから始めております。現実には1名加入。1名確約までいっており

ます。

そして、出来るだけ楽しい例会を目標とし、ビール例会や移動例会により来て良かった例会を目指しております。

次年度は30周年、IM4組の幹事、東輪会の幹事となっております。次年度がやりやすいようにと考え、今後進めてまいりたいと思っています。

大阪柏原RC 会長

笠井靖彦

大阪柏原RCは来年45周年を迎えます。会員数は現在31名で、平均年齢はいずれこのクラブとも同じく高いのが悩みです。したがって40歳代の会員獲得を目指しています。今年度40歳代の会員が入会され、うれしい限りです。

大阪柏原RCの社会奉仕活動の柱に「奨学金」と「招待事業」があります。その内容は、

①私たちのクラブの所在地に大阪教育大学があることもあって、大阪教育大学と提携して「奨学金」を提供し、留学生支援をしています。

②柏原市内の社会福祉施設の子ども達を招き、遊園地等々に連れて行く事業です。
これらの事業をするために、地区へのロータリー財

団、米山奨学会寄付が幾分控え目になっておりますがご容赦ください。

大阪ネクストRC 会長

茨木 繁

皆さんご存じのように、当クラブは平均年齢40歳前半です。働き盛りの上、家庭も忙しく、結果例会の出席率が芳しくない状態が続いています。そのような現状を踏まえて、少しでもロータリー活動に参加できるように、色々な趣向を凝らしたイベントや移動例会を土日に開催することにしました。

週末であれば会員が参加しやすく、なかなか例会に出席でない会員の顔を見られる様になりました。実際、出席率の低い会員も参加したいという意向があり、活動に関しても気に掛けてくれています。会長としては、嬉しく感じています。

現在イベントの運営は、会長と幹事を中心に行ってい

ます。時期が来れば、会員が参加だけでなく、運営にも積極的に関わってくれることでしょう。そして、大阪ネクストロータリークラブとして、身の丈に合った活動を継続的に行う予定しています。

各会員の時間的な余裕が出来れば、今まで以上に奉仕活動にも力を入れ、小さくても気持ちのこもった活動を行いたいと考えています。そして、活動に賛同や共感していただける方々を、今後一人でも多く増やしていきたいと考えています。

活動を通じて『一生涯の親友達と楽しく過ごす』そんなクラブを目指したいと考えております。

八尾RC 会長

高井榮彌

当クラブは昭和36年に創設、今年度で53年度を迎えたクラブです。

この歴史の中で、私達は多くの友人と出会い、そして決して少ないとは言えない数の友人を失って参りました。

私達はこの現実に向き合い、哀しい別れを繰り返さぬよう、その原因を直視した上で全員結束を是として、先ず会員それぞれが充実したロータリーライフを楽しんでいただけるクラブを目指したいと考えます。

会員がロータリーの集会や事業に参加する事が楽しみとなり、にこやかに集まって活動し、互いに労をねぎらい合う。そんな会であれば人が人を呼び、仲間の数は増えて行くと信じています。

強い結束と高い意識を持った会員が集まれば、自ずと奉仕事業の質も向上し、更に大きな喜びを得られることでしょう。恐らく先輩方には当たり前であったであろう事を、もう一度信じて実践する魅力溢れるクラブとしたいです。

八尾中央RC 会長

柳 雄二

私たちのクラブのように最小単位のクラブにとって、このテーマは難しい。一言で言えば増強しかないともいえる。「衣食たって礼節を知る」「貧すれば鈍する」ではないが、理念が後回しになりがちである。やはり目の目標は増強になるが、この増強が難しい。ここしばらくの間、会員数は漸減の一途を辿っている。色々と議論はするがやはり従来通り友人知人を頼る、という方法から脱却できず、新しい方法に踏み出せていない。

泣き言はやめて、かかる状況で強いて当クラブの目指

すところは何かとなるとやはりロータリーの目的(綱領) 考えて進もうということになる。

また当クラブの長所は何かを改めて考えてみると、会員全体が堅くまとまり、特に夫人の結束は固い、何か事あるとクラブ全体で強いスクラムが組めるということになる。特に今年度は弱小クラブからガバナーを輩出し、他クラブ様の助けをかりて取り組んでいるが、この中から何かが生まれてくることも期待しているという、他力本願になってしまうか。

八尾東RC 会長

山田哲男

ロータリークラブとして最終的に目指すのは「ロータリーの綱領(目的)」ですが、我がクラブとしては「入りたくても入れないロータリークラブ」を目指したいと思えます。

近年の会員減少の原因は、入会していることに対する負担をメリットで埋め切れていないことにつきまます。現状では得られない新たなメリットとして、ロータリー初期に活発に行われていたという「相互扶助」こそ、有力な候補ではないでしょうか。

第一ステップは、「職業奉仕」をしっかりと判り易く

定義し、それを会員全員が正しく理解し実践すること。

第二ステップは、職業奉仕を共通のペースとして持つ仲間との「親睦活動」、地域社会・外国・青少年に向けた「社会奉仕活動」を充実させるとともに、「相互扶助」の考え方を復活させ具体的・直接的なメリットを享受できる仕組みを構築すること。

この二つのステップによって、「入りたくても入れないロータリークラブ」=魅力あふれるクラブを実現し、それらを通して「ロータリーの綱領(目的)」を達成することを「我がクラブの目指すところ」と考えます。

災害支援プロジェクト報告 (第30回)

災害支援プロジェクト委員長

高島凱夫 (大阪中之島RC)

1. 災害支援プロジェクト寄付送金口座

りそな銀行 大阪営業部 普通 1527285

口座名義：第2660災害支援 会計 片岡基博

(ダイニロククロクゼロサイガイシエン カイケイ カタオカモトヒロ)

2. 災害支援地区基金の状況 (2013年12月 8日現在)

【収 入】

(単位:円)

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備 考
1	前月からの繰越	3,521,512	
71	箕面千里中央	74,000	基金
72	高槻西	19,000	フィリピン災害
73	大阪難波	51,000	フィリピン災害
74	大阪城北	28,000	フィリピン災害
75	大阪リバーサイド	27,000	フィリピン災害
76	大阪東南	50,000	フィリピン災害
77	千里メイプル	22,000	フィリピン災害
78	大阪東淀ちゃやまち	30,000	フィリピン災害
79	豊中	43,000	フィリピン災害
80	大阪フレンド	50,000	フィリピン災害
81	大東中央	50,000	フィリピン災害
82	八尾	600,000	フィリピン災害
83	大阪北	122,000	フィリピン災害
84	香里園	38,000	フィリピン災害
85	大阪柏原	30,000	フィリピン災害
86	大阪西	60,000	フィリピン災害
87	門真	29,000	フィリピン災害
88	茨木西RC	100,000	フィリピン災害
89	大東	35,000	フィリピン災害
90	大阪堂島	50,000	フィリピン災害
91	大阪なにわ	33,000	フィリピン災害
92	箕面千里中央	65,000	フィリピン災害
93	高槻西	30,000	フィリピン災害
	合 計	5,157,512	

【残 高】

(単位:円)

預金残高	5,157,512	2013年12月 8日現在
------	-----------	---------------

米山奨学委員会／ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2013年 10月末	全国寄付金合計額	512,217,015円	(前年同期比1,150万円増)
	第2660地区寄付金合計額	36,288,950円	(前年度比42.71%増)
	全国寄付合計トップ10		
		1. 第2750地区	38,508,652円
		2. 第2660地区	36,288,950円
		3. 第2770地区	31,668,500円
		4. 第2650地区	30,893,283円
		5. 第2760地区	30,831,300円
		6. 第2590地区	28,503,700円
		7. 第2580地区	27,602,850円
		8. 第2790地区	19,681,200円
		9. 第2690地区	16,908,410円
		10. 第2670地区	15,785,400円

米山功労者 次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2013年10月)

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
張 虞安	3	交野RC	川崎 二郎	3	大阪御堂筋本町RC	大橋 孝夫	2	大阪東RC
西邨 智雄	7	香里園RC	久我 四郎	4	大阪御堂筋本町RC	岩部 博	2	大阪東RC
土井 晶三	1	高槻西RC	岡田 俊作	4	大阪御堂筋本町RC	野村 良男	3	大阪東RC
長積 優	1	高槻西RC	古澤 照男	7	大阪御堂筋本町RC	大森 富夫	3	大阪東RC
永井 和夫	1	高槻西RC	大道 力也	1	大阪城東RC	藤村 達夫	4	大阪東RC
高橋 徳	2	高槻西RC	西谷 雅之	10	大阪城南RC	太田 重彦	4	大阪東RC
菊田 芳	1	守口RC	伯耆 徳武	3	大阪天王寺RC	山本 武男	5	大阪東RC
清水 大吾	1	吹田西RC	高森 隆	4	大阪天王寺RC	片山 勉	6	大阪東RC
伊藤 泰充	1	吹田西RC	松井 隆雄	4	大阪天王寺RC	田中 宏毅	1	大阪南RC
羽間 平安	11	大阪RC	杉本 源衛	4	大阪天王寺RC	八ツ橋 直	1	大阪南RC
亘 信二	1	大阪RC	津留 正孝	4	大阪天王寺RC	谷 明	2	大阪南RC
吉本 晴之	1	大阪RC	高見 篤志郎	4	大阪天王寺RC	米倉 彦之	2	大阪南RC
大井 篤	1	大阪RC	新見 葵	4	大阪天王寺RC	上村 豊	3	大阪南RC
笹倉 敏彦	3	大阪RC	西埜 毅	4	大阪天王寺RC	米田 幹郎	3	大阪南RC
羽鳥 敬彦	3	大阪RC	吉岡 宏之	4	大阪天王寺RC	横山 順治郎	3	大阪南RC
嘉納 秀一	3	大阪RC	若宮 邦弘	4	大阪天王寺RC	木村 芳樹	3	大阪南RC
谷川 正	5	大阪RC	家田 成夫	4	大阪天王寺RC	井上 通敏	3	大阪南RC
岸本 忠三	6	大阪RC	古池 幹郎	4	大阪天王寺RC	多田 準二	3	大阪南RC
三柴 利雄	1	大阪RC	吉田 章男	4	大阪天王寺RC	早石 誠	4	大阪南RC
川勝 泰司	1	大阪RC	新屋 正富	4	大阪天王寺RC	大楠 善彦	4	大阪南RC
田淵 暉久	2	大阪RC	平尾 一平	5	大阪天王寺RC	掛川 雅仁	4	大阪南RC
石原 福造	2	大阪RC	北村 修久	1	大阪天満橋RC	山本 博史	4	大阪南RC
扇谷 迪宏	2	大阪RC	末澤 正大	1	大阪天満橋RC	小八木 規之	6	大阪南RC
山本 良一	4	大阪RC	目幸 文範	1	大阪天満橋RC	平岡 英信	6	大阪南RC
立野 純三	7	大阪RC	山田 雅浩	3	大阪天満橋RC	永江 溥	7	大阪南RC
木村 直樹	10	大阪RC	保倉 賢造	5	大阪天満橋RC	慶元 眞二	1	大阪難波RC
海老原 善隆	1	大阪RC	二宮 秀造	6	大阪天満橋RC	菰田 吉見	1	大阪難波RC
齋藤 紀八郎	1	大阪御堂筋本町RC	北川 勝治	10	大阪東RC	松浦 孝尚	1	大阪難波RC
木戸 敏	2	大阪御堂筋本町RC	堀 隆	11	大阪東RC	田中 成和	1	大阪難波RC
重田 秀義	3	大阪御堂筋本町RC	村田 吉弘	12	大阪東RC	滋野 雅之	1	大阪難波RC
谷本 隆広	3	大阪御堂筋本町RC	中平 公士	1	大阪東RC	白野 陽一	2	大阪難波RC
山田 耕司	3	大阪御堂筋本町RC	橋山 宗弘	2	大阪東RC	神田 眞晃	2	大阪難波RC
安部 潤一	3	大阪御堂筋本町RC	新井 信彦	2	大阪東RC	三田 昌孝	1	大阪柏原RC

氏名	回数	クラブ名
小原 進	2	大阪柏原RC
古賀 省三	4	大阪柏原RC
高井 康伊	5	大阪柏原RC
西尾 寛一	7	大阪柏原RC
松崎 継昭	1	大阪北RC
山内 芳樹	1	大阪北RC
吉田 昌功	1	大阪北RC
野村 公平	1	大阪北RC
小谷 茂雄	1	大阪北RC
柴田 高	1	大阪北RC
大野 康裕	1	大阪北RC
馬場 俊和	1	大阪北RC
木下 光	1	大阪北RC
前田 順一	2	大阪北RC
益田 哲生	2	大阪北RC
魚本 慶一郎	2	大阪北RC
岩堀 雅彦	2	大阪北RC
梶原 常義	2	大阪北RC
戸奈 常光	2	大阪北RC
栗本 友和	3	大阪北RC

氏名	回数	クラブ名
山下 和彦	3	大阪北RC
山本 潤	3	大阪北RC
真野 清以志	4	大阪北RC
島田 誠次郎	4	大阪北RC
山下 嘉治	4	大阪北RC
薩摩 卯一	5	大阪北RC
石田 豊司	5	大阪北RC
江崎 正道	6	大阪北RC
桐山 輝彦	7	大阪北RC
古川 真照	1	大東中央RC
荒金 正之	1	大東中央RC
奥田 周一郎	1	大東中央RC
長崎 弘芳	2	大東中央RC
岡市 勝男	2	大東中央RC
峠 松次	3	大東中央RC
田中 正美	3	大東中央RC
糸川 千恵子	4	大東中央RC
小林 一成	5	東大阪東RC
佐野 清	10	八尾RC
山本 義治	15	八尾RC

氏名	回数	クラブ名
水野 雅由	1	八尾RC
長竹 浩	1	八尾RC
宮川 清	1	八尾RC
今西 敦之	2	八尾RC
笠井 実	2	八尾RC
田中 康正	2	八尾RC
吉本 憲司	2	八尾RC
小林 成禎	3	八尾RC
小山 悦治	4	八尾RC
山本 昌市	4	八尾RC
中島 孝夫	5	八尾RC
池尻 誠	5	八尾RC
高井 栄彌	6	八尾RC
武枝 敏之	1	豊中RC
米田 真	3	豊中RC
村司 辰朗	2	豊中RC
堀田 修平	45	枚方RC
原 暎	10	箕面千里中央RC
藏田 禎夫	3	箕面千里中央RC
西村 是滋	4	箕面千里中央RC

米山功労クラブ 次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2013年10月)

クラブ名	回数
交野RC	15
香里園RC	2
吹田西RC	32
大阪RC	108
大阪御堂筋本町RC	41

クラブ名	回数
大阪城南RC	40
大阪天王寺RC	51
大阪天満橋RC	52
大阪南RC	84
大阪難波RC	52

クラブ名	回数
大阪柏原RC	31
大阪北RC	83
八尾RC	56

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2013年10月)

氏名	クラブ名
西田 英夫	くずはRC
山本 博通	大阪東RC
壺山 和憲	大阪東RC

氏名	クラブ名
小高 得央	大阪東RC
本田 良介	大阪東RC
沖中 隆志	大阪東RC

氏名	クラブ名
上原 武彦	大阪東RC
小野 徹弥	大阪東RC

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2013年10月)

氏名	回数	クラブ名
朱 明義	1	茨木RC
前田 葉子	5	大阪リバーサイドRC
山下總一郎	2	千里メイブルRC
岡本 浩	4	大阪城東RC
藤原 和彦	2	くずはRC
國田 欣吾	1	くずはRC

氏名	回数	クラブ名
岩本 昌治	2	くずはRC
山口 尚志	1	くずはRC
宮里 唯子	3	茨木西RC
河田 英子	3	大阪ユニバーサルシティRC
田中 弘文	1	大阪東RC

ベネファクター 次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2013年10月)

氏名	クラブ名
関谷 洋子	豊中RC

氏名	クラブ名
福山 信也	大阪城東RC

2013年11月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	11月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第1組	池田	37	38	2	1	0	1	4	75.00	70.14
	池田くれは	28	30	1	2	0	2	3	89.70	84.55
	箕面	25	28	2	3	0	3	4	79.53	75.58
	箕面千里中央	21	22	0	1	0	1	5	93.46	89.36
	豊中	45	46	4	2	1	1	4	86.37	68.18
	豊中南	28	29	2	1	0	1	4	83.60	75.40
	豊中-大阪国際空港	20	21	0	1	0	1	5	69.00	60.95
	豊中千里	39	37	3	1	3	-2	4	83.46	76.82
	小計	243	251	14	12	4	8		82.52	75.12
	I M 第2組	茨木	25	26	3	1	0	1	4	82.83
茨木東		39	41	4	2	0	2	4	80.39	69.26
茨木西		28	28	6	0	0	0	4	84.11	74.82
千里		38	38	0	0	0	0	4	88.16	78.02
千里メイプル		22	22	2	1	1	0	4	95.18	86.75
摂津		37	37	2	0	0	0	5	85.37	65.27
吹田		60	60	10	2	2	0	4	92.44	84.90
吹田江坂		34	34	2	0	0	0	4	96.66	87.58
吹田西		47	50	2	3	0	3	3	100.00	93.20
高槻		51	50	6	0	1	-1	4	91.49	85.89
高槻東	36	37	1	1	0	1	5	97.78	91.98	
高槻西	20	21	0	1	0	1	4	97.62	82.14	
小計	437	444	38	11	4	7		91.00	81.25	
I M 第3組	大東	42	43	0	1	0	1	3	97.85	90.13
	大東中央	28	29	11	1	0	1	4	80.00	74.99
	枚方	40	45	0	6	1	5	3	81.67	80.83
	門真	30	32	6	3	1	2	4	87.50	75.78
	交野	32	33	1	1	0	1	4	77.02	72.24
	香里園	15	16	0	1	0	1	4	91.29	84.38
	くずは	52	54	0	2	0	2	4	73.59	63.07
	守口	42	42	4	0	0	0	4	87.50	78.75
	守口イブニング	27	27	4	0	0	0	4	81.48	77.78
	寝屋川	42	42	5	0	0	0	5	88.57	80.95
四條畷	12	12	0	0	0	0	4	95.46	95.46	
小計	362	375	31	15	2	13		85.63	79.49	
I M 第4組	東大阪	70	72	0	2	0	2	5	81.17	68.22
	東大阪中央	33	33	0	0	0	0	4	88.53	68.73
	東大阪東	55	59	4	4	0	4	4	87.71	77.99
	東大阪みどり	30	30	1	0	0	0	4	80.00	65.00
	東大阪西	31	32	0	1	0	1	3	96.43	75.07
	大阪柏原	30	31	2	1	0	1	4	85.03	81.46
	大阪ネクスト	19	19	8	0	0	0	4	68.42	46.05
	八尾	60	61	0	2	1	1	4	74.23	70.95
	八尾中央	16	16	0	1	1	0	4	88.65	80.52
	八尾東	26	26	1	0	0	0	3	84.27	71.99
小計	370	379	16	11	2	9		83.44	70.60	

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	11月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第5組	大阪中央	46	50	6	5	1	4	4	93.46	79.89
	大阪堂島	28	30	1	2	0	2	3	78.88	72.22
	大阪北	197	197	0	7	7	0	4	74.65	60.82
	大阪北梅田	50	52	3	3	1	2	3	76.62	65.58
	大阪西	75	76	0	1	0	1	3	86.71	78.46
	大阪大淀	36	39	0	3	0	3	4	85.94	80.47
	大阪リバーサイド	34	37	7	3	0	3	4	91.78	76.19
	大阪西北	49	52	0	3	0	3	4	93.48	76.73
	大阪そねざき	35	37	23	3	1	2	4	93.83	81.20
	大阪梅田	25	24	1	0	1	-1	4	84.24	76.28
大阪梅田東	25	30	0	5	0	5	5	86.00	66.66	
大阪ユニバーサルシティ	32	34	5	2	0	2	4	85.94	73.44	
小計	632	658	46	37	11	26		85.96	74.00	
I M 第6組	大阪	257	264	1	12	5	7	4	77.19	56.86
	大阪東	117	119	0	5	3	2	4	93.97	75.85
	大阪東淀ちゃやまち	30	30	3	0	0	0	3	84.41	82.83
	大阪城東	43	42	5	2	3	-1	5	89.94	85.30
	大阪中之島	27	28	1	1	0	1	4	89.28	74.10
	大阪大手前	35	36	4	1	0	1	5	85.12	75.95
	大阪城北	49	50	3	2	1	1	4	77.24	73.95
	大阪天溝橋	68	67	0	1	2	-1	4	79.22	77.55
	大阪鶴見	32	31	0	0	1	-1	4	89.16	81.09
	大阪淀川	28	29	3	2	1	1	5	95.86	83.69
新大阪	32	33	1	2	1	1	4	90.15	86.37	
小計	718	729	21	28	17	11		86.50	77.59	
I M 第7組	大阪フレンド	25	28	4	3	0	3	4	88.40	72.32
	大阪御堂筋本町	61	60	3	0	1	-1	4	81.94	69.88
	大阪南	144	158	0	15	1	14	4	84.94	70.91
	大阪難波	46	52	0	6	0	6	4	94.17	81.47
	大阪なにわ	25	27	3	2	0	2	3	92.30	88.45
	大阪南西	15	15	3	0	0	0	4	87.48	75.96
	大阪西南	98	101	21	3	0	3	4	91.31	70.05
	大阪船場	39	38	0	0	1	-1	3	97.00	86.70
	大阪心斎橋	33	35	0	2	0	2	5	97.14	84.16
	大阪うつぼ	33	34	4	1	0	1	4	90.71	80.59
小計	519	548	38	32	3	29		90.54	78.05	
I M 第8組	大阪平野	32	32	3	1	1	0	4	96.55	87.87
	大阪イブニング	14	14	3	0	0	0	4	89.29	75.00
	大阪城南	53	53	0	2	2	0	4	95.38	87.76
	大阪咲洲	18	19	1	1	0	1	4	82.90	73.68
	大阪天王寺	56	58	0	2	0	2	4	85.77	78.66
	大阪帝塚山	53	55	4	2	0	2	4	82.30	75.21
	大阪東南	50	51	0	1	0	1	4	92.16	66.18
	大阪アーバン	23	25	7	3	1	2	4	81.00	79.00
	大阪みおつくし	34	30	13	2	6	-4	4	70.83	67.50
	小計	333	337	31	14	10	4		86.24	76.76

合計	クラブ名	7月期初 会員数	11月末 会員数	女性 会員数	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均出席率	ホームクラブ 平均出席率

文庫通信 (315号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演より

- 「人として野球人として」
小早川毅彦 2013 8p (D.2530地区大会記録誌)
- 「これからの日本について」
鳥越俊太郎 2013 2p (D.2740地区大会記念誌)
- 「愛と汗の心」
久世郁夫 2013 13p (D.2510地区大会記録)
- 「国際社会の中の日本」
五百旗頭真 2013 2p (D.2680地区大会記録)
- 「平和って、なに色? ~私たちにできることを考えよう!」
ロニー・アレキサンダー 2013 2p (D.2680地区大会記録)
- 「地域活性化と芸術(アートフォーラム)」
北川フラム(コーディネーター) 2013 6p (D.2760地区大会の記録)
- 「誰も書けなかった沖縄」
佐野真一 2013 4p (D.2580地区大会の記録)
- 「いま日本の平和を問う」
小川和久 2013 19p (D.2590地区大会記録誌)
- 「ガウディに挑む男を追う!! -職業人としての使命」
星野真澄 2013 4p (D.2730地区大会記録誌)

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

廣 田 敦 善 会員（大阪城北RC）

2013年11月18日 逝去（享年75歳）

会長、職業奉仕委員長

米山功労者（マルチプル）

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

池 谷 典 彦 会員（大阪西北RC）

2013年12月5日 逝去（享年68歳）

会長、幹事、理事、
職業奉仕委員長、親睦活動委員長

米山功労者（マルチプル）

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

中 村 精 一 会員（大阪城南RC）

2013年11月22日 逝去（享年65歳）

廣 瀬 勘 一 郎 会員（大阪西南RC）

2013年12月16日 逝去（享年92歳）

会長、創立30周年記念行事実行委員長、
創立40周年記念行事名誉委員長

国際ロータリー第2660地区ガバナー

湯 尾 恵 子 会員（大阪うつほRC）

2013年11月30日 逝去（享年74歳）

社会奉仕委員長、ロータリー財団委員長、
会員研修委員長

米山功労者（マルチプル）

ポール・ハリス・フェロー

米山功労者（マルチプル）

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

月信編集委員会からのおねがい

□ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。

□投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。

□物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

□今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 福家 宏
- 地区代表幹事 山田 正雄
- 地区副代表幹事 中井 敬和
- 担当地区幹事 吉本 憲司
- 担当地区幹事 山本与志弥
- 事務局長 栗正 久美

2013—2014年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	福家 宏
地区代表幹事	山田 正雄
地区副代表幹事	中井 敬和
事務局長	栗正 久美
事務局員	春名 志保
	奥田 純子
	井上 望美

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

<http://www.ri2660.gr.jp/>

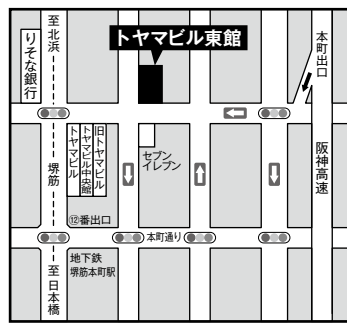
●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日

年末年始
2013年12月28日(土)~
2014年1月5日(日)



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー 第2660地区

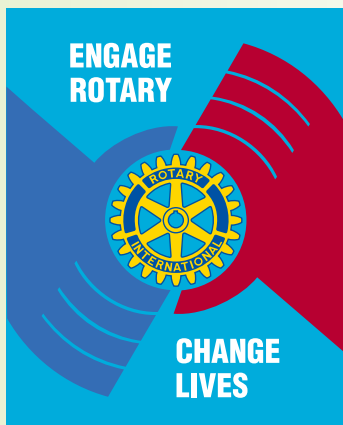
〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階

TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan

TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp



ロータリーを实践し
みんなに豊かな人生を

感動の体験を!!

人々にも自身にも

Participate! 参加し、敢行しよう!!

2013-2014年度 国際ロータリー第2660地区

地区大会

第1日目

2014年

2月21日 金

大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)

開会式 <5階メインホール> 14:00 開会
合同研修会 <5階メインホール> 15:10 開会

リーガロイヤルホテル

家族の集い <2階ペリドットの間> 15:30 開会
RI会長代理御夫妻歓迎晩餐会 <光琳の間> 18:00 開宴

第2日目

2014年

2月22日 土

大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)

本会議 <5階メインホール> 13:00 開会
特別講演 <5階メインホール> 15:30 開会

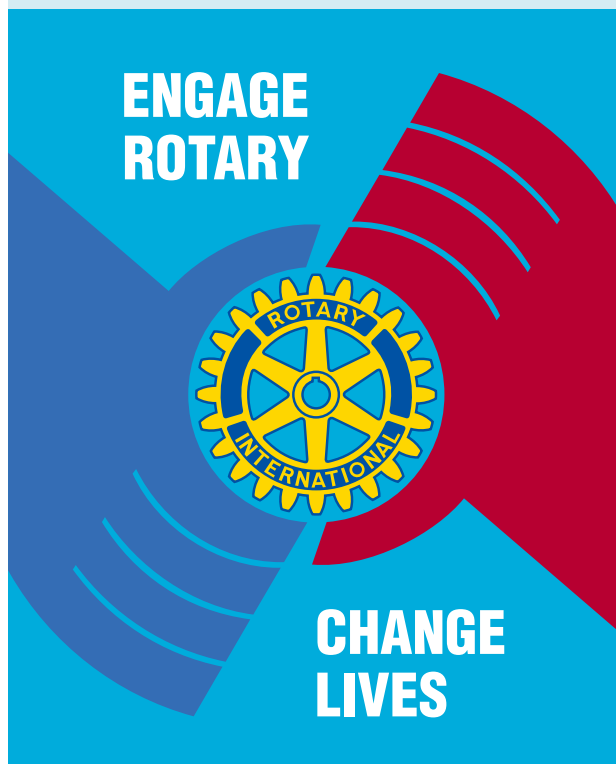


「日本の進路と誇りある国づくり」
櫻井よしこ氏

ジャーナリスト、国家基本問題研究所理事長。
クリスチャンサイエンスモニター紙 東京支局の助手として
ジャーナリズムの仕事を始め、アジア新聞財団 DEPTH NEWS
記者、東京支局長、NTVニュースキャスターを経て、現在に
至る。
2007年にシンクタンク、国家基本問題研究所を設立し、国
防、外交、憲法、教育、経済など幅広いテーマに関して日本の
長期戦略の構築に挑んでいる。

2013 – 2014
February
vol. 8

2



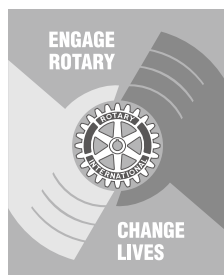
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信2月号

国際ロータリー 第2660地区
2013-2014年度ガバナー

福家 宏



2013-2014
**GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER**
February vol.8

CONTENTS

ガバナーメッセージ（世界理解月間）	1
廣瀬勘一郎PGを偲んで	2
青少年交換クリスマスパーティ	3
ガバナーノミニー指名宣言	4
ロータリー財団情報	6
ガバナー補佐からのメッセージ	8
我がクラブの目指すところ（IM第5組）	9
災害支援プロジェクト報告（第31回）	14
米山奨学委員会／ロータリー財団	15
2013年12月度 会員数・出席報告	17
文庫通信	18
敬弔／お知らせ	19

世界理解月間にあたって

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

福家 宏



2月はロータリーの暦の上で「世界理解月間」として指定されています。この月はロータリーが誕生した大切な日を含む月であるからです。

1905年2月23日にポール・ハリスはガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレーら4名と共に第1回ロータリー例会を開催したのです。つまりこの日はロータリーの創立記念日であり、「世界理解と平和の日」(World Understanding and Peace Day)と呼ばれています。そして国際ロータリー理事会は2月23日に始まる1週間を「世界理解と平和週間」と定め、ロータリーの奉仕活動を強調することを決議しました。さらに2月は「世界理解月間」と定められたのです。

「世界理解月間」を遵守するにあたり、全てのロータリークラブは毎週の例会プログラムを世界平和のために理解深めるような内容にすることを求められています。例えば国際的な講演者を招請したり、青少年交換学生やロータリーの学友、GSE元チームメンバーなどをクラブ例会に招待し、卓話を要請するなどのプログラムが考えられます。

「世界理解月間」は、すべてのクラブが一時手を休めてロータリーが世界の人々の間の善意、平和および理解をずっと求め続けていく奉仕の道のプランを立て促進する好機でもあります。

ロータリー財団は奉仕活動の重点分野を ①平和と紛争解決/予防 ②疾病予防と治療 ③水と衛生 ④母子の健康 ⑤基本的教育と識字率向上 ⑥経済と地域社会の発展の6分野としています。

これらの6分野はとりもおさず「平和のための活動」そのものであります。平和を阻害するものとは、紛争の根底に横たわる原因に等しく、多くの場合、食糧、水、住居、医療、識字、雇用、人権などの基本的条件の欠如であります。この基本的条件を維持・改善するためにロータリーは活動し続けているのです。人道的国際奉仕はもとより、ポリオ撲滅活動も然りであり、米山記念奨学制度もまた然りです。

「世界理解月間」には、「ロータリーの平和のための活動」について私たちは今一度良く考え、今後の活動に活かして行きたいものであります。

廣瀬勘一郎PGを偲んで



大谷 透 (大阪西南RC)

大阪西南RCは来年の5月28日に創立45周年の記念式を予定しています。その時にはチャーターメンバーでもあられ、且つ西南RCのためばかりでなく、クラブの枠を超えて、ロータリーのために多大な貢献をされて来られた廣瀬さんに感謝状を贈呈し、顕彰しようと考えていた矢先の訃報でございました。残念でなりません。

私は常々、廣瀬さんの「情の深さ」には、頭の下がる思いを抱いておりました。ご自分がRCの会長やガバナーをなさった時に、協力してくれた人々に対する丁寧な謝意の表明の仕方や、悲しい思いをしている人に対する、心のこもった気配りに、心打たれた会員も多かった事と思います。絶えず和やかなロータリアンの香りを放っている廣瀬さんは、私にとっては敬愛すべきロータリアンの範例でございました。

米寿を迎えられたときに『大阪西南ロータリークラブと共に歩んだ歴史』と題したロータリーライフの集大成とも云うべき六頁に及ぶ「思い出の文」を執筆し、ガバナー活動も含めて、自分がロータリー生活をいかに楽しんだかを披露されました。又、昨年2月には、眼の不自由さを押して人生の集大成とも云うべき「日本海軍の歴史」と題した写真入りの小冊子を執筆され、例会で卓話されました。日本海軍が自分の人生にどのような影響を与えたかと言う視点から書かれたもので、単なるご自分の業績の羅列ではなく、歴史の流れの中で自分を見つめようとする廣瀬さんの人生観が語られており興味をそそられました。その中で次の2点が深く私の心をつかえました。

1つは井上成美 海軍大将の決断です。国が滅亡してしまう前に少しでも早く戦争を終わらせたいと願い、戦争終結に尽力された井上大将は 戦艦大和が出撃する時に「戦後の日本国の再建に、必ず役立つであろう優秀な若い海軍士官達を、道ずれにするには忍びない」と、若い士官達を乗船させなかったのです。当時24歳であった若き廣瀬勘一郎 海軍士官は、その事を深く心に受け止められたようです。終戦後は家業を継ぎ、自らの職業に精励し、会社を発展せしめ、職業を通じて社会に奉仕をすると云うロータリーの「職業奉仕」の理念を立派に実践し、結果として 井上海軍大将の期待通り 日本国再建の一翼を担われた事になったのでございます。世代の違う私には少し違和感のあるロータリーソングの歌詞の一節「御国に捧げん、我らの生業」が廣瀬さんにはびたりはまる と感じている次第です。

2つ目は廣瀬さんが母校 旧大阪商大の庭に建立された「戦没学友の碑」の写真を見ての感想です。生き残って戦後復員した方々の中には「生存者の後ろめたさ」に付き纏われる人が多くいます。自分よりも生き残ってしかるべきだと思われる多くの同僚が戦死して帰らぬ

廣瀬勘一郎パストガバナー

2013年12月16日ご逝去(享年92歳)

- 1968年 大阪西南RC入会(チャーターメンバー)
- 1985~1986年度 会長
- 1990~1991年度 RI第2660地区ガバナー
- マルチプル・ボール・ハリス・フェロー
- 米山功労者マルチプル

人となってしまったのに、どうして自分は生き残ったのだらうと云う、生き残って帰国した事に対する罪意識です。その感情はしばしば健全な精神をも蝕んでしまいます。そのような精神状態とどう向き合い、どう関わり、どのように癒しの手段をこうじて行くか、その精神的トラウマとの関わり方に於いて、廣瀬さんは実に誠実であられたと云う事を、この「戦没学友の碑」は雄弁に物語っています。

この「日本海軍の歴史」の小冊子に付随して太陽電池で腰を振る《雪だるまのおもちゃ》を貰われた方も多かったと思います。そのおもちゃは今も私の家の窓際にユーモアたっぷりに腰を振っています。私はその踊る雪だるまを見たとき、廣瀬ご夫妻の18番「おかめとひよっとこの踊り」を連想しました。ロータリーの国際交流で、テキサスやシンガポールの姉妹クラブを訪問した時、懇親会場が一番盛り上がったのは廣瀬御夫妻のこの踊りの時でした。文化背景の異なる外国のロータリアンも、共に抱腹絶倒。実に楽しい交流と親善の一時となった経験があったからです。しかし、その《雪だるまのおもちゃ》に込められた廣瀬さんのメッセージとは、口数の少ない御自身の説明から、次のような事だと理解致しました。即ち『今、自分は九十歳を過ぎ、目も耳も不自由になったが、この《雪だるま》は、受けた光のエネルギーを利用する力がある限り、動き続けている。同様に、自分も与えられた生命の恵みが続く限り、ロータリアンとして精一杯出来る事をしてゆこうと思っている』。それを例会出席で示されました。

晩年は脳梗塞から発語の不自由さ、又、黄斑変性による視力の低下、高齢による難聴、更には前立腺癌に加えて、悪性リンパ腫と、大変な病と連れ添った生活でしたが、沈んでしまいそうになる気持ちに打ち勝って、最後まで笑顔で、ロータリーをエンジョイされたのは、よき伴侶とご家族に恵まれたおかげと絶えず感謝しておられました。3週間前まで、元気に例会に出席されていたお姿は鮮やかに会員一同の目に焼き付いています。

廣瀬さん、学ぶべき大きな足跡を残して下さいまして有難うございました。どうか安らかにお休み下さい。御霊の平安を心よりお祈り申し上げます。

青少年交換クリスマスパーティ

青少年交換委員会 委員

稲邑清也 (千里RC)

恒例のD2660青少年交換クリスマスパーティが12月7日(土)17:00からシティプラザ大阪で開催されました。

2013-2014年度来日学生6名(アメリカ3名、カナダ1名、フランス1名)の内の5名、ホストファミリー5名、2014-2015年度派遣候補生10名の内9名、保護者とファミリー15名、クラブ担当者5名、地区ローターアクト、インターアクトから6名、辻村青少年交換委員会委員長を始めとする元委員長、委員の14名、主催者側のROTEX14名、地区事務所1名、福家G、岡部PG、泉GEのご来賓を迎え、合計76名が参加しました。

開会では国歌斉唱のあと、ROTEX会長 宝上卓音及び福家Gより挨拶があり、泉GEの乾杯、派遣候補生による自己紹介と続きました。まだ英語がたどたどしい子もいましたが、堂々と自己PRをする子もいて頼もしさを感じました。圧巻は来日学生の出し物で、クリスマスの衣装をつけてお国柄を表す歌や踊りの披露がありました。二人でハモる仲良しもあり、大いに盛り上がりました。

然しやはりROTEXが仕掛けた、来日生と派遣候補生一緒に舞台所狭しとはしゃぎ廻ったメインイベントは大成功でした。

思わぬハプニングもあり、爆笑を誘ったりしました。高校生ですから身体は大きいのですが、心は未だ子供で、はしゃぎまわる様子は国際交流の一端を嬉しく垣間見た次第です。

その後、持ち寄ったクリスマスプレゼントの交換会があり、参加者全員で一喜一憂して素敵な品物を受け取っていました。クリスマスソングを皆で唄ってから輪になって「手に手つないで」で氣勢を挙げました。一斉に両手を上げたり下ろしたりの筈が、何処かで180度の位相の差異が生じ、右手と左手を交互に上げ下ろしをする二人がいました。すなわち過ちを2回繰り返すと元通りになります。今後の青少年交換の厳しい前兆のような気がしてハッとしたものです。

青少年交換委員会委員長 辻村より挨拶、岡部PGより講評があり、全員の記念撮影をして散会となりました。司会をしたROTEXの二人のお嬢さんは最初は上がり気味で頼りない感じでしたが、最後はしっかり締めて呉れました。

とても楽しいクリスマスパーティで青少年交換の親睦の目的が殆ど達せられたのではないかと勘違いする位の大成功だったと思います。



国際ロータリー第2660地区 ガバナーノミニー指名宣言

地区ガバナー指名委員会 委員長

高島凱夫 (大阪中之島RC)

R I 第2660地区 ガバナーノミニー候補者の指名に関し、ガバナー月信8月号において、地区内各クラブに対し、国際ロータリー細則13条並びに当地区ガバナー指名委員会規約により、2016～2017年度ガバナー候補者の推薦を、10月末日を締切日としてお願いいたしました。

当該期日までに、大阪北ロータリー・クラブより、当クラブ会員、松本進也氏の推薦が1件ありました。

2013年11月6日に地区ガバナー指名委員会を開催し、地区ガバナー指名委員会の規約に基づき慎重審議の結果、同氏を2016～2017年度国際ロータリー第2660地区ガバナー候補者として指名することを決定いたしました。

国際ロータリー 2013年規定審議会決定事項により、松本進也氏の呼称は以下の通りとなりますことをお知らせ致します。

国際ロータリー細則

第13条 ガバナーの指名と選挙

13.010. ガバナーノミニーの選出

地区は、ノミニーを、ガバナーとして就任する日の直前24カ月以上36カ月以内に選出するものとする。**選出されたロータリアンは、「ガバナーノミニー・デジグネート」という肩書を担い、ガバナーに就任する2年前の7月1日にガバナーノミニーの肩書を担うものとする。**理事会は、正当かつ十分な理由により、本節の期日を延長する権限を有するものとする。ガバナーノミニーが選挙されるのは、国際協議会で研修を受けるロータリー年度の直前ロータリー年度に開催されるR I 国際大会である。このようにして選出されたノミニーは、ガバナーエレクトとして1年の任期を務めてから、選挙後の暦年の7月1日に就任するものとする。

第2660地区 ガバナーノミニー指名宣言

国際ロータリー細則第13条の規定に基づき、大阪北RC会員、松本進也氏を2016～2017年度国際ロータリー第2660地区ガバナー候補として宣言します。

2014年1月

国際ロータリー第2660地区
2013～2014年度
ガバナー 福家 宏

松本進也 (まつもと しんや) 氏の略歴

生年月日 1947年 2月20日 (66歳)

勤務先 松本商事株式会社
松本興業株式会社
松本フード株式会社

経歴 1969年 慶応義塾大学 商学部 卒業
1969年 株式会社 三和銀行 入行
1971年 松本商事株式会社 専務取締役
松本興業株式会社 同上
1983年 松本フード株式会社 設立 専務取締役
1996年 松本章時株式会社 代表取締役社長
松本興業株式会社 同上
松本フード株式会社 同上



職業分類 外食チェーン

ロータリー歴 1987年 大阪北ロータリークラブ 入会
1993年度 幹事
1996年度 国際奉仕担当理事
1998年度 友好委員長(理事)
2001年度 S.A.A
2002年度 国際交流委員長(理事)
2003年度 副会長
2008年度 会長
2011~13年度 創立60周年記念行事実行委員長

R I 第2660地区 1999年度 拡大委員会委員
2000年度 副代表幹事
拡大委員会委員
2001年度 拡大委員会委員
2003年度 幹事
2004年度 代表幹事

その他 ベネファクター
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者(マルチプル)
連続25年皆出席(2012-13年度時点)

クラブロータリー財団委員長会議報告と財団情報

ロータリー財団委員会 委員長

溝畑正信 (東大阪東RC)

奉仕プロジェクトの流れ(ライフサイクル) ウェビナー

次回の「奉仕プロジェクトの流れ(ライフサイクル)：リソースの収集」のウェビナーは2月14日(金)に開催予定で、当2660地区の財団補助金小委員長の宮里唯子様
がパネリストをお務めになります。

ロータリー財団奉仕プロジェクトにご興味のある方、計画中の方、どなたでもご参加いただけます。是非ご登録下さい。

因みにシリーズ第2回目の「計画と準備」のウェビナーは12月13日(金)に開催され143名の登録がありました。

ロータリー平和フェロシップ

プログラムの正式名称が2014年1月より以下のように変更されます。

NEW: ロータリー平和センター Rotary Peace Centers
12月まで: 平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー平和センター
Rotary Centers for International Studies
in peace and conflict resolution

日本ロータリー学友会

2013年11月30日(土)、東京の如水会館にて日本ロータリー学友会全国大会が開催され、国内外から64名の学友とロータリアンが参加しました。元国際親善奨学生でドイツ在住のロータリアンである栗田ゆかりさんから、ドイツの学友会活動の紹介があったほか、学友クラブ結成のコツや、新しい補助金による奨学金制度の懸念事項など、活発な意見が交換されました。

当2660地区からは、私(溝畑正信地区財団委員長)、財団学友の生田英輔君(元GSEメンバー)が参加、学友が持つ国際的なネットワークと若い行動力は、間違いなくロータリーの未来を築く大きな力であることを改めて認識しました。

ロータリー財団地域セミナー

12月1日(日)、ロータリー財団地域セミナー (Zone1,

2,3) がホテルグランパシフィック LE DAIBA (東京) で開催され、最終段階に入ったポリオ撲滅の最新情報やグローバル補助金に参加した地区からの事例の発表など、プログラムに関する具体的な発表がありました。

第2660地区は私(溝畑正信財団委員長、東大阪東RC)が「第2660地区でのFuture Visionへの取り組み—特にGlobal Grant」について講演しました。

<日本のGG補助金申請状況> 2013年12月20日現在

GGプロジェクト	奨学金	VTT	人道的	合計
申請書作成中	5	5	35	45
提出済	0	2	13	15
承認済	22	1	11	34

これらは、日本の地区が代表提唱者となっているもので、このうち第2660地区は奨学金で2件、人道的分野で3件が承認済です。このほか、第2660地区では共同提唱での承認済が2件あり、手続き中のものは、代表提唱で3件、共同提唱で4件あります。このように第2660地区では、グローバル補助金申請が他地区に比しても大変活発になされており、2014年3月22日(土)に開催される財団ゾーンセミナーにおいて、私(溝畑財団委員長)は再び講演の依頼を受けています。

メジャードナー感謝午餐会

12月2日(月)、これまでロータリー財団へ多大なご寄付をされてきたメジャードナーの方々が一同に会する午餐会が開かれ、D.K Lee 財団管理委員長から直接感謝の意が表されました。

日本各地から200名以上が集まり、新たにアーチ・クラブ・ソサエティ(累計250,000ドル以上の寄付者)のメンバーになられた5名の入会式も行われました。

ロータリー研究会

12月3日(火)、4日(水)に行われたロータリー研究会でも財団プログラムに関するセッションが数多く行われ、新しいロータリーの補助金に関する関心の高さと、参加

することとロータリーのイメージの向上が、ロータリー活動を活性化し会員増強にもつながるとの認識が高まっていることが確認されました。

<ポリオ症例数> 2013年12月31日現在のポリオ症例数

		2013年1月1日~12月31日	2012年
アフガニスタン		11	37
パキスタン		83	58
ナイジェリア		51	122
ポリオ常在国以外	チャド	—	5
	エチオピア	6	—
	カメルーン	4	—
	ケニア	14	—
	ソマリア	183	—
	シリア・アラブ共和国	17	—
	ニジェール	—	1
世界合計		369	223

流行国：145 非流行国：224 総計369

マンデラ南アフリカ元大統領

12月5日に亡くなったネルソン・マンデラ南アフリカ元大統領は1996年にロータリーとkick off polio out of Africa キャンペーンを始めるなどアフリカでのポリオ撲滅活動に大きな貢献をしました。また1997年には「ロータリー国際理解と平和賞」を受賞しています。

シリアに緊急対策資金を提供

シリアでのポリオ発生に対応し、ロータリーは50万ドルの緊急対策資金を世界保健機関(WHO)に提供します。これは、中東での大規模な予防接種活動を行うための初の資金提供となります。

今後の予定

- 2月14日 ウェビナー「奉仕プロジェクトの流れーリソースの収集」
- 3月22日 ゾーンチームトレーニング
- 4月22日 ウェビナー「奉仕プロジェクトの流れープロジェクトの実施」

[ガバナー補佐からのメッセージ] IMの将来について



IM第5組 ガバナー補佐

川崎 壽 (大阪中央RC)

IM(Intercity Meeting)とは都市連合会と訳されており、近隣都市のクラブ会員が集まってロータリー情報や奉仕活動について話合うとともに相互の親睦をはかるガバナー主催の会合であるといわれている。

当地区では、地区内全クラブが8つの組のいずれかに所属し、組毎にガバナー補佐が委嘱されている。この組のこともIMと称している。

与えられたテーマが年1回の会合としてのIMのことであるのか各クラブが所属する組としてのIMのことなのか判然としないが、そのどちらについて記してもよいとのことである。

組(分区)ごとの年1回の会合は、従来IGFとして開催されていたが、1996~97年度からIMと改称している。しかし、RIの事務要覧にはIMについての解説はない(ロータリー・クラブ定款第9条「出席」第1節(a)(3)に「正式に公表されたロータリー・クラブの都市連合会」への出席もメーキャップとして認められるとの記載があり、この都市連合会の英文はIntercity Meetingである)。

このIMについて当地区研修委員会発行の「ロータリーの心と実践」には「近年IMにおいては、ロータリー活動とあまり関係がないような講演会が多くみられるようになりました。IM所属クラブ会員による討論と親睦の促進という原点への回帰が期待されています」と記さ

れている。

確かに、IMがミニ地区大会化しているような傾向もみられる。はやり原点に戻ってRIやガバナーが提起している重点活動項目を周知確認する機会とし、併せてクラブ間の親睦交流を深める場としたいものである。地区全体でIMの取り組みについて議論すべき時期に来ているように思う。

IM5組は、大阪市北区内で例会を行っている12のクラブが所属している。都市連合会というイメージはない(北区内で例会を行っているクラブはほかに10クラブある)。

5組では各クラブが持ち回りでホストを務める会長幹事会を年3回開催している(もっと頻繁に開催している組もあるようである)。この会合は、各クラブの運営や奉仕活動について貴重な情報交換、意見交換の場となっている。交流を通じて共同奉仕プロジェクトの取組も期待できるし、クラブの運営改善のヒントも得られる。更には、地区の戦略計画が示されるようになれば、これを検討し合い、クラブの戦略計画(クラブの目指すところ)の策定に生かすことが出来ると思う。

IM並びにクラブの将来を見据えながら、年1回のインターシティー・ミーティングだけではなく、組単位の会長幹事会やその他の交流の場をもっと拡げてゆくべきではないかと考える。

我がクラブの目指すところ (IM第5組)

大阪中央RC 会長

辻川 功一

我がクラブは、社会奉仕、国際奉仕、クラブ奉仕、職業奉仕、青少年奉仕に対しバランスよく活動ができていると思っています。

今後の課題としましては、ロータリー財団・ロータリー米山奨学会に対するより深い理解と協力を行うことを考えています。より多くの会員がより多くの貢献を行うことが重要だと思っています。これによりポリオ撲滅等のお役にたてれば何よりだと考えています。

また、奉仕活動の活発化のためにも新しい試みとして

「ロータリー以上」ということを行っています。年末に有志が集まり音楽会を行い、その収益金を社会奉仕や国際奉仕に役立てたりしています。

また、国際奉仕では、新しい協力先を絶えず見つける努力をしています。青少年奉仕では、RACのメンバーと協力し、社会奉仕活動を通じてロータリーのイメージアップに繋がる活動を行っています。

クラブ全員で、このような活動をどんどんしていくことが楽しみです。

大阪堂島RC 会長

川村 俊明

当クラブは、大阪西北RCをスポンサークラブとして1987年6月に発足し、現在27年目を迎えております。

現在会員数は30名弱で(新入会員は4名入っていたきましたが)漸減傾向にあることは否めません。

そこで、当クラブの本年度のキャッチフレーズとして「楽しく愉快に!!」を掲げております。

ロータリーの高邁な理想である、高度な道徳的水準を守りつつ、世界親善と平和を目指し、人道的奉仕を行うことも、一人一人のロータリアンが、その実践活動を「楽しく愉快に!!」行うのでなければ、成果も上がらないし、

持続しないと思うからです。

そして、各会員が所属の各奉仕委員会活動を「楽しく愉快に!!」行うことに触発され、他の会員もその活動に積極的に参加し、より一層質の高い奉仕活動を共に実現することが出来るであろうと考えるからです。

このように、各会員が積極的に質の高い奉仕活動を行うことを通じて、互いに人的関係を高め合い、結果的に「会員の維持・増強」に結びつくであろうことを確信しています。

大阪北RC 会長

村上 満

当クラブの本年度のスローガンは「明るく楽しいロータリー」。

ロータリークラブの活性化とは何と言っても新会員が加入し常に新陳代謝が行われることです。そのためにはクラブライフ・活動に魅力があり、新会員が「ロー

タリーは面白い、楽しい」と先ず感じてもらうことです。そこで以下の点に特に留意しました。

1. 卓話は興味が湧き役に立つこと。
2. 会員懇親会等のイベントは楽しいものにする。

企画立案運営は出来る限り若い会員にやってもらい

- 先輩は我慢して任せる。
3. 同好会設立を奨励して活性化する。
 4. 新会員のロータリー理解の一助としてロータリー塾を開催する。
- これらの努力のお蔭で当クラブでは新会員で3年以

大阪北梅田RC 会長 伊藤長範

やはり「楽しいクラブ」である事が基本であると考えます。楽しくなければ例会にも行かなくなるだろうし、様々なロータリー活動への参加も消極的になってしまいます。

毎回主要課題となる会員増強も、自分自身が楽しくロータリー活動に積極的に参加してこそ、そして参加することが楽しいからこそ人に入会を勧められるもので、まず自分の所属するクラブが楽しいということが原

内の退会者はほとんどゼロ。現在の会員数は200名弱で、今年度の目標は210名ですが、少なくとも205名は実現したい。いい人に入会してもらうことが柱で「誰でもいい」などの考えは徹底排除。喫緊の課題は出席率の向上であります。

点になると思います。

会員だけではなくその家族も巻き込み、ロータリー活動に理解をしてもらう人の輪を広げることも忘れてはならない大切なことだと思います。

我がクラブはこのような観点から「楽しいクラブ」となるように親睦活動にも力を入れ、会員の皆様が有意義なクラブライフを送れるように努めることを我がクラブの目指すところとしております。

大阪西RC 会長 高士雅次

大阪西ロータリークラブは、昭和32年に創立された歴史あるクラブです。

昨今は、震災復興支援を始め奉仕活動に積極的に取り組んでおり、本年度の地区大会では「意義ある業績賞」をいただけるとお聞きしております。

本年度も引き続き、震災復興支援を始め、幅広い分野で積極的な奉仕活動に取り組んでいく予定です。そして、震災復興支援活動やFVPを推進するなかで出来た絆を友好クラブ締結という形にしていきたいと考えて

います。

また、入会年次の新しい会員に活躍の場を多く提供することによって、これからのクラブを担う人たちにロータリーを実践する機会を増やし、ロータリーの素晴らしさを感じていただきたいと思っています。

もちろん当クラブの伝統である親睦活動に力を入れていくことも忘れていません。

これらの活動を通じて、このところ増加に転じ始めた会員数をより一層増やして行きたいと考えています。

大阪大淀RC 会長

矢野 巖

2013年2月21日に創立40周年記念事業を成功裡に終える事が出来ましたが、5月末に会長エレクトが病欠し、6月末には残念ながら会長エレクトを含む多くの退会者が出ました。

そこで、私が急遽2回目の会長職の指名を受けたわけですが、スタート時には大変困惑しました。今は、新しい素晴らしい仲間3名にも入会して頂き、クラブ一丸となって協力し合っています。更に、理事・役員達は奉仕活動に頑張ってくれています。

私は会員一人一人が例会において5分間卓話をやって頂き、ロータリアンとしての「心と実践」体験して貰っています。

ロータリーの真髓を研修しつつ親睦を深めていくことを大切にしながら、奉仕活動を実践して、年度末には我が大淀ロータリーのメンバー全員がロータリーの素晴らしさを体験していけるよう心掛けていきたいと思っています。

大阪リバーサイドRC 会長

徳山善雄

大阪リバーサイドロータリークラブは創立34年を迎えるにあたり、本年度テーマ(指標)は「会員の融合～クラブ力の向上」です。

1. 会員の融合

例会・親睦行事・情報研修会・I D M (Informal Discussion Meeting) 等では会員間の懇親を深め、各奉仕活動では委員長だけが奮起するのではなく、各委員会が委員長を中心に委員全員が参加～議論～立案～実施して会員間の融合性を高めたいと思います。

2. クラブ力の向上

奉仕活動・地区大会等の全てのロータリー活動において「誰かがするのではなく、誰もが取組む」を基本

骨子とし、会員全員が出来る限り参加することがクラブ力の向上になると思います。

以上のテーマに基づき、当クラブは密度の高い奉仕活動を主としたロータリー活動を会員全員が出来る限り参加し実施していきたいと思っています。

何よりも「例会出席」がロータリー活動の基本であり、且つ、「会員融合～クラブ力向上」の始まりですので、本年度は全会員が例会出席率100%(メーキャップ含む)を指標としております。現時点ではありますが、前年対比10%以上の出席率向上を達成しています。

これからも全会員参加型のロータリー活動・奉仕活動を行っていききたいと思います。

大阪西北RC 会長

小山 登

当クラブは今年創立45周年を迎えます。45年の歴史と伝統を継承し、一昨年は「クラブの品格」を高めて頂きました。昨年は『クラブ力』を高めて頂きました。この

経過を受けて、今年度の西北の理念は、『絆を高めよう』と決定致しました。この場合の「絆」は『断つにしのびない恩愛』『離れがたい情実』と理解し共有致しております

す。絆によるクラブの団結力を高めます。

今年度の会長を引受ける時に頭を過ぎったのが、『健康』問題です。当クラブのここ3年間に5名(60代2名・70代2名・80代1名)の会員が亡くなりました。全員ご病気です。現在の例会食(食生活)の見直しを実行致します。

歴史経過から見て『食は命なり』と申します。せめて

大阪そねざきRC 会長

長尾依子

私ども大阪そねざきロータリークラブは本年度、お陰様で20周年を迎えます。我がクラブの目指すところは、会員の結束を固め、品性ある王道を行くクラブ運営をおこなうことです。そのために新入会員と既存会員の質にこだわり、会長の時間を、有効活用して、誠心誠意、大切に、大切に啓蒙、啓発のためのお話が出来よう、ここを砕いてまいりました。

早6か月が経ちました。チャーターメンバーより、過日、卓話時に「素晴らしいクラブになってきている」との

週1回の例会食事の改善からはじめよう、と言って2年目になります。事は簡単ではございませんが、例会場にご無理を言って、ご飯食から始めております。主食がご飯ですから、自ずと副食も和食に傾注致します。

最近是世界遺産に『和食』が脚光を浴びております。出来る事であれば、この食生活の改善を啓発・普及させたいと思念致します。

言葉が出るほどに、当クラブの会員の質は素晴らしいと、例会時や、奉仕活動時に、会長として、実感するに至っております。

クラブ運営方針は「本年度20周年度新たなスタート節目にしよう！」＝楽しく、豊かに、実践しよう！＝①20周年事業の成功 ②会員の維持・増強 ③FVPによるプロジェクトの初取り組み(特に東日本大震災の復興支援と次世代育成)の三項目を重要項目と致しております。

大阪梅田RC 会長

内海閑一郎

クラブは創立37年目に入り、ロータリーとしての歴史を築き地域社会及び海外に目に見える奉仕を実施し、それぞれ、生活改善、向上に実績を積んで来た。

しかし、近年クラブ会員数は最盛時に比べて半減、クラブ運営(経費を含む)にも心配が生じ始めた。此の事から、我がクラブは当面下記事項を改善し、その実践を目指す。

- (1) 毎年、クラブテーマを決めて、クラブを再活性化させ、全会員がロータリー活動を実践する事を目指す。本年は「会員の和でクラブを発展させよう!!」である。
- (2) 会員増強
会員増強・維持は会員個々に与えられた「義務」。目

標を立て全員で事に当たる。当面はクラブ会員数40名をめざす。

○短期 2013～14年度 3名以上(純増)

○中期 2014～17年度 8名以上(純増)

○長期 2017～27年度 15名以上(純増)

会員相互の意志疎通を図り友好、親睦を深め、クラブに和を広めて、退会防止に努める。又、名誉会員制度も活用し、例会時の会員数増強をはかる。

- (3) クラブ経費の節減徹底をはかる。

- (4) 奉仕の実践

地域社会の奉仕のニーズを探し、その実践に務める。ロータリーはあくまで個々人の自主参加で奉仕する

I SERVE を基本としている。今年はどんな小さい奉仕でも、各人他人に尽くす事としている。

(5) ロータリーを学ぶ

「ロータリーの目的」と「R I 戦略計画の理念」についてクラブ内に研修会を設け、会員全員、理解を深める

ように努める。

(6) ロータリー財団と米山に資金とプログラムで参加し、支援する。

(7) 「四つのテスト」を毎週1回全員で唱和し、ロータリーの心を理解するよう努める。

大阪梅田東RC 会長

山村幸久

現在、日本の経済状況は上昇気流に乗れるか否かという時代に直面しております。

我がクラブもこの流れに乗り遅れることのないよう会員増強に奔走しており、平均年齢が65歳を超える我がクラブですが、今年度は前期だけで7名(平均45歳)の新入会員を迎えることができました。後期には10名の増員を予定しているため、計40名で次年度に引き継ぐことができれば、私が会長を務めるにあたり掲げた目

標を達成することができます。

また長期的展望として、我がクラブは地域密着の活動のみならず、国際的な奉仕活動にも携わっていかねばならないと思っております。

私が思い、努める奉仕とは、心(おもいやり)と使命感をもち、サービスではなくホスピタリティーの精神で人々の保護者となり、自身の心と体で行うものです。皆様に共感頂ければ幸いです。

大阪ユニバーサルシティRC 会長

久保田秀一

大阪ユニバーサルシティロータリークラブの奉仕活動の核であり、最も重要な事業は、毎年USJで開催されるロータリーXmas in USJです。

施設の子供たちをUSJに招待し、楽しくふれあい思い出に残る様な日を過ごしてもらい、すこやかに成長してくれることを願っています。

Xmas in USJは会員全員、会員の家族、友人、知人、ライラの方々又他クラブの会員、関係者の協力により行われています。

この事業を継続的に行うことにより、会員数が増え、会員同士親睦がより深まり、クラブが発展する様願っております。

災害支援プロジェクト報告 (第31回)

災害支援プロジェクト委員長

高島凱夫 (大阪中之島RC)

1. 災害支援プロジェクト寄付送金口座

りそな銀行 大阪営業部 普通 1527285

口座名義：第2660災害支援 会計 片岡基博

(ダイニロクロクゼロサイガイシエン カイケイ カタオカモトヒロ)

2. 災害支援地区基金の状況 (2014年1月17日現在)

【収 入】

(単位:円)

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備 考		地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備 考
1	前月からの繰越	5,157,512		107	東大阪中央	50,000	フィリピン災害
83	大阪南	115,000	フィリピン災害	108	大阪ネクスト	40,000	フィリピン災害
84	大阪北梅田	65,000	フィリピン災害	109	吹田	53,000	フィリピン災害
85	池田	50,000	フィリピン災害	110	豊中―大阪国際空港	42,000	フィリピン災害
86	大阪南西	10,000	フィリピン災害	111	大阪大手前	70,000	フィリピン災害
87	大阪天満橋	50,000	フィリピン災害	112	高槻	51,000	フィリピン災害
88	大阪そねざき	87,000	フィリピン災害	113	大阪平野	20,000	フィリピン災害
89	吹田西	41,575	フィリピン災害	114	吹田江坂	45,000	フィリピン災害
90	高槻東	100,000	フィリピン災害	115	豊中南	23,942	フィリピン災害
91	茨木	25,000	フィリピン災害	116	大阪梅田東	30,000	フィリピン災害
92	くずは	54,000	フィリピン災害	117	大阪中央	20,500	フィリピン災害
93	千里	25,000	フィリピン災害	118	東大阪	50,000	フィリピン災害
94	大阪ユニバーサルシティ	50,000	フィリピン災害	119	大阪船場	390,000	フィリピン災害
95	池田くれは	60,000	フィリピン災害	120	大阪城東	21,000	フィリピン災害
96	大阪大淀	29,334	フィリピン災害	121	箕面	50,000	フィリピン災害
97	豊中千里	60,000	フィリピン災害	122	大阪御堂筋本町	39,000	フィリピン災害
98	大阪梅田	31,000	フィリピン災害	123	大阪中之島	50,000	フィリピン災害
99	東大阪西	50,000	フィリピン災害	124	大阪天王寺	116,000	フィリピン災害
100	東大阪東	63,000	フィリピン災害	125	四條畷	24,000	フィリピン災害
101	茨木東	32,000	フィリピン災害	126	東大阪みどり	37,850	フィリピン災害
102	枚方	34,000	フィリピン災害	127	大阪淀川	50,000	フィリピン災害
103	寝屋川	36,000	フィリピン災害	128	大阪城南	50,000	フィリピン災害
104	大阪	50,000	フィリピン災害	129	摂津	34,000	フィリピン災害
105	心斎橋	100,000	フィリピン災害	130	八尾中央	30,000	フィリピン災害
106	守ロイブニング	31,000	フィリピン災害		合 計	7,793,713	

【残 高】

(単位:円)

預金残高	7,793,713
------	-----------

(2014年1月16日現在)

米山奨学委員会／ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2013年 11月末	全国寄付金合計額	649,247,467円	(前年同期比396万円増)
	第2660地区寄付金合計額	45,535,450円	(前年度比11.56%増)
	全国寄付合計トップ10		
	1. 第2660地区	45,535,450円	
	2. 第2750地区	43,396,352円	
	3. 第2650地区	41,628,631円	
	4. 第2760地区	39,151,300円	
	5. 第2590地区	37,237,800円	
	6. 第2770地区	36,360,500円	
	7. 第2580地区	33,924,850円	
	8. 第2820地区	22,979,500円	
	9. 第2690地区	22,356,910円	
	10. 第2790地区	22,224,200円	

米山功労者 次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2013年11月)

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
板垣 善雄	1	高槻東RC	井上 隆晴	5	大阪リバーサイドRC	木村 政信	1	東大阪RC
上場 俊哉	1	高槻東RC	前田 葉子	7	大阪リバーサイドRC	濱谷 和也	3	東大阪RC
坂井 利孝	1	高槻東RC	上田 彰	3	大阪咲洲RC	加茂 次也	3	東大阪RC
齊藤 昇男	3	高槻東RC	荒石 義一郎	5	大阪咲洲RC	石橋 英司	4	東大阪RC
近森 信人	4	高槻東RC	石原 純一	1	大阪心齋橋RC	森田 康夫	4	東大阪RC
川村 俊	5	高槻東RC	西村 拓夫	2	大阪心齋橋RC	高林 茂	4	東大阪RC
荒起 一夫	1	吹田RC	境 紀世治	2	大阪心齋橋RC	地引 啓	5	東大阪RC
橋本 治	1	吹田RC	芦邊 康徳	3	大阪心齋橋RC	片岡 大	5	東大阪RC
松永 茂	1	吹田RC	田中等	3	大阪心齋橋RC	山下 勝弘	7	東大阪RC
北野 龍二	4	吹田RC	永通 明温	3	大阪心齋橋RC	安田 嘉雄	9	東大阪RC
柳川 義行	5	吹田RC	竹田 正司	3	大阪心齋橋RC	岡本 慎一	1	東大阪中央RC
吉田 充	5	吹田RC	佐伯 良一	5	大阪心齋橋RC	佐井 義昌	1	東大阪中央RC
羽間 勝昌	8	吹田RC	田中 義久	1	大阪西RC	松岡 武	2	東大阪中央RC
金馬 隆仁	2	吹田江坂RC	羽山 謙造	1	大阪西RC	林 孝信	4	東大阪中央RC
庄瀬 寛	3	吹田江坂RC	中村 壽孝	2	大阪西RC	瀧田 浩彦	5	東大阪中央RC
堀田 稔	5	吹田江坂RC	鴨谷 清三	3	大阪西RC	渡辺 斌	5	東大阪中央RC
東 秀夫	5	吹田江坂RC	高士 雅次	4	大阪西RC	木村 正一	5	東大阪中央RC
田尻 邦夫	1	大阪RC	清水 美博	9	大阪西RC	郷田 清義	6	東大阪中央RC
吉川 秀隆	4	大阪RC	玉村 光	2	大阪南RC	正田 常雄	8	八尾RC
栗原 大	1	大阪フレンドRC	高木 慶一	5	大阪南RC	藤木 良顕	1	八尾中央RC
木村 新一	1	大阪リバーサイドRC	市川 寛城	7	大阪梅田東RC	松下 和彦	1	八尾中央RC
藤本 佳之	1	大阪リバーサイドRC	岡部 卓雄	8	大阪平野RC	中井 敬和	4	八尾中央RC
柿本 登	1	大阪リバーサイドRC	西垣 文雄	3	大東中央RC	片岡 基博	5	八尾中央RC
徳山 善雄	2	大阪リバーサイドRC	中原 由輝広	1	東大阪RC	田中 正一	2	豊中RC
神崎 友次	4	大阪リバーサイドRC	川端 啓一	1	東大阪RC	松山 辰男	2	豊中RC
石田 由美子	4	大阪リバーサイドRC	丸山 隆司	1	東大阪RC			

米山功労クラブ 次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2013年11月)

クラブ名	回数	クラブ名	回数	クラブ名	回数
高槻東RC	23	大阪咲洲RC	8	東大阪中央RC	35
吹田江坂RC	23	大阪西RC	56	八尾中央RC	26
大阪リバーサイドRC	14	東大阪RC	57		

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2013年11月)

氏名	クラブ名	氏名	クラブ名	氏名	クラブ名
小泉 隆司	大阪RC	近藤 章	大阪RC	岩本 純治	大阪RC
沖米田浩朗	大阪リバーサイドRC	矢野 清治	大阪御堂筋本町RC	服部 一史	大阪RC
横尾 博子	大阪リバーサイドRC	松本 憲旺	大阪御堂筋本町RC	蔦田 守弘	大阪RC
米谷 龍二	大阪南RC	入谷 治夫	高槻RC	松永 修	大阪船場RC
新居誠一郎	大阪南RC	朝倉 通憲	高槻RC	竹内 定夫	大阪東RC
城戸 高史	大阪南RC	宮川 清	八尾RC	松本 裕典	大阪東RC
鮫島 武信	大阪南RC	水野 雅由	八尾RC	長竹 浩	八尾RC
片岡 利雄	大阪南RC	澁谷登志和	八尾RC		

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2013年11月)

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
吉川 秀隆	2	大阪RC	佐野 清	7	八尾RC
岸本 忠三	3	大阪RC	大橋 秀典	3	東大阪東RC
松澤 佑次	3	大阪RC	辻 正	2	東大阪東RC
井上 隆晴	4	大阪リバーサイドRC	金子 泰輔	5	東大阪東RC
藤井 武治	4	大阪リバーサイドRC	西村 是滋	2	箕面千里中央RC
石田由美子	1	大阪リバーサイドRC	東 良三	3	箕面千里中央RC
小山 博記	1	大阪南RC	原 暎	5	箕面千里中央RC
松本 晴次	2	大阪南RC	湯川 泰孝	3	箕面千里中央RC
吉川 浩司	2	大阪南RC	近藤 雅彦	1	大阪RC
長谷川 孝	1	大阪南RC	扇谷 迪宏	2	大阪RC
錦織 達郎	2	大阪南RC	竹中 統一	6	大阪RC
木村 正治	3	豊中RC	小島 常男	1	大阪船場RC
石原 福造	2	大阪RC	杉浦 敬久	2	大阪船場RC
黒松 克行	1	大阪城東RC	北川 勝治	5	大阪東RC
角野 隆史	2	大阪城東RC	藤井 邦夫	6	大阪東RC
佐々木多喜子	1	大阪城東RC	領木 誠一	3	大阪東RC
富田 進	2	大阪御堂筋本町RC	中村 健	3	大阪東RC
古澤 照男	5	大阪御堂筋本町RC	戸島 利夫	1	大阪東RC
本田 壽子	2	吹田RC	片山 勉	7	大阪東RC
片山美智子	1	高槻RC	佐藤 勉	1	大阪東RC
澤木 政光	3	豊中RC	山村 幸久	2	大阪梅田東RC
三宅 博	2	八尾RC	井川 孝三	3	八尾RC
吉本 憲司	1	八尾RC			

ベネファクター 次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2013年11月)

氏名	クラブ名	氏名	クラブ名	氏名	クラブ名
薦田 光	大阪城東RC	国宗 範彰	東大阪RC	家高 健志	枚方RC
菊田 芳	守口RC	田中 正一	豊中RC		

メジャードナー 次の方にメジャードナーの称号が贈られました。(2013年11月)

氏名	クラブ名
立野 純三	大阪RC

2013年12月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	12月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第1組	池田	37	38	2	1	0	1	3	62.39	61.11
	池田くれは	28	30	1	2	0	2	3	84.60	79.51
	箕面	25	28	2	3	0	3	4	85.55	81.70
	箕面千里中央	21	23	0	2	0	2	3	94.61	93.30
	豊中	45	46	4	2	1	1	4	85.55	71.13
	豊中南	28	28	2	1	1	0	3	90.16	82.79
	豊中-大阪国際空港	20	21	0	1	0	1	3	69.52	64.68
	豊中千里	39	37	3	1	3	-2	4	85.74	80.83
	小計	243	251	14	13	5	8		82.27	76.88
	I M 第2組	茨木	25	26	3	1	0	1	3	92.20
茨木東		39	41	4	2	0	2	3	78.37	75.67
茨木西		28	28	6	0	0	0	4	99.11	92.86
千里		38	38	0	0	0	0	3	89.47	80.80
千里メイプル		22	22	2	1	1	0	4	89.41	87.06
摂津		37	37	2	0	0	0	3	85.05	77.03
吹田		60	60	10	2	2	0	4	95.59	85.86
吹田江坂		34	34	2	0	0	0	3	96.27	88.67
吹田西		47	50	2	3	0	3	3	100.00	83.40
高槻		51	50	6	0	1	-1	4	88.33	83.26
高槻東	36	38	2	2	0	2	3	91.60	88.03	
高槻西	20	21	0	1	0	1	4	91.67	79.76	
小計	437	445	39	12	4	8		91.42	84.33	
I M 第3組	大東	42	42	0	1	1	0	4	100.00	93.86
	大東中央	28	29	11	1	0	1	3	74.76	72.15
	枚方	40	42	0	6	4	2	3	84.17	78.33
	門真	30	32	6	3	1	2	3	90.00	79.17
	交野	32	33	1	1	0	1	3	91.67	87.50
	香里園	15	16	0	1	0	1	3	89.58	87.50
	くずは	52	52	0	2	2	0	4	79.88	70.54
	守口	42	42	4	0	0	0	4	88.09	80.52
	守口イブニング	27	27	4	0	0	0	3	79.01	75.31
	寝屋川	42	41	5	0	1	-1	3	87.30	77.78
四條畷	12	12	0	0	0	0	3	93.94	93.94	
小計	362	368	31	15	9	6		87.13	81.51	
I M 第4組	東大阪	70	74	0	5	1	4	3	87.12	78.10
	東大阪中央	33	31	0	0	2	-2	2	88.26	88.10
	東大阪東	55	59	4	4	0	4	4	93.50	77.01
	東大阪みどり	30	30	1	0	0	0	4	77.50	63.33
	東大阪西	31	32	0	1	0	1	3	96.50	72.80
	大阪柏原	30	31	2	1	0	1	4	90.53	86.25
	大阪ネクスト	19	19	8	0	0	0	3	73.68	59.65
	八尾	60	60	0	2	2	0	3	66.81	65.58
	八尾中央	16	16	0	1	1	0	3	84.72	80.28
	八尾東	26	26	1	0	0	0	4	72.81	67.01
小計	370	378	16	14	6	8		83.14	73.81	

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	12月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第5組	大阪中央	46	49	6	5	2	3	4	93.00	82.75
	大阪堂島	28	30	1	2	0	2	3	76.66	76.66
	大阪北	197	192	0	7	12	-5	3	75.66	61.79
	大阪北梅田	50	51	3	3	2	1	3	75.97	62.99
	大阪西	75	76	0	1	0	1	3	87.01	83.01
	大阪大淀	36	39	0	3	0	3	3	93.58	90.83
	大阪リバーサイド	34	36	7	3	1	2	3	89.99	68.15
	大阪西北	49	51	0	3	1	2	3	94.29	88.39
	大阪そねざき	35	37	23	3	1	2	3	93.40	83.40
	大阪梅田	25	23	1	0	2	-2	4	78.73	72.00
大阪梅田東	25	28	0	5	2	3	3	91.11	70.00	
大阪ユニバーサルシティ	32	34	5	2	0	2	3	95.83	72.92	
小計	632	646	46	37	23	14		87.10	76.07	
I M 第6組	大阪	257	268	1	17	6	11	3	71.85	57.71
	大阪東	117	119	0	6	4	2	3	92.11	78.30
	大阪東淀ちゃやまち	30	29	3	0	1	-1	3	87.30	73.01
	大阪城東	43	42	5	2	3	-1	3	90.88	87.63
	大阪中之島	27	27	1	1	1	0	3	86.90	79.76
	大阪大手前	35	34	4	1	2	-1	3	84.92	60.40
	大阪城北	49	46	3	2	5	-3	3	81.53	80.87
	大阪天溝橋	68	65	0	1	4	-3	3	87.67	87.67
	大阪鶴見	32	31	0	0	1	-1	3	90.64	85.81
	大阪淀川	28	30	3	3	1	2	3	92.02	82.25
新大阪	32	33	1	2	1	1	3	93.94	86.87	
小計	718	724	21	35	29	6		87.25	78.21	
I M 第7組	大阪フレンド	25	29	4	4	0	4	3	90.60	75.21
	大阪御堂筋本町	61	59	3	0	2	-2	3	83.08	76.39
	大阪南	144	155	0	15	4	11	4	84.64	73.06
	大阪難波	46	52	0	6	0	6	4	91.15	82.29
	大阪なにわ	25	26	3	2	1	1	4	91.58	85.96
	大阪南西	15	15	3	0	0	0	4	91.19	82.01
	大阪西南	98	100	21	3	1	2	4	91.40	72.88
	大阪船場	39	39	1	1	1	0	3	96.00	88.00
	大阪心斎橋	33	35	0	2	0	2	3	99.47	83.44
	大阪うつぼ	33	33	3	1	1	0	3	91.82	88.07
小計	519	543	38	34	10	24		91.09	80.73	
I M 第8組	大阪平野	32	31	2	1	2	-1	4	97.18	90.83
	大阪イブニング	14	14	3	0	0	0	3	90.48	80.95
	大阪城南	53	51	0	2	4	-2	4	98.86	95.94
	大阪咲洲	18	18	1	1	1	0	3	78.94	64.91
	大阪天王寺	56	57	0	2	1	1	4	87.11	82.66
	大阪帝塚山	53	53	4	2	2	0	4	78.58	75.11
	大阪東南	50	50	0	1	1	0	4	92.00	65.00
	大阪アーバン	23	24	7	3	2	1	4	79.00	77.00
	大阪みおつくし	34	31	14	3	6	-3	4	65.30	62.08
	小計	333	329	31	15	19	-4		85.27	77.16

合計	クラブ名	7月期初 会員数	12月末 会員数	女性 数累計	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均出席率	ホームクラブ 平均出席率
	83	3614	3684	236	175	105	70	86.5	78.6

文庫通信 (316号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

デジタル化されたロータリー文献 (1)

- 「友を選ばば」 佐藤千壽 (東京東RC) 1994 27p
- 「ロータリーのこころ」 佐藤千壽 1997 65p
- 「脚下照顧」 佐藤千壽 (東京足立RC) 1997 59p
- 「ロータリーと禁欲の倫理」 佐藤千壽 (大分足立RC) 1991 59p
- 「言葉は人生の杖」 佐藤千壽 2003 39p
- 「職業倫理」 佐藤千壽 (東京東RC) 1992 64p
- 「窓を開くロータリー 広報資料」 前原勝樹 1985
- 「広報」 津田 進 1988
- 「三つの山脈」 津田 進 (千曲川RC) 2002 40p
- 「前原ガバナー講話集」 D.355 87p
- 「ロータリー広報乃王道」 佐藤千壽 D.2780 1997 34p

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

小林正茂 会員（大阪平野RC）

2014年1月6日 逝去（享年84歳）

会長、副会長、クラブ奉仕委員長、
会報委員長、雑誌委員長、
世界社会奉仕委員長、米山奨学委員長

ポール・ハリス・フェロー

お知らせ

■お詫びとお知らせ

2013—14年度地区活動予算案について、各委員会様より要望調整後の集計時に誤りがありましたので、訂正させていただきます。地区活動資金支出の部（財団部門）の各委員会予算と財団部門小計が、二重に集計されていましたものです。

修正いたしますと各委員会予算には、変更は御座いませんが、次期繰越額が増えることになります。不注意を深くお詫び申し上げます修正させていただきます。

地区活動資金（訂正後）

【収入の部】

（単位：円）

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
1. 地区資金	25,200,000	25,200,000	0
収入合計	25,200,000	25,200,000	0

【支出の部】

（単位：円）

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
A. 地区委員会活動費			
1. DG指名(委)	30,000	20,000	△ 10,000
2. 意義ある業績賞(委)	20,000	10,000	△ 10,000
3. クラブ奉仕部門			
クラブ奉仕・拡大増強(委)	480,000	480,000	0
広報(委)	660,000	1,040,000	380,000
4. 職業奉仕部門			
職業奉仕(委)	240,000	240,000	0
5. 社会奉仕部門			
社会奉仕(委)	430,000	400,000	△ 30,000
6. 新世代奉仕部門			
新世代合同委員長会議	30,000	20,000	△ 10,000
青少年活動(委)	4,530,000	4,500,000	△ 30,000
ローターアクト(委)	4,500,000	4,800,000	300,000
インターアクト(委)	1,950,000	1,950,000	0
青少年交換(委)	5,500,000	5,500,000	0
7. 国際奉仕部門			
国際奉仕(委)	310,000	410,000	100,000
8. ロータリー財団部門（計）	4,195,000	2,820,000	△ 1,375,000
ロータリー財団(委)		570,000	
財団地区補助金G補助金(G)		20,000	
職業研修チーム(G)		1,600,000	
財団奨学金・学友(G)		390,000	
資金推進小委員会		30,000	
ポリオプラス小委員会		80,000	
地区財団資金管理小委員会		50,000	
補助金小委員会		80,000	
9. 米山奨学部門			
米山奨学(委)	340,000	400,000	60,000
10. 災害支援プロジェクト	100,000	100,000	0
11. RI規定審議会派遣積立金	400,000	400,000	0
12. RI JYEC維持協力金	400,000	400,000	0
13. 危機管理積立金	9,500,000	0	△ 9,500,000
14. 予備費	1,500,000	1,500,000	0
小 計	35,115,000	24,990,000	△ 7,305,000
B. RI会長DG協調事業費	3,000,000	3,000,000	0
C. IM広報活動補助金	2,400,000	2,400,000	0
D. 研修委員会	1,200,000	1,200,000	0
E. ロータリー研究会準備基金	0	0	0
支 出 合 計	41,715,000	31,590,000	△ 7,305,000
収 支 差 額	△ 16,515,000	△ 6,390,000	7,305,000
前 年 度 繰 越 金	31,765,442	15,250,442	△ 16,515,000
次 年 度 繰 越 金	15,250,442	8,860,442	△ 9,210,000

月信編集委員会からのおねがい

□ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAX またはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。

□投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。

□物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

□今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 福家 宏
- 地区代表幹事 山田 正雄
- 地区副代表幹事 中井 敬和
- 担当地区幹事 吉本 憲司
- 担当地区幹事 山本与志弥
- 事務局長 栗正 久美

2013—2014年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	福家 宏
地区代表幹事	山田 正雄
地区副代表幹事	中井 敬和
事務局長	栗正 久美
事務局員	春名 志保
	奥田 純子
	井上 望美

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

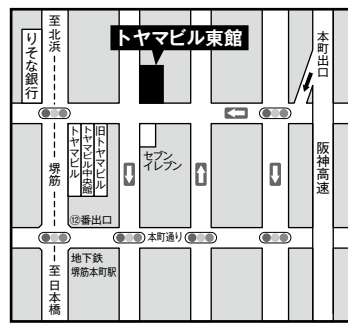
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー 第2660地区

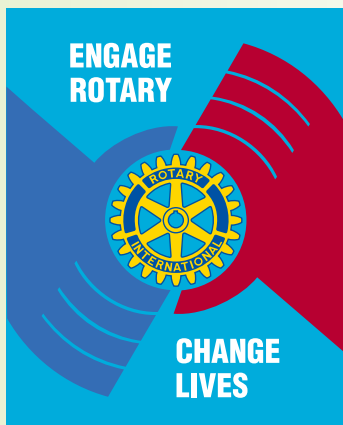
〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階

TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan

TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp



ロータリーを实践し
みんなに豊かな人生を

感動の体験を!!

人々にも自身にも

Participate! 参加し、敢行しよう!!

2013-2014年度 国際ロータリー第2660地区

地区大会

第1日目

2014年

2月21日 金

大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)

開会式 <5階メインホール> 14:00 開会
合同研修会 <5階メインホール> 15:10 開会

リーガロイヤルホテル

家族の集い <2階ペリドットの間> 15:30 開会
RI会長代理御夫妻歓迎晩餐会 <光琳の間> 18:00 開宴

第2日目

2014年

2月22日 土

大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)

本会議 <5階メインホール> 13:00 開会
特別講演 <5階メインホール> 15:30 開会

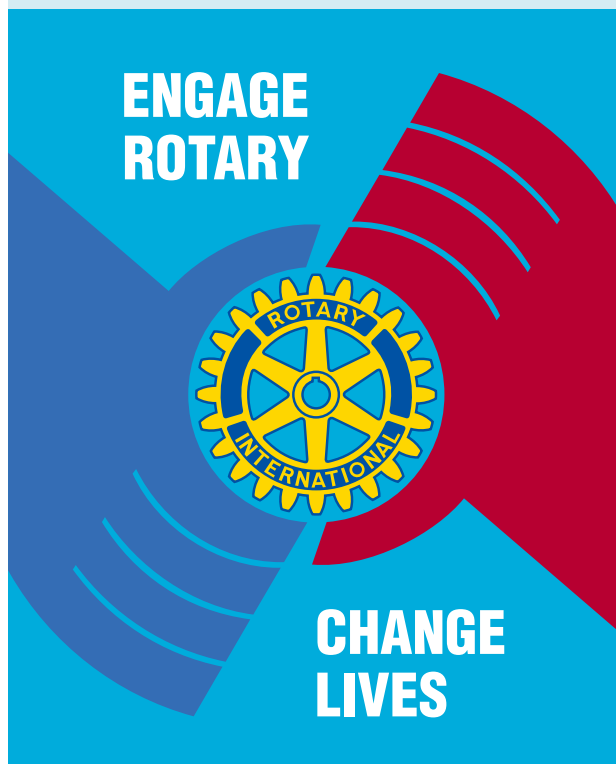


「日本の進路と誇りある国づくり」
櫻井よしこ氏

ジャーナリスト、国家基本問題研究所理事長。
クリスチャンサイエンスモニター紙 東京支局の助手として
ジャーナリズムの仕事を始め、アジア新聞財団 DEPTH NEWS
記者、東京支局長、NTVニュースキャスターを経て、現在に
至る。
2007年にシンクタンク、国家基本問題研究所を設立し、国
防、外交、憲法、教育、経済など幅広いテーマに関して日本の
長期戦略の構築に挑んでいる。

2013 – 2014
March
vol. 9

3



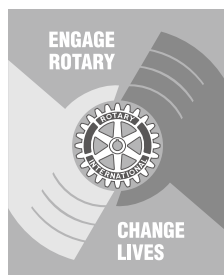
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信3月号

国際ロータリー 第2660地区
2013–2014年度ガバナー

福家 宏



2013-2014 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

March vol.9

CONTENTS

ガバナーメッセージ（識字率向上月間および、世界ローターアクト週間にあたって）	1
世界ローターアクト週間にちなんで	3
国際協議会報告	4
第4組IM報告	5
第3組IM報告	6
ガバナー補佐からのメッセージ	7
我がクラブの目指すところ（IM第6組）	8
災害支援プロジェクト報告（第32回）	13
米山奨学委員会／ロータリー財団	15
2014年1月度 会員数・出席報告	18
文庫通信	19
敬弔／お知らせ	20

識字率向上月間および 世界ローターアクト週間にあたって

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

福家 宏



(1) 識字率向上月間

- ユネスコ推計：世界で15才以上の8億人の人々が読み書き能力なし
- 女性：世界の非識字人口の64%以上を占める

2012年10月、パキスタン北部の町でまだ15才の若い女子中学生が頭部などに銃弾を受けて重傷を負うと言う、衝撃的なニュースが流れたことをご記憶の方は少ないと思います。彼女の名はマララ・ユスフザイです。彼女は11才の時から一部組織による女子校の破壊活動を批判、女性への教育の必要性や平和を訴える活動を続けて来たのですが、そのために彼女は命を狙われたのです。幸い一命を取り留めて今は英国で勉学に励んでいます。現在も国連の支援を得て女性差別の撤廃や教育の機会均等を訴え続けています。マララさんは本当に幼い時から教育の重要性に気付いて活動を始めていたのです。大変不幸なことですが、中東の一部の国や地域では女性に教育を受けさせないという人権侵害が、今なお続いています。

さて、世界中で識字率が最も高い国の一つである日本で生まれ育った私たちにとって読み書きの能力は、ごく当たり前前に誰にも備わっています。ですからマララさんの住む世界や彼女の思いを理解することは、そう簡単なことではありませんが、ロータリアンとしては知っておかなくてはならないことだと思います。世界の183の国と地域において識字率を見ますと、75%以下を示す国、地域は48にも及びます。その48の中にはポリオ常在国とされるナイジェリア、パキスタン、アフガニスタンの3カ国が含まれています。それぞれの識字率は、66.6%、58.2%、37.8%という低さです。これは決して偶然の一致ではなく、読み書きが出来ないことで、ポリオという疾患やその予防について知る機会を逃してしまう人々が多数存在することを意味しており、このことがポリオ撲滅の阻害要因となっていると言っても過言ではないと思います。

識字率の低さは真実を知る機会を奪い、人々を貧困や病という不幸で深刻な状況に追い込んでしまうのです。

私は前号でこのようなことを書きました。ロータリー財団の奉仕活動の重点分野は①平和と紛争解決/予防 ②疾病予防と治療 ③水と衛生 ④母子の健康 ⑤基本的教育と識字率向上 ⑥経済と地域社会の発展の6分野であり、これらは「平和のための活動」です。そして平和を阻害するものとは、紛争の根底に横たわる原因に等しく、多くの場合、食糧、水、住居、医療、識字、雇用、人権などの基本的条件の欠如であります。この基本的条件を維持・改善するためにロータリーは活動し続けているのです。つまり、識字は人間が人間らしく生きて行くための基本的条件の一つです。そして基本条件の中でも最も重視すべき要件だと思います。

では私たちは何をすべきなのか、それを考えてみる機会が「識字率向上月間」だとお考え下さい。

バングラデシュでダッカのロータリー・クラブが実施したConcentrated Language Encounter = CLE (語学力集中研修講座)と呼ばれる識字プロジェクトが、国の教育カリキュラムを革命的に変えました。357校がCLEプログラムを実施し、162,982人の生徒がその恩恵を受けた話は古くはなりませんが、有名です。

当地区の大阪心齋橋RCは今年度グローバル補助金を利用して、タイ・バンコク郊外の学校の教諭や生徒たちを対象とした、英語教育支援活動を計画され、ロータリー財団の承認を受けておられます。このプロジェクトには、英語教諭へのトレーニングや、辞書の寄贈が含まれています。母国語ではなく外国語習得のための教育支援ではありますが、素晴らしい取り組みだと思います。

これらは一例に過ぎませんが、私たちが非識字のもたらす不幸に思いを寄せて、識字率向上のためのプロジェクトを模索することは、極めて意義深いことだと思います。

(2) 世界ローターアクト週間

1993年、RI理事会はRACの創立25周年を記念して、3月13日を含む1週間を「世界ローターアクト週間

(World Rotaract Week)」に指定しました。

当地区内には、18のローターアクトクラブ(以下RAC)があり、活発に活動しています。会員数は6名~23名です。当地区には83のRCがありますので、RAC提唱クラブ数は20数%に過ぎません。そのためか非提唱クラブのロータリアンにはRACの活動は十分に理解されていない可能性があります。当地区の広報委員会はSNSを導入しました。この新しいツールを用いて、ローターアクターとロータリアンとの間のコミュニケーションが活発になることを願っております。

※以下はロータリー・ジャパンより抜粋です。

RACとは、18~30才(厳密には、30才になった後の6月30日まで)の若年成人を対象に、奉仕を志向する市民と指導者を育成するため、ロータリークラブ(RC)が提唱する世界的な団体です。地域社会を基盤とするRACと、大学を基盤とするRACの2種類のRACがあり、1クラブは、少なくとも15人の創立会員でスター

トすることが望まれています。「ローターアクト(RA)」の名称は「ロータリー」(Rotary)と「行動」(Action)から来ています。

RACの誕生

1960年代に入って、世界中の青少年が、共に活動できるような組織をつくろう、という機運が高まりました。1962年、RI理事会により、まずインターアクトプログラムが宣言され、インターアクトクラブ(Interact Club)が次々と世界各地に創立されました。しかし、インターアクターは14~18歳の高校生の年代が対象で、卒業と同時に会員資格が失効。これを継続するものとして、1968年1月に、当時のルーサー・H・ホッジスRI会長により「ローターアクト構想」が打ち出されました。1968年、RI理事会は、初めてRACの発足を認証。世界最初のRACは、アメリカ・ノースカロライナ州ノースシャーロットRCの提唱により、1968年3月13日に結成された、ノースシャーロットRACです。

世界ローターアクト週間にちなんで

ローターアクト委員会 委員長

久保義誓 (茨木RC)



世界では、1968年3月13日に最初のローターアクトクラブとしてアメリカのノースシャーロットロータークラブがスポンサーとなり、ノースカロライナ大学にノースシャーロットローターアクトクラブが認証されました。日本では同年6月に川越ロータークラブが国際商科大学ローターアクトクラブを設立し、第2660地区では同年7月に大阪北ロータークラブが大阪北ローターアクトクラブを設立されました。

ローターアクトクラブが初めて設立された3月13日を「世界ローターアクトの日」と定め、3月13日を含む1週間を「世界ローターアクト週間」と指定されました。

今年度は枚方ローターアクトクラブがホストとなり、3月9日(日)に「世界RAC DAY」を行う事としております。内容は①世界遺産について②各国にあるRACについての勉強という事で、グループにわかれて勉強、ディスカッションをし、模造紙に描いて発表してもらいます。また今回は、インターアクトクラブ、ローテックス、交換留学生、大阪大学留学生をゲストとしてお呼びし、国際的な観点から共同作業を行い、交流を深めることとしております。

さて、ローターアクトの目的とは青年男女が個々の能力の開発に当たって役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における物質的、あるいは社会的なニーズと取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々の間によりよい信頼関係を推進するための機会を提供することであるとされております。

『世界RAC DAY』の他に、第2660地区ローターアクトの主な行事としては、7月『地区連絡協議会』地区内会長幹事会計が集まり、それぞれの役割などの勉強会を行います。又、地区代表の所信の発表も行います。

7月と12月に『地区献血』日本赤十字社協力の元、献血のPR活動を行っております。9月『全国統一アクトの日』はRACの全国統一事業を行うことを最終目的とし、「各地区で同じ日、同じ時間に何かをやる」として

設定され、アクトの「ク」と「ト」にちなんで、9月10日を『アクトの日』としています。活動開始時間も、9時10分となっています。

『海外研修』海外の見聞を広め、国際理解と海外のローターアクターやロータリアンと交流を深め、共に研修や奉仕活動を行います。今年度は2013年11月1日～5日迄インドネシア共和国の国際ロータリー第3410地区ジョグジャカルタ、国際ロータリー第3420地区バリ島の二か所の地区へ訪問、交流を行ってまいりました。詳細は海外研修報告書を参照してください。『全国ローターアクト研修会』全国各地のローターアクターが集結し、研修や交流を計ります。

本年度は3月に第2750地区ホストの下東京で行われます。『40・60交流会』以前は同地区であった第2640地区と第2660地区の情報交換及び交流会を行っております。今年度は4月に当地区ホストで行われます。5月『地区年次大会』地区内全ローターアクターが集い、地区行事や各クラブの活動報告、表彰規定による各賞の表彰、次年度地区委員などの紹介や卒業式を行っております。6月『リーダーシップフォーラム』次年度に向けて各クラブ新旧理事役員を対象にリーダーシップの高揚を図ると共に、新人ローターアクターに知識を深めて頂きます。その他、東北震災復興支援活動やゾーン別連絡協議会、全体会長会、全体幹事会、親子会等を行っております。

そして地区委員会では、『RACサポートシステム』に力を入れています。地区全体にRACの存在や活動、RACを持つ意味を理解していただき、未提唱ロータークラブへのPRとRAC会員増強に努めています。

以上の通り「世界ローターアクト週間」にちなんでローターアクト活動について述べさせていただきました。

ロータリアンの皆様に於かれましては、ローターアクトに対して、御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

国際協議会報告

ガバナーエレクト

泉 博朗 (大阪帝塚山RC)

日時：2014年1月12日～1月18日

場所：アメリカ カルフォルニア州 サンディエゴ市

会場：マンチェスター・グランドハイアット・サンディエゴ・ホテル

次年度RI会長：ゲイリー・C.K.ホアン(黄 其光)(台北RC)



気温20度と言う清々しい気候の中、全世界から537地区のガバナーエレクトおよびその配偶者の方々が集い、ガバナー研修を受けました。すべてのイベント、宿泊、食事に至るまでホテルの中で執り行なわれました。基本的に、毎日朝、本会議(全体会議で同時通訳)そして地域別、GE、配偶者別々に分かれてそれぞれ研修を受けました。34地区ある日本人グループは2つに別れ、ご婦人方も同様にそれぞれ研修を受けました。講師は、私達より1週間前に到着し、講師として特訓を受けたパストガバナーの皆様でした。時には厳しく、時には丁寧に、ガバナーとしてのあり方を教育していただきました。いろいろな問題について順番に発言を求められ、また、2～4人のグループで話し合うなど気を抜く暇もなく、あっという間に時間が過ぎていきました。ご婦人方のグループも同じようなことであると聞きました。大変よかったことは同期のDGEの皆様のお話を聞くことができたことです。午後からも本会議、地域別会議とあり、しばらくして、夕食という毎日でありました。途中1日だけ昼から休暇がありましたが、ちょっと休憩しているとあっという間に時間が過ぎあわてて近くのスーパーに買い物に行ったぐらいのことでした。

2日目の1月13日、いよいよ、RI会長エレクトのゲイリー・ホアン様から、次年度RIテーマが発表されました、それは「LIGHT UP ROTARY」「ロータリーに輝きを」であります。それは孔子の「ただ座って暗闇を呪うよりも、ロウソクを灯した方がいい」という言葉から考えられたとのこと。「世界に問題が山積みとなっており、大勢の人が助けを必要としています。しかし、「自分に出来ることはない」と言って、何もせずにただ座っている人が大勢います。これでは、何もかも暗闇のままです」とホアン様は続けられました。この様子はURLを「ロータリーに輝きを My Rotary」で検索していただければrotary.orgでテーマ発表の様子が動画で見ることが出来ます。

同期のDGEの皆様とはいろいろ情報を交換いただきましたが、我が2660地区のスーパーぶりがかえってよくわかりました。このように重たい荷物を背負ってい

るのかと思うと益々と意欲が出てきました。これは、ロータリーマジックと言って、そのように演出されているのだと言うことを、帰国後、パストガバナーに教えていただきましたが、まだその炎は消えていないようであります。ゲイリー・ホアンRI会長エレクトはロータリーの実施を提唱されています。是非とも、ロータリーの認知度の向上のために、実施したいと考えておりますので皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

私の役割は、クラブの活性化であり、会員の増強であります。ロータリークラブも組織である以上、その結束は強く、適正な増強が必要であります。また、ロータリーには明確な「目的」が掲げられております。それは「友好」と「奉仕」であります。国際協議会においても、多くのパストRI会長の方々から、ロータリーの感動のお話がありました。決して魔法の杖があるわけではありません。帰国後には「PETS」「地区研修協議会」と次年度のための行事が待ち受けています。「ロータリアンの皆様お一人お一人の輝きでロータリーが輝き、全世界が明るくなった」と思ったら、成田空港に着いておりました。



第4組インターシティ・ミーティング報告

八尾RC 会長 **高井榮彌**

IM実行委員長 **居相英機** (八尾RC)

テーマ：大阪は真に魅力ある街になりえるか？

ホストクラブ：八尾ロータリークラブ

日時：2013年11月30日(土) 13:30～17:00

場所：シェラトン都ホテル大阪

参加者数：245名、オブザーバー(家族) 86名

本年度の第4組IMはまちづくりをキーワードに、私たちに何ができるのかを考えていただく機会とすることをめざしました。福家G、泉GEをはじめ、年末の忙しい時期にもかかわらず多数の皆様にご参加いただきました。

基調講演の講師には、建築家で大阪を拠点に世界で活躍されている安藤忠雄氏を招きました。安藤氏がこれまでに手掛けてこられた作品の一部をご紹介いただき、その独創的なコンセプトなどを解説していただきました。ユーモアを交えながらとてもわかりやすい内容で、出席者もたちまち安藤氏の世界に引き込まれているようでした。

また地元大阪で取り組んでこられた様々なまちづくりのプロジェクトについてもお話しいただき「大阪のまちには、まだまだ可能性がある」と、力強い言葉を聞かせていただきました。さらに「60歳代、70歳代でもまだ

まだ若い。老け込まずにがんばりましょう」と激励のメールも寄せていただきました。

出席者はこの基調講演で元気と勇気をもらい「自分もまちのために何か行動を起こそう」と心を新たにしました。

当日はこのほか著書のサイン会も開催していただき、印税とロータリアンからの寄付を東日本大震災の遺児支援にご寄付いただきました。

引き続き行われた懇親会では各クラブの代表にご登壇願ひ、会員増強を中心にクラブの現状などを報告していただきました。近隣クラブの状況を知り、情報を交換する意味でも有意義な内容であったと思います。

基調講演と懇親会を通じて、参加していただいた方々にはそれぞれにいろいろと得るものがあったIMだったのではないのでしょうか。開催にあたりご協力いただきました皆様には、改めて感謝申し上げます。



第3組インターシティ・ミーティング報告

香里園RC 会長

浅井勝弥

去る1月25日土曜日枚方市駅前のアルカスホールにて、IM3組のIntercity Meetingを開催いたしました。

当日は寝屋川市馬場好弘様、G、G E、A Gはじめ多数のご来賓の方々、さらには3組の各ロータリークラブの会員の方々にお集まり頂き、厳粛な上にも盛大に開催できましたことは、我々一同喜びに耐えません。誠にありがとうございました。

我々のクラブは創立20周年を迎えようとしておりますが、在籍者数わずか16名です。皆一丸となり運営に全力を注ぎましたが、行き届かぬところも多々ありましたこと、この紙面をお借りしてお詫び申し上げます。

さて、当日の平田進也氏の映像を交えての講演は、御自身の体験に基づく話だけに実に感動的で、その証拠は講演中に聴衆者で席を立つ人が一人もおられなかった事実が、雄弁に物語っているとおもいます。このことは、後の懇親会の席上で、2階席にてきておられた参加クラブ会員様から私が直接聞かせて頂いた話で、主催者として誠にうれしく、又ありがたく思う次第であります。

省みますれば、講師の選定に当りどなたにお願いしようかと迷いに迷った末に、福家宏ガバナーのテーマである、“感動の体験を、人々にも、自身にも”に沿い、“感動”をKeyWordに選び、選定作業に入りました結果、平田氏に出会いました。氏の演題も“すべての行動はお客様の「笑顔」のために”で、これこそ会員皆様に“感動”していただけるのではないかと、考えた次第です。

氏の話の内容は、他の旅行会社では到底実現実施しないであろう企画を、氏自ら立案し率先して実行に移すだけでなく、お客様の痒いところを搔いてさし上げるのはもちろん、更に痒くなるであろうところまで予測して、搔いて差し上げる、この精神が、全てのお客様に感動を与え、満面の笑顔を表してくれるのであり、これこそがサービス業の基本である、とのことでした。

常人の考え付く当たり前の考えの更に深く迄思考を巡らせる、氏の思慮深さに敬服し、“カリスマ添乗員”といわれる由縁を大いに納得し、万雷の拍手の中、講演は終了いたしました。



[ガバナー補佐からのメッセージ] IMの将来について



IM第6組 ガバナー補佐

山田英男 (大阪城北RC)

IMの将来像を語る前に、現状において気になる点をひとつ申し上げておきたい。

ロータリージャパンのホームページには「IMはガバナー補佐(=Assistant Governor、以下AG)が主催する場合が多い」とある。当地区においても概ねガバナーまたはAGが主催して行われているようだ。その一方で、企画から運営まで、ホストクラブを中心に進められているのが現実だろう。

しかしそれはそれでいいと思う。第一義的にはもちろんホストクラブが会員の英知を結集して自由に行われるべきだ。ただし、主催者であるガバナーやAGも企画段階からある程度かかわっておく必要はあると思う。IMは地区大会に次ぐ大きな地区行事に位置付けられると考えるからだ。

とはいえ、ガバナーがすべてのIMにかかわるのは現実的ではない。ここはAGの出番である。ホストクラブとAGが連絡を密にしたうえで、進捗状況を毎月開かれるAG会議でガバナーに報告する。一方、組ごとに開かれる会長・幹事会で各クラブにもその内容を伝える。そしてガバナーや各クラブからの意見やアドバイスがあれば、ホストクラブにそれをフィードバックする。こうして地区や各クラブと情報を共有することで当事者意識が高まり、IMが活性化するはずだ。動員の苦勞も解消できるかもしれない。

これまで我々はIMをホストクラブ任せにしすぎていたのではないだろうか。その原因のひとつは、ホストクラブとAGの所属クラブが異なることにあると思う。現状ではAGではなく、AGエレクトの所属クラブがホ

ストクラブを務めるケースが多く、私の所属する6組も同様である。これだとコミュニケーションがとりにくかったり、お互いに遠慮したりで、企画をスムーズに進めにくいかもしれない。十分な話し合いがなければ、AGがホストクラブの事情を理解しないまま準備を進めることになり、トラブルの原因にもなりかねない。

そこでAGの所属クラブがホストクラブを務めることを検討してはどうだろう。当地区内では第5組はすでにそのやり方を採用しているようだ。

福家ガバナーはIMについて、かつてこう発言された。「IMはそれぞれ各組が自由にやってください」。これは、AGとホストクラブがやりやすいように、そしてわれわれを信頼してのお言葉だと思う。そのご意向に従い、われわれは自由な発想で主体的にIMの準備を進めていけばいいと思う。

議論の余地はあるだろうが、これからのIMにはもっと多様性をもたせてもいいかもしれない。現状では講演やパネルディスカッションというスタイルのものがほとんどだが、実はIMのテーマや形式に制限はない。多彩な人材が集まるロータリアンは職業も考え方もバラバラ。この多様性こそがRCの魅力といえる。ロータリアン同様、IMにももっと個性や多様性があってもいいのではないだろうか。

IMはクラブを超えてロータリアンが広く交流できる貴重な機会だ。一定のルールを守り、RCのポリシーから大きく逸脱しない限り、新しい発想で新しいスタイルのIMに取り組んでいくことこそが、これからのIMを魅力あるものにするうえで不可欠だと考える。

我がクラブの目指すところ (IM第6組)

大阪RC 会長

立野純三

大阪RCは、本年91年目の新たな第一歩を踏み出す年です。

今年度の運営方針は『明るく、楽しく、奉仕』としています。具体的には5大奉仕(クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕)に積極的に参加・実践していただき、メンバーの方々に精神的に豊かになることを実感してもらいたいと思います。

また会員増強にも力を入れていきますが、あくまで将

来大阪RCの人材となる多様で多才な人の入会を促していきます。

90周年記念事業のひとつである「宮古・大阪みおつくし奨学金制度」の実施と東日本震災復興支援のための事業を継続して行っています。

これらの運営方針の下、大阪RCの歴史と伝統を大切にしながら、変えられる所があれば改革をしながらクラブ運営を行っていきたく思っております。

大阪東RC 会長

塩谷眞治

今年のテーマ「作ろう歴史を・楽しもうロータリー」といたしました。

互助の精神で全員参加の活発な委員会活動、明朗な精神でクラブの雰囲気を皆で作る規律ある例会を目指します。

しかし活発な委員会活動も規律ある例会も、お互いに親しくなり打ち解けあうことによって活動できると確信し、親睦活動を充実し、多くの家族を含めた交流の場作りを行いました。

幅広く積極的に奉仕活動に取り組んでおり、震災支援活動については継続して取り組む必要があると考えています。FVPについても積極的に取り組んでいます。毎回主要課題である会員増強については委員長と3副委員長体制で取り組んでおり純増5名を目標に活動しています。

当クラブは、先人が長い時間をかけて作り上げた57年の来歴である伝統を大切に、楽しく明るい規律あるクラブ作りを目指します。

大阪東淀ちややまちRC 会長

大澤一雅

大阪東淀RCと大阪ちややまちRCが統合し、早いものでもう5年経ちました。もともと別々のクラブだったとは思えないほど自然に打ち解け合い楽しいクラブライフを送っています。

今年度の目標は、まず3月15日のインターシティ・ミーティングを成功させることです。リハーサルも入念に行い成功に向けて全会員が一丸となって準備を進

めているところです。IMのテーマは「見つめ直そう日本の心」～式年遷宮とお伊勢参り～です。20年に1度という日本独特のこの営みを様々な角度から皆様に知っていただければと考えています。

また、魅力あるクラブ作りや会員増強もいろいろ意見を交換しながら進めています。その甲斐あって今年度初の新入会員を先日お迎えすることができました。

我々のクラブは30人程度の小さな所帯ですが和気藹々と家族的な雰囲気の中、様々な活動に積極的に参加

し、より魅力的なクラブ作りを目指し、今後も努力を続けていこうと思います。

大阪城東RC 会長 福山信也

大阪城東RCは40年の節目を越え、41年目に入りました。

期首会員数は43名、平均年齢64歳、最年長会員90歳、最年少会員39歳、女性会員5名という構成になっており、昭和40年代生まれの会員も増えてきました。年代や在籍年数の違いによるロータリークラブへの要求も様々です。

このような状況を鑑み、本年度の会長方針は、「絆を深め、奉仕の輪を広げよう」としました。ロータリークラブの奉仕活動において、会員、地域、姉妹クラブとの絆の深まりが、新たな奉仕活動の創出や、会員増強につながり、奉仕の輪の広がりにつながると考えています。

個別の奉仕活動では、例年の継続事業に加え、クラブ

奉仕では、新入会員歓迎会、会員研修会。職業奉仕では、地元小学校への出前事業。社会奉仕では、城東区政70周年への協賛事業、交換留学生の受入。国際奉仕では、姉妹クラブとの提携強化、財団寄附増額、米山奨学生の受け入れなど、各委員会が積極的に活動に取り組んでいます。

このような活動を更に充実させるためには、55名程度の会員数が必要と思われる、本年度は純増5名を目標に置きました。

今年度第一例会で、チャーターメンバーから、「40年を越え、クラブの品格も上がってきた。更に高い品格のクラブを目指そう」との言葉をいただきましたので、本年度方針と併せて取り組んで参ります。

大阪中之島RC 会長 山本 肇

当クラブは昨年、高島ガバナ一年度で少人数ではありましたが、全会員一致団結した結果、結束したクラブに成長することが出来たと思います。今年度は少し休息したら良いと年初にその旨を申し上げました。

半年が経過し、五大奉仕他、各小委員会が頑張っていたら奉仕活動を実践していただき、感謝の念に堪えません。

今年度の当クラブは28名ですが、今年度後半の活動予定は、

2/27 大阪鶴見、大阪城北、大阪中之島3RC合同懇親会
4/26~4/28 台北福齡RC16周年、我がクラブ初め

での奨学生の補助金の授与式へ台北に17名参加予定
5/9~5/10 東北大震災の支援(大槌小学校、中学校、大船渡市→寄付金、パソコン、野球用具、楽器等)の贈呈式へ東北に13名参加予定

5/31~6/4 国際大会(シドニー)18名訪問予定

また当クラブのお世話で大阪鶴見RCと台湾華朋RCの姉妹締結の実現があります。当クラブの目指すところは、さらなる発展のため、魅力ある自主的な奉仕活動が自由にでき、明るく楽しいクラブにすることです。

会員相互の親睦、友情を深め、新入会員が入会してよかったですと思えるクラブを目指したいと思います。

大阪大手前RC 会長

大蔭政勝

大阪大手前ロータリークラブは、昨年度で創立30周年を迎えました。本年度は、今までと同様に発展を続けて行けるようクラブの体制を強化する年と考えております。会長方針は『KEEP THE SPIRITS, CREATE THE ROTARY LIFE!』、「奉仕の理想を实践し、心豊かなロータリーライフを！」です。諸先輩が培ってこられた良き伝統を大切に継承し、各分野の課題を前向きに改革して行く年であると考えております。

2月5日の歴代会長幹事会では、理事会や、拡大CLP委員会、クラブ協議会等が出てきた内容を、チャーターメンバーの方々と膝を交え、将来を見据えて話し合いました。内容は組織の合理的な改革や、運営の改革、奉仕のあり方等、基本的な議題を中心に致しました。

会員維持増強に付きましては、福家ガバナーの地区の

方針にもありますが、広報活動「公共イメージと認知度の向上」するためにホームページ等の充実が必要で年度内に一新することになりました。また次年度に向けてもFVPの積極的活用や、地区への参加協力としての地区委員の推薦を次年度4名致しました。

現在、3.11震災支援特別委員会の継承事業として相馬ロータリークラブのご協力の下に風評被害にあっている「福島産の農産物」の購入の輪を広げております。安全検査済で美味しい『福島県産コシヒカリ』です。また御協力宜しくお願い致します。

私も「ロータリーは職業奉仕が一番大事」と言われ入会して18年、『信頼の輪』と『親睦の絆』は、まさに「我がクラブの目指すところ」だと思っております。

我がクラブを紹介して下さった方に心より感謝。

大阪城北RC 会長

川本達雄

ロータリークラブは、「会員基盤の維持・拡大」「各種奉仕プロジェクトの実施」「ロータリー財団の支援」「次世代指導者の育成」を行うことが使命とされています。そのうちの「会員基盤の維持・拡大」は、ロータリークラブが行うすべての事業の基本となるものです。

新規会員の入会増強、会員の退会防止に努めるのが、その方策であります。ここばかりに目を奪われてはならないと考えます。ロータリークラブが会員にとって、「入会していてよかった」と思える場であるとともに、ロータリークラブに興味のある人達に対して「入会したくなる」ような場にすることが、基本となります。

そのため、ロータリークラブのすべての事業を「楽しく」行える仕組みを考えるのが「我がクラブの目指すところ」です。

ここで言う「楽しく」という言葉は、ロータリークラブを単に「お遊びクラブ」にするかのように聞こえますが、そうではありません。会員がお互いによく知り合うこと、心の繋がりを持つことが中心になります。その「和」の中から、「職業を通じて、社会および国際に奉仕する」というロータリークラブの使命が果たせるのです。

実は、この「和」の考え方は、我が大阪城北ロータリークラブの従来からの考え方でもあります。

大阪天満橋RC 会長

在本 茂

我がクラブでは対外奉仕としての、職業奉仕、社会奉仕、新世代奉仕、国際奉仕につきましては、それぞれ伝統のある行事を行っております。その内容は職業奉仕賞の授与、青年功績賞の授与、青少年交換事業、米山奨学生の受入などです。対内奉仕としては、秋春の家族会とクリスマス家族会、等を行っております。

同好会もさかんであります。それから子クラブ、孫クラブとの交流として毎年もちまわりで三世代合同社会

奉仕事業並びに合同例会を行っております。

このように当クラブの活動は活発であると思っております。各会員はいずれかの委員会に所属することになっておりますので会員一人一人の負担はその分大きくなりますが、会員間の絆を太くしてロータリーの精神であります奉仕の理想を追求していくクラブ、まわりからよく活動しているクラブといわれるようなクラブを目指していきたいと思っております。

大阪鶴見RC 会長

広瀬芳和

大阪鶴見ロータリークラブは、次年度に創立30周年を迎えます。正確には2014年7月10日が満30年になり、本年度はその式典の準備年度となります。この30年を振り返り、この節目では更に将来を見据えなければならぬと思っております。

当クラブは、有難い事に鶴見緑地公園という素晴らしい市民の憩いの場所があります。ロータリー地域活動の中でその憩いの場所を利用した沢山のイベントに参加出来るチャンスも有ります。特に毎年9月に行われる鶴見区民祭りでは、公園内でホットケーキを作り販売しています。ロータリアン以外で手伝ってくれる学生は、ロータリー交換学生、日本語教育センターの留学生、地元の中学生、他沢山の学生です。

当クラブは、31名と現在会員が少ないクラブですが、非常に仲良しで和気藹々としています。交換学生も積極的に受け入れて来ました。最近、高齢化に伴って受け入れるロータリアンが少ないので困っています。

昔から大阪鶴見ロータリーは、「国際の鶴見」と言われて来ました。やはり会員を増やして、「国際の鶴見」を継続出来るように頑張りたいと思っております。特に若手の会員増強が急がれます。

本年度の我がクラブのテーマは「参加しやすい、参加したい、参加できる、気楽なクラブ」を目指しています。よって、会員の増強と親睦活動を重要課題とし、国際の鶴見を更に継続し目指して行きたいと考えます。より一層の皆様のご協力をお願い致します。

大阪淀川RC 会長

西川正一

クラブの歴史は53年になりましたが、会員数は30名前後と随分少なくなっています。そして会員歴10年未満の方が17名と過半を占めています。

クラブの歴史の割には、古き良きロータリーを語り伝え実践を通じて背中を見せてくれる先輩方が少ないクラブだといえます。

しかしながら、奉仕活動の中味は伝統のおかげと言えますか、それなりの質量があると思っております。

クラブ奉仕、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕、青少年奉仕(RAC活動を含む)全てで年間計画が実行されています。

そのような状況下で、一番意を注いできたのが毎週金曜日の例会運営です。この人数ですから、会員皆さんに

は何かの役をして頂く全員運営を基本形としてきましたが、これが良かったと感じております。それぞれがアドリブの発言をするようになり、親近感のある例会が行なわれています。

卓話も楽しみの一つになっています。会員の在籍年数を伸ばす為にも、毎週の例会運営が大変重要であることを再認識している次第です。

新大阪RC 会長

横山洋一郎

当クラブでは、今年度の活動テーマを「活用しよう！新大阪ロータリー」とし、ロータリークラブに入会しロータリアンになったからには、もう一步踏み出してクラブをもっと活用して充実した楽しいロータリーライフ、またロータリーでないと出来ない体験を実践しようということでクラブ運営をしてまいりました。

何よりもクラブの安定した活動を継続してゆくためには、仲間を増やす必要があるということで「力を合わせて50名一奉仕の輪を広げよう」のキャッチコピーのもと、今年度2名増1名減で現在33名ですが、今年度中には、最低あと2名増の35名にはしたいと考えております。

また来年度は当クラブも30周年を迎えることとなり、奉仕事業の新たな挑戦ということで、社会奉仕部門では、国土交通省で行われている大阪湾再生プロジェクト

へのロータリーとして何かお手伝いできないか検討しております。また友好クラブの台北中興RCと共にやってきた、東日本大震災支援活動の被災地住民を巻き込んだ新たな展開を思案しております。

国際奉仕部門では、GG(グローバル・グラント)を活用した支援を、トルコ・サムスンRCと共にトルココサカ村での飲料水供給プロジェクトを現在申請中です。

今年度も残すところ少しとなってきましたが、これから後につながる事業を模索してゆく年度にしたいものだと会員一丸となって活動しております。

最後になりましたが、来年度はIMホストクラブとなっておりますので、会員一同心をこめて準備させていただきますので、是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。

災害支援プロジェクト報告 (第32回)

災害支援プロジェクト委員長

高島凱夫 (大阪中之島RC)

1. 災害支援プロジェクト寄付送金口座

りそな銀行 大阪営業部 普通 1527285

口座名義：第2660災害支援 会計 片岡基博

(ダイニロクロクゼロサイガイシエン カイケイ カタオカモトヒロ)

2. 災害支援地区基金の状況 (2014年2月19日現在)

【残 高】

(単位:円)

預金残高	7,793,713
------	-----------

3. フィリピン大規模台風 (Haiyan) 支援について

- ①地区補助金口座から、1,251,046円をフィリピンD3860に送金を致しました。(次頁礼状ご参照)
- ②地区内各クラブからフィリピン大規模台風被害支援金として4,168,201円を拠出していただきました。
- ③同支援金を、同じくD3860に送金の準備を致しています。
「同地区では、第1次の緊急支援は概ね終了。今後は、第2次、第3次の支援、即ち住まい、生計のことなどに支援の手を広げていく計画で、D2660からの支援に大変感謝している」という連絡が入っています。



**RI DISTRICT
3860**

ROTARY INTERNATIONAL
District 3860
Philippines



February 19, 2014

Rotary District 2660
Osaka, Japan

Dear DG Hiroshi Fuke and PDG Yoshiko Takashima,

Thank you so much for your clubs generous donation of **JPY 1,251,046.00**, equivalent of **P514, 632.66** (net of bank charges) we received December 10, 2013.

On November 8, 2013, the world saw how the Philippines was devastated by the strongest typhoon Haiyan (Local name: Yolanda) to date, killing more than 6,000 Filipinos and displacing millions of lives either without food, water, shelter and means of income, badly hitting most the areas of Cebu, Ormoc, Tacloban, Samar, Leyte and the rest of Central Visayas.

The kindness you have shown will help the victims of the tragedy restore much of what have been lost and bring back hope to their lives and family. Rest assured that we will exercise proper stewardship of the funds you have entrusted to us.

In behalf of Rotary District 3860, we extend our deepest gratitude to your being part of our continuing effort in assisting our countrymen withstands the sufferings and challenges they are facing.

Yours in Rotary,


Edgar R. Chiongbian
District Governor


Philip N. Tan
District Secretary


Wilton Uykingtian
Chair, D.R.R.R.C.

DONATION ACKNOWLEDGEMENT RECEIPT

Organization : **Rotary International District 2660**
Osaka, Japan
Date Received : **December 10, 2013**
Cash Contribution : **JPY 1, 251, 046.00**
: **One Million Two Hundred Fifty One Forty Six**
Deposited at : **Rotary District 3860 Disaster Fund**
Bank of the Philippine Island – MEZ 2 Branch

米山奨学委員会／ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2013年 12月末	全国寄付金合計額	826,356,230円	(前年同期比1,270万円増)
	第2660地区寄付金合計額	55,504,700円	(前年度比10.63%増)
	全国寄付合計トップ10		
		1. 第2650地区	60,580,814円
		2. 第2660地区	55,504,700円
		3. 第2750地区	52,234,352円
		4. 第2760地区	47,710,295円
		5. 第2590地区	46,595,800円
		6. 第2770地区	41,353,000円
		7. 第2580地区	35,711,850円
		8. 第2820地区	33,835,500円
		9. 第2780地区	30,321,570円
		10. 第2790地区	27,711,700円

米山功労者 次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2013年12月)

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
原田 武夫	4	くずはRC	奥野 秀郎	3	大阪うつぼRC	水山 章	6	大阪堂島RC
阪本 一平	1	茨木東RC	東村 高良	3	大阪うつぼRC	梅本 弘	6	大阪堂島RC
山野 寿	1	茨木東RC	大川 治	3	大阪うつぼRC	井本 敏弘	2	大阪淀川RC
平松 克一	1	茨木東RC	濱田 多喜男	4	大阪うつぼRC	中野 秀一	1	大東RC
松尾 泰博	2	茨木東RC	藤井 健蔵	7	大阪うつぼRC	佐藤 多加志	1	大東RC
石谷 隆子	1	守口RC	奥山 泰弘	7	大阪うつぼRC	木村 克己	1	大東RC
福田 治夫	5	守口イブニングRC	河田 英子	5	大阪ユニバーサルシティRC	杉原 巨峰	1	大東RC
郷木 健	1	摂津RC	西村 文延	2	大阪船場RC	福富 経昌	3	大東RC
秋山 肇	1	摂津RC	武田 實	3	大阪船場RC	西條 義昭	4	大東RC
上島 一夫	2	千里RC	藤田 定信	1	大阪中央RC	大西 寛治	4	大東RC
粉川 雅至	2	千里RC	後藤 哲男	1	大阪中央RC	田中 隆弥	3	池田くれはRC
田橋 賢士	3	千里RC	小谷 和靖	1	大阪中央RC	小寺 史郎	2	東大阪みどりRC
上橋 芳雄	3	千里RC	松本 晴充	2	大阪中央RC	北山 治信	2	東大阪みどりRC
小谷 澄信	4	千里RC	水本 隆平	2	大阪中央RC	山片 重房	2	東大阪みどりRC
西田 泰晴	4	千里RC	永井 路子	2	大阪中央RC	松浦 利英	2	東大阪みどりRC
笠原 隆之助	6	千里RC	村上 憲一郎	4	大阪中央RC	杉森 隆志	2	東大阪みどりRC
藤田 芳浩	6	千里メイプルRC	笹木 秀雄	8	大阪中央RC	佐藤 三千秋	5	東大阪中央RC
黒川 彰夫	7	千里メイプルRC	発 剛士	26	大阪鶴見RC	奥田 長二	4	八尾東RC
高尾 修	8	千里メイプルRC	小山 義之	7	大阪鶴見RC	三木 得生	1	豊中南RC
辻本 憲三	13	大阪RC	寺本 嵩	1	大阪東RC	増山 忠雄	2	豊中南RC
福田 大輔	1	大阪うつぼRC	横田 喜久雄	19	大阪東淀ちゃやまちRC	前田 建司	1	箕面RC
小林 厚	2	大阪うつぼRC	藤本 眞一郎	10	大阪堂島RC	多田 慶三	3	箕面RC

米山功労クラブ 次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2013年12月)

クラブ名	回数	クラブ名	回数	クラブ名	回数	クラブ名	回数
茨木東RC	19	千里RC	31	大阪東RC	83	東大阪東RC	43
高槻RC	21	大阪うつぼRC	51	大阪堂島RC	31	八尾東RC	26
摂津RC	22	大阪中央RC	36	大東RC	35	豊中南RC	37

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2013年12月)

氏名	クラブ名	氏名	クラブ名	氏名	クラブ名
嶋田 愛親	くずはRC	新井 性哲	吹田江坂RC	杉本 哲也	東大阪RC
木崎 信也	くずはRC	成松 重人	吹田江坂RC	岡本 慎一	東大阪中央RC
山田 恭子	大阪柏原RC	林 尚美	大阪フレンドRC	中岡 則和	東大阪みどりRC
三木 秀治	大阪北RC	古城 紀雄	千里RC	諏訪 正弘	大阪RC
野村 公平	大阪北RC	松永 茂	吹田RC	樋口 武男	大阪RC
吉田 昌功	大阪北RC	田中 豊司	吹田RC	吉岡 亨	大阪中央RC
白石 元宏	大阪北RC	西口 昌昭	高槻東RC	吉田 茂夫	大阪天王寺RC
馬場 俊和	大阪北RC	新井 昭二	高槻東RC	笹田 隆志	大阪ユニバーサルシティRC
松崎 継昭	大阪北RC	栗田 隆志	大阪咲洲RC	宮本 正明	大阪東RC
永田 秀次	大阪天満橋RC	山本 隆一	大阪鶴見RC	寺本 嵩	大阪東RC
西井 幾雄	大阪天満橋RC	神田 勇人	大阪城北RC	鎌田研一郎	大阪心斎橋RC
北村 修久	大阪天満橋RC	古川 真照	大東中央RC	荻田 倫也	吹田西RC
徳岡昭七郎	大阪天満橋RC	荒金 正之	大東中央RC		
中島 康之	大阪天満橋RC	村尾 忠信	東大阪RC		

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2013年12月)

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
小林 正彦	1	くずはRC	稲本 英治	3	吹田RC	濱田多喜男	2	大阪うつぼRC
境 高彦	4	大阪城南RC	和田 弘毅	1	吹田RC	市村 孔	1	大阪うつぼRC
檀野 隆一	3	大阪柏原RC	羽間 勝昌	3	吹田RC	岩根和加子	1	大阪うつぼRC
大谷 隆英	1	大阪柏原RC	北野 龍二	1	吹田RC	市川 雅邦	2	大阪西RC
早瀬 道圓	3	大阪中之島RC	福室 忠正	2	吹田RC	西村真一郎	1	大阪西RC
吉治 仁義	3	大阪北RC	柳川 義行	2	吹田RC	横尾 泰治	2	大阪西RC
山本 潤	2	大阪北RC	石崎 克弘	2	吹田西RC	久尾潤一郎	1	八尾RC
岩堀 雅彦	1	大阪北RC	澁谷 清明	1	吹田西RC	中西 啓詞	5	八尾RC
江崎 正道	2	大阪北RC	尾家 亮	4	吹田西RC	森下 慶治	4	八尾東RC
真野清以志	2	大阪北RC	村上 元昭	2	高槻東RC	池本 繁喜	5	八尾東RC
河野真一郎	2	大阪北RC	田中 春次	2	高槻東RC	桑田夕ア子	3	八尾東RC
梶原 常義	1	大阪北RC	森山 鐵男	2	高槻東RC	藤本 和俊	2	大東RC
松下 靖祐	1	大阪北RC	森本 三	1	高槻西RC	上田 正義	2	大東RC
山川 博司	1	大阪城北RC	高橋 徳	2	高槻西RC	高島 登	2	大東RC
川原 和彦	2	大阪天満橋RC	矢野 克吉	2	茨木東RC	小林 誉典	1	大東RC
成松 正和	1	大阪天満橋RC	城谷 星	2	茨木東RC	立岡 寛次	5	東大阪RC
鎌田 充生	4	大阪天満橋RC	木本 誠一	1	茨木東RC	山下 勝弘	7	東大阪RC
小澤 満	3	大阪天満橋RC	松尾 康弘	1	茨木東RC	西村 光洋	1	東大阪RC
梅本 知秀	1	大阪天満橋RC	塩谷嘉太郎	2	茨木東RC	竹中 照次	2	東大阪RC
松山 辰男	1	豊中RC	藪野 洋	1	大阪咲洲RC	瀧田 浩彦	3	東大阪中央RC
樽井 郁夫	2	豊中千里RC	長崎 三男	1	大阪咲洲RC	出原 正秀	2	東大阪中央RC
石田 肇	2	東大阪東RC	荒石義一郎	4	大阪咲洲RC	渡辺 斌	3	東大阪中央RC
川口 淳三	4	東大阪東RC	宝上 富之	1	大阪咲洲RC	阪田 克英	1	東大阪みどりRC
栗原 大	1	大阪フレンドRC	林 成志	2	大阪鶴見RC	吉龍 資雄	2	箕面RC
柴山 泰範	1	大阪フレンドRC	田中 信明	4	大阪鶴見RC	黄堂 泰昌	2	箕面RC
安井 稔	1	大阪フレンドRC	橋本 逸郎	4	大阪うつぼRC	福田 治夫	3	守ロイブニングRC
粉川 雅至	1	千里RC	堤 昌彦	2	大阪うつぼRC	泉 博朗	3	大阪帝塚山RC
萬年 成泰	2	千里RC	中山 重積	3	大阪うつぼRC	盛田 三五	3	大阪東RC

田中 等	2	大阪心斎橋RC	植田 卓	2	大阪心斎橋RC	吉田日土光	4	豊中南RC
早川 謙一	4	大阪心斎橋RC	西村 拓夫	1	大阪心斎橋RC	岡本 眞弘	3	豊中南RC
境 喜世治	1	大阪心斎橋RC	古森 浩	1	大阪城北RC	長谷川龍司	2	豊中南RC
鈴木 公平	3	大阪心斎橋RC	西田 恵心	2	大阪城北RC	増山 忠雄	1	豊中南RC
河合 正行	1	大阪心斎橋RC	水本 徹	3	千里メイプルRC	柳 雄二	4	八尾中央RC
森 泰輔	3	大阪心斎橋RC	佐伯 吉捷	1	千里メイプルRC	中井 敬和	2	八尾中央RC
松田 隆光	1	大阪心斎橋RC	生駒 俊雄	4	高槻RC			

ベネファクター 次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2013年12月)

氏名	クラブ名	氏名	クラブ名	氏名	クラブ名
原田 武夫	くずはRC	井上 義信	吹田RC	山田 哲男	八尾東RC
成松 正和	大阪天満橋RC	高岸 久典	高槻東RC	佐井 義昌	東大阪中央RC
平山 直樹	吹田RC	成山 肇	大阪咲洲RC		

メジャードナー 次の方たちにメジャードナーの称号が贈られました。(2013年12月)

氏名	クラブ名	氏名	クラブ名
前田 葉子	大阪リバーサイドRC	福家 宏	八尾中央RC

2014年1月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	1月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第1組	池田	37	38	2	1	0	1	4	67.36	60.42
	池田くれは	28	30	1	2	0	2	3	84.09	79.21
	箕面	25	28	2	3	0	3	4	77.53	73.00
	箕面千里中央	21	23	0	2	0	2	4	94.54	92.69
	豊中	45	46	4	2	1	1	3	82.41	73.97
	豊中南	28	29	2	2	1	1	4	85.97	80.38
	豊中-大阪国際空港	20	21	0	1	0	1	4	66.86	55.60
	豊中千里	39	37	3	1	3	-2	4	79.44	72.09
	小計	243	252	14	14	5	9		79.78	73.42
	I M 第2組	茨木	25	26	3	1	0	1	4	93.00
茨木東		39	40	4	2	1	1	4	70.97	66.64
茨木西		28	28	6	0	0	0	4	83.93	75.89
千里		38	39	0	1	0	1	4	85.21	77.94
千里メイプル		22	22	2	1	1	0	4	95.18	87.95
摂津		37	37	2	0	0	0	4	92.28	80.55
吹田		60	60	10	2	2	0	3	92.86	88.69
吹田江坂		34	33	2	0	1	-1	3	98.92	93.37
吹田西		47	50	2	3	0	3	3	100.00	90.67
高槻		51	50	6	0	1	-1	4	89.20	82.74
高槻東	36	38	2	2	0	2	4	95.07	92.77	
高槻西	20	21	0	1	0	1	4	89.29	73.81	
小計	437	444	39	13	6	7		90.49	82.79	
I M 第3組	大東	42	42	0	1	1	0	3	100.00	93.76
	大東中央	28	29	11	1	0	1	4	80.75	72.33
	枚方	40	43	0	7	4	3	4	94.23	86.38
	門真	30	32	6	3	1	2	4	88.71	79.71
	交野	32	35	1	3	0	3	4	73.95	70.04
	香里園	15	16	0	1	0	1	4	90.63	84.38
	くずは	52	52	0	2	2	0	4	81.90	71.84
	守口	42	42	4	0	0	0	4	80.99	71.72
	守口イブニング	27	27	4	0	0	0	4	83.34	75.93
	寝屋川	42	41	5	0	1	-1	4	90.24	83.54
四條畷	12	12	0	0	0	0	3	93.94	93.94	
小計	362	371	31	18	9	9		87.15	80.32	
I M 第4組	東大阪	70	74	0	5	1	4	4	83.89	75.54
	東大阪中央	33	30	0	0	3	-3	3	92.86	85.71
	東大阪東	55	60	4	5	0	5	4	93.57	73.30
	東大阪みどり	30	27	0	0	3	-3	4	87.04	68.51
	東大阪西	31	32	0	1	0	1	3	96.33	73.74
	大阪柏原	30	31	2	1	0	1	4	88.62	85.07
	大阪ネクスト	19	18	7	0	1	-1	3	77.78	51.85
	八尾	60	60	0	2	2	0	4	74.60	74.12
	八尾中央	16	16	0	1	1	0	4	88.65	86.98
	八尾東	26	26	1	0	0	0	4	86.85	82.61
小計	370	374	14	15	11	4		87.02	75.74	

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	1月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第5組	大阪中央	46	50	6	6	2	4	4	93.96	76.63
	大阪堂島	28	30	1	2	0	2	3	84.44	76.66
	大阪北	197	192	0	7	12	-5	4	74.57	66.09
	大阪北梅田	50	52	4	4	2	2	3	77.92	69.48
	大阪西	75	76	0	1	0	1	3	90.56	82.47
	大阪大淀	36	39	0	3	0	3	4	92.36	87.50
	大阪リバーサイド	34	36	6	4	2	2	4	88.97	77.76
	大阪西北	49	51	0	3	1	2	4	86.88	80.70
	大阪そねざき	35	37	23	3	1	2	4	98.50	83.78
	大阪梅田	25	23	1	0	2	-2	4	92.85	88.08
大阪梅田東	25	28	0	5	2	3	4	87.50	70.53	
大阪ユニバーサルシティ	32	35	5	3	0	3	4	85.61	77.27	
小計	632	649	46	41	24	17		87.84	78.08	
I M 第6組	大阪	257	271	1	20	6	14	4	72.48	58.10
	大阪東	117	121	0	8	4	4	4	94.14	80.73
	大阪東淀ちゃやまち	30	29	3	0	1	-1	3	90.00	71.67
	大阪城東	43	42	5	2	3	-1	4	89.89	84.85
	大阪中之島	27	28	2	2	1	1	4	92.85	74.99
	大阪大手前	35	35	5	2	2	0	4	84.82	76.55
	大阪城北	49	46	3	2	5	-3	4	76.80	72.70
	大阪天溝橋	68	66	0	2	4	-2	4	79.56	75.90
	大阪鶴見	32	31	0	0	1	-1	3	84.61	81.15
	大阪淀川	28	30	3	3	1	2	4	93.33	81.16
新大阪	32	33	1	2	1	1	3	90.91	86.87	
小計	718	732	23	43	29	14		86.31	76.79	
I M 第7組	大阪フレンド	25	29	4	4	0	4	4	85.10	69.49
	大阪御堂筋本町	61	58	3	0	3	-3	4	83.85	75.78
	大阪南	144	157	0	17	4	13	4	83.81	73.50
	大阪難波	46	52	0	6	0	6	4	86.91	76.45
	大阪なにわ	25	26	3	2	1	1	4	87.27	75.98
	大阪南西	15	15	3	0	0	0	4	87.21	78.40
	大阪西南	98	99	21	3	2	1	4	90.39	69.16
	大阪船場	39	39	1	1	1	0	3	95.30	84.70
	大阪心斎橋	33	35	0	2	0	2	4	98.57	85.48
	大阪うつぼ	33	33	3	1	1	0	4	89.07	84.21
小計	519	543	38	36	12	24		88.75	77.32	
I M 第8組	大阪平野	32	30	2	1	3	-2	4	99.14	84.83
	大阪イブニング	14	14	3	0	0	0	4	94.64	80.36
	大阪城南	53	52	0	3	4	-1	4	94.73	88.01
	大阪咲洲	18	18	1	1	1	0	4	80.55	76.38
	大阪天王寺	56	57	0	2	1	1	4	85.59	82.70
	大阪帝塚山	53	53	4	2	2	0	3	82.85	79.39
	大阪東南	50	50	0	1	1	0	4	94.00	68.00
	大阪アーバン	23	24	7	3	2	1	4	85.42	83.33
	大阪みおつくし	34	26	14	4	12	-8	4	73.25	66.12
	小計	333	324	31	17	26	-9		87.80	78.79

合計	クラブ名	7月期初 会員数	1月末 会員数	女性 会員数	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均出席率	ホームクラブ 平均出席率
	83	3614	3689	236	197	122	75	86.9	77.9

文庫通信 (317号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー最近の文献より (2)

- 『『奉仕の理想』をめぐって その2』 本田博己 2013 4p (D.2840月信)
- 『『四大奉仕』がどうして『五大奉仕』になったのか?』 本田博己 2013 3p (D.2840月信)
- 『『職業奉仕』はロータリーの根幹か?』 本田博己 2013 4p (D.2840月信)
- 「地区大会 その1~3」 深川純一 (伊丹R.C) 2013 3p (純ちゃんのコーナー PartXII)
- 「ロータリーの歴史年表」 諏訪昭登 2013 7p
- 「JUSTICE in The ROTARY ロータリーの正義」 田淵水作夫 2013 69p
- 「あかあかや あかあかあかや」 市川伊三夫 [2006] 2p (ガバナー所感集)
- 「近頃の世相に想うこと」 市川伊三夫 [2006] 2p (ガバナー所感集)

[以上申込先：ロータリー文庫]

- 「国際ロータリー日本人RI理事と日本ロータリー93年の流れ」 前岡志郎 2013 8p

[申込先：前岡志郎 FAX(0977)26-1444]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 午前10時~午後5時 休館 土・日・祝祭日

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

北 村 英 一 会員（吹田RC）

2013年11月28日 逝去（享年89歳）

会長、幹事、国際奉仕委員長、
会報委員長、地区ローターアクト委員長

米山功労者（マルチプル）
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

お知らせ

■お詫びとお知らせ

月信2月号ページに間違いがありましたので、お詫びして訂正いたします。

ガバナーノミニー指名宣言 松本進也氏の略歴

（誤）1996年 松本章時株式会社 代表取締役社長

（正）1996年 松本商事株式会社 代表取締役社長

また、月信1月号16ページに間違いがありましたので、お詫びして訂正いたします。

米山功労者 張虞安（交野RC）

（誤）3回目

（正）9回目

■ホームページアドレス・メールアドレス変更

大阪帝塚山ロータリークラブ

新メールアドレス osaka.tezukayama.r.c@gmail.com

新ホームページアドレス <http://osaka-tezukayama-rc.cocolog-nifty.com>

大阪咲洲ロータリークラブ

新ホームページアドレス <http://sakishimarc.web.fc2.com/>

■事務局移転（2014年2月21日より）

大阪西ロータリークラブ

〒530-0001 大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル 30階（TEL・FAXは変更ありません）

大阪淀川ロータリークラブ

〒530-0001 大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル 30階（TEL・FAXは変更ありません）

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 福家 宏
- 地区代表幹事 山田 正雄
- 地区副代表幹事 中井 敬和
- 担当地区幹事 吉本 憲司
- 担当地区幹事 山本与志弥
- 事務局長 栗正 久美

2013—2014年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	福家 宏
地区代表幹事	山田 正雄
地区副代表幹事	中井 敬和
事務局長	栗正 久美
事務局員	春名 志保
	奥田 純子
	井上 望美

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

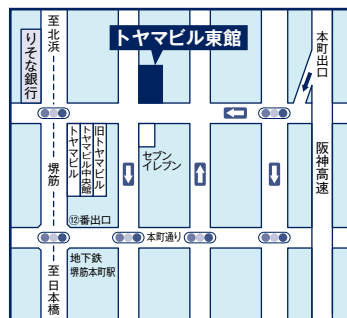
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。
最多 36名
詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー 第2660地区

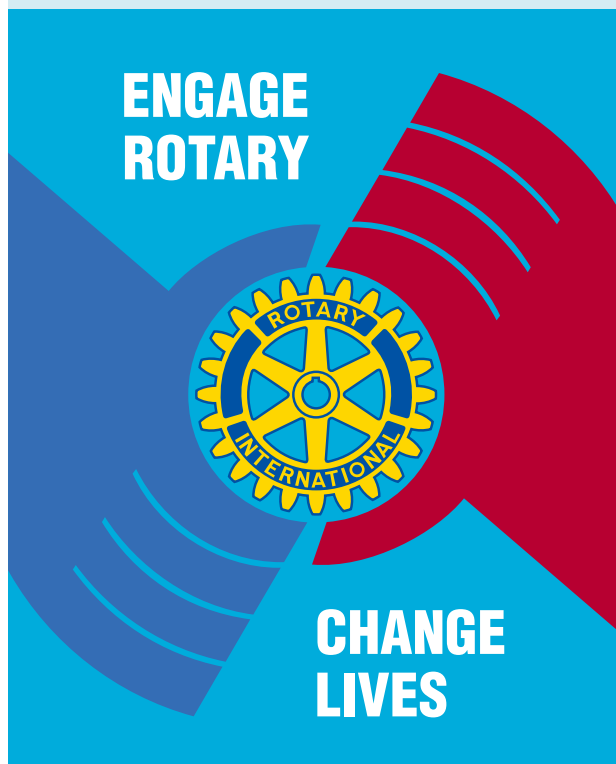
〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan
TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

2013 – 2014
April
vol. 10

4



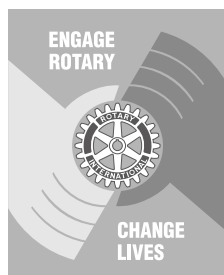
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信4月号

国際ロータリー 第2660地区
2013–2014年度ガバナー

福家 宏



2013-2014
**GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER**
April vol.10

CONTENTS

ガバナーメッセージ（雑誌月間にあたって）	1
雑誌月間にちなんで	2
米山奨学生終了者 終了式・歓送会 報告	3
ロータリー財団補助金管理セミナー報告	4
ロータリー財団情報	6
ガバナー補佐からのメッセージ	8
我がクラブの目指すところ（IM第7組）	9
災害支援プロジェクト報告（第33回）	13
米山奨学委員会／ロータリー財団	16
2014年2月度 会員数・出席報告	18
文庫通信	19
敬弔／お知らせ	20

雑誌月間にあたって

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

福家 宏



4月はロータリーの雑誌月間です。RIの公式機関紙「ザ・ロータリアン」および世界31の地域雑誌の購読と、活用促進に役立つプログラムを実施する月として定められています。各クラブにおいてもこの月間にはロータリー誌に関する何らかのプログラムを実施すること、とされています。

「2010年手続要覧」では「各会員は会員身分を保持する限りRIの機関雑誌またはRI理事会から本クラブに対して承認ならびに指定されている地域的なロータリー雑誌(日本では「ロータリーの友」)を購読しなければならない」と定めています。皆様はロータリアンの三大義務(会費の納入、例会出席、ロータリー雑誌の購読)をご承知のことと思いますがこの中にも「ロータリー雑誌の購読」が入っています。「購入」ではなくて「購読」とされているのですが、なかなか読まれていないのが現状のようです。ちょっと読んでみると割に楽しく読めるのに、例会で受け取って帰って来てデスクの上に置いたが最後、1ページも読まないまま次号を受け取ってしまう…これは残念なことです。この雑誌月間を機に、読者が一人でも増えるように各クラブで創意工夫をして頂きたいと思います。

「ロータリーの友」の歴史について簡単に述べておきます。

1952年4月に第60地区の地区大会が開催されました。次の年の7月から日本の地区は「東日本」と「西日本」の2地区に分かれることが決まっていたので、この地区大会ではこれまで行動を共にしてきた日本のロータリアンが分割後も緊密に連絡を取り合い、情報を共有するために機関誌を作成することが企画されました。

この機関誌が「ロータリーの友」の前身のようなものです。

その後1953年1月から毎月発行することと名前を「ロータリーの友」とすることが決定されました。従って「ロータリーの友」は昨年で60周年を迎えたわけです。1977年、標準ロータリークラブ定款改訂により、ロータリアンはRIが指定した公式地域雑誌を購読することで会員としての義務を果たすことが出来るようになり、1979年7月から1年間の試験期間を経て、1980年7月号から「ロータリーの友」はRI公式機関誌となったわけです。

「ロータリーの友」は2003年7月1日にホームページを開設し、2007年3月から「Rotary Japan」の名称で情報提供を続けています。そして創刊60周年を過ぎた今「ロータリーの友電子版」がスタートしようとしています。電子版がどのような形で配付されるのか、内容はどのようなのか、購読料はどのようになるのかなど、色々と検討課題があるようですが、スタートすることは間違い無いでしょう。電子版スタートによって「ロータリーの友」の読者が増えることを願うばかりです。

最後に雑誌月間とは無関係ですが、ロータリーの友社が発行している広報誌についてご案内致します。2008年8月「Rotary 世界と日本」が創刊されました。2009年以後毎年8月にアップデートしています。A5判16ページの小冊子で、1セット(10冊)で525円です。クラブや地区で開催する公開講座、スポーツ大会、地域でのイベントなどの際にロータリアンでない人々に配って欲しいというものです。会員増強のツールになりそうですので、お勧め致します。

「ロータリーの友」 記事掲載のハードルは高くない

ロータリーの友地区代表委員

鈴木 洋 (八尾東RC)



日頃は「ロータリーの友」を愛読賜りありがとうございます。その上投稿にも挑戦頂き、感謝しています。また過日は「友」に関するアンケートに、クラブの広報雑誌委員長をはじめ会員の皆様から回答をいただき有難うございました。地区内83の全クラブから、そして会員数3681人中1989人(54%)から回答を得ました。主な内容は次の通りです。

1. 所管委員会は広報委員会と広報雑誌委員会合わせて61クラブ、その他が22クラブ。
2. クラブ内で友をどのように紹介しているか？
委員長が事前に読み紹介をしているのが44クラブ、配布のみが23クラブです。
配布のみのクラブの皆様は是非何らかの方法で会員に啓蒙して下さい。
3. 「友」をどれくらい読んでいますか？
会員歴の長短にかかわらず、いずれも50%、30%、10%が多い。
4. 投稿の有無
10%の会員が投稿経験を持ち、34%が今後投稿しようと考えていることは、頼もしい。

5. 「友」の活用について

会員歴の長短にかかわらず、圧倒的に「自己研鑽」(会員全体で62%)が多い。「フォーラム、炉辺会合などの参考」(28%)にしている会員も多い。

6. 「友」への意見

全部で339件の意見が寄せられ、友へのエールから厳しい意見まで多岐にわたっています。「友」事務所ではこれらの貴重な意見を、今後の運営・編集に生かしていきます。

*「友」への投稿のすすめ

掲載のハードルは高くありません。まずクラブが行う奉仕事業を地区のホームページに書き込み、その勢いで「友」原稿を書いて、躍動的な写真とともに投稿してください。

ロータリーの友を購読することは、ロータリアンの三大義務の一つです。しかし義務だから目を通すのではなく、ご自分の研鑽の為あるいは国内のロータリアンとのコミュニケーションに活用していただきたいと願っています。

米山奨学生終了者 終了式・歓送会 報告

米山奨学委員会 委員

三木得生 (豊中南RC)

日時：2014年3月2日(日)

場所：ハイアットリージェンシー大阪

第2660地区米山奨学生終了者終了証授与式ならびに歓送会を開催いたしました。当日は18名の奨学生をはじめ、福家G、若林米山奨学部門顧問PG、泉GE、正岡AG、磯田地区研修委員、各クラブの会長、カウンセラー、米山奨学委員長、指導教官、米山地区委員、米山学友など総勢68名が参加しました。

第1部は終了式です。西谷米山奨学委員長より「四つのテストに示されたロータリー精神を忘れずにそれぞれの持ち場で奮闘し、ロータリーとの絆を持ち続けてほしい」との歓送の言葉が贈られ、福家Gより奨学生一人一人に終了証書が手渡されました。

終了生を代表してガーリントン・イアン・スチュアート氏が流ちょうな日本語で「この奨学金のおかげで勉学に集中できた、また多くのロータリアンから好意をいただき、人間と人間の繋がりができたことは幸せなことであった。次の人をサポートできる人間になりたい」との決意表明がなされました。

福家Gは「激励の言葉」として“Enter to Learn, go forth to serve”という言葉を奨学生に与えられました。「これからは終了生が社会のニーズに応える活動＝サービスに努めてもらいたい、今後も互いに連絡をとりあい、交流を続けていきましょう」と訴えられました。

第2部は懇親会です。若林顧問から「あなたがたは、ロータリアンを通じてロータリーを知り学び、多くの友を得た。これからがスタートである、等しく人間として

平和な世界をつくるために活躍してほしい」との祝辞が述べられました。泉GEの音頭で乾杯し、開宴となりました。

懇親会は古城米山地区委員の軽妙な司会でたいそう盛り上がりました。終了生挨拶では、鄭鍾恩(大阪難波)甘耿(大阪北)両氏がロータリーへの感謝と他人のために頑張ることの素晴らしさを学んだと発言されました。

カウンセラーを代表して、田ノ本(大阪なにわ)北村(大阪中之島)両会員の挨拶があり、第4回米山奨学生ふれあいスピーチコンテスト最優秀賞を獲得した陳思暢氏(守口イブニング)の記念のスピーチも行われました。「何でも自分中心の考え方をしていたが、ロータリアンとのつきあいの中で寛容の心、思いやりの気持ち、相手の立場に立って考えることの大切さを学んだ」との話には会場から大きな拍手が起こりました。

これ以降、次々に飛び入りのスピーチがはじまり、あっという間に予定の時間が過ぎてしまいました。米山学友会(関西)会長の何玉翠さんはじめ5名の学友から入会のお誘いがあり、最後に次年度地区米山委員長近藤菜穂子会員より閉会の挨拶がありました。全員で「手にてつないで」を大合唱してお開きとなりました。

本年度も無事に24名の修了生を送り出すことができましたのは、寄付金を寄せていただいた一人一人のロータリアンをはじめ、関係者の皆様方のご協力があったることとあらためて感謝申し上げ報告といたします。



ロータリー財団補助金管理セミナー報告

地区財団補助金小委員会 委員長

宮里唯子 (茨木西RC)

2014年2月15日(土)、大阪YMCA会館にて財団補助金管理セミナーを実施致しました。

このセミナーへの参加は、クラブが財団補助金プログラムに参加する為の資格認定プロセスのひとつですが、もう一つのプロセスであるクラブの覚書も当日回収致しました。セミナーは以下の要領で開催されましたので、ご報告申し上げます。尚、当日クラブによる財団補助金活動の事例発表に御協力頂きました発表者の皆様には、この場をかりて心より感謝申し上げます。

[開会挨拶]

財団部門顧問 PDG 大谷 透(大阪西南RC)

各クラブのロータリー財団委員会は、その奉仕活動を推進するエンジンです。燃料であるロータリー財団の年次寄付の増進と確保が大切な目的ですが、この目的を実現するには資金管理の公正公平さが重要です。そのために4つのテストの実行が何よりも求められます。4つのテストを日々忘れずに財団活動に邁進し、世界で奉仕活動を実施しましょう。本セミナーがその一助になることを願います。

[新補助金モデルとクラブの資格認定]

財団委員長 溝畑正信(東大阪東RC)

補助金を使用した奉仕活動は「世界で良いことをしよう!」の標語の実践です。補助金を利用した奉仕活動を積極的に実施してください。

[クラブ覚書(MOU)について]

財団資金管理小委員会 委員 片岡利雄(大阪南RC)

各クラブからのチェックリストの回収結果を小委員会では検討しました。チェック項目中、「補助金管理セミナーにクラブ会員を出席させている」や「利害の対立や利害の対立の可能性について、確認している」との項目のチェック率が期待した値よりも低かったことが目につきました。MOUの周知と理解の向上に向けて小委員会としてもより一層の努力をして参ります。各クラブの

皆様にもご協力お願いします。

[財団補助金管理について]

財団補助金小委員会 委員長 宮里唯子(茨木西RC)

2013~14年度の今日現在での当地区の補助金利用プログラムの利用実績は、地区補助金(DG)が44クラブ、グローバル補助金(GG)がTRF承認済み案件7件(内5件は人道奉仕)、今期中になお2件が更に承認されると思われます。我が国では当地区が最も優秀な成績を残しています。財団補助金活動やプロジェクトでは、領収書を添付した支出明細の書かれた報告書を提出することは義務ですが、地区補助金を利用された44クラブの内、現在、約10クラブが報告書を提出されていません。TRFによる監査の結果、地区全体への補助金交付に支障となることが懸念されます。必ず報告書を提出して下さい。

グローバル補助金(GG)を使用した奨学金について補足します。旧時は地区が学生を選考して派遣していましたが、FVPの制度では各クラブが奨学生派遣を提唱することができます。GGの奨学金制度は、元来職業人を念頭に置いて設計されたものだけに選考要件が厳しいものがありますが、大いにチャレンジしてください。なお、6つの重点分野の内「基本的教育と識字率向上」の中に英語教育が含まれるようになりました。実施国が英語を義務教育の一環としているか、公用語が英語とされている場合に限られます。

GGは設備やハードの充実という物的支援は20%、啓発や教育指導等のソフト面の支援が80%の割合で立案する必要があります。プロジェクトの立案に際しては、単に物品の提供に留まらず、必ず研修等のソフト面での支援を加えて下さい。

GGでもプロジェクト総予算の10%を臨時費として申請することができるようになりました。計画時と実行時のタイムラグからくる為替差損や物価変動のヘッジのためにも臨時費の計上をご考慮ください。

[クラブによる事例発表]

補助金担当グループリーダー 四宮孝郎(大阪西南RC)

地区補助金

- ①「ミャンマーにおける人道的国際奉仕活動」
吹田RC(豊谷久仁子会員)
- ②「在日留学生に奨学金を支給」
豊中RC(畑田耕一会員)
- ③「地元における社会奉仕プロジェクト」
大阪フレンドRC(栗原大会長・瀧尻浩士会員)

グローバル補助金

- ①「台湾における人道的国際奉仕活動」
大阪梅田RC(中西藤和会員)
- ②「グローバル奨学生」 千里RC(萬年成泰会員)

[講評・閉会挨拶]

泉 博朗GE(大阪帝塚山RC)

FVPの実行初年度にして、日本において我が2660地区が補助金を使った奉仕活動の案件数で最も優秀であったことは誠に誇らしいことです。各クラブの熱意と努力の賜物です。本日もご熱心に参加いただきありがとうございました。

なお、次年度実施のプロジェクトに要する地区補助金の申請期間は、本年の4月1日から5月末日までです。先着順で受け付けて枯渇すると補助金が打ち切りとなるとのことですので、お早めに申請していただけますことをお願いします。

また、実施されましたクラブからの報告書が未提出のままですと、TRFから地区への監査で説明に支障がでますことと、ひいては地区全体の信用の失墜の事態を招きかねません。このような事態を招かないためにも必ず報告書は期限内に提出いただけますようお願い申し上げます。



ロータリー財団情報

ロータリー財団委員会 委員長

溝畑正信 (東大阪東RC)

2013-14年度地区補助金

2013-14年度地区補助金DG1410079の最終報告書はロータリー財団に受理され、本補助金はこれをもって終了となりました。参加資格認定手続きで署名しました地区の覚書(MOU)に従って、地区は補助金活動の報告書と領収書を保管します。地区財団活動資金(DDF)の用途をご報告致します。

地区補助金クラブ申請実績

	クラブ名	活動の種類	活動内容	活動の実施地	地区補助金(US\$)	プロジェクト総予算
1	大阪中央	社会奉仕	身体障害者歩行訓練用トレーニング器材の寄贈	日本	2,853	¥467,775
2	豊中	奨学金	外国人留学生の博士後期課程に奨学金を授与	日本	4,940	¥900,000
3	茨木西	社会奉仕	支援学校に医療機器や学習活動の為の音響機器を寄贈	日本	2,520	¥413,280
4	大阪西南	社会奉仕	視覚障害者のために高速点字プリンターを寄贈	日本	6,000	¥1,299,900
5	八尾東	社会奉仕	障害者の保護者や支援者への情報提供や支援活動のための講演会を開催	日本	2,300	¥404,690
6	大阪南	社会奉仕	いじめや暴力の未然防止の為にグループ学習を実施し、学習用備品を寄贈	日本	6,784	¥1,193,892
7	大阪平野	人道的国際奉仕	小学校にトイレ設備を設置	ラオス	3,762	\$7,524
8	大阪南西	社会奉仕	公的育児機関にテントとスポーツ用品の寄贈	日本	2,295	¥448,774
9	大阪うつぼ	災害復興支援	仮設住宅の高齢者に、農作業のための移動・運搬用車両を寄贈	日本	3,182	¥587,480
10	東大阪	人道的国際奉仕	孤児院に学習用パソコンと周辺備品の寄贈	ベトナム	2,502	\$5,004
11	大阪難波	災害復興支援	台風による土砂災害被災地の小学校と保育所に備品を寄贈	日本	3,410	¥600,000
12	大阪そねざき	災害復興支援	被災中学校の学習環境整備と支援授業の実施	日本	6,819	¥1,753,090
13	大阪咲洲	災害復興支援	豪雨被災小学校に学用品を寄贈	日本	2,336	¥411,050
14	八尾中央	災害復興支援	被災小学校へ暖房機器を寄贈	日本	4,262	¥750,000
15	大阪バーサイド	人道的国際奉仕	職業研修生に送迎トラックとユニフォームを寄贈	カンボジア	6,522	\$14,185
16	大阪梅田	社会奉仕	子供ホスピス・シアタールームにプロジェクターを寄贈	日本	2,364	¥415,980
17	茨木	人道的国際奉仕	国立大学に顕微鏡を寄贈	ラオス	6,818	¥1,199,940
18	高槻東	災害復興支援	被災小学校に放射能除去浄水器を寄贈	日本	6,819	¥1,200,000
19	交野	社会奉仕	小中学生とともに植樹を実施	日本	5,682	¥1,120,350
20	守口イブニング	災害復興支援	被災幼稚園に備品を寄贈	日本	2,273	¥416,100
21	箕面	社会奉仕	青少年を対象に、薬物乱用の危険性をテーマに講習会を実施	日本	6,819	¥1,320,000
22	大阪大淀	災害復興支援	被災小学校へ演奏会用楽器の寄贈	日本	5,398	¥950,000
23	守口	社会奉仕	自殺予防の啓発を目的に講演会やラジオ放送を実施	日本	2,330	¥512,900
24	くずは	社会奉仕	児童通学路に交通安全標識を設置	日本	3,424	¥640,500
25	箕面千里中央	人道的国際奉仕	離島の学校に防潮堤と集会用野外ステージの寄贈	フィリピン	2,590	\$5,180
26	東大阪東	社会奉仕	高齢者のための医療・介護・福祉についての相談会を開催	日本	4,000	¥955,325
27	大阪大手前	社会奉仕	公立支援特別学校に拡大読書機の寄贈	日本	2,272	¥464,400
28	大阪淀川	災害復興支援	被災小学校へ学用品の寄贈	日本	2,209	¥451,500
29	池田くれは	社会奉仕	市民と共に植樹作業の実施	日本	6,819	¥1,200,000
30	吹田西	人道的国際奉仕	農村の公立校へ浄水器寄贈	タイ	2,400	\$5,333
31	大阪東	人道的国際奉仕	地雷・病氣・事故により脚を失った患者に、義足や車いすを寄贈	スリランカ	3,029	\$6,058
32	茨木東	災害復興支援	被災者の心のケアを目的に、ムービー・コンテストを開催	日本	3,510	¥772,060

33	豊中千里	人道的国際奉仕	僻地で健康診断を実施	カンボジア	2,955	\$5,909
34	大阪中之島	災害復興支援	被災児童施設に備品を寄贈	日本	4,348	¥1,265,114
35	大阪柏原	社会奉仕	児童養護施設の児童と生徒を遊園地に招待	日本	4,561	¥932,400
36	大阪北梅田	災害復興支援	被災地に自動体外式除細動器を寄贈	日本	2,446	¥450,000
37	高槻	社会奉仕	高校生に将来のリーダーを育成する勉強会を開催	日本	6,819	¥1,200,000
38	大阪城南	社会奉仕	公立支援校へ、運動用具を寄贈	日本	2,624	¥482,643
39	門真	社会奉仕	地域奨学生教育の為に備品寄贈	日本	5,599	¥985,320
40	大東	社会奉仕	老人、子供、妊婦、障害者の為にベンチを公園に設置	日本	2,394	¥475,000
41	大阪鶴見	人道的国際奉仕	子供達が教育や保護の機会を得られるよう出生登録を支援	フィリピン	2,718	\$6,030
42	大阪城東	社会奉仕	中学校吹奏楽部の演奏会を支援	日本	2,671	¥614,185
43	大阪フレンド	社会奉仕	障害者や子供達と共に、公立児童館の遊具を修繕	日本	2,322	¥436,506
44	吹田	人道的国際奉仕	孤児や地域住民の為に、集会所の補修とトイレの設置	ミャンマー	4,950	\$11,000
				総合計	173,650	¥34,312,454

(US\$=¥100)

この44件の総合計額173,650ドルに、台風被害を受けたフィリピン向け義損金、銀行手数料を加え、当地区は財団への申請額186,735ドルを全て使い切りました。

2013-14年度 学友人道奉仕世界賞

2013-14年度学友人道奉仕世界賞は、第33ゾーンより推薦された、Maya Ajmera氏に授与されます。

Ajmera氏は、第5240地区(米国)の推薦で、国際親善奨学生としてインド(第3140地区)のボンベイ大学へ留学しました。

同氏は、Global Fund for Childrenの創設者、児童図書作家であるほか、世界中で子どもと青少年保護の活動を行っています。現在は、ワシントンD.C.にあるジョンズ・ホプキンス大学の「The Paul H. Nitze School of Advanced International Studies」にて、客員研究員ならびに講師を務めています。

受賞者はシドニー国際大会で表彰されます。

東日本震災

もうすぐ東日本震災発生から丸3年が経過しようとしています。

一般財団法人国際開発センターによる東日本震災への海外からの支援実績のレビュー調査報告書を以下のページよりご覧いただくことができます。

(<http://www.idcj.or.jp/top.html>)

高橋一生国際基督教大学元教授を委員長として、日本赤十字社、(特活)国際協力NGOセンター、(特活)ジャ

パン・プラットフォーム、(独)国際協力機構の有志が「東日本大震災への海外からの支援実績のレビュー調査」を実施し、IDCJが事務局として調査分析作業をされたものです。高橋教授は元ロータリー平和センターのセンター長です。

<ポリオ症例数> 2014年2月25日現在のポリオ症例数

	2013年1月1日~12月31日	2012年
アフガニスタン	21	93
パキスタン	3	14
ナイジェリア	0	53
ポリオ常在国以外		
カメルーン	0	4
ソマリア	0	193
シリア	0	24
エチオピア	0	9
ケニア	0	14
世界合計	24	404

流行国：145 非流行国：224 総計369

現在、ポリオ常在国はパキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの3カ国です。インドで最後のポリオ症例が報告されてから3年、ついにポリオ撲滅の認定条件が満たされたインド、そして世界中のロータリアンがこの快挙を祝っています。

[ガバナー補佐からのメッセージ] IMの将来について

IM第7組 ガバナー補佐

杉浦敬久 (大阪船場RC)



早いものでガバナー補佐を指名されてからもう2年を経過した。エレクトの時は地区と各クラブとの連絡係位かと軽く考えていたのが大違いで、補佐が始まると重要な仕事があった。

まずガバナー公式訪問の2週間前に7組、10クラブを訪問し、会長幹事との面接や、クラブ協議会を通じて特色や問題点を聞き出し、福家ガバナーにレポートを提出するところから始まる。

第2回目以降は年度活動計画や実施状況を聞かせて頂き、RI会長や、ガバナー方針に沿っているか確認をしたり、地区に対しての質問や要望を承り、出来るだけ即答をしながら相互の理解を深めた。

そして、年間4回ほど会長会や幹事会を行い、各クラブの持つ悩みや対策を情報交換しながらクラブ間の連帯意識を醸成した。そして地区におけるRCの認知度を高めるための地域社会奉仕や震災復興支援などの共同事業を進めてきた。

さてIM(インターシティミーティング)7組の立場

は広域の「都市間相互の連合体」ではなく「ビジネス街の町内会」の性格が強い。なぜならば、例会場が北区のホテルで2クラブ、中央区で8クラブと限られたエリアで毎日開催されているし、大半の会員は職と住が別である。

この様な都市型のクラブ運営では、他地区で見られる広域型のIMと違った青写真が描けないものだろうか。今日まで行われてきたIMは第2660地区の大会ミニチュア版のようにも思える。もっと7組会員の「研修と親睦」から発展して、地域密着の「奉仕とお祭」をコンセプトにして第7組10クラブの会員、家族、地域の人達や米山奨学生・ローターアクター等の若い力を結集すれば素晴らしい何かが生まれてくると確信する。

幸いこの地域には大阪の中心部に位置するので歴史や史跡・ビジネス街・有名ブランド店・飲食や娯楽の繁華街等の舞台装置が揃っている。あとはロータリーらしさを出した、素晴らしいプランが出来ればIM第7組の将来は明るい。

我がクラブの目指すところ (IM第7組)

大阪フレンドRC 会長 栗原 大

当クラブは会員数29名と少数ながら平均年齢が49歳と言う比較的若い会員が多いクラブです。しかしながらロータリー暦はまだ浅く、これから私を含めロータリーについて多くの事を学ばなければなりません。

今年度ガバナー方針の感動体験を！当クラブもテーマに掲げ、まず最前線で奉仕を経験することが、ロータリーの学びと感動を体験できると考えております。

そこで今年度は、秋のライラのホストクラブを務め、

社会奉仕活動にDGを使用し拡大させ、職業奉仕活動を公共的に解放し、GGを使用した国際奉仕プロジェクトを実行しております。

そして年度末には15周年とクラブは浅いながら節目の年を迎えます。当クラブはまだスタート地点にたったばかりと考えています。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻よろしくお願いたします。

大阪御堂筋本町RC 会長 岡田俊作

大阪御堂筋本町RCは、大阪本町RC(1991年3月26日創立)と大阪御堂筋RC(1993年1月28日創立)が、2012年11月21日にRIの認証を得て合併致しました。2013年7月4日の合併披露例会を以って新しいクラブとして発足しました。生い立ちの異なるクラブの合併でしたが、一人の退会者もなく61名の中堅クラブとしてスタート致しました。

旧本町RCでは、青少年交換・WCSプロジェクト・医師を目指す高校生の病院見学会を長年に亘り実施して居り、旧御堂筋RCは、盲導犬育成事業への支援、東京大学との協力での遺伝子バンクの設立やスギ花粉によ

る花粉症を公害問題と捉え解決を目指す活動を展開する等それぞれ特色のある奉仕活動をして参りましたので、合併後は両クラブの蓄積した経験とノウハウを生かし、更なる領域を広げて社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕・青少年奉仕の各分野に活動を展開しています。

亦、最近では「世界一国際的なロータリークラブ」を目指す活動にも注力して居ります。その方向を明確にして、会員増強に関しても、人種・国籍・宗教・性別に拘らない基準で増強に努め、幅広く優れたロータリアンを育てて行きたいと思っています。

大阪南RC 会長 小谷公穂

ご承知の様に、他の奉仕団体にはないロータリーの考え方として、まずは各自の職業を立派に遂行し、社会のお役に立つという職業奉仕があります。この事からすれば、どなたも日頃から職業奉仕を実践している立派なロータリアンと言ってもいいでしょう。そんな中、日々の仕事で、頭の痛む事も多いかと思いますが、互にホッと出来る時間も大切にしたいものです。

今年の我クラブの方針として“交わりと笑顔でロータリーを楽しく”とさせて頂きました。交わりの原点は例

会への出席であり、年齢、立場を越えて「皆話(かいわ)」を楽しんで頂く事です。

奉仕部門の理解をより深めて頂く為のクラブフォーラムも年5回、毎回50名を超える出席者があります。お食事とお酒で親睦も深まり、奉仕に向け一石二鳥の効果が生まれています。

お陰様で昨年は創立60周年を迎える事が出来ましたが、これからも親睦と奉仕を両論に活力あるクラブを目指したいと思っています。

大阪難波RC 会長

夏 明義

今年度、大阪難波ロータリークラブは、“誇れるロータリー”を目指しております。ロータリーの基本である、毎週の例会の充実や諸行事への参加意識の向上に努め、“調和と実行力”をもってクラブの運営を会員の皆様と共に作っていきたく思っております。

具体的に今期の主な活動は、

- ①奉仕と親睦の調和
- ②会員増強と勉強会開催等による退会防止
- ③F・V・P(未来の夢計画)によるプロジェクトの実行
- ④例会を中心としたクラブの活性化

をあげております。

F・V・P事業に取り組み、小学校と保育所へ放送機器や遊具を寄贈し、記念植樹を行ったことが、地元和歌山の新聞2社に掲載され、広報活動も併せて行うことができ

ました。

クラブ活性化の一つとして上期は会員増強に力を入れ、会員各位のご協力で6名の方が入会され、現在52名です。そして、特に充実した例会を行なおうと1分間ストレッチを取り入れ、リラックスして例会に出席していただき、食事や音楽も工夫しております。前半は親睦の時間、後半は奉仕の時間としての例会を目指します。

ロータリー暦の浅い会員の方も多くなっているので、勉強会をはじめ、奉仕や親睦の機会にできるだけ多くの会員の皆様に参加いただけるよう努力を続けて参りたいと思います。

後に、ロータリーをよく知っていただき、好きになり、そして、何よりロータリーを楽しむことではないでしょうか。

大阪なにわRC 会長

池側一司

当クラブは、1984年2月23日に大阪難波RC様をスポンサークラブとして誕生したものであり、今期クラブ創立30周年記念を迎えさせていただきます。

去年の12月1日(日)に式典・祝賀会をスイスホテル南海大阪にて地区の役員の方々、日頃お世話になっております7組の会長、幹事の方々、又姉妹クラブの国外のタイ国のバンケンロータリークラブの方々をお迎えして、豪華・絢爛とは言えませんが精一杯の式典、祝賀会を行

なわさせていただきます、わずかな、おもてなし、が出来たものと確信しております。

今回の30周年を通じクラブ会員全員が一丸となり、30周年の成功を目指し日々がんばっていただいた事に感謝すると共に、今後はロータリーの基本であります、奉仕活動におきましても、クラブ会員全員が一丸となり、がんばって行きたいと考えておりますので、地区、又7組の皆様よろしくお願い致します。

大阪南西RC 会長

小池廣子

大阪南西ロータリークラブは大阪南ロータリークラブをスポンサークラブとして創立し、お陰様で今期創立40周年を迎えることができました。

本年度は2月1日にインターシティーミーティングのホストを務めさせて頂き、無事盛会裏に終えることができました。これもIM第7組のロータリアン皆さまのお陰と心より感謝申し上げます。

今期は創立40周年記念式典・祝賀会、IMホストと2つの大きな行事があり、これらの行事に向けて会員の心が1つになり、非常に良い雰囲気になってきました。

会員減少の防止と会員増強は各クラブ共通の問題ですが、当クラブは創立の原点に立ち返り、会員相互の親睦を通じて、大阪南西ロータリークラブに在籍して良かった、と思える魅力あるクラブ創りを目指し

ております。

月1回、家族共々の食事会をしておりますが、これも少人数ならではの特色と自負しております。

地域での社会奉仕活動も毎年実施しております。西成区長、警察署長、消防署長、の皆様には毎年例会で卓話をして頂き、地域の現状をお話して頂いております。行政や地域の各種団体の皆様とも会合を重ね、その時々

大阪西南RC 会長 青木達也

当クラブは大阪南RCを親クラブとして、昭和44年に創立し本年45周年という節目の年を迎えました。

本年のクラブスローガンは「今、考動する事へのチャレンジヤー！」です。RI会長のロン・バートン会長がメッセージとして「ロータリーを実践して…」と御座います。

また、第2660地区福家ガバナーにおかれましては「感動の体験を！人々にも自身にも」と。ロータリアン同士で知恵を絞りそしてメンバー全員で行動する。初心に立ち返り、本年をスタート年度として全員で挑戦したいと思っております。その第1弾としてフィリピンターラックRCとの姉妹締結を結びました。場所的にはアキノ大統領のお膝元の地です。

大阪船場RC 会長 清水清一

我クラブは創立25年を経て、26年目の壮年期に入り、活動を実践する年と位置付けました。

そして活動方針を「自らの活動の中に達成感と喜びを共に分かち合おう」を合言葉に全員参加の使命を持ち地域においても世界においても認知される人道的奉仕活動を行うクラブを目指し、様々な活動プロジェクトを推進しております。

会員増強推進には26年目にして初めて女性会員の入

ニーズに即した事業展開ができるよう、コミュニケーションを深めております。

これからも地域の皆様のお役に立ち、また必要とされるクラブになるよう心掛けていく所存であります。

今後とも何卒よろしくご指導の程お願い申し上げます。

小学校には600名もの子ども達が元気に走り回っています。然し、トイレが無く衛生面でとても苦勞をされております。本年度我々はその修復活動から初めていき翌年そしてその次の年もしっかりと検証していきながら奉仕活動を続けて参りたいと思っております。

更に今後我クラブとしましては、会員数の安定そして増員を掲げて参りたいと思っております。昨年の11月度には101名と3桁の大台に乗りました。会員構成も老・壮・青ととてもバランスよく、世代を超えた交流が盛んとなってきております。

来るべく50周年には150名を目指して、同じ想いでロータリーライフを楽しめるメンバーと半世紀を振り返り、大いに大阪西南クラブを称えたいと思っております。

会、素晴らしいことだと思っております。

それぞれのプロジェクトは継続して実施していかなければならない活動も多くありますが、会員一人ひとりがそのプロジェクトの推進に責任をもって取り組んでもらっています。

又、IM第7組全体での共同活動を行う為に各組との交流を図り、ロータリークラブは一つであるとの信念の基、より具体的な活動を目指しております。

大阪心斎橋RC 会長

佐伯良一

会長を拝命し、自らにも言い聞かせる意味で「足るを知り、足るに感謝する心を持つロータリアンの集まりとして、和やかな中にも凛として品格あるクラブづくり」を目指して無我夢中で8ヶ月が過ぎました。IM第7組、地区の他クラブの皆様とも親しくお付き合いをさせて頂き、ようやくクラブを少し離れて見る余裕が出てきました。

RIの戦略計画では刷新性、多様性、柔軟性がキーワードとして謳われています。当クラブでも、委員会の横の連携や複数年にわたる施策の継続性等、新たな時代に

ふさわしいクラブづくりの必要性を痛感しております。新入会員、中堅会員、ペテラン会員がお互いに刺激しあい、ロータリアンとして成長し続ける。守るべきは守り、変えるべきは変える。時代を先取りした新たなクラブづくりを目指したいと思います。

来年度はIMのホストクラブを担当させて頂きます。一つのクラブでは出来ない夢を、複数のクラブが協力して実現する必要性もますます高まります。IM第7組の新たな可能性を皆様と共に考える場に出来ればと思います。

大阪うつぼRC 会長

岩根和加子

伝統ある当クラブの33代会長として、33名の会員の方々と、夜の例会を“楽しく絆を深める場”として、まず例会に出席すること、そして笑顔で話ができる例会を…と心がけております。

当クラブは、経験豊かなロータリー精神をしっかり心がけ実践してこられた先輩と、若い働き盛りの職業人で大変忙しい中、進んでロータリー活動を勉強・実践しようと意欲的に活動して下さる方々とが半々で、とてもまとまった素晴らしいクラブだと思っています。

しかし、強力な「野球チーム」もありますので、もう少し若いメンバーを増員しなければと「友呼び」をお願い

しています。ロータリーの伝統を守りながらも、時代適した柔軟な発想も受け入れ、入会した会員は「皆で育てる」を合言葉に、活性化した楽しいクラブ作りを目指しています。

新しい会員には、まず自分自身の職業において“職業奉仕”“四つのテスト”をしっかり受け入れ実践すること。そして、ロータリー活動も自ら進んで参加し、先輩との親睦を深め、「会員同士の相互扶助＝愛の輪作り」を基に奉仕の機会を共有できる…

その感動が豊かな人生の輪が広がるとお話しております。

災害支援プロジェクト報告 (第33回)

災害支援プロジェクト委員長

高島凱夫 (大阪中之島RC)

1. 災害支援プロジェクト寄付送金口座

りそな銀行 大阪営業部 普通 1527285

口座名義：第2660災害支援 会計 片岡基博

(ダイニロクロクゼロサイガイシエン カイケイ カタオカモトヒロ)

2. 災害支援地区基金の状況 (2014年3月13日現在)

【収入】

(単位:円)

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備考
1	前月からの繰越	7,793,713	
2	大阪府赤十字血液センター 北大阪事業所 (千里RC 矢橋様)	5,635	基金
合 計		7,799,348	

【支出】

(単位:円)

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備考
11	フィリピン 第3860地区 (Haiyan支援)	4,168,201	
12	送金手数料 リフティングチャージ	8,084	
合 計		4,176,285	

【残高】

(単位:円)

預金残高	3,623,063	2014年3月12日現在
------	-----------	--------------

3. フィリピン大規模台風 (Haiyan) 支援について

2013年11月8日に国家的大参事とも言われるフィリピン中部を直撃した超大型台風ハイエン(現地ではヨランダ)による甚大な被害は、日本においても連日報道されておりました。実は台風が直撃する約一月前の10月15日には3,000余りもの余震を伴ったマグニチュード7.5の地震、その後は竜巻と、僅か1カ月の間に住民は大変な苦渋を味わっていたようです。

ハイエンによる犠牲者は約6,000人、行方不明者約1,800人、避難生活者約390万人とも言われ、その被害は暴風雨による家屋倒壊をはじめ、高潮や土砂崩れを伴い、フィリピンの歴史においても未曾有の規模です。

当災害支援プロジェクト委員会におきましては、いち早く現地の被災者に支援を差し伸べるべく、2013年11月22日にフィリピンの全地区へ救援活動の状況を問い合わせ、結果第3860地区ガバナーの支援要請に応えるべくロータリー財団地区補助金の臨時費(注1)を2013年12月10日に送金致しました。

食糧や飲料水の配布等をはじめとする緊急支援がひと段落すれば、その後は復興に向けて益々支援が必要とされることは自明の理であり、当委員会では地区内クラブの皆様には被災地区のガバナーメッ

セージをお伝えすると共に、寄付金への御協力をお願い致しました。その結果、実に69クラブから多額の義援金が寄せられましたので、早速第3860地区に復興状況を問い合わせましたところ、現地災害支援第2、第3フェーズの具体的な計画の御連絡を頂き、2014年2月27日に全額送金を完了致しましたので、ここにご報告申し上げます。送金支援額及び用途につきましては、以下をご参照下さい。

尚、地区の支援金には参加されず、姉妹クラブなどを通じ、災害発生直後クラブ独自で支援を行なわれたクラブが多数あったことを申し添えます。

最後になりましたが、皆様の被災者支援への暖かい御協力に深く感謝申し上げます。

支援金	額	支援先	支援内容
財団地区補助金 臨時費	1,251,046円	フィリピン 第3860地区 (タクロバン、オーモック、 セブ北部)	第1フェーズ： 緊急支援＝食糧品や飲料水など
69クラブからの 義援金	4,168,201円		第2フェーズ： 復興開始と生計の立て直し ①被災小学校の屋根の修復 ②約1,000隻の漁民用ボートの製造 (100隻製造済) 第3フェーズ： 被災者用簡易住宅の建築
総合計	5,419,247円		

(注1) 地区補助金は、クラブによるプロジェクトの活動費に加え、申請可能補助金総額の20%までを(用途を指定しない)臨時費の申請が認められていますが、今年度当地区では約7%を臨時費として申請し、緊急支援用として留保していました。



国際ロータリー 第 3860 地区
フィリピン



2014 年 3 月 4 日

国際ロータリー 第 2660 地区

親愛なる福家ガバナー、高島直前パストガバナー

2014 年 2 月 27 日、2 度目の寄付金 4,168,201 円を受領致しました。感謝申し上げます。

第 2660 地区のロータリアンの皆様の被災者への御厚情は、まさにロータリーの理想と友情であります。皆様の暖かいご支援は超大型台風ヨランダの被災者にとって希望であり、この悲劇から立ち直り、復興を果たしていく勇気を与えて下さいました。

第 3860 地区を代表致しまして、苦難と挑戦に立ち向かう住民への継続的支援に深く感謝申し上げます。

Yours in Rotary,


Edgar R. Chongbrian
地区ガバナー


Philip N. Tan
地区代表幹事


Wilton Uykingtian
Chair, D.R.R.R.C.

DONATION ACKNOWLEDGEMENT RECEIPT

Organization : **Rotary International District 2660
Osaka, Japan**
Date Received : **February 27, 2014**
Cash Contribution : **JPY 4,168,201.00**
: **Four Million One Hundred Sixty Eight Thousand
Two Hundred One Japanese Yen**
Deposited at : **Rotary District 3860 Disaster Fund
Bank of the Philippine Island - MEZ 2 Branch**

米山奨学委員会／ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2014年 1月末	全国寄付金合計額	999,534,553円	(前年同期比560万円増)
	第2660地区寄付金合計額	63,013,950円	(前年度比6.39%増)
	全国寄付合計トップ10		
		1. 第2650地区	60,580,814円
		2. 第2660地区	55,504,700円
		3. 第2750地区	52,234,352円
		4. 第2760地区	47,710,295円
		5. 第2580地区	46,595,800円
		6. 第2640地区	41,353,000円
		7. 第2590地区	35,711,850円
		8. 第2770地区	33,835,500円
		9. 第2780地区	30,321,570円
		10. 第2630地区	27,711,700円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2014年1月)

氏名	回数	クラブ名
佐伯 崇邦	5	大阪なにわRC
井戸本 泰次	1	大阪中之島RC
梅原 一樹	1	大阪中之島RC
嶽下 勇治	1	大阪中之島RC
犬飼 直之	3	大阪中之島RC
寺川 博之	1	大阪梅田RC
森 治	2	大阪梅田RC
稲本 一夫	4	大阪梅田RC
芳賀 修	4	大阪梅田RC
大矢 善昭	4	大阪梅田RC
野口 秀夫	4	大阪梅田RC
三好 庸隆	4	大阪梅田RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2014年1月)

クラブ名	回数
大阪城北RC	28
大阪西南RC	73

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2014年1月)

氏名	クラブ名
岡山 晃三	大阪梅田RC
松尾 勝裕	大阪そねざきRC
松田 壽美子	大阪そねざきRC
下岡陽一郎	大阪中之島RC

氏名	クラブ名
光田 広亮	摂津RC
川脇 健	摂津RC
北畑 瑞穂	摂津RC
郷木 健	摂津RC

氏名	クラブ名
東谷弥八郎	摂津RC
内山 雅統	茨木RC
加藤 光祥	池田くれはRC
菅家 基夫	大阪中央RC

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2014年1月)

氏名	回数	クラブ名
平山 博史	1	大阪梅田RC
稲本 一夫	1	大阪梅田RC
小川 康彦	1	大阪梅田RC
森 康次	1	大阪梅田RC
大矢 善昭	1	大阪梅田RC
古澤 照男	5	大阪御堂筋本町RC
三好えり子	1	大阪そねざきRC

氏名	回数	クラブ名
竜 佳代	2	大阪そねざきRC
森本 和代	3	大阪そねざきRC
寺本美津子	2	大阪そねざきRC
長尾 依子	1	大阪そねざきRC
革嶋祐理子	2	大阪そねざきRC
繪川 長昭	2	大阪なにわRC
佐伯 崇邦	3	大阪なにわRC

氏名	回数	クラブ名
新子 茂生	8	大阪なにわRC
木原 章夫	2	摂津RC
辻井 正房	5	摂津RC
下村 三郎	1	摂津RC
上田 宏二	3	大阪西北RC
妙中 茂樹	1	大阪西北RC
中谷 庄八	3	大阪西北RC

ベネファクター 次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2014年1月)

氏名	クラブ名
内海関一郎	大阪梅田RC
木村 眞敏	大阪中之島RC

メジャードナー 次の方たちにメジャードナーの称号が贈られました。(2014年1月)

氏名	クラブ名
奥 嘉隆	交野RC
笹木 秀雄	大阪中央RC
泉 博朗	大阪帝塚山RC

2014年2月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	2月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第1組	池田	37	38	2	1	0	1	4	73.61	65.97
	池田くれは	28	30	1	2	0	2	4	80.26	74.37
	箕面	25	28	2	3	0	3	4	83.83	79.75
	箕面千里中央	21	23	0	2	0	2	4	94.54	93.27
	豊中	45	46	4	2	1	1	3	84.40	69.04
	豊中南	28	29	2	2	1	1	4	89.21	78.17
	豊中-大阪国際空港	20	20	0	1	1	0	4	72.42	64.87
	豊中千里	39	37	3	1	3	-2	4	86.76	75.16
	小計	243	251	14	14	6	8		83.13	75.08
	I M 第2組	茨木	25	27	3	2	0	2	4	93.38
茨木東		39	40	4	2	1	1	4	79.68	67.08
茨木西		28	28	6	0	0	0	4	91.07	77.68
千里		38	39	0	1	0	1	3	86.32	79.11
千里メイプル		22	22	2	1	1	0	4	96.39	85.54
摂津		37	37	2	0	0	0	4	87.68	66.79
吹田		60	60	10	2	2	0	4	92.74	85.85
吹田江坂		34	33	2	0	1	-1	3	98.92	88.10
吹田西		47	50	2	3	0	3	3	100.00	90.31
高槻		51	50	6	0	1	-1	4	92.65	83.19
高槻東	36	38	2	2	0	2	3	95.48	90.81	
高槻西	20	21	0	1	0	1	4	96.43	77.38	
小計	437	445	39	14	6	8		92.56	81.22	
I M 第3組	大東	42	42	0	1	1	0	3	100.00	93.71
	大東中央	28	29	11	1	0	1	4	83.99	69.62
	枚方	40	43	0	7	4	3	3	93.26	84.80
	門真	30	32	6	3	1	2	4	89.52	72.58
	交野	32	35	1	3	0	3	3	83.13	77.10
	香里園	15	16	0	1	0	1	4	92.19	75.00
	くずは	52	52	0	2	2	0	4	76.51	66.91
	守口	42	42	4	0	0	0	4	83.29	73.75
	守口イブニング	27	27	4	0	0	0	4	82.41	75.00
	寝屋川	42	41	5	0	1	-1	4	89.02	75.61
四條畷	12	12	0	0	0	0	4	93.94	92.96	
小計	362	371	31	18	9	9		87.93	77.91	
I M 第4組	東大阪	70	74	0	5	1	4	4	83.51	77.39
	東大阪中央	33	30	0	0	3	-3	3	89.11	86.69
	東大阪東	55	61	4	6	0	6	4	85.38	73.36
	東大阪みどり	30	27	0	0	3	-3	3	80.25	70.37
	東大阪西	31	32	0	1	0	1	3	96.29	69.10
	大阪柏原	30	31	2	1	0	1	3	96.42	86.88
	大阪ネクスト	19	18	7	0	1	-1	4	72.22	47.22
	八尾	60	60	0	2	2	0	4	77.90	71.48
	八尾中央	16	16	0	1	1	0	3	91.37	88.99
	八尾東	26	26	1	0	0	0	4	70.09	61.47
小計	370	375	14	16	11	5		84.25	73.30	

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	2月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第5組	大阪中央	46	50	6	6	2	4	4	93.00	79.51
	大阪堂島	28	30	1	2	0	2	4	95.00	80.83
	大阪北	197	193	0	8	12	-4	4	77.12	66.04
	大阪北梅田	50	52	4	4	2	2	4	70.24	62.93
	大阪西	75	76	0	1	0	1	4	91.39	82.24
	大阪大淀	36	39	0	3	0	3	4	95.89	86.30
	大阪リバーサイド	34	36	6	4	2	2	4	90.10	74.04
	大阪西北	49	51	0	3	1	2	3	85.22	81.05
	大阪そねざき	35	37	23	3	1	2	4	92.13	82.68
	大阪梅田	25	23	1	0	2	-2	3	95.24	80.63
大阪梅田東	25	28	0	5	2	3	3	89.28	70.55	
大阪ユニバーサルシティ	32	35	5	3	0	3	4	82.58	71.21	
小計	632	650	46	42	24	18		88.10	76.50	
I M 第6組	大阪	257	270	1	20	7	13	4	68.92	52.21
	大阪東	117	122	0	9	4	5	4	94.70	75.12
	大阪東淀ちゃやまち	30	29	3	0	1	-1	4	92.50	81.25
	大阪城東	43	42	5	2	3	-1	4	89.16	82.86
	大阪中之島	27	28	2	2	1	1	4	83.92	74.10
	大阪大手前	35	35	5	2	2	0	4	90.05	79.16
	大阪城北	49	46	3	2	5	-3	4	79.08	75.02
	大阪天溝橋	68	66	0	2	4	-2	4	80.99	77.55
	大阪鶴見	32	31	0	0	1	-1	3	88.08	73.61
	大阪淀川	28	30	3	3	1	2	4	97.49	83.37
新大阪	32	33	1	2	1	1	4	91.67	90.15	
小計	718	732	23	44	30	14		86.96	76.76	
I M 第7組	大阪フレンド	25	29	4	4	0	4	2	84.49	72.42
	大阪御堂筋本町	61	58	3	0	3	-3	4	82.54	74.49
	大阪南	144	155	0	17	6	11	3	85.84	73.05
	大阪難波	46	52	0	6	0	6	3	88.82	76.20
	大阪なにわ	25	26	3	2	1	1	4	89.18	69.46
	大阪南西	15	15	3	0	0	0	4	90.66	87.09
	大阪西南	98	101	21	5	2	3	4	95.31	73.27
	大阪船場	39	39	1	1	1	0	4	94.75	82.50
	大阪心斎橋	33	36	0	3	0	3	4	95.06	81.48
	大阪うつぼ	33	33	3	1	1	0	3	94.12	89.31
小計	519	544	38	39	14	25		90.08	77.93	
I M 第8組	大阪平野	32	30	2	1	3	-2	4	98.08	91.48
	大阪イブニング	14	14	3	0	0	0	4	83.93	66.07
	大阪城南	53	51	0	3	5	-2	4	91.63	80.82
	大阪咲洲	18	18	1	1	1	0	4	83.33	72.22
	大阪天王寺	56	57	0	2	1	1	3	87.90	77.95
	大阪帝塚山	53	52	4	2	3	-1	3	78.66	72.58
	大阪東南	50	50	0	1	1	0	3	94.00	64.67
	大阪アーバン	23	25	7	4	2	2	4	94.00	87.00
	大阪みおつくし	34	27	15	5	12	-7	4	63.89	61.11
	小計	333	324	32	19	28	-9		86.16	74.88

合計	クラブ名	7月期初 会員数	2月末 会員数	女性 会員数	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均出席率	ホームクラブ 平均出席率
	83	3614	3692	237	206	128	78	87.4	76.7

文庫通信 (318号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近の資料から

- 「魅力的なクラブ創り」 北 清治 2013 9p (D.2780 地区大会報告書)
- 「『ロータリーに魅せられて』ロータリーは新会員とともに」
坂本俊雄 2014 10p (D.2710 地区大会特集号)
- 「変わりつつあるロータリー」 江崎柳節 2013 7p (D.2800 地区大会記念誌)
- 「『ロータリーの目的』とRI戦略計画」 南園義一 2013 8p (D.2700 地区大会の記録)
- 「国際ロータリーの動向とロータリー財団」
三木 明 2013 5p (第35回 青少年指導者育成セミナー報告書)
- 「過去を内省し、新しきものを統合していこう
—ロータリー創立100周年後の歩みで感じたこと」 黒田正宏 2013 51p
- 「ポリオが地球から消える日『世界の子どもたちとの約束を果たそう』」
北山輝夫 2013 2p (D.2830 地区大会記録誌)
- 「ポリオとの戦い—根絶間近のインドから」
ロケシュ・グプタ 2013 5p (D.2830 地区大会記録誌)
- 「トルコの識字プロジェクト支援／ロータリーへの目覚め」
重田政信／清 章司 2013 1p (D.2840 私のロータリーモメント)

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

神島喜與一 会員（大阪西南RC）

2014年1月26日 逝去（享年70歳）

会報委員長

田村茂樹 会員（豊中-大阪国際空港RC）

2014年2月21日 逝去（享年73歳）

幹事、理事、社会奉仕委員長、青少年委員長、
福祉委員長、親睦委員長

山路昌彦 会員（大阪東南RC）

2014年3月14日 逝去（享年74歳）

社会奉仕委員長、職業奉仕委員長

米山功労者（マルチプル）
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター

米山功労者（マルチプル）
ポール・ハリス・フェロー

お知らせ

■お詫びと訂正

月信3月号16ページに間違いがありましたので、お詫びして訂正いたします。

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

（誤）森本 三 1 高槻西RC

（正）森本 榮三 1 高槻西RC

■メールアドレス変更

新大阪ロータリークラブ（5月1日より）

新メールアドレス shin-osaka.rc@blue.plala.or.jp

■ビジターフィー変更

大阪ロータリークラブ（2014年4月例会より）

現行：4,700円 → 変更後：4,800円

大阪西南ロータリークラブ（2014年4月例会より）

現行：4,700円 → 変更後：4,800円

大阪北梅田ロータリークラブ（2014年4月例会より）

現行：4,400円 → 変更後：4,600円

毎月最終例会軽食時 現行：3,000円 → 変更後：3,100円

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 福家 宏
- 地区代表幹事 山田 正雄
- 地区副代表幹事 中井 敬和
- 担当地区幹事 吉本 憲司
- 担当地区幹事 山本与志弥
- 事務局長 栗正 久美

2013—2014年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	福家 宏
地区代表幹事	山田 正雄
地区副代表幹事	中井 敬和
事務局長	栗正 久美
事務局員	春名 志保
	奥田 純子
	井上 望美

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

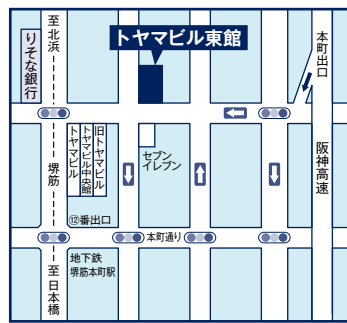
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。
最多 36名
詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー 第2660地区

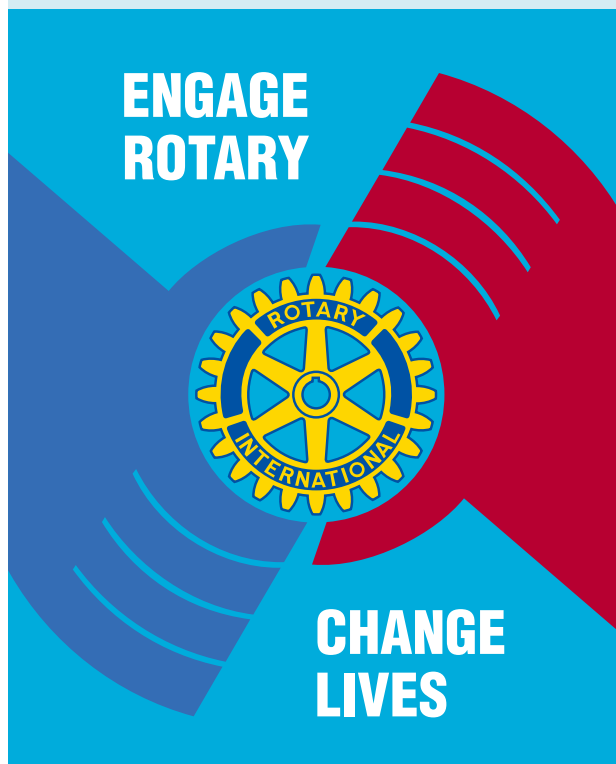
〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan
TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

2013 – 2014
May
vol. 11

5



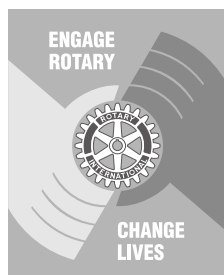
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信5月号

国際ロータリー 第2660地区
2013–2014年度ガバナー

福家 宏



2013-2014 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

May vol.11

CONTENTS

ガバナーメッセージ（米山セミナー）	1
国際奉仕委員長会議報告	2
青少年交換 東京研修報告	3
第7組IM報告	4
第8組IM報告	5
第2組IM報告	6
第6組IM報告	7
池田RC創立60周年記念事業	8
ガバナー補佐からのメッセージ	9
我がクラブの目指すところ（IM第8組）	10
災害支援プロジェクト報告（第34回）	14
米山奨学委員会／ロータリー財団	15
2014年3月度 会員数・出席報告	16
文庫通信	17
敬弔／お知らせ	18

米山セミナー

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

福家 宏



今年度米山記念奨学会への寄付金は、普通寄付5,000円、特別寄付25,000円をお願い致しました。昨年度より1万円のアップですから、地区米山奨学委員会の西谷委員長は2度にわたり皆様のクラブに説明文書をお届けし、ガバナー月信にも投稿されました。しかし私はそれでも皆様のご理解が十分とは言えないと感じておりました。そんな矢先、昨年10月5日に第2690地区の地区大会に参加の機会を得ました。この日私は感動的なプレゼンテーションを聞くことが出来たのです。

プレゼンテーションに立ったのは、プサコーン・ホンヨックさん(女性)でタイ米山学友会メンバーです。現在タイ国のパナソニック株式会社、代表取締役社長秘書であり部長をお勤めです。

彼女は高校の交換留学生として1991年来日し、1年間を過ごしました。その時のホスト・ファミリーご夫妻はとても素晴らしい方で、彼女のコミュニケーション力向上のため厳しく日本語を指導されましたが、彼女が帰国後わざわざタイを訪れて彼女に会い、日本の大学への進学を勧められました。結果として彼女は島根大学に入学し、猛勉強の末4年生の時に米山記念奨学生に選ばれたのです。彼女は大学卒業後、鳥根県横田町の町役場に勤めますが、横田町がタイと「そろばん交流」を始めており、彼女はタイの子供たちへのそろばん導入に貢献し「そろばん大使」の役割を果たしました。彼女は米山奨学生となったお蔭でロータリーの例会に出席し、ロータリアンと交流するようにもなりました。その結果

社会人となるための様々な心得を身につけることが出来ました。そして今は、タイのパナソニックで要職についており、タイ米山学友会メンバーとなっていますが、詳しくは「ロータリーの友」2014年1月号32-33頁をお読み下さい。

彼女は米山奨学生となったことで、お金では買えない素晴らしい人間関係を築くことになり、大きく成長しました。彼女はホスト・ファミリーへの思いを熱く語り、聴衆が涙を流すほどの感動を与えたのです。私は「はっ」と気付きました。米山セミナーだ!! 我が地区でも米山学友を招いて、彼(女)らの感動体験を語ってもらう機会を作るべきだと感じたのです。米山セミナーは米山月間の始まる前に各クラブから3名程度は参加して頂き、米山記念奨学制度の成り立ち、これまでの実績などを参加者に伝えます。その上で、米山学友のプレゼンテーションを実施することで、米山奨学事業への理解を一段と深めて頂けるに違いないと考えました。

私は10月のガバナー諮問委員会にこの件をお諮りし、ご賛同を頂いたので、早速地区米山奨学委員会に、この件を伝えました。次年度は当地区では「地区米山セミナー」が9月6日(土)14:00~ OMMビル会議室にて催されることになっております(出席義務対象はクラブ会長様・幹事様です。新年度に入りご案内致します)。その成功を私は願って止みません。皆様のご協力とご理解をお願い致します。

第2回 クラブ国際奉仕委員長会議

地区国際奉仕委員長

栗原 大 (大阪フレンドRC)

日 時：2014年2月8日(土)

場 所：YMCA 2階 会議室

開会挨拶：ガバナー 福家 宏

2013-2014年度 事業報告：地区国際奉仕委員会 委員長 栗原 大

FVPにおける補助金の動向：地区財団補助金小委員会

地区補助金・グローバル補助金担当グループリーダー 四宮孝郎

クラブの国際奉仕について：各IM別バズセッション

2013-2014年度 国際奉仕基金 会計報告：地区国際奉仕委員会 糸川副委員長

講 評：ガバナーエレクト 泉 博朗

閉会の挨拶：国際奉仕部門 顧問 パストガバナー 横山守雄

2月8日に第2回クラブ国際奉仕委員長会議を開催させて頂きました。各クラブの現・次年度国際奉仕委員長総勢130名以上の皆様に出席頂き無事終了する事ができました。心より御礼申し上げます。

今年度はロータリー財団によるFVP初年度でしたが、予想以上のグローバル補助金の申請提出とTRFによる承認数でございます。当地区につきましては日本国内で初めて提唱クラブとして申請が承認され、年度内のプロジェクト完了に進んでいるところです。これは当地区内の国際奉仕活動がいかに活動的かを表しております。また地区補助金につきましても10クラブほど申請されており、次年度はその枠も広がる事から尚一層のプロジェクトが提出されるかと思われま

す。バズセッションでは各クラブの活発な活動についてIMごとに討論されました。IM内の近隣クラブであり

ながら活動内容を知る機会はこのような場面ではないと思われま

す。国際奉仕活動は各奉仕部門の中でも特に労力を有します。個人・クラブの資金・時間・労力が大きくかかる奉仕活動です。また相手国との情報交換も時間がかかり単年度や少人数のクラブではなかなか実行しにくいのが現状です。しかしそのフォローに地区委員会は存在致します。どのようなクラブも国際奉仕活動に積極的な想いをもち続けて頂いている限り私達は協力を惜しみません。クラブ単体で難しい活動はIM内及び第2660地区内クラブとの協力で奉仕活動を成功して頂

ける事を一つの手段としております。原点はクラブ主体となって活動し、そして会員各皆様へプロジェクトの成功の感動を体感して頂くことにあると存じます。



青少年交換 東京研修報告

青少年交換委員会 副委員長

磯田郁子 (大阪東淀ちややまちRC)

日時：2014年3月21日(金・祝)～23日(日) 2泊3日

場所：磯田副委員長、角谷委員、稲邑委員、金本前委員、来日学生5名、
派遣候補生4名、ROTEX5名(合計18名)

青少年交換委員会では毎年この時期に、外国から交換学生として来日している学生達に日本の首都である東京を実際に体感してもらうために東京方面研修旅行を行っています。これは公共交通機関や徒歩移動を中心とした街歩きをしながら国会議事堂や浅草などを見学、散策することにより日本への理解と関心をさらに高めってもらうことと来日生、派遣候補生、ROTEXの親睦と交流をはかることがその目的の1つです。

今年度の来日生5名(アメリカ3名、カナダ1名、フランス1名)は、来日したばかりの頃はほとんど話すことができなかつた日本語で、派遣候補生やROTEXメンバーと楽しく会話をしながら東京の町を興味深げに散策していました。日頃は高校に通い、日本語の勉強や数学、理科、社会などの授業に追われる毎日の来日生達もしばし、学校生活を忘れて楽しい数日を過ごしました。

1日目にはまず皇居付近を散策、きれいな桜や緑をバ

ックにたくさんシャッターを切っていました。次に国会議事堂の衆議院会館を訪ね、日本の議会システムの説明を受け会館内を見学、立派な大理石で作られた建物内を感心しながら眺めていました。

2日目は待望の東京ディズニーシーに行きました。当日は連休の中日とあって大変な混雑が予想されましたが、それほどひどい混雑もなくいくつかのグループに分かれてそれぞれが協力し合いながらアトラクションを楽しみました。

3日目は東京スカイツリー、浅草・浅草寺で観光し、3日間の行程を無事終えました。

今回の研修旅行では来日生、派遣候補生、ROTEXが打ち解け合い、終始仲良く話したり、ゲームをしたりする姿が多く見られました。6月末には帰国する来日生にとっては、日本でのすばらしい思い出の1つとして深く心に残ったことでしょう。



第7組インターシティ・ミーティング報告

大阪南西RC 会長 **小池廣子**

IM実行委員長 **小森敏鑑** (大阪南西RC)

テーマ：伝えよう奉仕、築こう絆 Service must go on!

ホストクラブ：大阪南西ロータリークラブ

日時：2014年2月1日(土) 13:00～16:00

場所：スイスホテル南海大阪「芙蓉の間」

参加者数：191名

出席者：209名(RAC20名、青少年17名含む)

私たち大阪南西RCが、IMのホストを務めるのは2回目です。

テーマの選定と講演会の講師の選定に時間がかかりました。テーマは現在の若者が人を助けたいという思いをもっている割合が高いという話を知り、若者と奉仕や支援活動について話し合い、ロータリーの活動を知ってもらい社会を少しでも良くしてもらおうと思い「伝えよう奉仕、築こう絆 Service must go on!」としました。幸いIM7組にはRCと志が同じRACが3つあります。隼より始めよ、と声をかけたところ友人も含めて40名近く集まってくれました。

講師には小池会長の紹介で西成消防署長の木村忠彦氏に講演をしてもらいました。木村署長は、東日本大震災の時、大阪府消防隊の災害支援の隊長を務め、石巻の現場での救援活動を指揮され、後の福島第一原発への冷却水投入の作業も参加されました。署長は「大災害にそなえて～生き残るために～」と題して災害の悲惨さと自らの命を守るすべ、そして迫りくる南海トラフ地震への対策などの話をいただき、会場のすべてのロータリア

ン、青少年に感動と教訓を与えてくれました。

続いてのテーブルディスカッションは「今までの人生または、ロータリー活動で一番感動した事はなんですか」と「今日の木村署長の講演で、どの部分に感動、共感しましたか」のいずれかのテーマを各テーブルで議論していただきました。テーブルに2人の若い人たちが混じり、ロータリアンの経験、また若者たちの奉仕に捧げる熱い思いが語られ、短い時間でしたが会場はざわめきが沈黙に変わるという不思議な一体感がありました。会員にはRACの活動や若者の生の声が一般の若者にはロータリークラブの社会に対する真面目さが伝わったのではないのでしょうか。

閉会の挨拶のあとの手につないでの合唱にその息吹を感じました。

最後に今回のIMは7組各クラブの会長、幹事の皆様の協力がなければ成功することはありませんでした。改めて感謝申し上げます。特に難波RC、なにわRCの会員の皆様には受付や誘導などのお手伝いをいただき、熱い友情を一段と感じました。有難うございました。



第8組インターシティ・ミーティング報告

IM実行委員長

喜多敏明 (大阪平野RC)

去る3月1日(土)グランフロント大阪北館にて、テーマを“Live Talk on The Earth ~ロータリアンと学生の国際貢献~”として第8組インターシティミーティングを開催しました。当日は127名の参加を得ました。

開発途上国の現状を学ぼうと、国連ユースボランティアの学生たちが世界の各地で活動しています。そんな活動の現状をスカイプという通信手段を用いて、その学生たちの生の声を聞いてロータリアンの国際貢献のヒントを得ようと考えました。

立教大学、上智大学、東洋大学、明治大学、関西学院大学の皆さんとお話させていただきました。カンボジア、ネパール、フィジー、ルワンダ、ケニア、ボスニア、サモアでの生活の様、仕事の内容、彼らが感じたいろんなことを聞くことになりました。IM8組の国際奉仕委員長の皆様にも、彼らに直接質問をしていただきました。

言葉の大切さ、習慣の違い、各地で起こる紛争など興味深い話が聞くことができました。現代の若者は云々という声が聞こえますが、こうやって頑張ってくれている若者がいることを誇りに思い、ロータリアンの奉仕活動についてもいろいろと考えさせられる場面がたくさ

んありました。

コーディネーターとして関西学院大学の關谷武司教授にお願いをいたしました。また元駐ドイツ大使で現在関西学院大学副学長、神余隆博様、国連ボランティア計画職員の梨本篤司様にもお話をいただきました。関西学院大学の学生さんたちには企画段階から協力いただきました。

關谷教授とのつながりは3年前の東北大震災にさかのぼります。一人のクラブメンバーが關谷教授の生涯学習の授業を受けたことが始まりです。学生さんたちの支援活動を聞き、当ロータリークラブが協力を申し入れたのです。南三陸の子供たちと運動会や社会見学の支援活動を共に行いました。また關谷教授の世界市民論の授業で、当クラブの世界社会奉仕の現状をお話しする出前授業も3回、実現いたしました。そんな繋がりのなかで今回の企画が出来上がりました。

開発途上国の電波状況に不安をいだきながら取り組んだ手作りのIMでした。多くの皆さんの協力に感謝し、最後までたくさんのロータリアンが残って熱心に討議いただいたことに重ねて御礼申し上げます。



第2組インターシティ・ミーティング報告

IM実行委員長

掛谷建郎 (茨木RC)

テーマ：震災を風化させない

北摂の12クラブで構成する第2組は3月8日、茨木市市民総合センターで、インターシティ・ミーティングを開催しました。「震災を風化させない」をテーマに、陸前高田市の戸羽太市長から「陸前高田市の被災状況と今、そして復興へ」と題する講演をいただきました。

戸羽市長は東日本大震災で甚大な損害を被った同市の状況や復興を遅らせている要因、目指しているまちづくりについて、具体例を示して話されました。陸前高田では市民の7%強にあたる1800人近い方が亡くなられたり行方不明になられたりしています。

復興の遅れについて、市長は法令の手続きの煩雑さや官庁の硬直的な対応、省庁間の縄張り争いなどが障碍になっていると指摘、「政府は被災地の立場に立ってほしい」と強調されました。陸前高田では瓦礫処理に2年を費やし、災害公営住宅など行政が関わる家はまだ一軒も建っていません。

今後については「ノーマライゼーションという言葉が必要のないまちにしたい」と語られました。「震災後、社会的弱者になった我々は多くの人に支えられた。今後

は高齢者や障がい者などが健常者と変わらずに住めるまちにしたい」とのことです。

市長は最後に「震災後3年たち、我々も自立する必要がある。今後は『支援』ではなく『応援』してほしい」と述べられるとともに、親をなくした子供たちが多くいることに触れ、「彼らが夢を追いかけられるよう応援してほしい」と締めくくられました。

IMでは12クラブの震災支援活動をパネル展示し、各クラブの交流の場としました。復興を応援するため、陸前高田の支援グッズを記念品として配りました。また陸前高田で大学生がボランティア活動をしている追手門学院(茨木市)の中学生による「大切なふるさと」(上田益作)の合唱など多くの方々のご協力を得ました。戸羽市長には翌朝の追悼式を控えた厳しい日程を縫って乗り越しいただきました。

講演に先立ち、福家宏ガバナーからは「今日のIMをひとつの節目として今一度復興支援のための奉仕活動を実現しなければならない」とのご挨拶をいただきました。今回のIMがその一助になればと願っております。



第6組インターシティ・ミーティング報告

大阪東淀ちゃやまちRC
会長

大澤一雅

IM実行委員長

前田要之助 (大阪東淀ちゃやまちRC)

テーマ：「見つめ直そう日本の心」～式年遷宮とお伊勢参り～

ホストクラブ：大阪東淀ちゃやまちロータリークラブ

日時：2014年3月15日(土) 13:00～17:00

場所：ホテル阪急インターナショナル

参加者数：211名

「見つめ直そう日本の心」～式年遷宮とお伊勢参り～をテーマに今年度IM第6組はインターシティミーティングを開催しました。福家G、泉GEはじめ多くの皆様にご参加いただいたことを大変うれしく思います。

皆様もよくご存じのように昨年は20年に1度行われ、1300年の長きにわたり続けられている伊勢神宮の式年遷宮の年でした。この式年遷宮の意義と意味を現代の視点から捉え直し、日本の叡智の奥深さを探るきっかけとし、今後の皆様のロータリー活動をされる上でのヒントとなるものがあればという願いで開催いたしました。

基調講演では皇學館大学文学部教授・櫻井治男先生にわかりやすく丁寧に「伊勢神宮の式年遷宮ー日本の来し方と行く末を見つめて」というテーマでお話をいただき、続けて皇學館大学文学部教授・岡田登先生に「伊勢信仰とお蔭参り」というテーマでユーモアを交えたお話をしていただきました。

第2部ではお伊勢さんまで落語会を開きながら歩いて行かれたという落語家・桂文我さんにお伊勢さんまで歩かれた時のおもしろいエピソードなどを伺い「伊勢

神宮上神賑」という落語をご披露いただきました。

その後、櫻井先生、岡田先生、桂文我さんによる鼎談でさらに式年遷宮に対する理解を深めることができました。

一見、ロータリーとは結びつかないようなテーマでの開催でしたが、参加していただいた方からは「伊勢神宮に改めて参拝したいと思った」「桂文我さんの巧みな司会で鼎談が非常に興味深かった」などと言った高評価を頂戴し、ホストクラブとしてほっと胸を撫で下ろしています。

インターシティミーティング終了後は懇親会を同ホテルで開催し、多くの皆様にお残りいただき楽しく懇親を深めることができました。この懇親会はIM第6組のロータリアンが交流するよい場となったと感じています。

開催に当たりご協力いただきました皆様に深く感謝を申し上げインターシティミーティングのご報告いたします。



池田ロータリークラブ創立60周年記念事業 「五月山ふれあい動物園」 入場ゲート寄贈

池田RC 会長

田嶋也寸志

3月21日、気持ちよく晴れ渡る五月山公園で、池田ロータリークラブ創立60周年記念事業として「五月山ふれあい動物園」入場ゲートの寄贈式が行われました。

五月山動物園は「日本一小さな動物園」として多くの家族連れの皆さんに親しまれてきました。このたび、園内のスペース約1500㎡を拡張し、子どもたちに親しみのある「三びきのこぶた」や「三びきのやぎのがらがらどん」など、童話をテーマにしたゾーンを設け「ふれあい動物園」として整備されました。

「三びきのこぶたゾーン」では、子どもたちがミニブタショーなどのイベントを通じて動物にふれあうことができます。このたび動物たちを身近に感じる「世界一ハートのある動物園」としてリニューアルされ、さらなる人気のスポットとなりました。

寄贈式当日は、動物園に隣接する公園に設けられた「忍者の砦」のオープニングセレモニーも開催され、多く

の子どもたちで賑わいました。

入場ゲートの寄贈が決まってからは、クラブ全員でゲートのアイデアを出し合い、最終的には4つの案の中から、「世界一ハートのある動物園」のキャッチフレーズにちなんで25個のハートが散りばめられたデザインと決まりました。また、ゲート越しに阪神高速道路池田線新猪名川大橋、通称「ビックハープ」の美しい姿も見える場所に設置するために現場で何度も打ち合わせをおこないました。

計画当初より、春休みや桜のシーズン前のこの時期に完成時期を目標におき、予定通り完成することができました。市民の方々の評判も上々です。会員全員で協力してひとつの事業を成し得た、ということで池田ロータリークラブとしても今後の活動に自信を持つことができました。これからも、この入場ゲートが動物園に訪れた方の思い出作りに役立つことを願っています。



[ガバナー補佐からのメッセージ] IMの将来について

IM第8組 ガバナー補佐

新見 葵 (大阪天王寺RC)



地区の大きな行事として、毎年「地区大会」とIM(インターシティミーティング)の二つがあります。

とりわけ、IMは、各組の近隣のクラブが年に一度勉強会に一同に会し、情報の交換、又、親睦を深める重要な場であります。

私もこの一年、他のIMに参加し、色々と勉強させて頂きました。その内容は、テーマを決め、そのテーマに精通しておられる講師を招き、ご講演を頂いた後、パネルディスカッション或いはテーブル毎のバズセッションという形式のものが多かったと思います。他のガバナー補佐さん方もおっしゃっておられますように、IMはあまり形式にとらわれる必要はないと考えています。

只、どのIMを拝見させて頂いても、ホストクラブさんが一所懸命、一年以上かけ、計画、立案、実行されていく中で、「大変ご苦勞されてきたのだなあ」ということが、手に取るように実感されました。

それは、近隣のロータリアンが参加され、一人でも多くの方に「参加して良かった」「今日は有意義な一日だった」という思いを感じて頂きたいからだと思います。

こういう観点から見れば、例年参加者が少ないのが気になります。

今後は、地区、組、各クラブをあげて、開催されるIMの内容について、周知、PRを工夫していただき、一人でも多くの方々が参加されますことを願っております。

我がクラブの目指すところ (IM第8組)

大阪平野RC 会長

三野久光

当クラブは4年前の35周年に、40周年に向けた活動指針として「未来に翔く若者に夢と希望を」掲げ、4年間やって参りました。特に、ラオス大学に奨学基金を設立し、学業を続けられない学生を支援してきました。

今年度は平成26年3月1日にグランフロント大阪にてIMを当クラブホストにて行いました。Live Talk on the Earth ということで、国際ボランティアとして活動中の学生諸君とスカイプで話をするという企画でした。若い学生諸君の嬉しい取り組みをうれしく思い

ました。

また来年度になりますが、本年10月10日～12日は秋のライラをホストクラブとして開催すべく、現在準備をしております。これらの活動は我クラブの5年間の上記活動指針に合致したのものとして、積極的に取り組んでおります。

そして来年2月に迎える我クラブの40周年記念式典の準備も併せて行っております。これらについても皆様のご協力をお願い申し上げます。

大阪イブニングRC 会長

松浦克巳

私どものクラブは現在会員が14名です。やりがいと家族のような団結力はありますが、1人の負担が多いのが現状です。もちろん会員増強は必須と考えています。早々に会員増としたいです。

現状としては各人がリーダーシップを発揮する少数精鋭でなければなりません。そのため社会奉仕、国際奉仕などでは姉妹クラブや友好クラブそして地域の方々に協力して頂いています。

米山奨学生の受入ではクラブ活性化につながる機会

を得られました。少数ながらもアイデアを生かした方法で奉仕活動を進める。活動の伝達でロータリーに関心を得られるよう、広報活動も活発に進めたいです。

ロータリークラブの会員だからこそ出来ることが沢山あります。そして活動によって沢山の方々と交流もてます。

今後もその活動を通してクラブ生活が楽しい、充実していると全員が実感するような魅力的なクラブを目指しています。

大阪城南RC 会長

永井正美

大阪城南ロータリークラブは今年5月30日、創立45周年を迎えます。

その節目の年度にあり会員の年齢層も70歳以上が半数近くを占め、60代が残りの過半数を占めるという高齢化、しかもパスト会長が17名を数える中で、如何に老・壮・青のバランスが取れるかをテーマに苦心致しました。その結果、会員歴は浅くとも元気の良い会員に要職に就いて頂きました。

世の中が混迷し激変する今時において、ロータリーだけが特別である訳もなく、変わらねばならない部分は大いに革新してレポリューションを目指したいと考えております。

その為には、何と云っても例会に参加することが楽しいと思える例会に、更には我がクラブが45年に亘って育んできた古き良き伝統を引き継ぎながら品位あるクラブを目指します。

大阪咲洲RC 会長

長元良二

大阪咲洲RCは、1995年10月11日に大阪住之江RC(現 帝塚山RC)がスポンサークラブのもと創立し、RI承認日は1995年10月31日です。今年で創立19年目を迎えることが出来ました。

創立時の会員数は33名、現在は、会員数18名のクラブです。第2660地区の中でも少人数のクラブですが、少人数クラブはクラブで良い所もたくさんあります。理事・役員等ほとんどすべての会員に役割が毎年もれなくあたります。それゆえ何事も全員参加・全員協力が基本です。しかしこれを達成するためには、日頃の例会が大切です。

ロータリー四つのテストのもと会員相互に好意と友情を持ち、品位と礼節を尊びユーモアに溢れている、そんな例会を積み重ねることによって一体感は生まれて

くるものだと思います。また、ロータリークラブを理解しお互い親近感をもって活動していくことが、しいては新会員の入会意思に大いに影響するものだと考えております。

少人数のメリットがあるとは言えやはりクラブ活動を無理なく・幅広く運営するには会員の増強が急務でございます。積極的に増強活動し、志を同じくする仲間をもっと増やさなければならないです。会員が多いほどより内容のある、幅広い奉仕活動等が実現できると考えております。

これからも多岐にわたり趣の違う例会や奉仕活動や親睦活動を企画し、会員の知人・友人の皆様に参加して頂き、クラブへの理解と親近感を深め入会したいクラブ作りを全員参加で目指していきたいと思っております。

大阪天王寺RC 会長

谷野清孝

私の今年度の方針は「奉仕活動を実践し、みんなでつくる仲よしクラブ」であります。4年前、我がロータリークラブは、大阪阪南ロータリークラブと旧大阪天王寺ロータリークラブが合併し出来たクラブであります。

合併時、雰囲気・性質の違うクラブの会員がうまく交わるかという心配をよそに、さすがロータリーという名のもと、会員全員が奉仕活動に積極的に参加し、協力し合っていたことに安堵致しました。しかし、もっと充実した活動を行うに当たっては、今までのように例会に出

席し、挨拶と卓話を聞いて帰るというだけでは前進しないと考えます。会員が楽しいクラブライフだと認識することにより新入会員の増強にもつながると思っております。

そのため、親睦活動(家族会、炉辺会合、夜間例会、そして囲碁・ゴルフ同好会)を重点に取り組み、会員相互の和を図ることにより充実したクラブ活動が着々と出来るのではないかと感じています。末期も仲よしクラブ員全員とタッグを組んで奉仕活動に向かって進んでいきたいと思っております。

大阪帝塚山RC 会長

片山一步

当クラブは2011年5月20日に、大阪阿倍野、大阪住之江、大阪住吉の3つのクラブが合併したクラブで、今年度で3年目です。3つのクラブが合併したのは異例で、その動向は注目されているのではないかと思います。

合併に際して「クラブのこれまでの文化の違いでうまくいかないのでは？」とか「人数が大幅に減少するのでは？」などと懸念されていました。

しかし、会員一人当たりの「会費」負担や「活動」負担が増えることから「辞めないで」という危機せまる退会防止から開放され、楽しいクラブライフとなりました。

また、会員増強についても「会員数減少でつぶれそうなので、なんとかクラブに入って」といっても誰も入会しないものです。「いつでもロータリーに入れる」という

ロータリーブランドの安売りもなくすべきです。楽しいクラブであれば、自然と増強できるものと信じております。

親睦から奉仕がうまれるという観点から、本年度は活動方針の基本は、FUN! FUN! FUN!と、ロータリーを楽しむという親睦に重点を入れてまいりました。

次年度には、当クラブの泉博朗会員を地区ガバナーとして輩出することから、本年度はその準備もあり、特別なイベントを計画してまいりませんでした。その分、次年度の地区活動において、クラブあげて頑張りたいと思います。

何事も抜本的に見直して、自己改革のできるクラブとなるよう目指してまいります。

大阪東南RC 会長

杉浦勝昭

大阪東南ロータリークラブの会長となって今更ながらに気がついたことは、ロータリークラブはそれぞれが独立した存在であるということ、自立した存在であるということです。

それぞれのクラブが独自の歴史を持ち独特の個性を持っていること、構成員の人数や年齢や性格によってまったく異なったやり方・雰囲気で運営されているということ、自立して自律してやっていかなければならない、誰も手助けしてくれないし誰も我がクラブに最適なアドバイスは行うことができないという当たり前と言えれば当たり前のことを強く了解できました。

その点から言えば、大阪東南ロータリークラブは現在楽しくまたスムーズに運営されています。会員数が50人くらいで、少な過ぎもせず多すぎもせず、雰囲気や活動状況においても中の上といったレベルではないでしょうか。

今年のテーマとしては「輪」(ネットワーク)を広げるということから会員増強に重点をおいています。まずクラブを知ってもらうことから「ゲストデイ」で外部の知り合いを例会に招待するを行いました。「和」を深めるといった観点からは元会員に声をかけ再入会も視野に入れて交流を図ろうとしています。会員増強はおそらく永遠のテーマでありまた時間のかかる活動であるので今年一年で終わるのではなく毎年繰り返しやっていかねばならないことでしょう。できれば60から70くらいの会員数が適正規模ではないかと考えている。お互いが親しくなれ、例会出席率が60-70%でも例会場が賑やかで楽しく運営できるのではないかと考えるからです。

2015年11月26日に30周年を迎えることになりましたが、会長エレクト、会長ノミニーを中心に30周年を楽しく迎えるための準備を始めています。

大阪アーバンRC 会長

寺内俊太郎

当クラブは、2011年12月8日に創立総会を開催し、12月末に認証を受けました。その後2012年2月6日に加盟認証伝達式を関係各位のご指導下、ホテルグランビア大阪で開催しました。

当クラブの設立主旨は、2011-12年度のカルヤンR I 会長の強調事項「変化」についての次の言葉が根本となっています。

- 1.ロータリーの核心は変化です、もし現状に満足してるなら、何故ロータリアンになる必要があるのでしょうか？
- 2.自分自身の中に変化をおこし、自分自身がその変化の担い手とならなければなりません。

この強調事項が当時第2660地区のR I 理事 近藤雅臣氏、岡部泰鑑ガバナー、特別代表顧問 横山守雄バストガバナー各位の強力なご意志と御決断で、第2660地区に久方振りに新しいRCが誕生することになりました。

これらの設立目的・主旨を背景に新しい会員28名の選定と活動目標を具現化し、活動を開始しました。

その活動目標は「クラブ設立に伴う5つの基本方針」として、以下に掲げる項目であります。

- 1.親クラブを持たない、スポンサークラブが付かないで当面はガバナー直轄のクラブとする。
- 2.会員の経済的負担を既存市内クラブの1/3程度に下げる。
- 3.会員の業務に時間的な負担を少なくするためにモーニング例会とする。
- 4.クラブ運営と活動は会員主体で行い、事務局を置かない。
- 5.会員間のコンセンサスは電子メールで緊密な連絡を保ち、親睦を深め、クラブ活動を推進する。

これらの経緯を基本とし、今年で3年目を迎える生まれ経ての新米クラブであります。

今後2~3年間はまだまだ先輩RCの活動のお荷物になると思われませんが、今後も変わらずに、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

大阪みおつくしRC 会長

中島 武

当クラブは昨年4月16日に国際ロータリーより認証をうけて、まだほやほやの1年生です。

創立当初は私以外ロータリー経験なしの会員のため、毎週の例会はとにかく回数をこなせばどうにかなるという現状でした。

現在、29名中60歳以上は7名で、あとの22名は30~50代という若さで現役バリバリのビジネス中心の女性会員が多いのが特徴です。会員増強も今年に入り毎月

1名新入会員を迎えていますので5月、6月で2名を予定しています。

クラブ方針は親睦を重点として何事も全員で行動するようにしていますので、親睦をはかれば自然と奉仕につながると思っています。

沢山の先輩クラブに学ぶことは多々ありますが、焦らずにコツコツと確実にロータリーを実践し進んでいくよう努力してまいります。

災害支援プロジェクト報告 (第34回)

災害支援プロジェクト委員長

高島凱夫 (大阪中之島RC)

1. 災害支援プロジェクト寄付送金口座

りそな銀行 大阪営業部 普通 1527285
口座名義：第2660災害支援 会計 片岡基博
(ダイニロクロクゼロサイガイシエン カイケイ カタオカモトヒロ)

2. 災害支援地区基金の状況 (2014年4月14日現在)

【収入】

(単位:円)

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備考
1	前月からの繰越	3,623,063	
32	利息	397	
33	茨木RC	50,000	
	合計	3,673,460	

【支出】

(単位:円)

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備考
13	大阪鶴見RC 震災学習テキスト制作プロジェクト	297,780	
14	送金手数料	100	
	合計	297,880	

【残高】

(単位:円)

預金残高	3,375,580	2014年4月14日現在
------	-----------	--------------

3. 災害支援の報告

プロジェクト概要

プロジェクト名：震災学習テキスト

「奇跡の集落吉浜～次世代につなぐ津波石の教え～」制作プロジェクト

実施地区：気仙地区(大船渡市、陸前高田市、住田町)

実施期間：2014年4月～

受益者：地域の小学校、中学校や図書館、震災学習のためにこの地区を訪れる人々

概略：本プロジェクトは、吉浜地域が長い間培ってきた津波伝承の記録を1冊の本にまとめた「震災学習テキスト」を制作し、地域の小・中学校や図書館、また震災学習のためにこの地を訪れる人たちに読んで頂き、吉浜の貴重な震災の記録を次代に伝承しようとするものです。

米山奨学委員会／ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2014年 2月末	全国寄付金合計額	1,068,553,081円	(前年同期比1,217万円増)
	第2660地区寄付金合計額	67,784,750円	(前年度比9.83%増)
	全国寄付合計トップ10		
		1. 第2650地区	74,967,767円
		2. 第2660地区	67,784,750円
		3. 第2750地区	65,639,952円
		4. 第2760地区	57,893,545円
		5. 第2590地区	55,395,930円
		6. 第2770地区	52,694,950円
		7. 第2580地区	46,927,650円
		8. 第2820地区	39,028,500円
		9. 第2780地区	37,858,570円
		10. 第2620地区	35,604,978円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2014年2月)

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
山本 恵真	2	新大阪RC	小川 嘉誉	5	大阪西南RC	田中 潤治	8	大阪西北RC
加納 晴彦	4	大阪城北RC	笠井 文雄	6	大阪西南RC	高林 辰行	9	大阪西北RC
弓削 要	5	大阪城北RC	大谷 透	7	大阪西南RC	西村 暉	9	大阪西北RC
津田 良樹	1	大阪西南RC	三宅 有	2	大阪西北RC	小山 登	2	大阪西北RC
梅本 禎親	3	大阪西南RC	妙中 茂樹	3	大阪西北RC	原野 圭司	17	大阪帝塚山RC
増田 國次	3	大阪西南RC	福光 一七	4	大阪西北RC	村上 高兒	3	大阪帝塚山RC
山口 一儀	3	大阪西南RC	尾下 千明	5	大阪西北RC	若林 紀男	21	大阪東RC
高澤富士子	4	大阪西南RC						

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2014年2月)

氏名	クラブ名	氏名	クラブ名
鑄方 貞了	新大阪RC	吹田 康雄	大阪西南RC
荻原美津子	大阪西南RC	梅本 禎親	大阪西南RC
清水 高士	大阪西南RC		

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2014年2月)

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
地壽 剛史	1	豊中千里RC	葉田いつの	1	大阪西南RC	高谷 晋介	3	大阪西南RC
大橋 融	1	新大阪RC	志方 邦弘	2	大阪西南RC	四宮 孝郎	3	大阪西南RC
西村 啓三	2	東大阪中央RC	小田 眞弘	2	大阪西南RC	太田 敏一	1	大阪西南RC
林 考信	2	東大阪中央RC	森下美恵子	2	大阪西南RC	露口 佳彦	5	大阪西南RC
沖中 栄子	1	大阪西南RC	古里 龍一	4	大阪西南RC			

2014年3月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	3月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第1組	池田	37	38	2	1	0	1	4	73.61	63.89
	池田くれは	28	30	1	2	0	2	4	83.16	78.75
	箕面	25	28	2	3	0	3	4	83.00	74.50
	箕面千里中央	21	23	0	2	0	2	3	94.37	92.29
	豊中	45	46	4	2	1	1	3	84.21	75.15
	豊中南	28	29	2	2	1	1	4	80.31	75.46
	豊中-大阪国際空港	20	20	0	1	1	0	2	66.67	61.11
	豊中千里	39	37	3	1	3	-2	4	85.19	77.40
	小計	243	251	14	14	6	8		81.32	74.82
	I M 第2組	茨木	25	27	3	2	0	2	4	93.08
茨木東		39	40	4	2	1	1	4	77.14	64.36
茨木西		28	28	6	0	0	0	4	87.50	75.00
千里		38	39	0	1	0	1	4	83.98	74.76
千里メイプル		22	22	2	1	1	0	4	95.29	88.24
摂津		37	37	2	0	0	0	3	83.46	73.16
吹田		60	60	10	3	3	0	4	95.34	85.98
吹田江坂		34	33	2	0	1	-1	4	98.33	88.30
吹田西		47	50	2	3	0	3	4	100.00	89.40
小計		437	445	39	16	8	8		91.43	79.98
I M 第3組	大東	42	42	0	1	1	0	4	97.83	91.25
	大東中央	28	29	11	1	0	1	4	75.98	70.18
	枚方	40	42	0	8	6	2	3	95.81	84.89
	門真	30	32	6	3	1	2	4	91.15	75.81
	交野	32	35	1	3	0	3	4	72.94	72.21
	香里園	15	16	0	1	0	1	4	87.50	71.88
	くずは	52	52	0	2	2	0	3	82.50	64.82
	守口	42	42	4	0	0	0	4	83.27	72.91
	守口イブニング	27	27	4	0	0	0	4	83.34	77.78
	小計	362	371	31	20	11	9		87.14	78.22
I M 第4組	東大阪	70	74	0	5	1	4	4	86.34	79.57
	東大阪中央	33	30	0	0	3	-3	4	87.32	84.50
	東大阪東	55	61	4	6	0	6	3	83.33	63.34
	東大阪みどり	30	27	0	0	3	-3	3	81.48	66.67
	東大阪西	31	32	0	1	0	1	5	96.98	71.01
	大阪柏原	30	31	2	1	0	1	3	94.03	86.93
	大阪ネクスト	19	18	7	0	1	-1	4	73.61	52.78
	八尾	60	60	0	2	2	0	4	74.68	74.20
	八尾中央	16	16	0	1	1	0	2	87.50	78.13
	小計	370	375	14	16	11	5		84.93	71.97

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	3月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第5組	大阪中央	46	50	6	6	2	4	4	91.50	77.15
	大阪堂島	28	30	1	2	0	2	4	88.33	80.00
	大阪北	197	191	0	9	15	-6	3	77.44	63.70
	大阪北梅田	50	52	4	4	2	2	5	72.66	63.67
	大阪西	75	76	0	2	1	1	5	86.56	81.00
	大阪大淀	36	39	0	3	0	3	4	92.75	81.16
	大阪リバーサイド	34	36	6	4	2	2	4	87.64	69.95
	大阪西北	49	51	0	3	1	2	4	88.48	79.66
	大阪そねざき	35	36	22	3	2	1	4	97.07	88.00
	小計	632	650	45	47	29	18		86.90	74.57
I M 第6組	大阪	257	268	1	20	9	11	3	74.34	58.42
	大阪東	117	120	0	9	6	3	4	93.30	77.37
	大阪東淀ちゃやまち	30	30	3	1	1	0	4	95.24	92.86
	大阪城東	43	42	5	2	3	-1	3	92.36	82.19
	大阪中之島	27	28	2	2	1	1	4	79.47	74.10
	大阪大手前	35	35	5	2	2	0	3	95.07	75.77
	大阪城北	49	46	3	2	5	-3	4	74.52	73.12
	大阪天溝橋	68	66	0	2	4	-2	4	79.00	76.41
	大阪鶴見	32	31	0	0	1	-1	4	79.35	77.56
	小計	718	729	23	45	34	11		86.21	78.61
I M 第7組	大阪フレンド	25	29	4	4	0	4	4	83.93	66.07
	大阪御堂筋本町	61	60	3	2	3	-1	4	85.32	73.34
	大阪南	144	155	0	18	7	11	4	84.99	73.25
	大阪難波	46	52	0	6	0	6	4	80.35	73.96
	大阪なにわ	25	25	3	2	2	0	4	92.78	77.08
	大阪南西	15	15	3	0	0	0	3	80.95	76.19
	大阪西南	98	101	21	5	2	3	4	94.26	74.26
	大阪船場	39	39	1	1	1	0	4	96.50	81.25
	大阪心斎橋	33	36	0	3	0	3	3	99.07	87.91
	小計	519	545	38	42	16	26		88.93	76.64
I M 第8組	大阪平野	32	30	2	1	3	-2	4	99.04	89.08
	大阪イブニング	14	14	3	0	0	0	4	76.79	60.71
	大阪城南	53	51	0	3	5	-2	3	95.74	90.11
	大阪咲洲	18	18	1	1	1	0	4	83.33	65.27
	大阪天王寺	56	57	0	2	1	1	4	84.29	74.18
	大阪帝塚山	53	52	4	2	3	-1	4	83.89	75.10
	大阪東南	50	49	0	1	2	-1	4	97.96	69.99
	大阪アーバン	23	25	7	4	2	2	4	94.00	87.00
	大阪みおつくし	34	27	15	5	12	-7	4	64.81	62.96
	小計	333	323	32	19	29	-10		86.65	74.93

合計	クラブ名	7月期初 会員数	月末会員 数	女性 会員 数	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均出席率	ホームクラブ 平均出席率
	83	3614	3689	236	219	144	75	86.7	76.2

文庫通信 (319号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演他より

- 「戦国を生き抜いた知恵」 細川護熙 2013 7p (D.2650 地区大会記念誌)
- 「はやぶさプロジェクトの成果・教訓」 川口淳一郎 2013 4p (D.2820 地区大会記録)
- 「日本人の持つべき国家観について」 渡部昇一 2013 11p (D.2520 地区大会記録誌)
- 「世界の人々のために」 緒方貞子 2013 5p (第11回日韓親善会議報告書)
- 「これからの両国のきずな」 山東昭子 2013 5p (第11回日韓親善会議報告書)
- 「軍艦『筑波』—偉大なる航海(上)(下)」 岡村 健 2013 23p (福岡南RC月報)
- 「『がんばらない』けど『あきらめない』」 鎌田 實 2013 1p (D.2840 地区大会報告書)
- 「これからの生き方」 山田法胤 2013 2p (D.2700 地区大会の記録)
- 「人が動き街が動く～私のリーダーシップ論」
セーラ・マリ・カミングス 2013 21p (D.2800 地区大会記念誌)
- 「平和と命」 深川純一 2013 20p (第35回青少年指導者育成セミナー報告書)
- 「掃除実践60年の『人生と経営の哲学』」 鍵山秀三郎 2014 10p (D.2710 地区大会特集号)

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

三 村 雄 太 郎 会 員 (枚 方 R C)

2014年3月15日 逝去 (享年75歳)

幹事、理事、ガバナー補佐、
IM実行委員長、米山奨学委員長、
ロータリー財団委員長、会員増強委員長

米山功労者 (マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

平 川 恵 一 会 員 (大 阪 北 R C)

2014年4月6日 逝去 (享年86歳)

会長、社会奉仕担当理事、会員選考委員長、
職業分類委員長、
地区環境資源委員長、地区幹事

米山功労者 (マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

お知らせ

■ビジターフィー変更

大阪大淀ロータリークラブ (2014年4月より)

現行：4,800円 → 変更後：5,000円
(大淀ランチ、ミリオンランチについては 現行通り3,500円)

大阪城東ロータリークラブ (2014年4月例会より)

現行：4,600円 → 変更後：4,800円

大阪東淀ちゃやまちロータリークラブ (2014年4月例会より)

現行：4,500円 → 変更後：4,600円 (軽食時の3,500円は変更なし)

■メールアドレス変更

新大阪ロータリークラブ

shin-osaka.rc@blue.plala.or.jp

■ホームページアドレス変更

箕面ロータリークラブ

<http://mino-orc.net/>

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 福家 宏
- 地区代表幹事 山田 正雄
- 地区副代表幹事 中井 敬和
- 担当地区幹事 吉本 憲司
- 担当地区幹事 山本与志弥
- 事務局長 栗正 久美

2013—2014年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー 福家 宏
地区代表幹事 山田 正雄
地区副代表幹事 中井 敬和
事務局長 栗正 久美
事務局員 春名 志保
奥田 純子
井上 望美

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

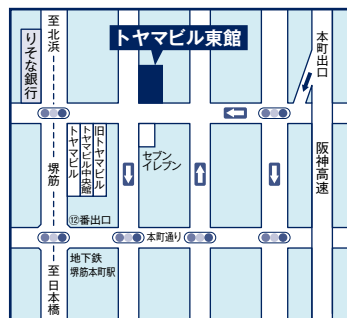
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。
最多 36名
詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー 第2660地区

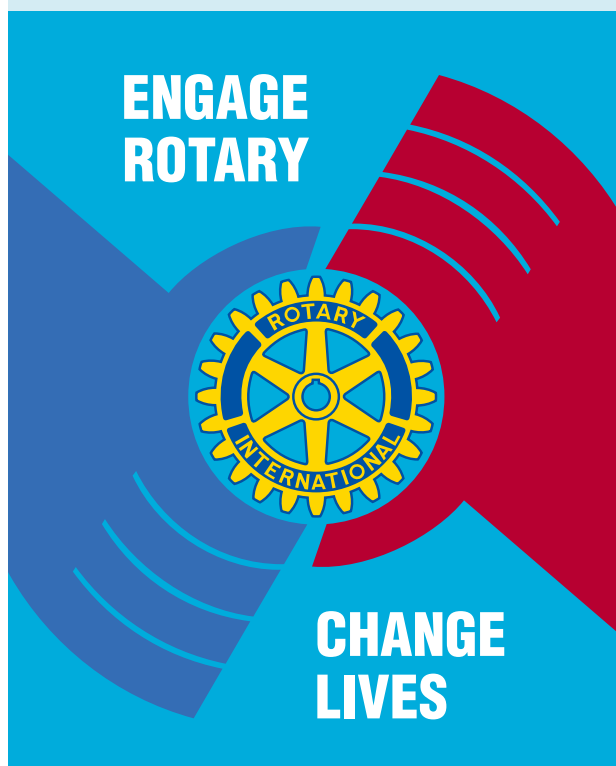
〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan
TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

2013 – 2014
June
vol. 12

6



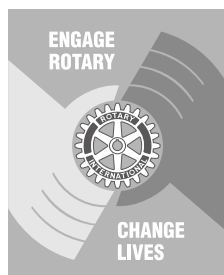
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信6月号

国際ロータリー 第2660地区
2013–2014年度ガバナー

福家 宏



2013-2014
**GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER**
June vol.12

CONTENTS

ガバナーメッセージ（ロータリー親睦活動月間）	1
PETS・地区チーム研修セミナー報告	2
第1組IM報告	3
第5組IM報告	4
社会奉仕委員長会議報告	5
米山奨学生オリエンテーション報告	6
安倍総理大臣を弊社にお迎えして	7
ロータリー財団情報	9
災害支援プロジェクト報告（第35回）	11
米山奨学委員会／ロータリー財団	13
2014年4月度 会員数・出席報告	14
文庫通信	15
敬弔／お知らせ	16

ロータリー親睦活動月間 ～奉仕を通じて親睦を～

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

福家 宏



R Iには「ロータリー親睦活動要覧」というものがあり、ロータリー親睦活動は、共通の職業や関心を持つロータリアンとその配偶者、そしてローターアクターから成る国際的なグループで、各グループによって独自に運営されています。その会員はロータリー親睦活動を通じて楽しみを分かち合い、国境を越えた親睦を深め、一層充実したロータリーの経験を味わうことが出来ます。と記載されています。親睦グループは結成にあたり、R Iの方針に従った上でR I理事会による審査を受けて公式認定を受ける必要もあります。そしてロータリー親睦活動は国際奉仕部門の活動として位置付けられています。

このようなことは、当地区内では余り知られておらず、グループ結成や参加という動きも無いのが実情かと思えます。ご興味のある方は、ウェブサイトでご確認下さい。そこで私は、本来の「ロータリー親睦活動」とは異なった立場で、ロータリアンの親睦について私の考えを述べたいと思えます。

田中作次直前R I会長年度のテーマは「奉仕を通じて平和を」でしたが、私はロータリー親睦活動月間にあって「奉仕を通じて親睦を」という呼びかけをしたいと思えます。この月間は単に親睦活動月間ではなくて頭にロータリーが付いているところが大切ではないかと思えます。ロータリーにおける親睦とは、単に飲食を共にしたり、ゴルフを楽しむことに終始するのとは少し違っていると思えます。

私自身の経験など浅いものでご披露するほどのことではないかも知れませんが、一例としてお示しをしてみ

たいと思えます。私の所属する八尾中央RCは2007-08年度から毎年タイで水プロジェクトを繰り返して来ました。その都度現地バンコクのロータリアンにお世話になり、5回目ともなるとお互いに随分親しみが増します。プロジェクトの成功を喜びながら、時には反省会みたいな時もありましたが、互いに盃を交わし食事を共にします。食事の際には冗談も飛び出し、実に和やかで楽しい時間となります。そしてこの時間は貴重な親睦の機会でもあります。この機会には、八尾中央RCの会員とバンコクのロータリアンの間だけでは無く、共にプロジェクトを実施した地区内の他のクラブのロータリアンとの間の親睦を深める機会ともなります。このような親睦の機会を通じてお互いに心が通じ合うことで、次のプロジェクトの立ち上げはとてもスムーズに運ぶこととなります。このような「親睦」こそ「ロータリーの親睦」では無いかと私は思います。

ロータリーは人と人との出会いの場を色々な形で提供してくれます。私たちはその出会いを大切に、その後のロータリー活動に活かすことを考えても良いのではないのでしょうか。

同じようなご経験をお持ちのロータリアンは多数おられることと存じます。と言うことは、同じお考えの方々も少なくないと思えます。しかし敢えてこのようなことを書かせて頂きました。最後に是非付け加えたいことがあります。皆様のクラブで新しく会員になられた方を、上述のような親睦の機会に是非とも参加させるように仕向けて頂きたいと私は常日頃から考えております。

PETS・地区チーム研修セミナー報告

次年度地区代表幹事

川上富清 (大阪帝塚山RC)

3月29日(土)、2014-15年度の為のPETS・地区チーム研修合同セミナーがハイアットリージェンシーホテルで開催されました。

第一部は午後一時、福家ガバナーの点鐘で開会。泉ガバナーエレクトが、ゲイリーC.K.ホアン2014-15年度RI会長の次年度RIのテーマ、および地区の次年度活動方針について説明されました。RI会長の掲げられたRIのテーマは「Light up Rotary、ロータリーに輝きを」です。暗闇で何もせず、闇を呪っているよりも、たとえ一本のローソクであっても灯りをともして前進しようではないか という孔子の教えを引用され、ロータリアン一人ひとりがローソクを灯せば、世界を光で輝かせることができるのです、と訴えられました。

これをうけて、泉ガバナーエレクトはRI第2660地区テーマとして「一人一人の輝きであなたの地域を輝かそう Light Up Osaka」を掲げられ、また、親睦は石垣 奉仕は城に例えて、ロータリーの運動の基本理念を説明されました。更に、今年度のRIテーマ実現の一つのたてとしてロータリーデーの実施を掲げられました。

続いて、ロータリー財団委員会、米山奨学委員会、危機管理委員会より報告があり、小島次年度地区財務委員長

より次年度地区予算について説明があり、第一部のプログラムを終了しました。

第二部はPETSと地区チーム研修セミナーが、別々の会場で開催されました。

PETSでは、まず地区研修リーダー井上PGから「クラブリーダーとしての役割」と題して、つぎに地区研修サブリーダー大谷PGより「クラブの輝きは会長から～会長としての基礎知識～」と題して講演をいただきました。その後、IM毎に分かれて、事前アンケートをもとにガバナー補佐エレクトの指導の元に会長エレクトの意見交換が活発に行われました。

地区チーム研修セミナーでは、まず地区研修サブリーダー岩田PGから「委員会の役割と責務」と題して講演をいただきました。その後、部門別に分かれてセミナーが開催されました。今回は、地区研修協議会での部門別協議を前提に、五大奉仕部門と財団、米山の7部門に分かれて研修が行われ、後半では地区研修協議会での研修の進め方について協議がもたれました。

セミナー終了後、再度会場に集合し、立野GN、松本GNDからの挨拶があり、泉GEから総括・閉会挨拶があって、福家Gの閉会点鐘で無事、全てのプログラムを終了致しました。



第1組インターシティ・ミーティング報告

箕面RC 会長

上島一彦

テーマ：グローバル人材を育てる

R1第2660地区第1組IMに、ご多忙の中をご参加賜り、ホストクラブを代表して感謝申し上げます。

さて、一般的な日本人は中学・高校・大学と10年間も英語教育を受けていますが、その英会話力は極めてお粗末な状況です。

欧米先進諸国では多言語が飛び交い、殆どの人が普通に2～3か国語を話しているほか、最近では近隣アジア諸国の学生達も、かなり流暢な英会話力を身に付けています。

多くの日本人が英会話に馴染んでいない理由として、普段から日本語のみで不自由は無く、英語を使う必要性が乏しいことや、従来の英語教育が「読む、聞く、書く、話す」の4技能にバランス良く取り組んで来なかった事などが挙げられます。

特別講演の講師である中原徹氏は、日本で弁護士を経

験した後、米国のロースクールに留学、現地の大手法律事務所でも共同経営者を務める等、国際社会に生きる職業人としての手腕を高く評価された方です。

その後、府立和泉高校では、最年少の民間校長として、3年間勤め、プレゼンテーション力を養成する授業、平和と国防を考える授業、近現代史教育など、教育界のタブーに挑戦し、日本人としての誇りを持つ「グローバル人材の育成」に御尽力されました。

大阪府の教育長に就任後、全国最下位レベルの大阪の教育力を立て直し、「使える英語プロジェクト事業」など、英語教育改革の推進に、現在も力強く取り組んでおられます。

また、懇親会では気分を変えて、大阪大学ペリーダンスサークル・ハラワートによる、華麗で洗練されたステージをお楽しみ頂きました。



第5組インターシティ・ミーティング報告

大阪中央RC 会長 **辻川功一**
IM実行委員長 **笹木秀雄** (大阪中央RC)

テーマ：一人一人がロータリーを実践し感動しよう!!
～クラブ活性化のための戦略計画、あなたのクラブは?～

ホストクラブ：大阪中央ロータリークラブ

日時：2014年4月5日(土) 14:00～18:00

場所：ホテルグランヴィア大阪

出席者：179名

今年度の第5組IMは「ロータリー情報や奉仕活動について話し合うとともにIM所属会員相互の親睦をはかる」という原点回帰のインターシティミーティングにしようと、事前に各クラブにアンケートを実施し、資料の提供などのご協力を頂きました。暗中模索ではありましたが、当日は多数の皆様が参加を得て、主催者福家ガバナーの点鐘により開会致しました。

本会議の第一部では「クラブ活性化への取り組み」として成果を上げておられる3クラブ(大阪北RC、大阪リバーサイドRC、大阪ユニバーサルシティRC)のクラブ会長によるプレゼンテーションにより、奉仕活動や感動体験をビデオや映像で紹介して頂き、その後朝日放送アナウンサーによるインタビューで、より詳しくお話し頂きました。

第二部では「活力あるクラブ作りと戦略計画」をテーマにディスカッションを行いました。川崎壽ガバナー補佐をモデレーターに、12クラブの会長から最近の奉仕プロジェクトによる感動体験や会員増強、例会運営、

例会出席率向上などについて報告を頂きました。ステージ前面のスクリーンに発言者の顔を映し出すという手法を使い、客席にも臨場感を伝えました。各会長のお話は解りやすく、近隣クラブの状況を知り、情報交換し合う有意義な企画であったと思います。

引き続き行われた懇親会では横山PGの紹介により泉GE、松本GNDからスピーチを頂きました。

また、緒方満IM第5組ガバナー補佐エレクトおよび12クラブの会長エレクトにご登壇いただき、次年度の抱負をお聞き致しました。最後に福家ガバナーより「今回のIMに新鮮さを感じた」とのお言葉をいただきました。

当日配布のプログラム冊子には、式次第のほか12クラブの各会長方針と各クラブの最近の活動報告を紹介するとともに「IM第5組活力あるクラブづくりのためのアンケート」の集計結果を掲載しました。

開催にあたりご協力いただきました各クラブの皆様には改めまして、こころから感謝申し上げます。



第2回クラブ社会奉仕委員長会議報告

社会奉仕委員会 委員長

西宮富夫 (箕面RC)

2014年4月26日(土) 2時より、大阪科学技術センターにて第2回クラブ社会奉仕委員長会議を開催し、成功裏に終了いたしましたことをご報告いたします。

まず、福家宏ガバナーより、ロータリークラブは毎年単年度で完了する社会奉仕プロジェクトを義務付けられています。地域のニーズに真に込んでいる社会奉仕は、受益者に喜びと感動を与えることができ、認知度の向上や会員増強にもつながり、そのまま会員研修であるといえることから、ロータリー戦略計画の3つの優先事項(クラブのサポートと強化、人道的奉仕の重点化と増加、公共イメージと認知度の向上)のいずれにも関わるとの激励のご挨拶をいただきました。

次に第2520地区復興支援特別委員会委員長・地区研修リーダーの笹氣光祚バスターには「震災復興その後」について講演していただきました。まず「震災後の宮城県の経済情勢」というテーマで全体的にお話ししていただき、その後多くの話題にふれられましたが、現在、被災地では子供新聞を作る、高齢者の話し相手になるなどのいろんなボランティアが活発ですが、資金不足のことが多いので、ロータリーの社会奉仕活動として共同で行うことも考えているとのことでした。

なお、震災後3年経った今は、ちょうどメチャクチャになった家の中を片づけ、これから家を昔のように直すのか、改造して一新するのがいいのか、考えているところで、これからもまだまだ支援していただきたいとお

話でした。

第2660地区補助金小委員会委員長・災害支援プロジェクト委員会副委員長の宮里さまには当地区の災害支援について講演していただきました。現在地区災害復興基金は100万円ほどになっており、東日本大震災の支援プロジェクトにはロータリー財団の地区補助金を主に活用していただきたいとお話がありました。

第3ゾーンロータリーコーディネーター・当地区研修リーダー井上バスターには「決議23-34(社会奉仕に関する1923年の声明)」について講演していただきました。1918年ごろから理論派と行動派の大論争があり、ロータリー分裂の危機もあったが、この危機を救ったのが1923年セントルイス国際大会にナッシュビルクラブが提案した第34号の決議であり、歴史的な価値をもつとのことでした。また、ロータリーの「奉仕の1世紀」には1923年の画期的な出来事として、決議案34号を採択し、奉仕プロジェクトに関するクラブの自立性についてのロータリーの方針を確立したことが記述されているとのことでした。

最後に泉博朗ガバナーエレクトから会議の総括していただきました。その中で東日本大震災を風化させないようクラブ社会奉仕委員長の皆様に激励がありました。また、クラブの社会奉仕活動に若い人の支援がほしい場合、ロータリーサポートシステムを活用してほしいとのことでした。



講演者：
RⅠ第2520地区復興支援特別委員会委員長
笹氣光祚バスター

米山奨学生 オリエンテーション報告

米山奨学委員会 委員

口野 孝 (大阪東RC)



日 時：2014年4月8日(火)

会 場：ヴィアール大阪

参加者：泉ガバナーエレクト、若林地区米山奨学部門顧問、立野ガバナーノミニ一、磯田地区研修委員、西谷地区米山奨学委員会委員長、近藤地区米山奨学委員会副委員長、福田地区米山奨学委員会副委員長、地区委員、米山学友、新規米山奨学生、世話クラブ米山委員長、カウンセラー、次年度米山奨学委員会委員、西本地区青少年活動委員長、西垣ライラ実行委員長 他

本年度の米山奨学生として選考委員会に合格した奨学生を対象に、新年度最初の行事であるオリエンテーションが開催されました。最初に、若林米山奨学部門顧問による開会の挨拶がありました。皆さんは、3倍近い競争の中から選ばれた優秀な奨学生であり、米山奨学の理念である勉学に勤しみ、そして日本を理解し、母国との関係がより一層良化され、引いては世界の平和に貢献できる人材に成長して頂きたいとお話があり、続いて各テーブルごとに、世話クラブの紹介と奨学生の自己紹介等があり、その後、各クラブを経由して委員会へ提出する確約書の作成をして正式に米山奨学生として誕生しました。

続いて、西谷委員長から奨学生に対し、本年度は25名の新奨学生と継続の12名合計37名の奨学生が本年度の支援をさせていただきます、皆さんは米山奨学会の心得、米山奨学会の意義、そして将来のロータリアンとして世界平和に貢献して貰いたいとお話と、この奨学金はロータリアン1人1人が自分のポケットマネーから寄付しているのであり、良く理解し有効に役立ててもらいたいとお話がありました。その後地区青少年活動委員会からRYLAのお知らせがあり、質疑応答の後、第一部

は終了し、会場を移動し、第2部のオリエンテーションのスタートです。

第2部は、泉ガバナーエレクトの発声による乾杯でスタート、米山記念奨学事業の意味、米山は日本独自の組織であり、日本の中の34地区が支援をしており、民間では日本最大の奨学生支援制度であり、米山梅吉さんは、平和日本を世界への、信念でいろんな分野に寄付をして貢献されているとお話があり、その後いよいよ、懇親会が始まりました。お寿司、おそば、洋食の数々とアルコールも入りそれぞれのテーブルで話が盛り上がり、奨学生も緊張から解放され、お世話役の各クラブのカウンセラーの皆さんと打ち解けられ会場も最高潮の盛り上がりになりました。

続いて、奨学生の自己紹介並びに将来への抱負、希望等の発表が力強くなされました。新入生の発表が一通り終了後は飛び入りで、継続生が1人ずつ壇上で経験談を話しておりました。

その後、米山奨学生学友会会長、何玉翠氏より学友会の説明と勧誘の説明があり、最後に近藤副委員長からの閉会のあいさつでオリエンテーションが無事終了となりました。



安倍総理大臣を弊社にお迎えして

株式会社興国鋳鋼所

村橋義晃 (大阪中之島RC)

弊社来訪の詳細が正式確定したのは、来訪日2日前の4月16日。

本年3月頃から近畿経済産業局のヒアリングを何度か受け、業界の現況や問題点等、私見を含めてお話してきました、この頃から水面下での準備が進められていた様です。

何度かのヒアリングの答えは何時も同じ内容でしたが、経済産業局の担当課長から「経済産業局の上層部に直接お話して下さいますか?」と、そして、4月4日に近畿経済産業局長が来社され、同じ持論をお話させて頂いたところ「今の内容を直接、政府要人にお話して頂けますか?」「その政府要人は安倍総理です」「総理の大阪入りは極秘扱いです、又、直前まで変更の可能性があります」「くれぐれも他言無きようにお願いします」等の会話の後、準備が一気に進んでいく事になりました。

4月11日には、経済産業省、中小企業庁、近畿経済産業局、大阪府警警備本部、西淀警察署等、総勢約20名との事前打合せを行い、それから連日、現場確認、構内動線確認、車両動線確認等があり、現職の総理大臣が民間企業を訪問するということが如何に大掛りな事か、初めて間近で見る展開に興味深々、好奇心が湧き立ちました。

当初、弊社の滞在時間は30分間の予定でしたが、4日前に20分間に変更、2日前には、15分間に短縮、移動時間や警備上の問題で、分刻みのスケジュールは直前まで確定されませんでした。

当日の警備要員は、首相官邸SP5名、大阪府警警備本部から約20名、所轄の西淀川警察署から約40名、随行者は、中小企業庁長官をはじめ、経済産業省、近畿経済産業局等から約10名、報道関係者が約20名、そして、地元大阪の自民党代議士、自民党大阪府議、市議等、総勢100名を超える来訪者で弊社周辺は騒然とした雰囲気でした。

そして、定刻3分前の15時57分に前後7台の車列中央の総理専用車が到着、出迎えた私に握手を求められ「村橋さん、今日はお世話になり、有難うございます」とご挨拶頂き、真っすぐ工場内へ、与えられた15分間、安

倍総理と一対一の対話が始まりました。

対話は、以下の3点をテーマに稼働中の工場を背景に立ち話で行いましたが、何処まで踏込んだ話をして良いのか、限られた時間内に全ての話が出るのか、様々な思いが交錯した15分間でした。

対話は、立ち話故に非常に近い間合いで行われましたが、謙虚な姿勢でお聞き頂き、良く理解して下さったと思います。又、私の言葉が過ぎた感もありましたが、心地よい良い内容ばかりの対話よりは、印象に残る企業視察をして頂いたかと思えます。

爽やかで気さくなお人柄に接し、生涯に二度と無い貴重な体験をさせて頂きました。

そして、この機会を与えて下さった所轄官庁の関係各位に感謝申し上げます。

3点のテーマ要旨

①電力問題

昨年4月から関西電力の値上げが実施され、弊社の場合、特別高圧電力の契約にて2万ボルトを受電する電力多消費型産業であり、電力料金が売上高の10%を超える事態となり、収益を圧迫している。又、電気炉において金属を溶解する初期工程では、短時間に多大な電力消費を伴い、この間のピーク電力が基本料金に反映され、電力料金の内、基本料金が6~7割を占める異様な料金体系となっている。

国内電力会社は、需要家の業態に適した選択可能な多様性有る契約メニューを提供する必要が有り柔軟な電力政策をお願いしたい。

これらの電力問題に対して、総理からは更なる自由化を含め柔軟な電力政策を進めていきたいとのコメントがありました。

②人材問題

製造業の職場が3K(危険、汚い、きつい)の職場と言われ、若者の製造業離れが続いているが、最近の人手不足と相乗して求人難が顕在化、人材の確保が益々困難となり、将来への固有技術継承、技能伝承の障壁となって

いる。

少子高齢化、生産人口の減少が国内問題として顕著となり、既成の国内人材需給のみでは、国内生産能力の低下が懸念される。

この問題に対しては、女性の活用、技能や経験が豊かな高齢者の活用、そして外国人実習制度の緩和等を進めていくとの見解を示されました。

③中小製造業の現況

アベノミクス効果により、大手企業を中心に収益状況が急回復しているが、関西の中小企業、特に基礎産業である素材材メーカーは厳しい業況から好転していない。

大手企業と中小企業との業績回復時期には、時間差があると思われるが、回復の実態が反映された大手製造業

と回復が遅れている中小製造業の二極化が顕著になっている。

国内産業の基盤となっている中小企業の弱体化は、我国の産業構造の根底が崩壊するリスクを含んでいる。

これらの現況をお聞きになり、我国の産業基盤である中小企業の重要性を改めて認識したと述べられました。

以上の対話シーンの一部は、首相官邸ホームページに動画にてアップされています。下記URLをご参照下さい。

<http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg9706.html?c=01&a=1>

http://www.youtube.com/watch?v=VlqViimY_WM

安倍首相が、先週18日、来阪し中小企業を訪問した。女性の社会での活躍を推進する安倍首相は、出産などで離職した女性の職場復帰を積極的に引き、昨年経済産業省の「ダイバーシティ経営（性別や国籍などの異なる多様な人材を活用する経営）企業100選」に選ばれた天産産業（本社・大阪市住之江区、社長・樋口友夫氏）を視察した。同社では20分ほど滞在し女性社員と懇談。安倍首相は大学卒業後、3年間、神戸製鋼所に勤務していただけに樋口社長が工場内案内する一鉄鋼業界の用語を

安倍首相、関西の中小企業視察

天産産業で女性社員と

久しぶりに聞き、思い、影響や、ものづくりの基礎産業である中小製造業の現状などについて視察した。村橋社長と会談。関西地区の中小ものづくり企業は、景気回復の実感に乏しい。大手との二極化している。また、求人難や技能継承問題なども改善できず、このままでは賃上げを実施した大手企業との格差は広がる「一方だ」という村橋社長の声に耳を傾けた。

その後、門真市で会見した安倍首相は「日本経済を支えているのは中小企業だ」と実感した。村橋社長と懇談した。村橋社長は「景気下支えに取組む考えを強調した」。

天産産業
女性社員の積極活用や
興国製鋼所
大手との2極化実態など

興国製鋼所で村橋社長と

興国製鋼所
天産産業
女性社員の積極活用や
興国製鋼所
大手との2極化実態など



鉄鋼新聞 2014年4月22日付 3面

ロータリー財団情報

ロータリー財団委員会 委員長

溝畑正信 (東大阪東RC)

シェア会議報告

2014-15年度のためのDDFシェア会議が2014年3月25日、福家ガバナー、泉ガバナーエレクト、本年度及び次年度地区財団部門各小委員会委員長、グループリーダー、西宮地区社会奉仕委員長、栗原地区国際奉仕委員長、安井次年度地区国際奉仕委員長、溝畑地区財団委員長が出席し、ガバナー事務所会議室において開催されました。

2014-15年度に使用できる資金は、寄付に基づくDDFが\$319,687.11(3年前の年次基金、これに恒久基金収益約\$20,000、2013-14年度の繰越金予想額約\$40,000が加算された金額となります。

支出として、寄贈分野でポリオに\$10,000.00、ロータリー平和センターに\$10,000.00、DG1518887(地区補助金)に\$171,209.00、GG・奨学生のためのDDFに\$50,000.00、GG・人道的国際奉仕のためのDDFに\$100,000.00、GG・VTTのためのDDFに\$20,000の配分が決まりました。

第2660地区 2013-14年度

ロータリー東日本震災復興基金補助金承認

1. 大阪リバーサイドRC

実施場所：宮城県本吉郡南三陸町歌津中山34
名足小学校グラウンド

プロジェクト内容：小学校へ物置小屋2棟の寄贈

大阪リバーサイドRC 拠出金額：¥62,360

補助金承認金額：¥512,360

2. 大阪船場RC

実施場所：岩手県遠野市

プロジェクト内容：活動用中古車の寄贈

大阪船場RC 拠出金額：¥500,000

補助金承認金額：¥800,000

3. 大阪うつぼRC

実施場所：宮城県名取市閑上地区

プロジェクト内容：「閑上復興だより」事務局本部
立ち上げの為に備品の寄贈

大阪うつぼRC 拠出金額：¥100,000

補助金承認金額：¥400,000

4. 大阪東RC

実施場所：宮城県気仙沼市唐桑只越

プロジェクト内容：只越地区高台移転に伴う
バス停屋根の設置

大阪東RC 拠出金額：¥500,000

補助金承認金額：¥2,000,000

財団ゾーン研修報告

2014-15年度ロータリー財団ゾーン・チーム研修が2014年3月22日(土)、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されました。

全体会議：13:00~15:00

ゾーンチーム研修：15:00~17:00

懇親会：18:00~19:30

全体会議では、

1. 次年度財団目標と資金推進の重要性

第2ゾーンRRFC 江崎柳節

2. グローバル補助金事業

2-1. 財団奨学生の派遣 RI 第2650地区

ロータリー財団委員長 大塚紀夫

2-2. デンタルVTTの派遣 RI 第2500地区

VTTチームリーダー 森山昌彦

2-3. 人道的プロジェクト RI 第2660地区

ロータリー財団委員長 溝畑正信

3. 地区補助金事業

RI 第2770地区

ロータリー財団部門委員長 井原 實

4. 財団の使命と地区補助金の用途との関係

RI 第2710地区 ロータリー財団委員長 伊賀訓之

5. E/MGAの役割

第2ゾーン E/MGA 田中徳兵衛

その後、1~3ゾーン別にゾーンチーム研修が行われ、

①補助金管理セミナー

- ②地区補助金の審査方針
- ③グローバル補助金のオンライン申請について
- ④基金推進の重要性について
- ⑤寄付ゼロクラブをなくすには
- ⑥ロータリーカードの普及
(カード・コーディネーター)
- ⑦EPNの最新情報(ポリオ撲滅コーディネーター)
- ⑧ロータリー平和フェロー
(ホストエリアコーディネーター)

その後、懇親会が開催されました。

第2660地区溝畑正信財団委員長(東大阪東RC)は全体会議において「人道的国際奉仕活動 グローバル補助金申請のヒント」で講演しました。

<ポリオ症例数> 2014年5月6日現在のポリオ症例数

	2014年1月1日~5月6日	2013年(通年)	
パキスタン	59	93	
アフガニスタン	4	14	
ナイジェリア	2	53	
エクアトリアルギニア	3	0	
ポリオ常在国以外	イラク	1	0
	カメルーン	3	4
	ソマリア	0	194
	シリア	1	35
	エチオピア	1	9
	ケニア	0	14
	世界合計	74	416

【バリ共同】

世界保健機関(WHO)は5月5日、パキスタンやシリアなど10カ国でポリオの感染が拡大傾向にあり、国境を越えて広がるケースも出ているとして「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言、各国に予防接種の徹底など警戒を呼び掛けた。

WHOによると、13年のポリオの感染者は世界で416人。今年には既に74人が感染し、うち多くがパキスタンでの感染という。

今年に入り、パキスタンからアフガニスタン、シリアからイラク、カメルーンから赤道ギニアに国境を越えて感染が広がるケースがみられた。

WHOは「このままでは、ポリオ根絶は失敗に終わる」と警告、国際社会が連携して問題に取り組むよう訴えた。

災害支援プロジェクト報告 (第35回)

災害支援プロジェクト委員長

高島凱夫 (大阪中之島RC)

1. 災害支援プロジェクト寄付送金口座

りそな銀行 大阪営業部 普通 1527285

口座名義：第2660災害支援 会計 片岡基博

(ダイニロクロクゼロサイガイシエン カイケイ カタオカモトヒロ)

2. 災害支援地区基金の状況 (2014年5月15日現在)

【収入】

(単位:円)

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備考
1	前月からの繰越	3,375,580	
34	茨木RC	50,000	
	合計	3,425,580	

【支出】

(単位:円)

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備考
15	茨木RC 東北心のケアプロジェクト	500,000	地区基金申請No.59
16	振込手数料	400	
17	大阪西南RC 石巻湊地区高齢者被災障害児童への教育支援	400,000	地区基金申請No.60
18	振込手数料	400	
19	大東中央RC 女川小学校 ICT機器支援	225,500	地区基金申請No.61
20	振込手数料	100	
21	第2660地区 第2520地区 被災地大船渡漁港に軽トラック2台寄贈	570,000	地区基金申請No.62
22	振込手数料	400	
	合計	1,696,800	

【残高】

(単位:円)

預金残高	1,728,780	2014年5月15日現在
------	-----------	--------------

3. 災害支援の報告

プロジェクト概要 茨木ロータリークラブ

プロジェクト名：東北 心のケアプロジェクト

実施場所：茨木市青少年野外活動センター及び大阪市内観光

実施期間：2014年8月9日～12日(見込み)

受益者：石巻に住む小学生(高学年)20名

概略：親、兄弟、姉妹を亡くされた小学生を対象にして“心のケア”を行う。茨木市青少年野外活動センターにて、茨木市の小学生と共にキャンプ等を通じて交流を図り、東日本大震災への認識と各プログラムを通じた経験を活かして被災者達に今後の人生に活かしていただく。

プロジェクト概要 大阪西南ロータリークラブ

プロジェクト名：石巻市湊地区被災高齢者並びに被災障害児童への教育支援

実施場所：宮城県石巻市湊町3-5-7-105 ものづくり工房 COCOA

実施期間：2014年9月25日～10月19日（見込み）

受益者：石巻市湊地区在宅被災者約200名及び被災障がい児童とその家族約20名

概略：行政の復興支援の進む中、石巻市湊地区では在宅被災者が多く居住し、中でも高齢者や障がい児とその家族が残された地区でもあります。「ものづくり工房 COCOA」は、彼らのコミュニティーの場が欲しいとのニーズに対応して、場の提供と支援活動をしています。今回の支援活動は、ご高齢者や障害児に対しての書籍の寄贈や活動維持のための広報ツールであるPCを提供することで、被災者目線での復興支援活動を行いたい。

プロジェクト概要 大東中央ロータリークラブ

プロジェクト名：宮城県牡鹿郡女川町立女川小学校 ICT 機器支援

実施場所：宮城県牡鹿郡女川町立女川小学校

実施期間：2014年5月20日～6月10日（見込み）

受益者：宮城県牡鹿郡女川町立女川小学校児童282人＋今後入学する児童

概略：震災による子ども達への心身への影響が、学習意欲の低下をきたし、学力の低下をもたらすことが懸念されています。ICTを導入した授業展開をすることにより、理解力と授業への関心を高めることができる。

プロジェクト概要 RID2660 災害復興支援プロジェクト委員会

プロジェクト名：被災地大船渡漁港に軽トラック2台寄贈

実施場所：岩手県大船渡市赤崎町字蛸ノ浦68

実施期間：2014年4月末～6月（見込み）

受益者：大船渡漁業組合に所属する漁業従事者

概略：現在、漁協の組合員や漁民が負担している保冷用氷の運搬、および海中から撤去した瓦礫の輸送手段として軽トラックを寄贈し、一日も早い漁協復興を支援する。

当該プロジェクトは、併せてロータリー財団東日本震災復興基金を申請するものである。

米山奨学委員会／ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2014年 3月末	全国寄付金合計額	1,127,021,135円	(前年同期比2,094万円増)
	第2660地区寄付金合計額	70,301,750円	(前年度比10.75%増)
	全国寄付合計トップ10		
		1. 第2650地区	80,035,221円
		2. 第2660地区	70,301,750円
		3. 第2750地区	68,400,452円
		4. 第2760地区	61,221,545円
		5. 第2590地区	56,818,430円
		6. 第2770地区	53,919,950円
		7. 第2580地区	49,688,650円
		8. 第2820地区	39,966,500円
		9. 第2780地区	39,082,570円
		10. 第2620地区	37,929,378円

米山功労者 次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2014年3月)

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
丸山 和豊	1	守口イブニングRC	作本 貞子	2	大阪城東RC	市田 芳一	4	大阪心齋橋RC
金丸 大介	1	守口イブニングRC	岡部 倫正	1	大阪城南RC	高島 凱夫	10	大阪中之島RC
後藤 正伸	2	守口イブニングRC	西宮 祥行	1	大阪心齋橋RC			

米山功労クラブ 次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2014年3月)

クラブ名	回数	クラブ名	回数
大阪心齋橋RC	32	大阪中之島RC	13

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2014年3月)

氏名	クラブ名	氏名	クラブ名	氏名	クラブ名
檜皮 悦子	大阪中之島RC	辻 光次郎	大阪帝塚山RC	川口 清	寝屋川RC
博多 尚文	守口RC	山中 昇司	守口イブニングRC	小倉 雅男	寝屋川RC
塩中 一成	大阪帝塚山RC	元古 隆司	守口イブニングRC		

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2014年3月)

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
北村 公一	1	豊中RC	江端 将哲	1	守口RC	清川 忠義	1	大阪帝塚山RC
横田 広司	1	豊中RC	早原 瑛	2	大阪帝塚山RC	後藤 正伸	1	守口イブニングRC
簡 仁一	5	茨木RC	西田 敦宜	4	大阪帝塚山RC			
辻村 弘	3	守口RC	武田 秀孝	3	大阪帝塚山RC			

ベネファクター 次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2014年3月)

氏名	クラブ名
広瀬 芳和	大阪鶴見RC

2014年4月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	4月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第1組	池田	37	38	2	1	0	1	4	73.61	70.14
	池田くれは	28	30	1	3	1	2	4	87.84	86.77
	箕面	25	28	2	3	0	3	4	88.68	85.58
	箕面千里中央	21	23	0	2	0	2	4	91.11	89.55
	豊中	45	46	4	2	1	1	3	71.11	64.44
	豊中南	28	29	2	2	1	1	3	84.40	74.29
	豊中-大阪国際空港	20	20	0	1	1	0	4	75.46	75.46
	豊中千里	39	37	3	1	3	-2	4	90.63	79.39
	小計	243	251	14	15	7	8		82.86	78.20
	I M 第2組	茨木	25	27	3	2	0	2	4	88.23
茨木東		39	40	4	2	1	1	4	76.64	61.55
茨木西		28	28	6	0	0	0	4	88.89	75.89
千里		38	39	0	1	0	1	4	80.77	70.96
千里メイプル		22	22	2	1	1	0	4	95.18	86.75
摂津		37	37	2	0	0	0	4	81.34	76.78
吹田		60	59	10	3	4	-1	4	97.78	88.92
吹田江坂		34	33	2	0	1	-1	4	97.49	82.37
吹田西		47	50	2	3	0	3	3	100.00	88.35
高槻		51	51	6	2	2	0	4	82.94	76.95
高槻東	36	38	2	2	0	2	4	91.00	82.82	
高槻西	20	21	0	1	0	1	4	96.43	82.14	
小計	437	445	39	17	9	8		89.72	79.19	
I M 第3組	大東	42	42	0	1	1	0	4	100.00	90.41
	大東中央	28	29	11	1	0	1	4	87.49	79.16
	枚方	40	43	0	9	6	3	4	92.32	84.17
	門真	30	32	6	3	1	2	4	91.13	83.07
	交野	32	35	1	3	0	3	4	85.53	73.95
	香里園	15	16	0	1	0	1	4	87.50	68.75
	くずは	52	52	0	2	2	0	4	79.73	62.57
	守口	42	41	4	0	1	-1	4	76.13	68.60
	守口イブニング	27	27	4	0	0	0	4	86.12	70.37
	寝屋川	42	42	5	1	1	0	4	95.84	76.79
四條畷	12	12	0	0	0	0	3	93.94	93.94	
小計	362	371	31	21	12	9		88.70	77.43	
I M 第4組	東大阪	70	75	0	6	1	5	4	86.40	78.80
	東大阪中央	33	30	0	0	3	-3	4	88.83	77.58
	東大阪東	55	61	4	6	0	6	4	86.39	73.74
	東大阪みどり	30	27	0	0	3	-3	4	77.78	68.52
	東大阪西	31	32	0	1	0	1	4	94.33	63.40
	大阪柏原	30	31	2	1	0	1	4	92.17	87.86
	大阪ネクスト	19	18	7	0	1	-1	4	72.22	51.39
	八尾	60	60	0	2	2	0	4	75.18	72.39
	八尾中央	16	16	0	1	1	0	4	88.65	78.85
	八尾東	26	26	1	0	0	0	4	79.17	71.78
小計	370	376	14	17	11	6		84.11	72.43	

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	4月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第5組	大阪中央	46	49	6	6	3	3	4	91.97	77.63
	大阪堂島	28	30	1	2	0	2	4	81.25	65.17
	大阪北	197	191	0	9	15	-6	4	75.18	64.46
	大阪北梅田	50	52	4	4	2	2	3	76.47	66.67
	大阪西	75	76	0	2	1	1	3	87.96	81.34
	大阪大淀	36	39	0	3	0	3	4	88.19	79.86
	大阪リバーサイド	34	36	6	4	2	2	4	87.88	75.67
	大阪西北	49	51	0	3	1	2	4	89.58	80.91
	大阪そねざき	35	36	22	3	2	1	4	98.60	83.65
	大阪梅田	25	23	1	0	2	-2	4	90.35	78.48
大阪梅田東	25	35	0	12	2	10	4	87.60	72.71	
大阪ユニバーサルシティ	32	35	5	3	0	3	3	82.83	79.80	
小計	632	653	45	51	30	21		86.49	75.53	
I M 第6組	大阪	257	269	1	22	10	12	4	76.65	58.96
	大阪東	117	120	0	9	6	3	4	94.65	78.09
	大阪東淀ちゃやまち	30	30	3	1	1	0	4	85.71	71.43
	大阪城東	43	42	5	3	4	-1	4	85.63	78.74
	大阪中之島	27	28	2	2	1	1	4	90.73	75.92
	大阪大手前	35	34	5	2	3	-1	4	88.75	74.72
	大阪城北	49	47	3	3	5	-2	4	80.75	74.90
	大阪天溝橋	68	66	0	3	5	-2	4	80.83	79.12
	大阪鶴見	32	31	0	0	1	-1	4	79.54	71.83
	大阪淀川	28	30	3	3	1	2	4	97.49	83.02
新大阪	32	34	1	3	1	2	4	91.18	88.24	
小計	718	731	23	51	38	13		86.54	75.91	
I M 第7組	大阪フレンド	25	28	4	4	1	3	4	91.74	78.11
	大阪御堂筋本町	61	60	3	2	3	-1	4	87.28	75.88
	大阪南	144	156	0	19	7	12	4	85.01	73.07
	大阪難波	46	52	0	6	0	6	3	89.65	80.71
	大阪なにわ	25	25	3	2	2	0	4	90.66	84.49
	大阪南西	15	15	3	0	0	0	4	85.71	85.71
	大阪西南	98	100	21	5	3	2	4	94.58	71.29
	大阪船場	39	40	2	2	1	1	4	96.00	83.75
	大阪心斎橋	33	38	0	5	0	5	4	97.35	84.36
	大阪うつぼ	33	33	3	1	1	0	4	93.95	85.57
小計	519	547	39	46	18	28		91.19	80.29	
I M 第8組	大阪平野	32	30	2	1	3	-2	4	100.00	84.82
	大阪イブニング	14	14	3	0	0	0	4	87.23	77.88
	大阪城南	53	52	0	4	5	-1	4	94.75	90.53
	大阪咲洲	18	17	1	1	2	-1	5	75.55	66.66
	大阪天王寺	56	57	0	2	1	1	4	86.86	80.61
	大阪帝塚山	53	52	4	2	3	-1	4	86.86	75.36
	大阪東南	50	50	0	3	3	0	4	96.00	65.83
	大阪アーバン	23	25	7	4	2	2	4	93.00	88.00
	大阪みおつくし	34	28	16	6	12	-6	4	67.85	65.26
	小計	333	325	33	23	31	-8		87.57	77.22

合計	クラブ名	7月期初 会員数	月末会員 数	女性 会員 数	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均出席率	ホームクラブ 平均出席率

文庫通信 (320号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

- 「ロータリー活動で感じたこと」 田中作次 2014 5p (D.2550月信)
- 「日本ロータリーの精神伝統 その1・2」
深川純一 伊丹R.C. 2010 2p (純ちゃんのコーナー Part IX)
- 「ロータリーの伝統 その1～3」
深川純一 伊丹R.C. 2013 3p (純ちゃんのコーナー Part XII)
- 「少会員クラブの運営に思うこと」 安孫子貞夫 2014 1p (D.2800月信)
- 「ロータリアンその使命と魅力」 大迫三郎 2013 3p (D.2730月信)
- 「ロータリーの原点とは？」 本田博己 2013 3p (D.2840月信)
- 「ロータリー理解推進月間によせて“温故知新”奉仕の理想など」
諏訪昭登 2014 1p (D.2710月信)
- 「ロータリー・ファミリーの素晴らしさ」 飯村慎一 2013 1p (D.2550月信)
- 「あの素晴らしいMR.ハリスと世界を変えたそのクラブ」 R.I. 肥爪彰夫訳 2012 15p
- 「驚くべきポリオの話！(ロータリーの冒険)」 R.I. 肥爪彰夫訳 2013 15p

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

お知らせ

■2016年度規定審議会の代表議員及び補欠代表議員変更

2014年2月22日(出)、国際ロータリー第2660地区の2013-14年度地区大会本会議において、2016年規定審議会の代表議員としてバスタガバナー 新谷秀一氏、補欠代表議員としてバスタガバナー 横山守雄氏を選出することを決議いたしました。新谷代表議員の業務上の都合の為、2014年4月19日(出)の2014-15年度のための地区研修・協議会において、代表議員にバスタガバナー 横山守雄氏、補欠代表議員としてバスタガバナー 大谷透氏を選出することを決議いたしました。

■ビジターフィー変更

大阪梅田ロータリークラブ (2014年4月より)

現行：4,800円 → 変更後：5,000円
(ヘルシーメニュー：3,500円については変更ございません)

大阪心斎橋ロータリークラブ (2014年5月より)

現行：4,300円 → 変更後：4,500円
最終例会日 現行：3,300円 → 変更後：3,500円

大阪北ロータリークラブ (2014年5月14日より)

現行：4,200円 → 変更後：4,300円

■メールアドレス・ホームページアドレス変更

くずはロータリークラブ

新メールアドレス info@kuzuha-rc.jp
新ホームページアドレス http://www.kuzuha-rc.jp/

■例会場変更

東大阪西ロータリークラブ (2014年7月7日より)

シェラトン都ホテル大阪 TEL：06-6773-1111

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 福家 宏
- 地区代表幹事 山田 正雄
- 地区副代表幹事 中井 敬和
- 担当地区幹事 吉本 憲司
- 担当地区幹事 山本与志弥
- 事務局長 栗正 久美

2013—2014年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	福家 宏
地区代表幹事	山田 正雄
地区副代表幹事	中井 敬和
事務局長	栗正 久美
事務局員	春名 志保
	奥田 純子
	井上 望美

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

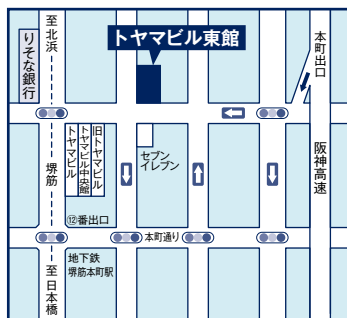
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan
TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp